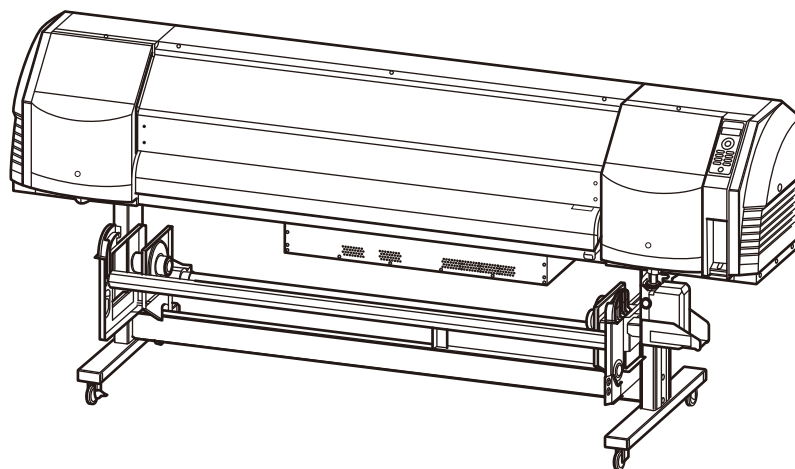


OKI

取扱説明書

溶剤インク
カラーインクジェットプリンター

IP-5630/5530



印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

Copyright© 2016 株式会社沖データ
無断転載を禁じます。
本書の内容は、断りなく変更することがあります。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

「JISC61000-3-2 適合品」

JISC61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第 3-2 部：限度値—高調波電流発生限度値（1 相当当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

警 告

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律

刑法 第 148 条、第 149 条、第 162 条
通貨及証券模造取締法 第 1 条、第 2 条等

はじめに

このたびは、IP-5630/5530 溶剤インク カラーインクジェットプリンター（以後、本機と呼びます）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

IP-5630 は 64 インチ幅のメディアに、IP-5530 は 54 インチ幅のメディアに対応する、USB2.0 インターフェース搭載、溶剤インクを採用したカラーインクジェットプリンターです。

本書では、IP-5630 をモデルとして説明しております。販売地域によっては対象外の機種もありますが、本文の中で特にことわりのない内容は全機種共通の内容です。機種によって個別に説明が必要な部分には、そのつど明示しています。

本書、「**IP-5630/5530 溶剤インク カラーインクジェットプリンター取扱説明書**」は、本機の特徴や機能、印刷の手順などの本機を使用するための情報が記載されている説明書です。またトラブルの解決法なども記載されていますので、目的に応じて各章をお読みください。

本書に記載の次の事項は、本機を正しく安全にお取り扱いいただくために、本機をご使用になる前に必ずお読みください。

- ・安全にお使いいただくために
- ・納入品
- ・マニュアルの表記について
- ・使用条件

また本書は、いつでもお読みいただけるよう手元に置いてお使い下さい。

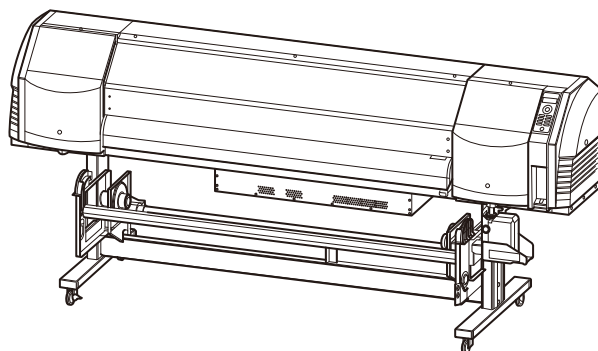
きれいに印刷するために

きれいな画質で印刷し、末永く本機をお使いいただくために、以下の3点をお守りください。

① メディアを正しくセットしてください。

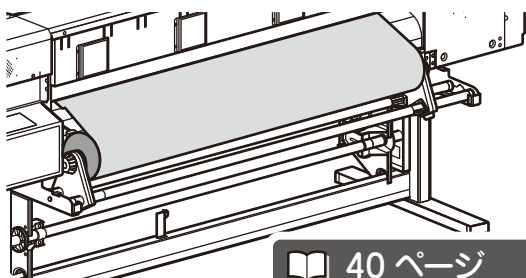
② 送り調整値や往復調整値を適切に調整してください。

③ メンテナンスを正しく行ってください。



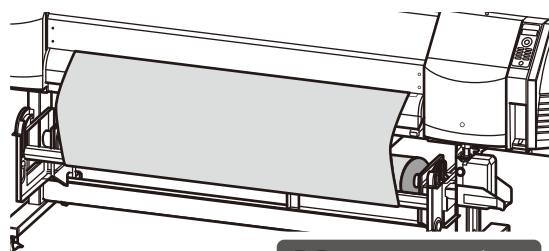
① メディアを正しくセットしてください。

給紙装置へのメディアセット



40 ページ

巻き取り装置へのメディアセット

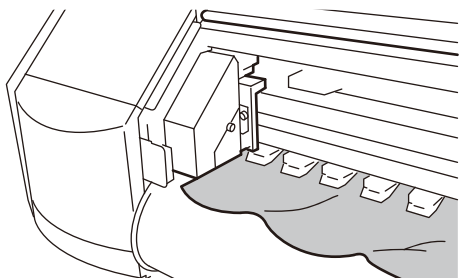


54 ページ

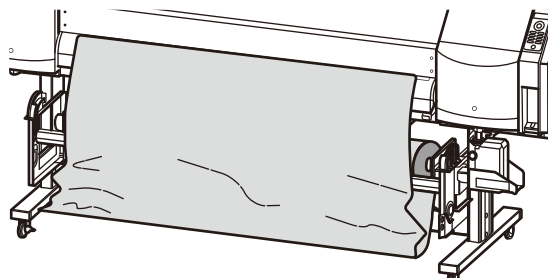
メディアを正しくセットしないと・・・

スキューやプリントヘッドこすれの原因になり、きれいな画質で印刷することができません。

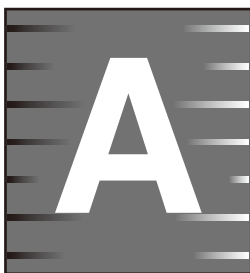
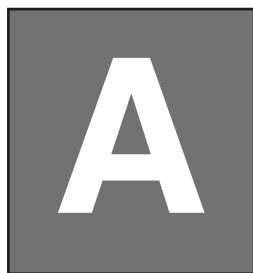
スキューによるメディアジャム



巻き取り失敗



【基本イメージ】

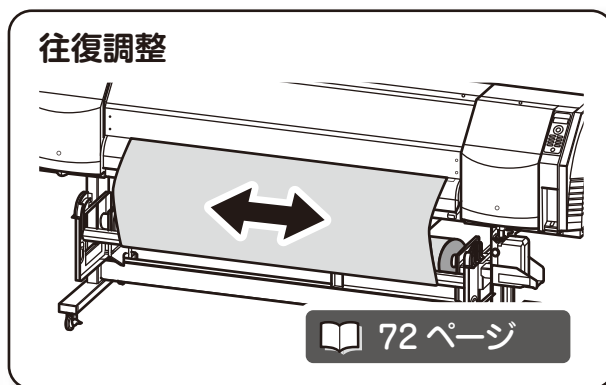
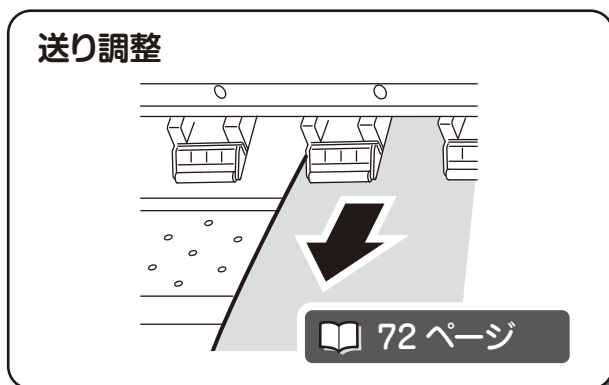


メディアのスキューにより、
左右の色が変わってしまいます。



プリントヘッドのこすれにより、
印刷物を汚してしまいます。

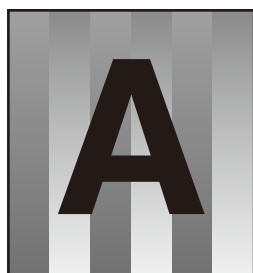
② 送り調整値や往復調整値を適切に調整してください。



新しいメディアを使うときに、これらの調整を行わないと・・・

インクの着弾位置がずれてしまい、きれいな画質を出せません。

【基本イメージ】

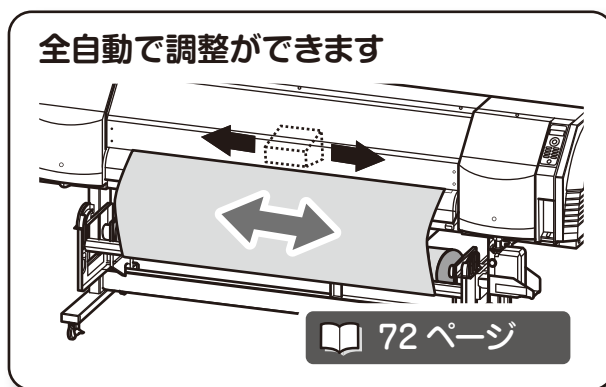


送り調整を正しく行わないと、バンディング（黒スジや白スジ）が出てしまいます。



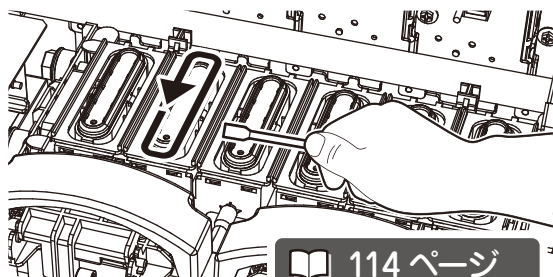
往復調整を正しく行わないと、粒状感が悪化し、画像がぼやけてしまいます。

本機には、調整を楽に行うための工夫がなされています。

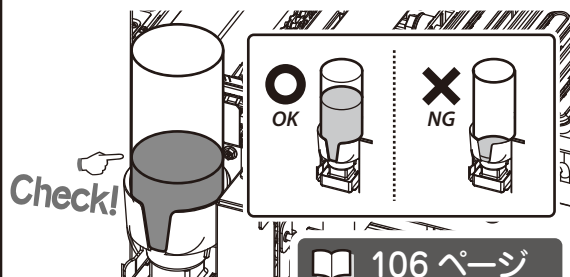


③ メンテナンスを正しく行ってください。

キャッピングユニットの清掃



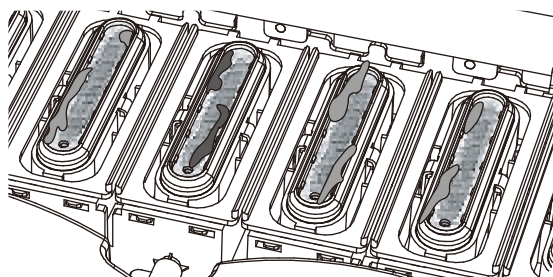
ワイパークリーニング液の確認



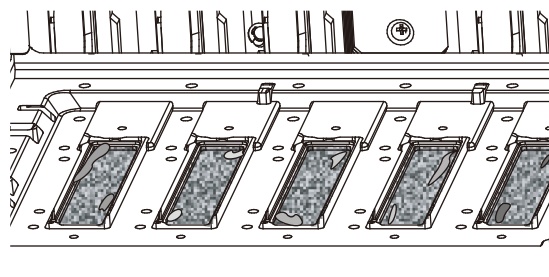
本機を汚れたままで使い続けると・・・

きれいな画質をだせないばかりか、故障の原因になってしまいます。

キャッピングユニットが汚れている



プリントヘッドが汚れている



CP_Managerを使うことで・・・

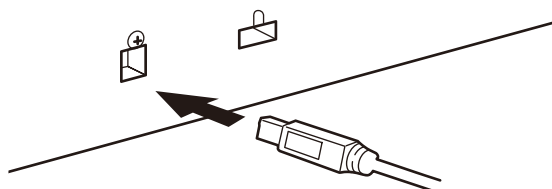
メンテナンスを楽に行うことができます。

メンテナンスの時期や実施状況が分かります



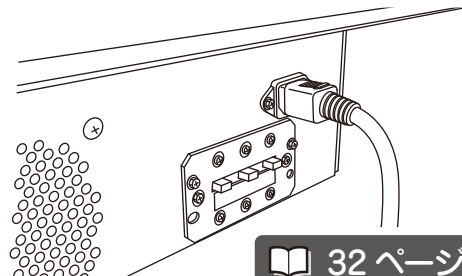
まずはじめに

コンピュータと接続する



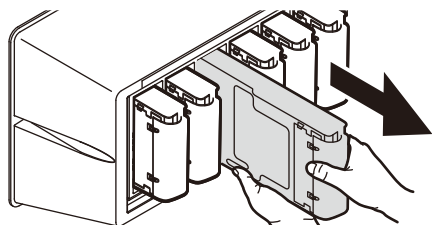
35 ページ

主電源を入れる



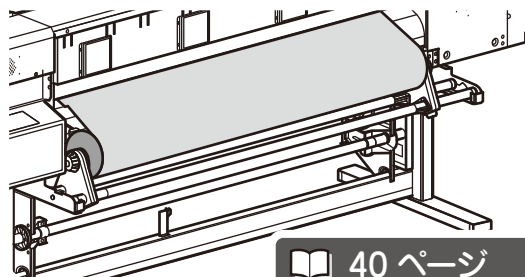
32 ページ

インクカートリッジを交換する



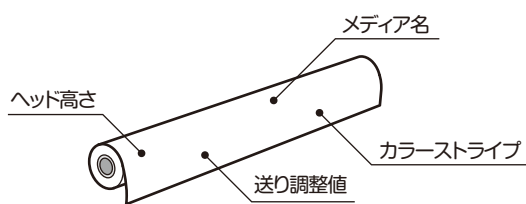
203 ページ

ロールメディアをセットする



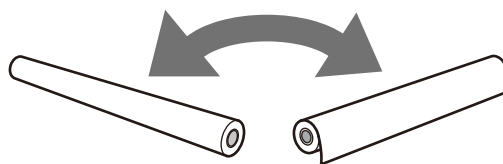
40 ページ

メディアを登録する



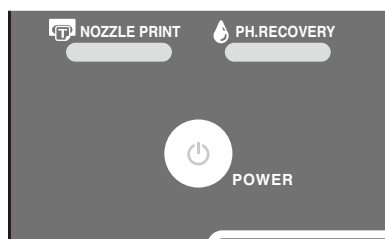
45 ページ

メディアを交換する



53 ページ

電源を切る



34 ページ

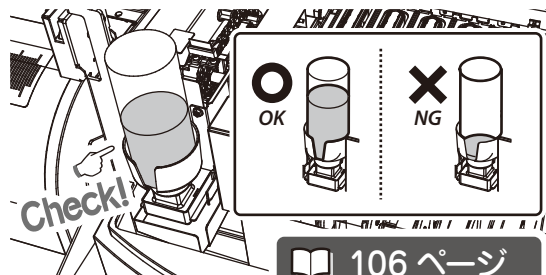
日常行う点検・保守 (日常メンテナンス)

廃インクボトルのチェック



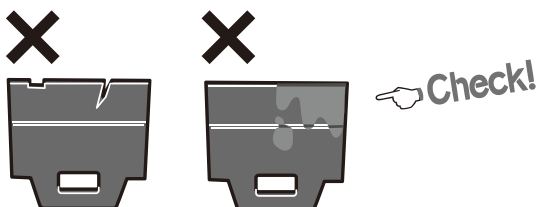
104 ページ

ワイパークリーニング液のチェック



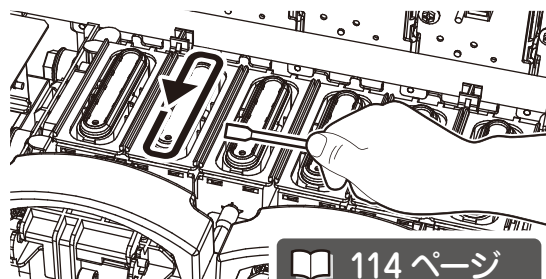
106 ページ

ワイパーブレードの汚れチェック



99 ページ

キャッピングユニットの清掃



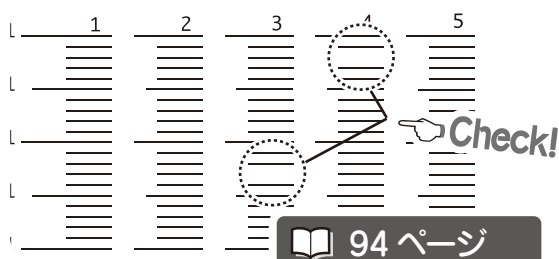
114 ページ

ヘッドクリーニング「ツウジョウ」の実施

PH. RECOVERY
↑ツウシ ョウ

117 ページ

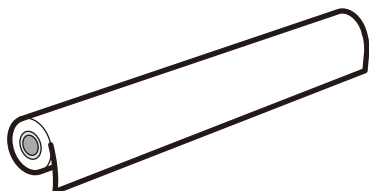
ノズルプリントの実施



94 ページ

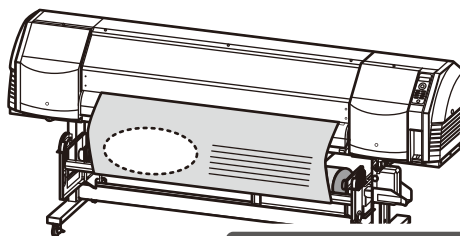
こんな時は・・・

分厚いメディアに印刷したい



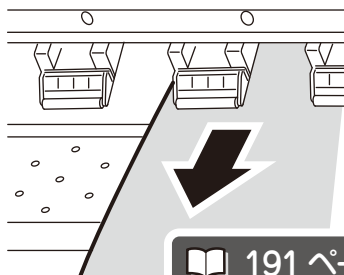
167 ページ

メディアの余白部分に印刷したい



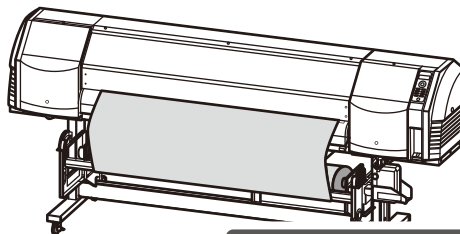
181 ページ

印刷中に送り調整値を変えたい



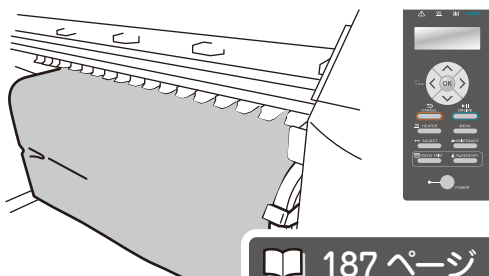
191 ページ

印刷中にヒーターの温度を変えたい



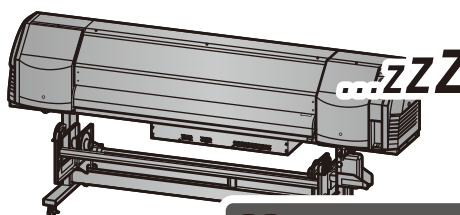
196 ページ

印刷中にメディアの皺を直したい



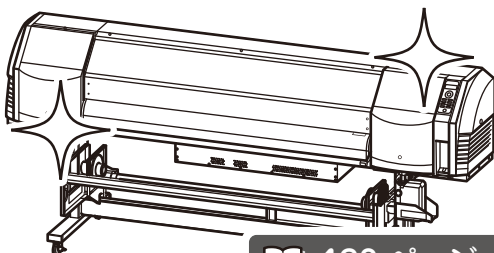
187 ページ

(連休などで)
長時間プリンターをOFFにしたい



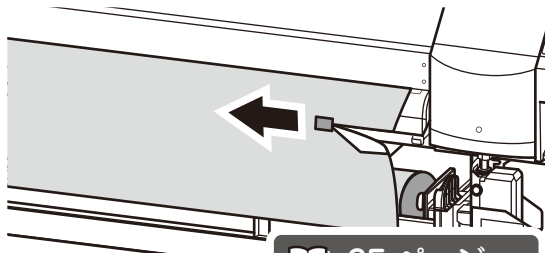
138 ページ

プリンターを清掃したい



128 ページ

メディアをカットしたい (オプション装着時)



65 ページ

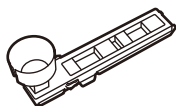
交換・トラブルシューティング

消耗品を交換する 下記ページを参照して正しく交換してください。



ワイパークリーニング液

106 ページ



ワイパースポンジ

119 ページ



廃インクボトル

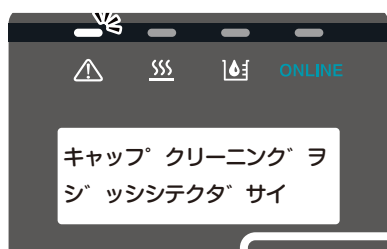
104 ページ



ワイパーブレード

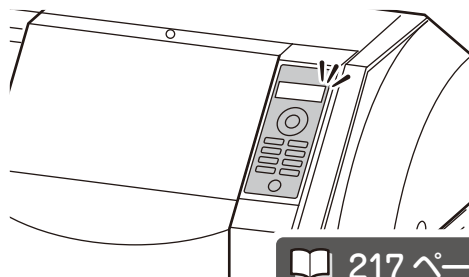
99 ページ

警告メッセージが表示された



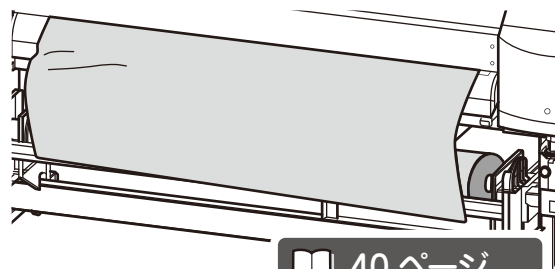
227 ページ

エラーメッセージが表示された



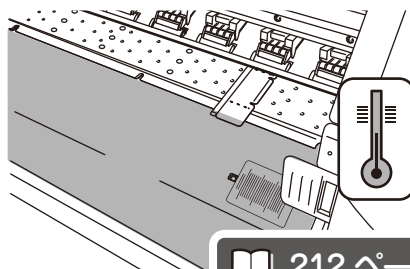
217 ページ

メディアが斜めに送られてしまう



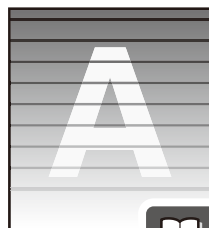
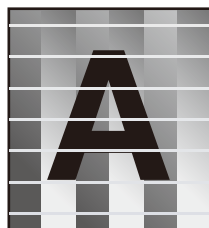
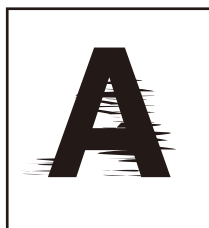
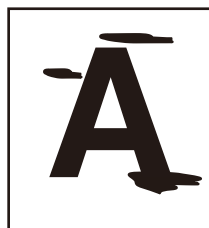
40 ページ

ヒーターが暖まらない



212 ページ

印刷物に汚れや縞模様が入る



236 ページ

目次

はじめに	3
目次	12
安全にお使いいただくために	14
機器上のシンボルの説明	14
マニュアルの表記について	19
納入品	20
使用条件	21
◆ 設置スペース／保守スペース	21
◆ 使用環境	22
本機ソフトウェアにおける FFTSS ライブ ラリに関する記載事項	23

印刷する前に知っておきたいこと

各部の名称とはたらき	26
◆ 本機前面（排紙側）	26
◆ 本機背面（給紙側）	27
◆ 本機内部	28
◆ 操作パネル	29
◆ LCD 表示	30
◆ ヒーター	31
主電源のオン / オフ手順	32
◆ 電源オン手順	32
◆ 電源オフ手順	34
USB ケーブルを接続する	35
オンラインとオフライン	36
◆ オンライン	36
◆ オフライン	36
CP_Manager について	37
印刷できるメディアの特徴	38
◆ 塩ビ	38
◆ ターポリン	38
◆ メッシュターポリン（ライナー付き）	38
◆ 電飾ターポリン（FF）	38
◆ ソルベント用コート紙	38

メディアをセットする

メディアを本機に取り付ける	40
◆ ロールメディアの取り付け手順	40
◆ メディアの残量管理を行う場合	47
◆ 透明なメディアおよび、裏側が黒いメディアの 取り付け手順	48
◆ ロールメディアが無くなり、ロールメディアを 交換する場合	53
◆ ジャム（メディア詰まり）で、ロールメディアを 交換する場合	53
◆ メディア残量を設定する場合	53
巻き取り装置にメディアを巻き付ける	54
◆ メディアの巻き付け方法	54
◆ テンション巻き方式／たるみ巻き方式の設定方法	58

◆ 巻き取りスイッチの設定	60
◆ 2 インチ紙管を使用する場合	60
巻き取り装置の調整	62
◆ 動作中の調整方法	62
メディアを取り外す	63
◆ メディア残量を印刷する方法	63
◆ ロールメディアの取り外し手順（給紙側）	64
メディアをカットする	65
◆ 印刷終了後にメディアをカット位置までフィード する手順	66
◆ メディアをカット後にメディアを印刷位置まで バックフィードする手順	67
巻き取り装置からメディアを巻き出す	68
◆ 巻き取り装置に巻き付けたメディアを巻き出す手順	68

調整する

調整をする前に	72
◆ 自動印刷調整の注意事項	73
◆ 自動印刷調整が実行できない	73
調整方法	75
◆ メディアの送り量を調整する「送り調整」	75
◆ 往復のインク着弾位置を補正する「往復調整」	80
◆ 往復のインク着弾位置を補正する「往復調整 詳細」	85

メンテナンス

日常メンテナンス	92
毎日のメンテナンス	93
A メディアセット	93
B ノズルプリント	94
◆ ノズルプリントの実施チェック	94
◆ ノズルマップの設定	95
◆ 自動設定の注意事項	96
◆ 自動設定でエラーが発生する場合	102
C 廃インクボトルのチェックと交換	104
D ワイパークリーニング液のチェックと交換	106
E ワイパーブレードの汚れチェックと交換	108
◆ ワイパーブレードの汚れチェック	108
◆ ワイパーブレードの交換	110
毎週のメンテナンス	114
F キャップクリーニング（キャッピング ユニットの清掃、クリーニング）	114
◆ ワイパーブレードの汚れチェック、キャッピング ユニットの清掃とクリーニングを同時に行う手順	114
◆ クリーニングを個別に行う手順	117
G 加圧ローラー清掃	118
プリンターのメッセージがあるときのメンテ ナンス	119
H ワイパースポンジ交換	119

I シートマウントクリーニング	122
◆ シートマウントクリーニングの準備	122
◆ シートマウントクリーニングの実施	123
汚れが目立つ時のメンテナンス	128
J プリンターの清掃	128
◆ ヘッドガード清掃	128
◆ メディアエッジガード清掃	130
◆ 外装(フロントカバー) 清掃	131
◆ ペーパーガイド清掃	131
◆ プラテン清掃	132
K 自動印刷調整用のセンサーとイオナイザー 周りの清掃	133
その日使い終わったら	136

詳細な取り扱い方法

2 週間以上、本機を使用しない時	138
◆ サービスクリーン	139
◆ ヘッドウォッシュ	141
◆ ヘッドウォッシュ後のインク充填	144
プリンターの情報を確認する	146
◆ インクの残量を確認したい	146
◆ プリンター情報を見たい	148
◆ メディアの残量を確認したい	149
◆ USB の接続状態を確認したい	151
◆ システム F/W のバージョンを確認したい	152
◆ プリンターの走行距離を確認したい	153
メディアの取り扱い	155
◆ メディアを登録したい	155
◆ 左右の余白をできるだけなくしたい	158
◆ メディアの張り付きやしわをなくしたい	161
◆ メディアの浮き上がりを防止したい	165
◆ 厚いメディアに印刷したい	167
◆ メディアのしわを検出した場合の動作を変えたい ..	173
◆ 印刷物のミスト汚れを防ぎたい(オプション装着時) ..	175
◆ オートクリーニングのタイミングを変えたい	176
◆ 登録されているメディアをコピーしたい	178
◆ メディアをセットし直さずに、登録したメディア の種類を切り替えたい	180
◆ メディアを送りたい/戻したい	181
◆ 印刷の書き出し位置を移動させたい	181
◆ 原点設定モードの解除	183
◆ 印刷が始まる直前に前の余白を調節したい	183
◆ 印刷の書き出し位置(余白量)を固定にしたい ..	184
◆ 印刷中にメディアの皺を少し直したい	187
リフターの使い方	188
プリンターの設定をする	189
◆ 警告音を鳴らさないようにしたい	189
送り調整値の管理	191
◆ 印刷中に送り調整値を変更する	191
印刷条件について	192

◆ 「インサツモード」設定	192
◆ 「キャリッジソクド」設定	193
◆ 印刷速度について	194
ヒーターの設定をする	196
◆ ヒーター温度設定の流れ	196
◆ ヒーターコントロールメニューの表示	197
◆ ヒーターコントロールメニューのキー操作	197
◆ ヒーターコントロールメニューの表示を終了する ..	198
◆ 初期値温度を設定する	198
◆ デイレイ時間を設定する	200
◆ スタンバイ時間を設定する	201
印刷中にインク切れになったとき	202
◆ インクカートリッジの装着	203
◆ インクカートリッジの交換	204
◆ インクカートリッジの取り付け手順	207

困ったときは・・・

故障?と思う前に	212
メディアジャムの処理のしかた	215
エラーメッセージが表示されたとき	217
スキューが検出されたとき	226
警告メッセージが表示されたとき	227
印刷抜け(ノズル詰まり)を回復させる ..	229
◆ 強力クリーニング	229
◆ フィルキャップ	230
◆ キャップ CL ジュウテン	231
メディアのしわが検出されたとき	234
こんな症状が出たら	236
◆ 印刷が薄い	236
◆ 印刷がかすれる、ざらつく	236
◆ 印刷開始時に印刷抜けが発生する	236
◆ メディアにシワ・カールが発生する	237
◆ 印刷物に白スジが入る	238
◆ 印刷物に黒スジが入る	240
◆ 印刷物に汚れが入る	242
◆ 印刷物にニジミが入る	244
◆ 印刷物の端に縦スジが入る	246
◆ 印刷物の左右で異なるスジが入る	247
◆ 印刷物に縦縞が入る	248

メニューツリー

ふろく

基本仕様	261
消耗品	262
オプション	265
サービス拠点	266
◆ 本機に関するお問い合わせ	266

安全にお使いいただくために

本書では、本機を安全に正しくお使いいただくため、または機器の損傷を防ぐため、次の記号を使って注意を喚起しています。

これらの記号の意味は次のとおりです。内容をよく理解して、これらの記号が表示されているところの記載事項については、必ずお守りください。

 警告	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

左の表示例は安全上の「警告または注意事項」があることを表しています。



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

左の表示例は「分解禁止」を表しています。



● 記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。

左の表示例は「電源プラグをコンセントから抜く」ことを表しています。

この装置は、子供がいる可能性が高い場所での使用には適していません。

機器上のシンボルの説明



高温になることがあるため触れないように注意していただくための表示です。



警告

必ず、下記の警告事項をお読みになってからお使いください。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。



本機をアース接続してください。アース接続されないで使用しますと、万一漏電した場合は火災や感電の原因になります。



電源コードを接続するときは、電源プラグを根元まで押し込んでください。また、電源コードをはずすときは、プラグ部またはコネクタ部を持ってください。コードを引っ張るとコードに傷が付き、火災や感電、故障の原因になります。



変換プラグは使用しないでください。



本機を分解したり、改造したりしないでください。事故や故障の原因になります。



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工、加熱したりしないでください。また、束ねたり、重い物をのせたり、引っ張ったりしないでください。破損した電源コードを使用し続けると火災や感電、故障の原因となります。破損した場合は新しいものに交換してください。



湿気の異常に多い場所や水などの液体がかかる可能性のある場所では、絶対に使用しないでください。火災や感電や故障の原因になります。



本機の内部やすき間に、金属片を落としたり、水などの液体をこぼさないでください。火災や感電、故障の原因になります。



濡れた手で、電源コードなどを接続したり、はずしたりしないでください。感電の原因になります。



次のような場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはサービス拠点に修理をご依頼ください。異常状態のまま使用すると、事故や火災の原因になります。また、お客様による修理は危険ですから絶対にお止めください。

◇ 異臭がする、発熱した、煙が出た、または異常音が発生したとき

◇ 本機の内部やすき間に、金属片や水などの異物が入ったとき

◇ サービス拠点で対処する異常が発生したとき



インクカートリッジは、絶対に火気に近づけないでください。引火した場合は、火災の危険があります。



インク、保管液、洗浄液、キャップクリーニング液、ワイパークリーニング液、廃インクは飲んだり、目の中に入らないように注意してください。呼吸困難になったり、目の障害の原因となります。もし目に入った場合は、直ちに大量の清浄な水で洗い流した後、医師の手当てを受けてください。また、誤って飲み込んだ場合は、無理に吐き出させず直ちに医師の手当てを受けてください。



本機をぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。



本機のヒーター部は高温になります。やけどに注意してください。



インクカートリッジおよび廃インクボトルは、子供の手の届かない場所に保管してください。



注意

必ず、下記の注意事項をお読みになってからお使いください



手ははさまれたり、巻き込まれたりする可動部の周辺では、注意して作業してください。



作業場所は換気をしてください。換気しないとインクの臭いで気分が悪くなる恐れがあります。気分が悪くなったときは、風通しの良い場所で安静にしてください。



ロールメディアは重いので、取り扱うときは台車などの運搬器具を使って、落としたりしないように注意してください。足の上に落としたりすると、けがをする恐れがあります。



インクが肌や衣服に触れないように注意してください。インクが肌に付着した場合は、直ちに石鹸と水ですぐに洗い流してください。



注意

- ◆ ロールメディアは重量物ですので、保管には安全対策を施してください。ロールメディアが転がったり、倒れたりするとケガにつながる場合があります。

このほか、各項で示す警告、注意事項についてもお守りください。

電源についての注意

1. 本機はコンセント近傍に設置し、緊急時に電源プラグを抜くために、そのコンセントへは容易に手が届くようにしておいてください。
2. モーターなどのノイズ発生源となる機器と同じ系路から、電源をとらないでください。
3. ご使用電源は、本機やオプションの仕様に合わせてお使いください。
4. 一ヶ月に一度は本機の電源を切り、次のような点検をしてください。
 - ①電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていること
 - ②電源プラグの端子やコンセントに細かい埃がついていないこと。埃は乾いた布で除去してください。

プリンター本体についての注意

1. 本機の上に物を置いたり肘をついたりしないでください。
2. 無理な力をかけたり衝撃を加えないよう丁寧に扱ってください。
3. 印刷中は、フロントカバーを開けたり、加圧ローラーアップダウンレバーを開放しないでください。印刷が終了してしまいます。
4. カバーの表面をベンジン、シンナーなどで拭かないでください。塗装がはげたり変質することがあります。また、カバーの汚れは柔らかい布などで軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布でよく絞ってから拭き取ってください。そのまま放置すると、装置の表面塗装がとれてしまう場合があります。
5. 弊社指定外の付属品、オプションの使用は、画質等に影響を与えるばかりでなく、故障の原因になり、保守ができなくなりますので使用しないでください。

本機のメンテナンスについての注意

溶剤インクの性質上、定期点検保守を必ず行ってください。（詳細は、☐ 91 ページ「メンテナンス」以降のメンテナンスを参照してください。）

1. 毎日、作業開始前は、開始前のメンテナンスを行ってください。
2. 以下の内容は特に注意してください。
 - ワイパークリーニング液がない場合には交換してください。
 - プリントヘッドは、精密機器です。ノズル面の直拭きはしないでください。
3. 本機を長時間（2 週間以上）電源断状態で放置する場合は、サービスクリーンを行ってください。
4. サービスクリーンを行い、本機が放置され、再びプリントする場合には、必ずヘッドウォッシュとインク充填を行ってください。
5. 本機は定期的に自動でメンテナンス動作を行います。本機がメンテナンス動作を行えるように常にプリンタの状態を保ってください。

消耗品についての注意

1. 指定のインクを使用してください。指定のインク以外を使用して故障した場合の修理は、お客様の負担となります。
2. インク、洗浄液セットおよび保管液セットには、品質確保のため使用期限が設定されています。それぞれの消耗品については使用期限内にお使いください。
3. 使用後のインクカートリッジおよび廃インクは、産業廃棄物として処理してください。また条例などで処理方法に規制がある場合は、その規則に従って処理してください。
4. インクは、冷暗所に未開封の状態で保管してください。絶対に高温や直射日光のあたる場所には保管しないでください。印刷品質が低下する場合があります。
5. インクカートリッジは分解・改造は行わないでください。故障の原因になります。
6. インクカートリッジを落としたり、強く叩いたりしないでください。インクが漏れる場合があります。

メディアについて

■ メディアの種類

以下に示す種類の溶剤インク用市販メディアをご使用いただけます。ただし、設置環境やメディアのロットなどにより、印刷条件が変わる場合があります。事前に印刷テストをすることをお勧めします。

詳しくは、弊社営業所または、代理店にお問い合わせください。

- 塩ビ
- ターポリン
- メッシュターポリン（ライナー付き）
- 電飾ターポリン（FF）
- ソルベント用コート紙

■ メディア保管上の注意

- メディアを保管する際は、開封前／開封後に関わらず、直射日光や水濡れを避け、ほこり等が付かないよう梱包箱（袋）に入れて冷暗所にて保管してください。
- 急激な温湿度変化を避け、結露しないように保管してください。
- 立てた状態で保管すると、ロールの自重によって巻きずれが起こったり、メディア端部が傷つく場合がありますので、ご注意ください。
- ロールを積み重ねないでください。
- ロールメディアは重量物ですので、保管には十分な安全対策を施してください。ロールメディアが転がったり、倒れたりするとケガにつながる場合があります。

■ メディアを廃棄する際の注意

- メディアおよび印刷物を廃棄する際は、廃棄地域の実態に合わせて、分別、回収、廃棄処理してください。また条例などで処理方法に規制がある場合は、その規則に従ってください。

■ メディアを使用する際の注意

- 開封した状態での温度湿度変動は避けてください。使用環境に 3 時間以上馴染ませてから、セットしてください。またエアコンのオン／オフによる湿度の変動にもご注意ください。
- メディアの特性上、低湿下ではカールが、高湿下ではシワが発生しやすくなります。常温常湿（23℃ 50% RH 付近）にてご使用ください。
- メディアに傷、シワ、めくれ、あるいはゴミの付着がある場合は、その部分を使用しないでください。特にメディアのエッジ（両端部）はメディア搬送上重要なので、傷んだメディアは使用しないでください。また、落下させたり、水などに濡らしたりしないでください。画質等に影響を与えるばかりでなく、故障の原因になる場合があります。
- 印刷面に手を触れず、余白部を持つようにしてください。手の皮脂や汗などの付着により画質が劣化する場合があります。
- セット時に、ロールに巻きずれが生じることがあります。ずれを修正してから使用してください。

■ 印刷物を取り扱う際の注意

- インクが乾燥するまでは印刷面に触れないでください。取り扱い時は余白部を持つようにしてください。印刷後、24 時間以内は特にご注意ください。
- 印刷面をこすると色落ち、色移りします。また印刷面同士を重ねると色移りする場合がありますので重ねないでください。
- コピーやレーザープリンターなどの印刷物と重ねないでください。インクまたはトナーなどにより貼り付く場合があります。
- 表面を強くこすったり、引っ掻いたりした場合や、メディアを折った場合は、印刷面が剥がれることがあります。
- 水に濡れた状態でこすったり、放置したりすると、印刷がにじんだり、落ちたりすることがあります。

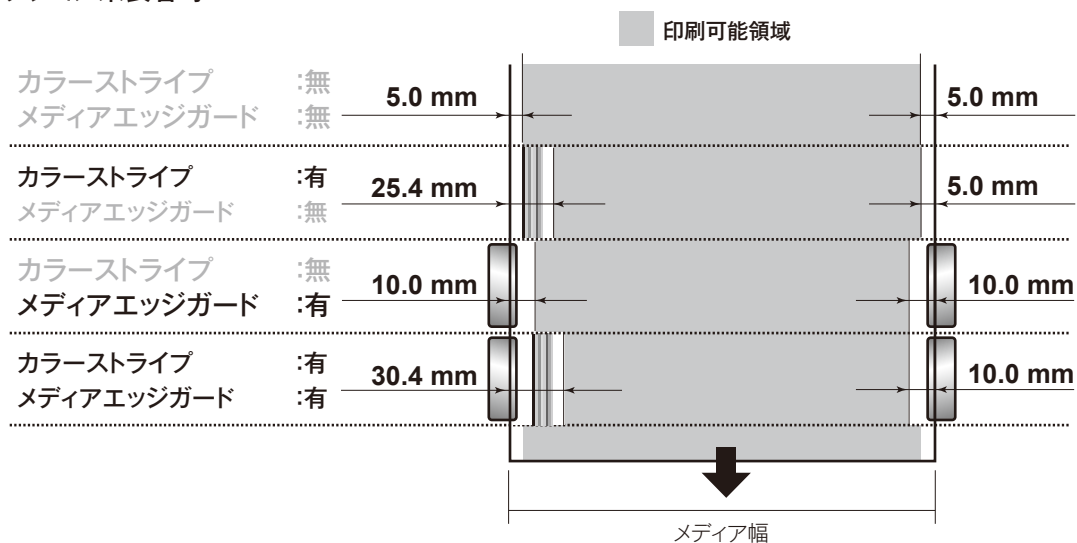
■ その他の注意

- メディアは古くなるにつれ色褪せ、変質します。メディアの状態を確認し、状態のよいものをお使いください。
- メディアを切断すると紙粉などが発生し、ラミネート浮きの原因になる場合がありますので、ご注意ください。
- 糊付きのメディアを使用した際に、プラテン等に粘着剤（糊）が付着することがあります。その場合は、中性洗剤を湿らせた柔らかい布できれいに拭き取ってください。粘着剤がつくと、ジャムの原因になる場合があります。

■ メディアの印刷可能領域

メディアの印刷可能領域（主走査方向）は、メディア幅とメディアエッジガードの有無、カラーストライプの有無で決まります。通常はメディアエッジガード有・カラーストライプ無の条件で左端から 10.0mm 内側・右端から 10.0mm 内側が印刷可能領域です。

・オプション未装着時



マニュアルの表記について

本書で説明に使用するマークの表記ルールを以下に示します。

マーク表記について



警告

◆「安全にお使いいただくために」における「警告」に相当する内容を説明しています。



注意

◆「安全にお使いいただくために」における「注意」に相当する内容を説明しています。



参考

◇ 知っておくと便利なこと、操作などの補足事項、重要な操作を記載しています。

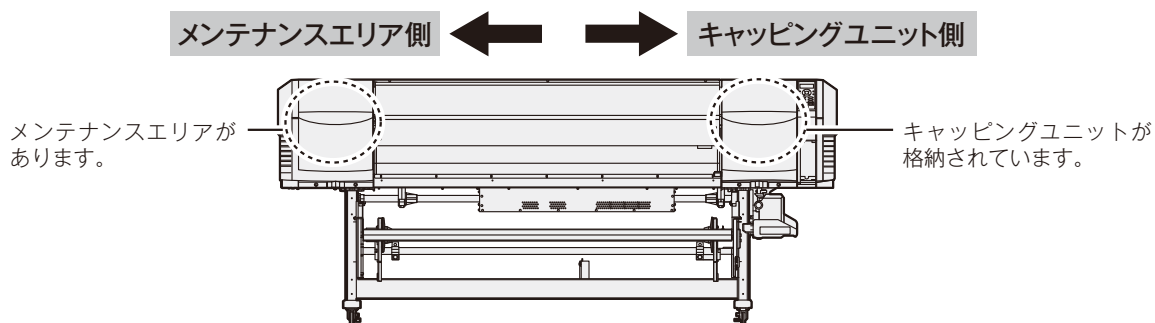
□「参照」マークです。

このマークの後に、参照項や参照ページを示しています。

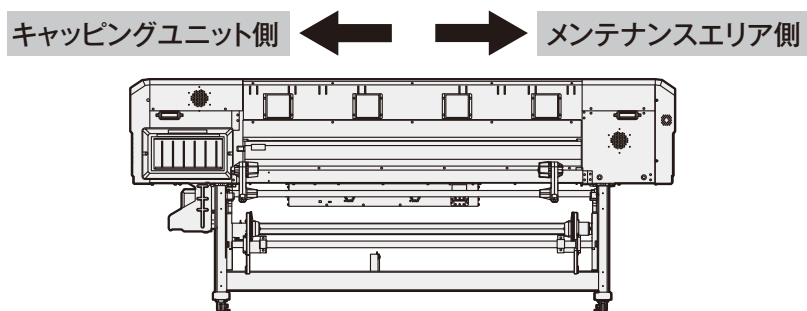
「キャッピングユニット側」、「メンテナンスエリア側」について

本書では、本機の左右方向を下図のように表記しています。

■ 本機前面（排紙側）から見た場合



■ 本機背面（給紙側）から見た場合



納入品

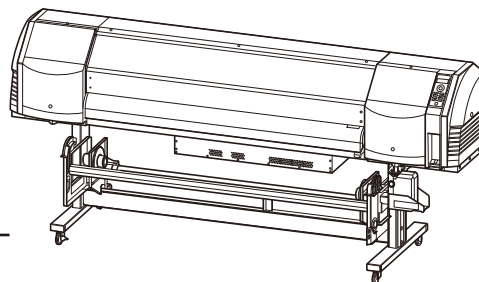
本機の種々構成品は、オプション品を含むすべてが、プリンターの据え付け時にプリンターに取り付けられます。次のものが納入されますので確認してください。

万一、不足品や破損品があった場合は、お買い上げになった販売店またはサービス拠点にお問い合わせください。

■ 基本構成品

プリンター本体 < 1 台 >

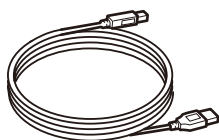
- ・ USB インタフェース搭載
- ・ 給紙装置、巻き取り装置付き



■ 付属品



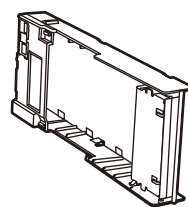
☐ 電源コード
< 1 本 >



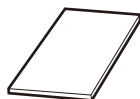
☐ USB2.0ケーブル
< 1 本 >



☐ 廃インクボトル
IP5-299
< 1 個 >



☐ カートリッジホルダー
IP5-320
< 6 個 >



☐ クイックリファレンスガイド
< 1 部 >



☐ CD-ROM
・ CP Manager
・ 取扱説明書
・ クイックリファレンス
< 1 部 >

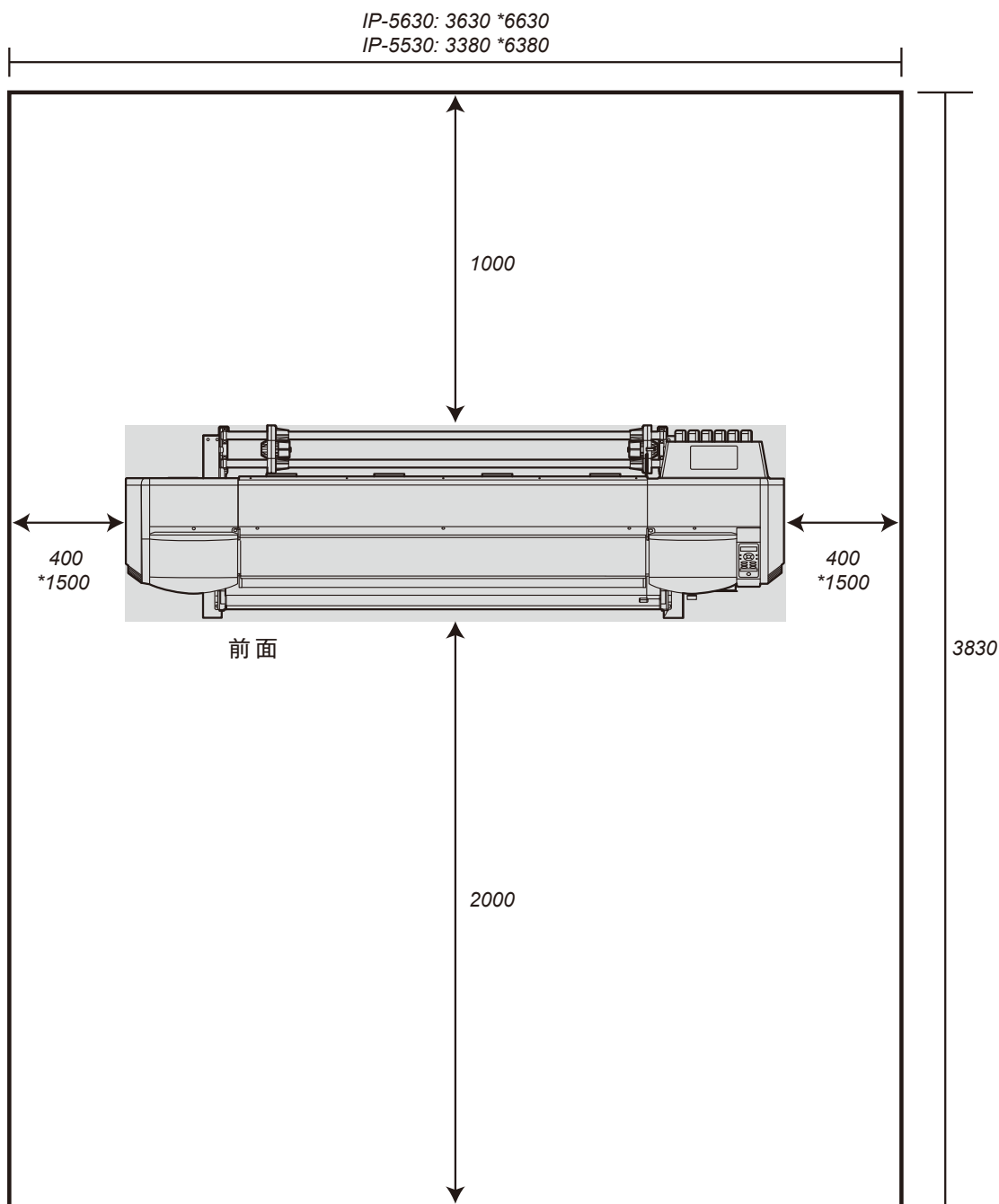


☐ PS-RIP
< 1 部 >

使用条件

◆ 設置スペース／保守スペース

本機の前後左右には、消耗品の交換や出力物を処理するためのスペース、換気のためのスペースなど、通常運転時に必要なスペースだけでなく、故障の修理で部品を交換するためのスペースが必要となります。下図に示すスペースを確保してください。



高さ方向：2200

*：保守スペース

(単位：mm)

◆ 使用環境

■ 使用温湿度範囲

本機は、下記の温湿度範囲内でお使いください。

温度：15℃～30℃

湿度：30%～70%

- より良い画質を得たい場合は、20～25℃の範囲でお使いいただくことを推奨いたします。
- 安定した印刷品質を得るために、プリントヘッドの温度が40℃を超えた場合は、印刷速度を落として印刷します。

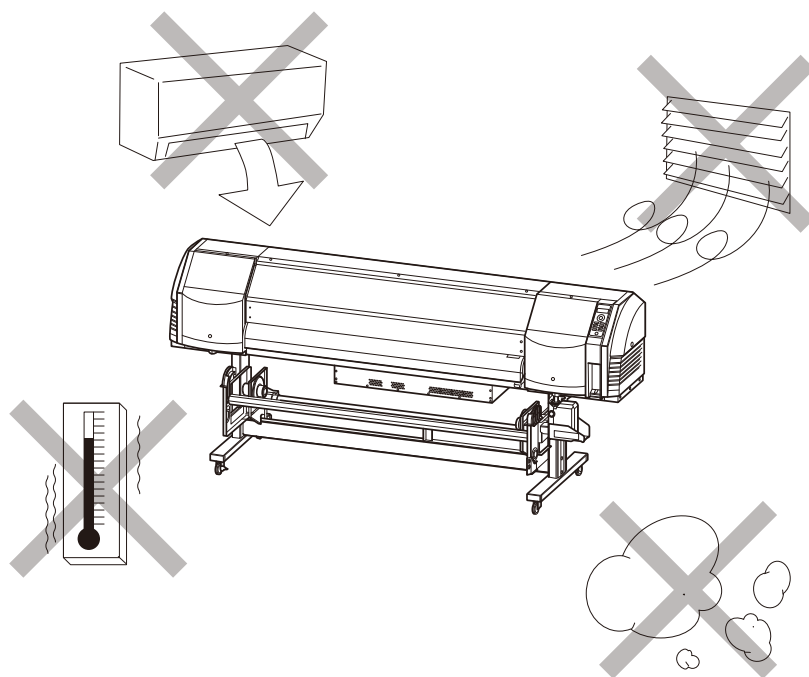
⚠ 注意

- ◆ 使用温湿度範囲外で使用した場合、印刷が停止したり、画質が乱れることがあります。

■ 設置禁止環境

次のような場所には設置しないでください。

- 火の近く場所
- 直射日光が当たる場所
- 振動のある場所
- ホコリの多い場所
- 温度、湿度の変化の激しい場所
- 冷暖房機器の近く
- 水のかかる可能性のある場所
- 通風口などからの風が当たる場所
- ジアゾ複写機などから発生するアンモニアガスの影響が強い場所
- 換気の悪い場所
- 不安定な場所



本機ソフトウェアにおける FFTSS ライブラリに関する記載事項 ———

本装置に搭載しているコントローラーのソフトウェア（以下、ソフトウェア）には、
額田彰氏によって開発された FFTSS ライブラリを使用しています。

本ライブラリは科学技術振興機構戦略的創造研究推進事業 CREST によって推進された、
「シミュレーション技術の革新と実用化基盤の構築」研究領域における課題である、
「大規模シミュレーション向け基盤ソフトウェアの開発」の成果の一部です。

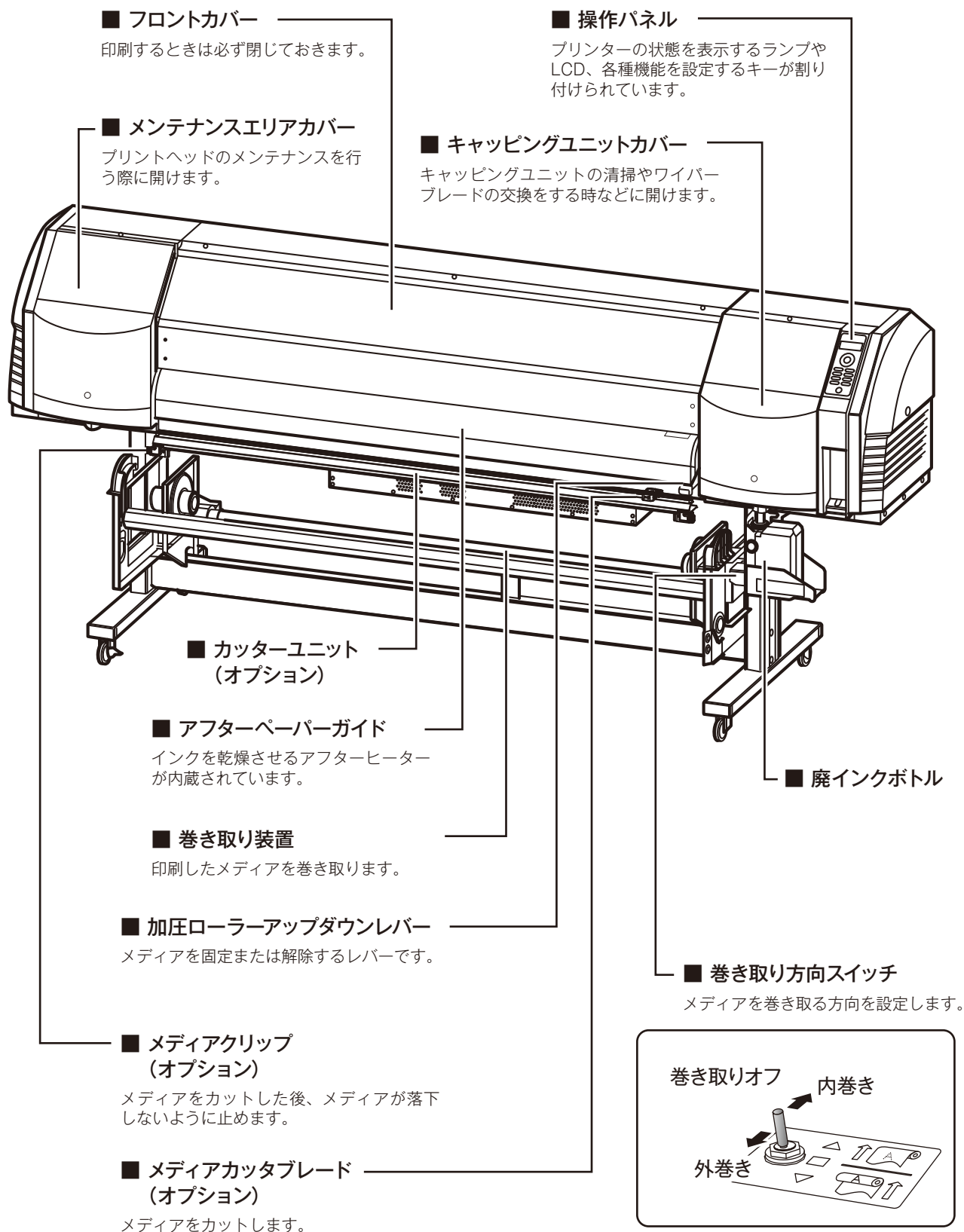
FFTSS を含むソフトウェアに関するサポートについては、株式会社沖データが行うものであり、本ライブラリの
開発者および、関連団体には一切の責任および義務はありません。



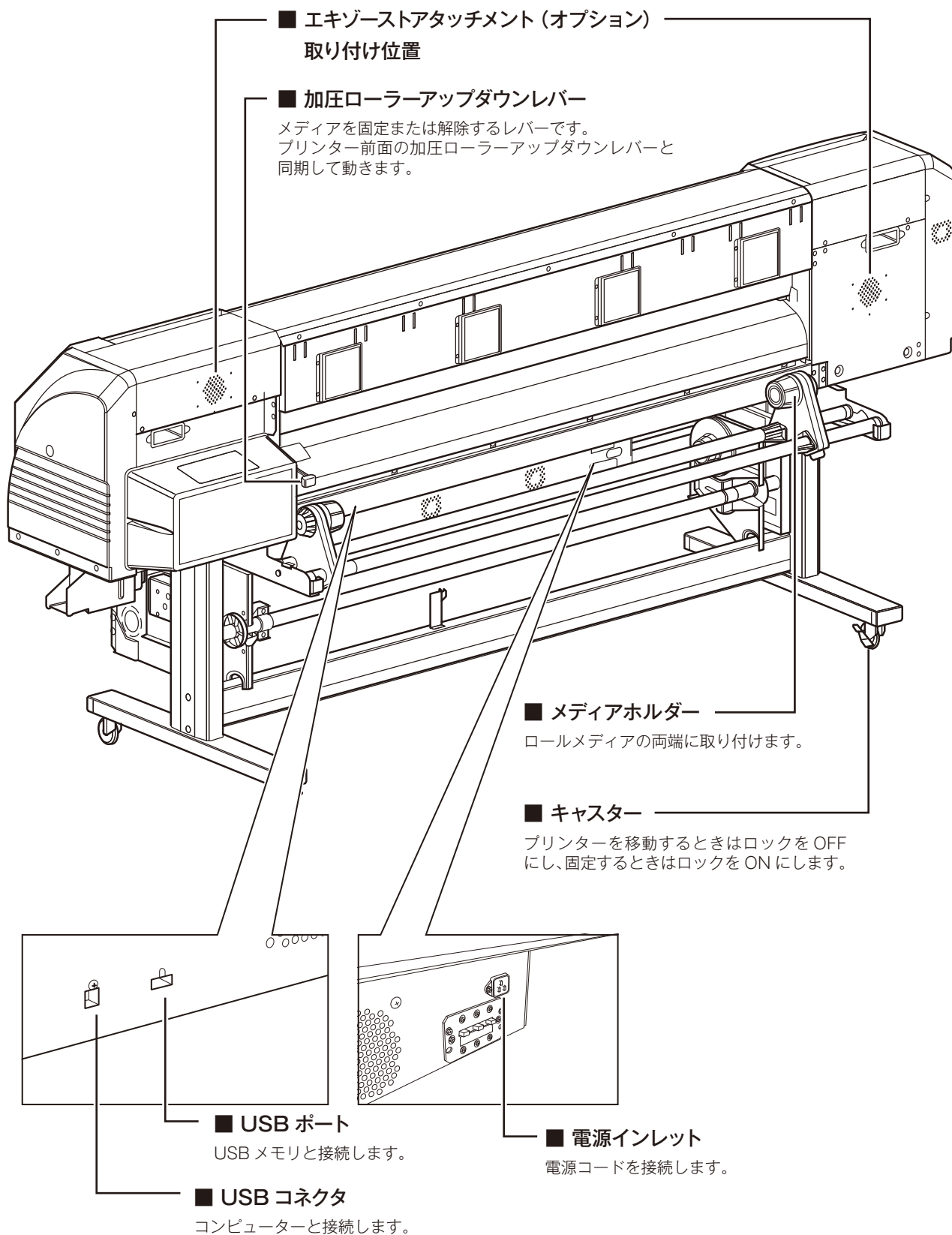
印刷する前に 知っておきたいこと

各部の名称とはたらき

◆ 本機前面（排紙側）



◆ 本機背面（給紙側）



◆ 本機内部

■ キャリッジ

プリントヘッドが格納されているユニットで、印刷時メディアを走査して印刷します。

■ 自動印刷調整用センサー

自動印刷調整に使用する光学センサーです。

■ ワイピングユニット

プリントヘッドのノズル面の異物を取り除きます。

■ イオナイザー (オプション)

メディアの静電気を中和し、インクミストによる印刷汚れを軽減します。

■ キャッピングユニット

プリントヘッドのノズルが乾くのを防ぎます。

■ メディアエッジガード

メディア両端（エッジ）のカールやケバからプリントヘッドを保護します。

■ プラテン

メディアの通り道です。メディアが浮かないようにする吸着ファンとインクを定着させるプリントヒーターが内蔵されています。

■ カッター溝

この溝にカッターナイフの刃を挿入してメディアを切ると刃がガイドされてまっすぐに切ることができます。

■ 加圧ローラー

加圧ローラーアップダウンレバーを下げるとメディアを挟み込みます。

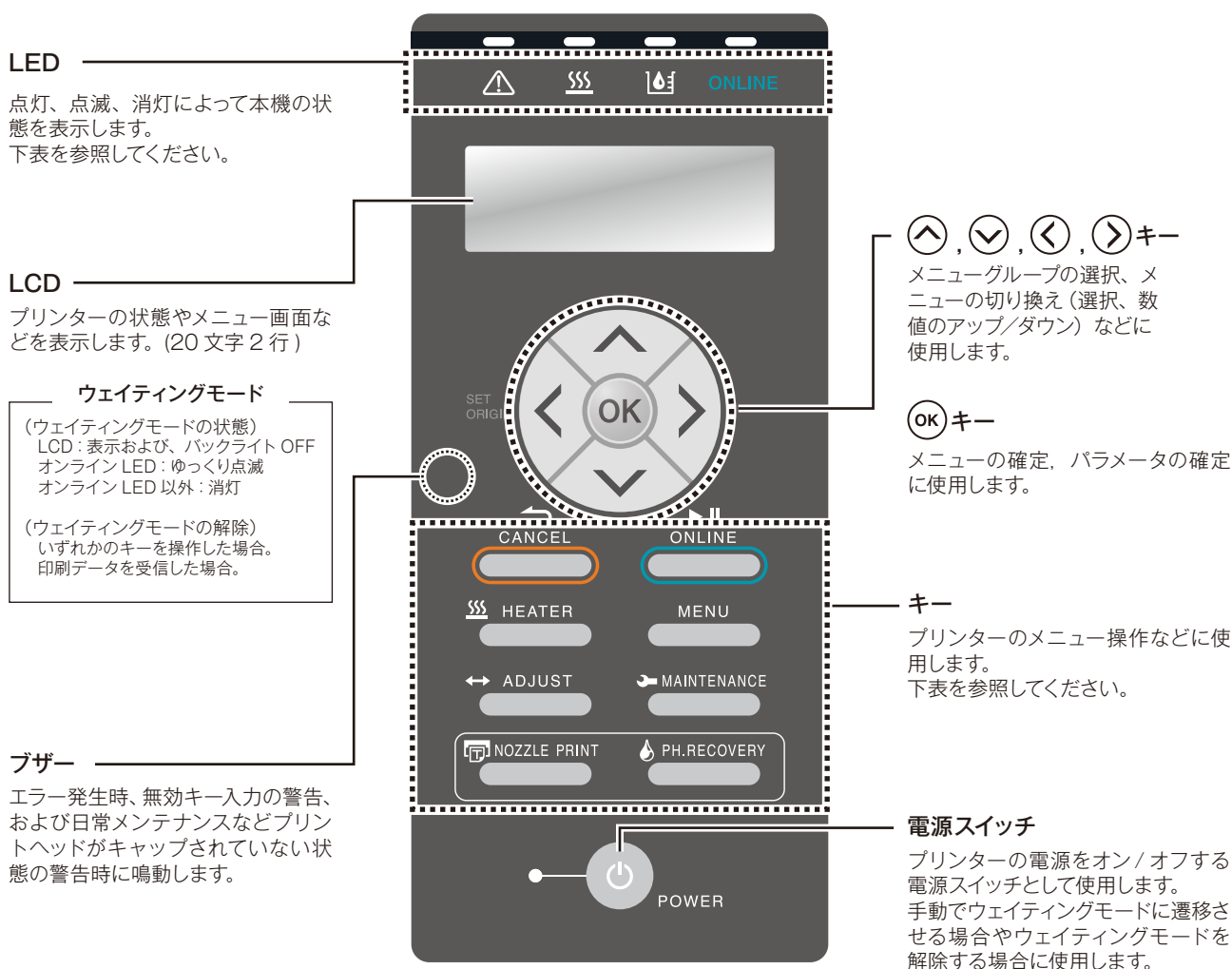
■ グリットローラー

メディアを送り出したり、戻したりするローラーです。

◆ 操作パネル

本機の操作パネルには、キー、LED、LCD が下図のようにレイアウトされています。なお、エラー時や無効キー入力時には、ブザーで通知する機能もついています。

また、一定時間装置を使用しない場合、ウェイティングモードに遷移します。



LED	
 エラー LED (橙)	エラーの有/無を表示します。 ・点灯: エラーあり ・点滅: ワーニングあり ・消灯: 正常(エラーなし)
 メディアヒーター LED (緑)	メディアヒーターの状態を表示します。 ・点灯: メディアヒーター設定温度に到達 ・点滅: メディアヒーター昇温中 ・消灯: メディアヒーター OFF
 インク LED (緑)	インクの有/無を表示します。 ・点灯: すべてのインクあり ・点滅: インクの残量が少ない ・消灯: インクなし
 オンライン LED (緑)	プリンターのオンライン/オフライン/ データ受信/プリントポーズ状態を表 示します。 ・点灯: オンライン ・点滅(ゆっくり): プリントポーズ ・点滅(はやい): データ受信 ・消灯: オフライン
 電源 LED (緑)	プリンターの電源状態を表示します。 ・点灯: プリンター電源オン (ウェイティングモードの状態でも本 LED は点灯のままです。) ・消灯: プリンター電源オフ

キー	
 CANCEL	入力したパラメーターをキャンセル、メニュー階層を戻 るときに使用します。
 ONLINE	プリンターのオンライン/オフラインの切り替え、プリ ントポーズ/プリント再開するときに使用します。
 HEATER	ヒーターコントロールメニューに入るときに使用します。
 MENU	プリンターの各種情報表示、各種設定変更するときに 使用します。
 ADJUST	調整メニューに入るときに使用します。
 MAINTENANCE	メンテナンスメニューに入るときに使用します。
 NOZZLE PRINT	ノズルプリントを印刷するときに使用します。
 PH.RECOVERY	クリーニングメニューに入るときに使用します。

◆ LCD 表示

本機の操作パネルについている LCD は、20 文字×2 列で表示を行います。
LCD の表示例を以下に示します。

■ メニュー階層の表示

メニューの階層は、LCD 上段左端の「>」の数で表示されます。

トップ階層：

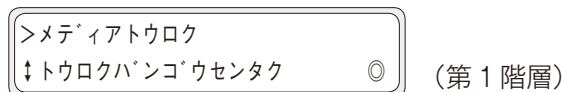
MENU キー、ADJUST キーなどを押した時に最初に表示されるメニュー階層で、「>」は表示されません。
<表示例>



第 1 階層～第 4 階層：

トップ階層から 1 段下の階層に入ると、「>」が 1 つずつ増えて表示されます。

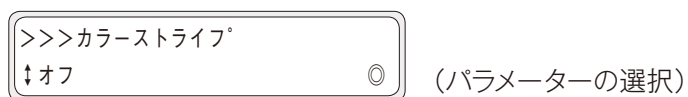
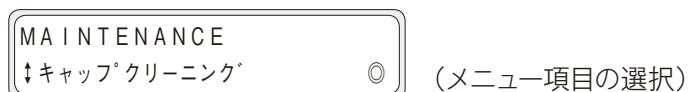
<表示例>



■ 上下キー選択の表示

メニュー中で (↑) 、 (↓) キーによりメニュー項目やパラメーターの選択が可能な場合は、LCD 下段左端に「↑↓」が表示されます。

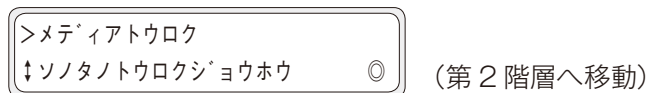
<表示例>



■ OK キー入力の表示

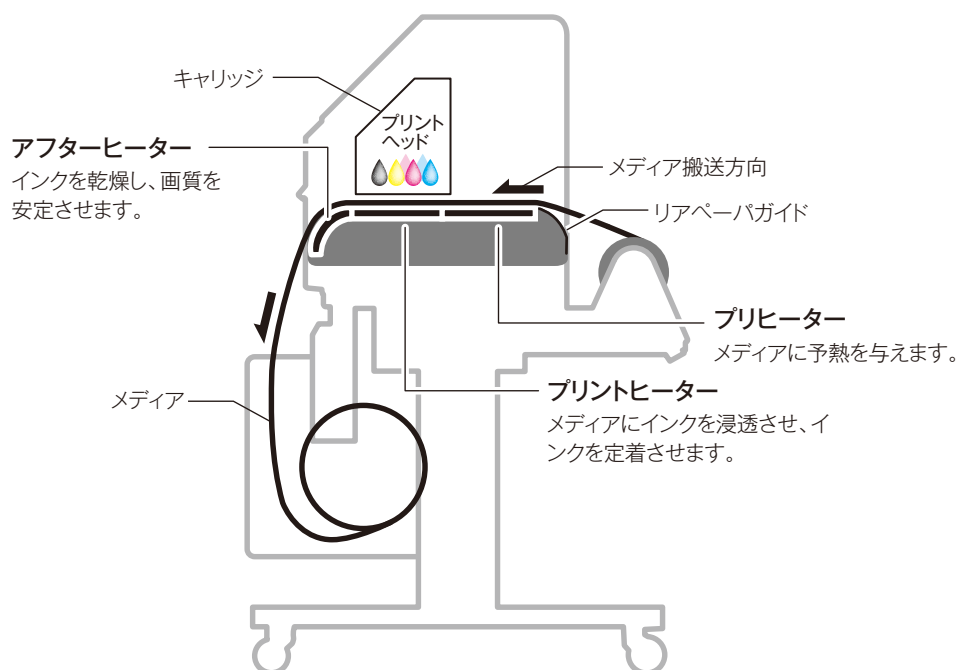
メニュー中で (OK) キーを入力することで、階層の移動や動作実行が可能な場合、LCD 下段右端に「◎」が表示されます。

<表示例>



◆ ヒーター

本機には、印刷メディアへのインクの定着・画質の安定化のために3つのヒーターを搭載しています。



* 3つのヒーターは各々独立にコントロールされます。

ヒーター温度は操作パネル、ソフト RIP および CP_Manager からコントロールできます。

警告

◆ 各ヒーター面は熱くなりますので、決して触らないでください。火傷をするおそれがあります。



高温部分

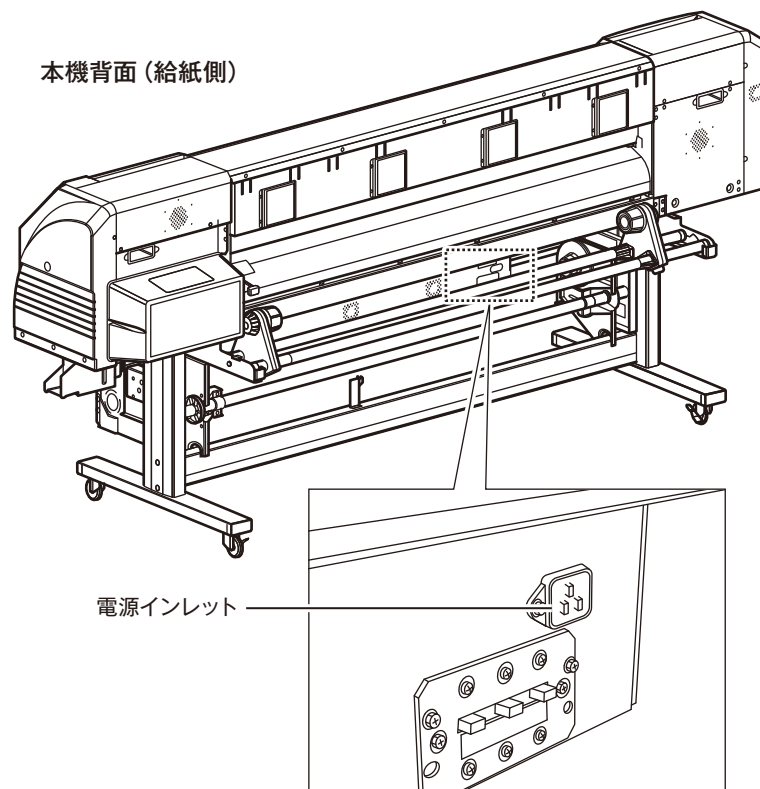
触らないでください

主電源のオン / オフ手順

⚠ 注意

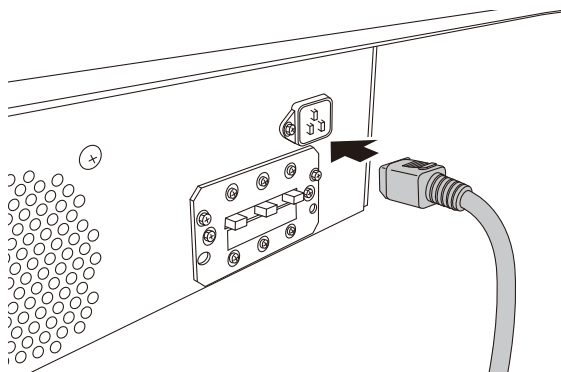
◆ 本機には、付属の電源コード以外は使用しないでください。

電源のオフ／オンは、本機の操作パネル上の電源スイッチで行います。

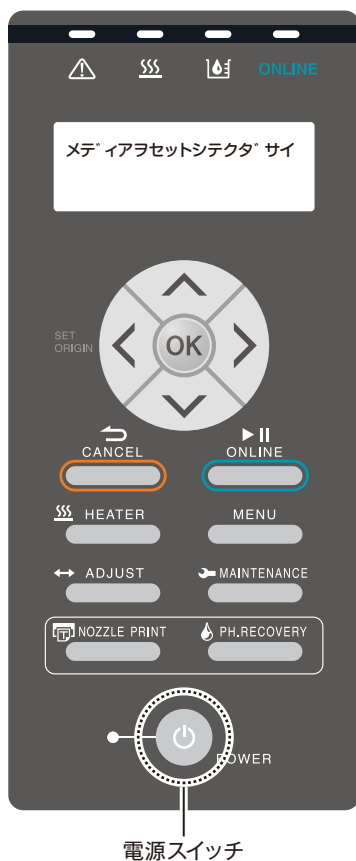


◆ 電源オン手順

1



付属の電源コードを本機の電源インレットと電源供給コンセントに差し込みます。



電源スイッチ

操作パネル上の電源スイッチを押してオンします。

スイッチをオンにすると電源投入時の自己診断が行われ、左のように操作パネル上にメッセージが表示されます。



エラーメッセージが表示されたら…

- ◇「こんなときには」を参照し、対処してください。
- ◇ 本機背面のプリンター電源、操作パネル上の電源オン/オフスイッチをオンにしても、操作パネルのLEDが点灯しない場合は、電源に問題があります。

⚠ 注意

- ◆ 緊急時を除いては、電源オフは、“プリントデキマス”が表示されている時に行ってください。“ショキカチュウ”や“クリーニングチュウ”の表示中にむやみに電源をオフにすると、インクのボタ落ちやプリントヘッドの故障の原因になるおそれがあります。また、セーブされていたパラメーターが消失する可能性もあります。

◆ 電源オフ手順

1

シャットダウンチュウ
シハラクオマチクダサイ

プリンターの電源をオフにするには、操作パネル上の電源スイッチを2秒押し続けてオフにします。

上記のようにLCD表示され、シャットダウン処理の実行中であることを示し、シャットダウン終了後、電源が切れます。

ただし、本機は、装置の状態を良好に保つために、自動でメンテナンス動作を行います。そのため、本機の電源は常にオンのままにしてください。

もし、緊急時やプリンター清掃などで一時的に電源オフにする必要がある場合は、下記の方法でオフにすることができます。

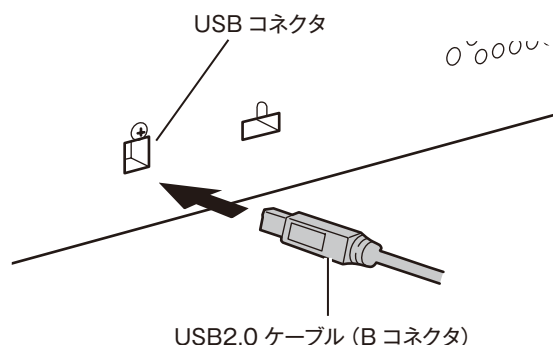
方法1： 電源スイッチを2秒押し続ける	通常はこの方法でオフにしてください。シャットダウン時に、プリントヘッドの状態を良好に保つために、フィルキャップ動作（キャップの中をインクで満たしている状態）が実行されます。
方法2： 「キャンセル」キーを押しながら、 電源スイッチを2秒押し続ける	短時間（1時間未満）のオフに限って、この方法でオフにすることも可能です。フィルキャップ動作を省略して電源オフします。

注意

- ◆ 電源スイッチをオフにしてから再度オンする時は5秒以上経過してから行ってください。
- ◆ プリンターは、プリントヘッドの状態を良好に保つため、プリンターが待機状態になると周期的に、自動でフィルキャップ動作を行います。
操作パネル上の電源スイッチをオンのままにしておくことを推奨します。

USB ケーブルを接続する

1



本機背面にある USB コネクタに専用ケーブルを接続します。



下記のものをお使いください

- ◇ 接続ケーブルは、USB2.0 ケーブルを使用してください。
- ◇ USB ハブを使用する場合は、USB2.0 対応の製品を使用してください。
- ◇ USB 接続に用いるケーブルやハブ、またその系に接続する USB 機器は USB-IF 認証品を使用してください。USB 認証品ではないケーブル、ハブ、その他機器を接続した場合は正常に動作しない可能性があります。
- ◇ 1 本のケーブルの最大長は 5m です。それ以上の距離で使用される場合はハブを使用してください。最長構成はハブの 5 段接続です。ケーブルのみで 5m を越える長さにした場合や、単にケーブルをつなぎ合わせた場合は、正常に動作しない可能性があります。

オンラインとオフライン

本機はオンライン/オフラインを切り替えて使います。

オンライン：コンピュータ（ソフト RIP）からの印刷が可能

オフライン：操作パネルからメニュー操作が可能

ONLINE キーを押すとオンライン/オフラインを切り替えることができます。

また、オンライン状態で **MENU** キー、**ADJUST** キー、**MAINTENANCE** キー、**NOZZLEPRINT** キー、**PH.RECOVERY** キーを押すとオフライン状態になり、それぞれのメニュー操作を行うことができます。

◆ オンライン



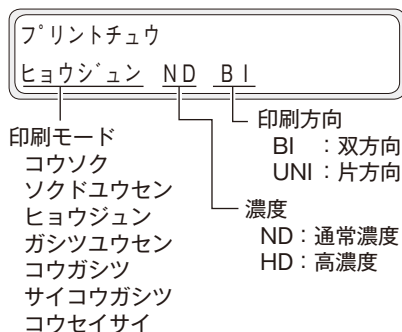
オンライン LED が点灯しているとオンラインです。

オンライン（アイドルモード）



オンライン LED が点滅していると印刷中です。

オンライン（プリントモード）



◆ オフライン



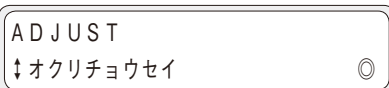
オンライン LED が消灯しているとオフラインです。

オフライン状態に切り替わった時のパネル表示は、押したキーにより異なります。

ONLINE キーを押した場合：



ADJUST キーを押した場合：



PH.RECOVERY キーを押した場合：



オペレーターコールエラーが表示されているときは…

◇ オペレーターコールエラー（ 221 ページ）が表示されている場合は、**CANCEL** キーを押しても操作できない状態があります。

CP_Manager について

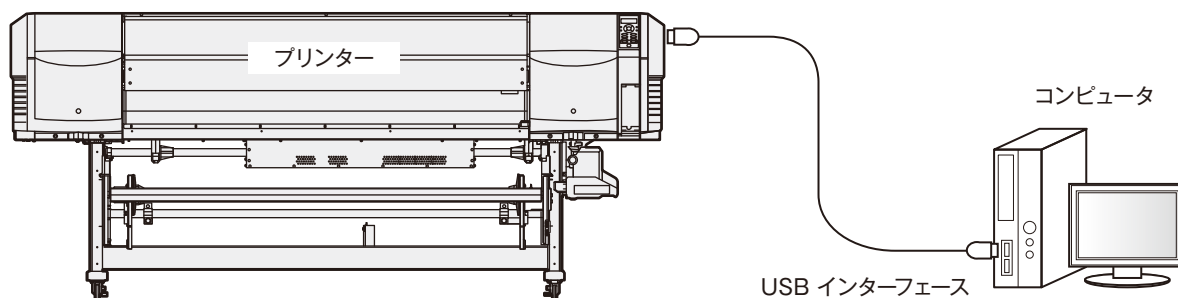
本機はパソコンでプリンターの状況がひと目で分かるソフトウェア「CP_Manager for E-Series」に対応しました。CP_Manager™ では、以下の操作を行うことが可能です。

パネルの操作

- ・プリンターの状態表示
- ・メディア登録、調整値の入力
- ・ノズルプリント、各種調整印刷の実行
- ・メンテナンス時期の通知、メンテナンス動作の実行

付加機能

- ・操作方法のガイダンス表示
- ・取扱説明書（PDF）の表示



CP_Manager™ は、本機に付属の CD-ROM を使ってインストールしてください。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは...

メニューツリー

ふろく

印刷できるメディアの特徴

◆ 塩ビ

表面が塩化ビニール素材のメディアです。一般的には裏面に糊がついていて、剥離紙をはがしてそのまま貼ることができます。表面の光沢の程度により、光沢塩ビ（ツヤ有り）・光沢なし塩ビ（ツヤ消し）・半光沢塩ビなどの種類があります。

また糊にも、透明糊の他に重ね貼りで下地が見えないようにできる「グレー糊」などがあります。表面の塩ビ素材が透明や半透明なタイプのものもあり、電飾看板などに使用されています。

◆ ターポリン

ポリエステル系繊維の織物を表裏両面から塩化ビニールなどの合成樹脂フィルムでコーティングしたシートです。防水性があり、引き裂きにも強いので、主にテント生地や建築用養生材に使われており、インクジェット用のメディアとしてバナー広告などにも使われます。表面の光沢の違いにより、光沢（グロス）・マット・半光沢（セミグロス）などの種類があります。

◆ メッシュターポリン（ライナー付き）

網目状に穴が開いたターポリンのことをさします。開いた穴から風が通り抜けることで、風による引き裂きに強く、強風時でも破損しにくいメディアです。ライナーと呼ばれる、インク吸収用の裏紙が付いているタイプと付いていないタイプがあり、本機ではライナー付きのものに印刷が可能です。

◆ 電飾ターポリン（FF）

FFとはフレキシブルフェイスの略です。一般的に乳白色（半透明）のターポリンのことをさします。透過性があるので、主に内照式の電飾看板に使用されています。アクリル看板と比べて軽量なので、取り付け易く、風に対する引き裂き強度も高く、風圧により割れることもないので安全性が高いのが特徴です。

◆ ソルベント用コート紙

紙をベースに、ソルベントインクが鮮やかに定着するよう、印刷面にコーティングを施したメディアです。製品によって様々な厚みのものがあります。また、重ね貼り（経師貼り）した際に下地が透けないように、裏面が着色されているもの（ブルーバックペーパー）もあります。

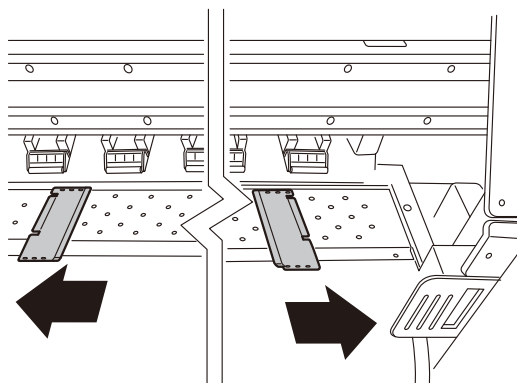


メディアを セットする

メディアを本機に取り付ける

◆ ロールメディアの取り付け手順

1

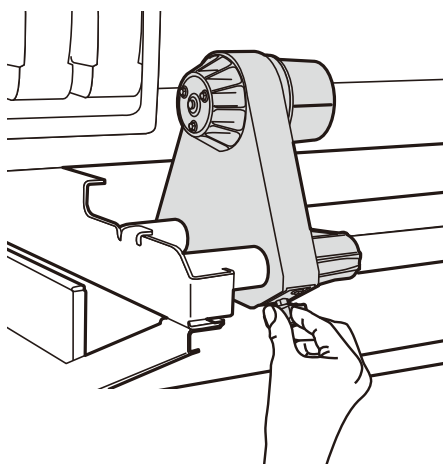


フロントカバーを開け、メディアエッジガードをプラテンの両端に寄せます。その後フロントカバーを閉めます。

⚠ 注意

- ◆ あらかじめ、メディアエッジガードがメディアの下に入らないように両側によけておきます。
- ◆ メディアエッジガードは、ここでのメディア交換作業が完了した後にセットを行ってください。(44 ページの「手順 12」を参照してください。)
- ◆ ロールエンドが紙管に糊付けされているメディアを使用した場合に、糊がペーパーガイドやプラテンに付いてしまう場合があります。そのような場合は必ず清掃して糊を取り除いてからメディアを取り付けてください。

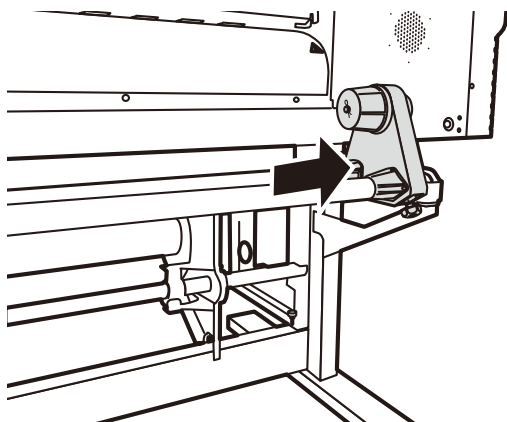
2



左側のメディアホルダーの位置を仮決めし、ネジを回して仮固定します。



3

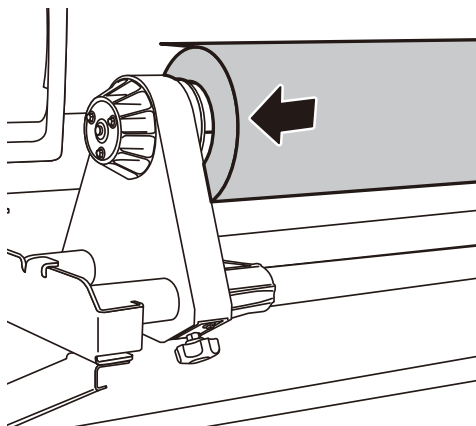


右側のメディアホルダーを右端に移動します。

⚠ 注意

- ◆ ロールエンドが紙管に糊付けされているメディアを使用した場合に、糊がペーパーガイドやプラテンに付いてしまう場合があります。そのような場合は必ず清掃して糊を取り除いてください。

4



ロールメディアを仮固定した左側のメディアホルダーにセットします。

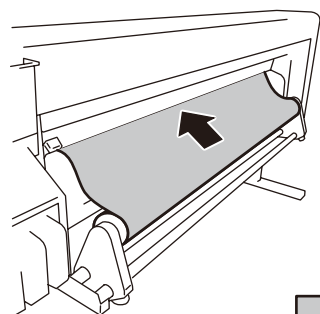
⚠注意

- ◆ ロールメディアをメディアホルダーに差し込む時、巻きずれを起こしたり、ロールメディアの端面に傷をつけたりしないようご注意ください。
- ◆ 紙管がロールホルダーに固定されるように、しっかりと奥まで差し込んでください。



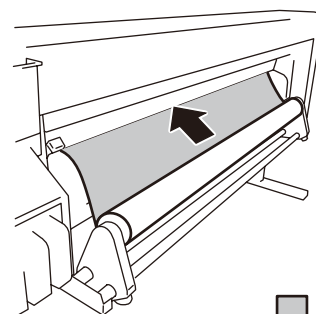
メディアセットの方向

<印刷面が外巻きのロールの場合>



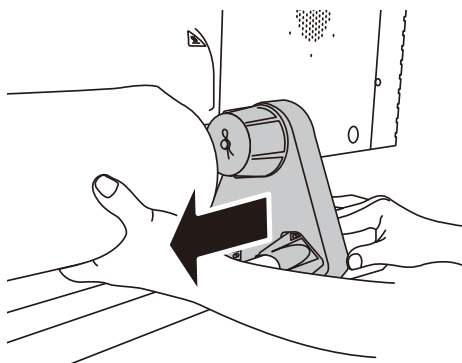
■ : 印刷面

<印刷面が内巻きのロールの場合>



■ : 印刷面

5



ロールメディアの右側にメディアホルダーをセットします。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

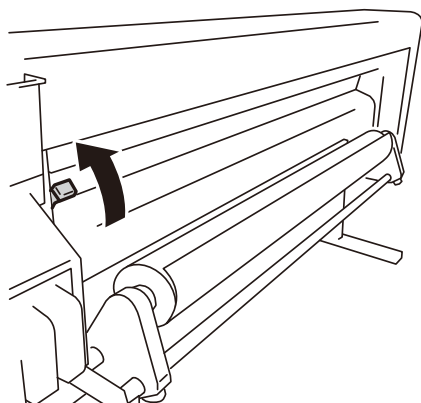
詳細な取り扱い方法

困ったときは...

メニューツリー

ふろく

6



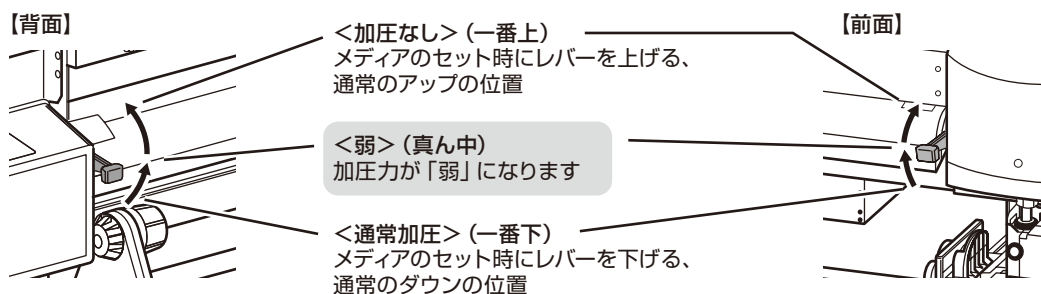
加圧ローラーアップダウンレバーを上げます。

⚠注意

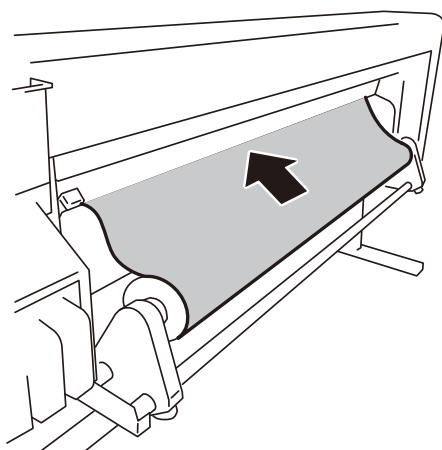
- ◆ 加圧ローラーアップダウンレバーは3段階（上、中、下）の切り替え位置があります。ここでは加圧ローラーをアップ（解除）させるために、一番上の位置まで上げてください。

⚠注意

- ◆ ご使用になるメディアにあわせて、メディア搬送用の加圧ローラーとグリットローラー間の加圧力を切り替えてご使用ください。通常は、「通常加圧」でご使用ください。お使いのメディアでスキュー等が発生し、正常にメディア搬送できない場合や、クロスなどコシの弱いメディアをご使用になる場合は、「弱」に切替えてご使用ください。加圧力は加圧ローラーアップダウンレバーの位置で切り替えます。（下図参照）



7



メディアを加圧ローラーとグリットローラーの間に通し、メディアの先端がフロントカバーから出るまで送ります。

メディアの先端がフロントカバーから200mm以上出るまで送ってください。

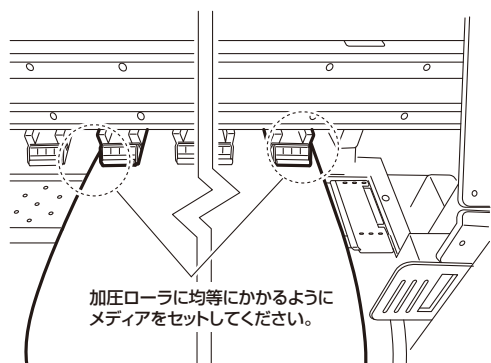
メディアの先端がフロントカバーから出ると確認音が鳴ります。



⚠注意

- ◆ 使用環境によっては、メディアがペーパーガイドなどに貼り付いて送りにくい場合があります。このような場合は、メディアの両端を持ってペーパーガイドから浮かせながら送ってください。
- ◆ 先端がアップカールしていたり、ダウンカールしているメディアは本体内部に引っかかり、正常にセットできない場合があります。大きくアップカール、ダウンカールしているメディアは使用しないでください。
- ◆ ロールメディアの先端がフロントカバーにあたらないように注意してください。
ロールメディアの巻きぐせがある場合、巻きぐせをのばしてからセットしてください。
- ◆ メディアエッジガードがメディアの下に入っていないか確認してください。

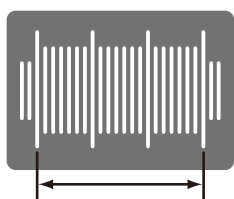
8



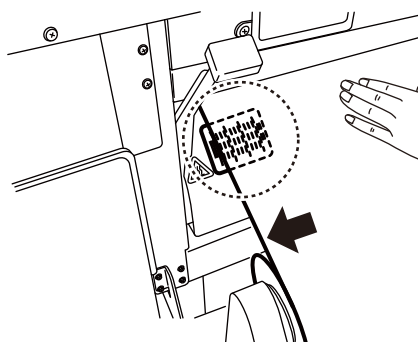
メディアの両端が加圧ローラに均等にかかるように、メディアホルダーを移動します。



◇ ラベルの目盛り（目安ライン）とメディア幅の関係を覚えておくと、次回メディアセット時の位置合わせの参考になります。



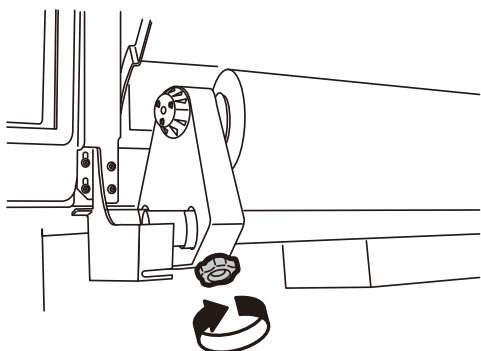
メディア端面がこの範囲に入るようにセットしてください。



⚠ 注意

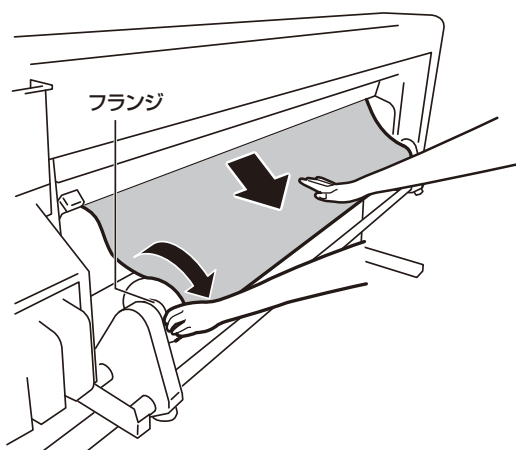
- ◆ メディアだけをずらすと、スキューの原因になりますので、メディアホルダーと共に動かしてセット位置を調整してください。

9



左右のメディアホルダーのネジを回して固定します。

10

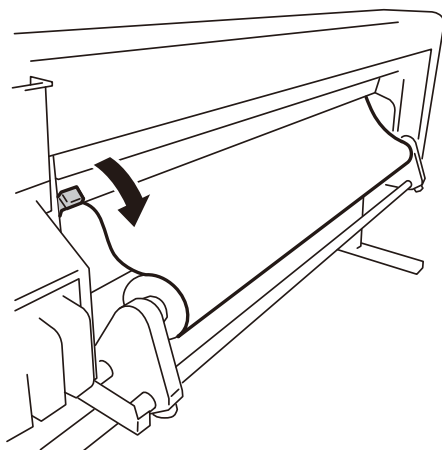


メディア中央を手で押え、フランジを巻き戻して、たるみをとります。

⚠ 注意

- ◆ 無理にメディア端面を目安ラインに合わせようとせず、ロールに対してまっすぐにセットしてください。

11



加圧ローラーアップダウンレバーを下げます。

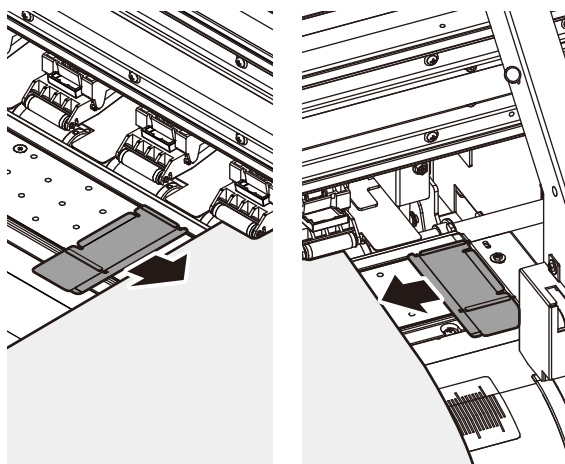
以降、LCD 画面上のガイダンスに従って操作します。

⚠ 注意

- ◆ 加圧ローラーをダウン（加圧）させるために、一番下の位置まで下げてください。（ 42 ページの「手順 6 の注意」を参照してください。）

12

エッジガードカクニン
OK ?



フロントカバーを開け、メディアエッジガードをメディア両端に合わせます。その後フロントカバーを閉めます。

メディアエッジガードがメディアの下に入り込んでいたり、厚いメディアを無理に挿し込んで引っかかりしていないか確認します。

メディアエッジガードが正しくセットされていることを目視確認し、 キーを押します。

13

メディアラセンタクシテクタ'サイ
メディアセンタク：ロール



メディアセンタク：シート



ロールメディアかカットメディア（シート）の選択をします。

キー、 キーで「ロール」か「シート」が選択できます。ここでは「ロール」を選択し、 キーを押します。

(キーでメディア選択を元に戻します。)

14

メディアラセンタクシテクタサイ
↓01:PAPER

↑XX:XXX

メディアラセンタクシテクタサイ
↓01:PAPER

↑XX:XXX

⋮ (登録済みのメディアが表示される)

メディアラセンタクシテクタサイ
メディアノ シンキトウロク

↓ (OK) (メディアの登録メニューに入ります)

メディアの種類を選択します。

⬆️キー、⬇️キーで登録されているメディアの種類を選択し、(OK)キーを押します。



メディアを新たに登録するには

登録済みメディアの最後に「メディアノ シンキトウロク」が表示されます。

(OK)キーを押すと、メディア登録メニューに入ります。

メディア登録方法は、トウロクメニューから登録する場合と同じ操作方法となります。

(CANCEL)キーを押すと、入力前の値に戻ります。

15

ザンリョウ セットシテクタサイ
↓01:XXX. X→YYY. Ym

メディアの残量を設定します。

メディアの残量を設定して、(OK)キーを押します。



メディア残量を登録するには

メディア残量の設定ガイダンスは、メディア登録の「メディアザンリョウカンリ」を「カンリスル」に設定した場合のみ表示されます。

メディアザンリョウカンリの設定は、「[47ページ](#) ◆メディアの残量管理を行う場合」を参照してください。

16

メディアセットチュウ
シハラクオマチクタサイ

メディアセット動作が自動的に開始します。

- ・ 正常に終了した場合は、オンラインの状態または、オフラインの状態に戻ります。
- ・ 正常に終了しなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。

手順 **1** に戻ってやり直してください。

⚠️ 注意

- ◆ メディアを取り付けた後、メディアがメディアカッターブレード (オプション) のすき間に入り込んでいないか、メディアクリップ (オプション) に挟まれていないか、プラテン上のメディアに浮きやシワがないかなどを確認してください。
- ◆ ターボリンなど坪量の大きいメディアを使用するときは、ロールメディア側にメディアを 15cm 以上たるませないよう to してください。たるんだメディアの重さでロールメディアが回転してほどけることがあります。
- ◆ 30cm を超えてバックフィードするときは一回でバックフィードせず、メディアを手で回転させ、たるみを取りながらバックフィードしてください。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは...

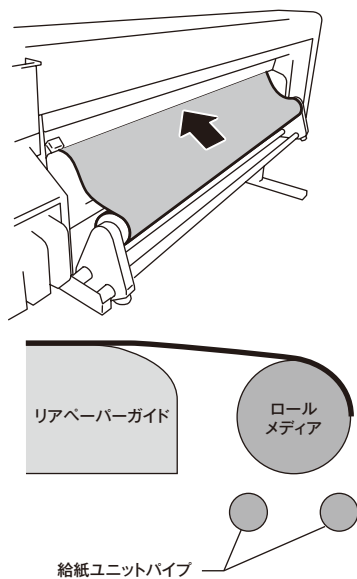
メニューツリー

ふろく

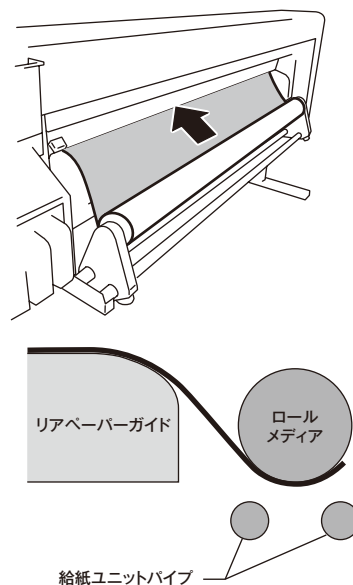
<OKの場合>

下記の図のようにメディアがピン張り状態になるようにしてください。

<印刷面が外巻きのロールの場合>



<印刷面が内巻きのロールの場合>



<NGの場合>

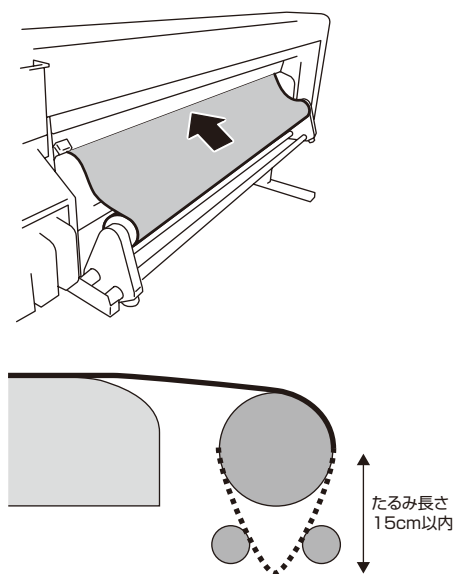
2つの例を下記に示します。例のようにならないようにたるみを取ってください。

上段の図は装置背面側からの斜視図、下段の図は給紙部の断面図です。

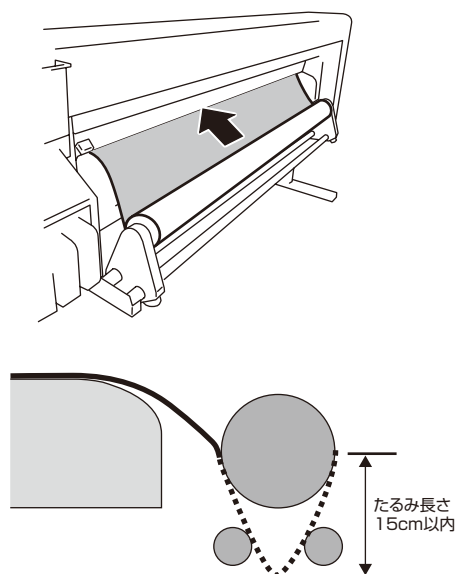
たるみの部分は斜視図ではグレーの部分、断面図では破線で示してあります。

(例1)

<印刷面が外巻きのロールの場合>

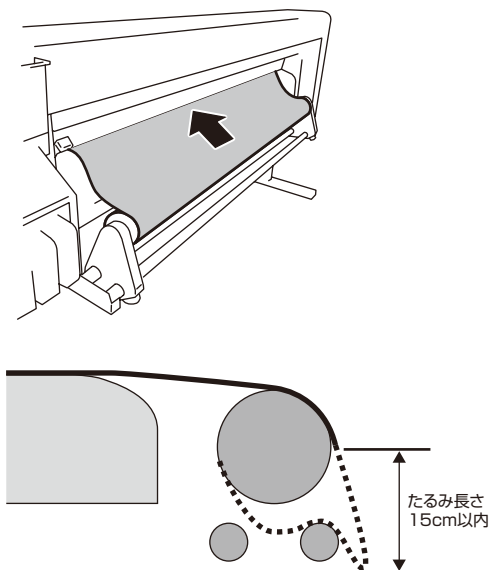


<印刷面が内巻きのロールの場合>

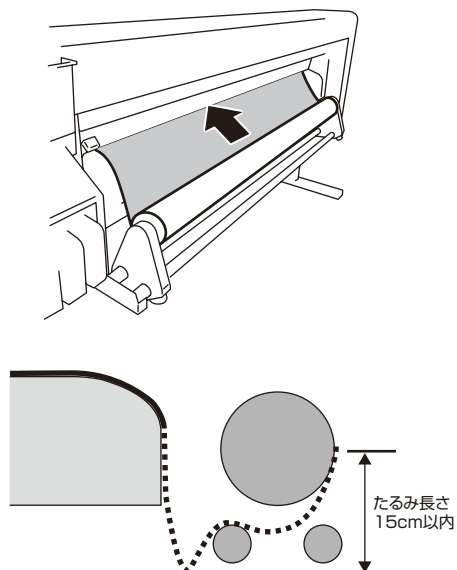


(例2)

<印刷面が外巻きのロールの場合>



<印刷面が内巻きのロールの場合>



印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは...

メニューツリー

ふろく

◆ メディアの残量管理を行う場合

1

プリントデキマス
01:PAPER/1626mm



MENU

2

MENU
↓ジョウホウ



3

MENU
↓メディアトウロク



4

>メディアトウロク
↓トウロクパンゴウセンタク



5

>メディアトウロク
↓ソノタノトウロクジョウホウ



MENU キーを押します。

✓ キーを押して、「メディアトウロク」を選択します。

OK キーを押します。

✓ キーを押して、「ソノタノトウロクジョウホウ」を選択します。

OK キーを押します。

6

>>ソノタノトウロクシ[°]ヨウホウ
↓メディアザンリョウ



キーを押して、「メディアザンリョウ
カンリ」を選択します。

7

>>ソノタノトウロクシ[°]ヨウホウ
↓メディアザンリョウ カンリ



キーを押します。

8

>>>メディアザンリョウ カンリ
↓カンリシナイ



キーを 1 回押します。

9

>>>メディアザンリョウ カンリ
↓カンリスル



キーを押します。

10

>>>メディアザンリョウ カンリ
↓カンリスル



- ◇ 以下を行う場合は、「メディアザンリョウカンリ」を「カンリスル」に設定してください。
- ・メディアセット時にメディア残量を入力したい場合。
 - ・メディア残量印刷でメディアの残量を印刷したい場合。

◆ 透明なメディアおよび、裏側が黒いメディアの取り付け手順

透明なメディアや裏側が黒いメディアを取り付ける場合は、以下の設定を行ってください。

⚠ 注意

- ◆ 透明なメディアや裏が黒いメディアは、メディアエンドが検出できません。
このため、ロールエンドが紙管に糊付けされたメディアの使用を推奨します。

1

フ[°]リントデ[°]キマス
01:PAPER/1626mm



MENU

キーを押します。

2

MENU
↓シ[°]ウホウ



キーを押して、「メディアトウロク」
を選択します。

3

MENU
↓メディアトウロク



OK キーを押します。

4

>メディアトウロク
↓トウロクパンゴウセンタク



✓ キーを押して、「ソノタノトウロク
ジョウホウ」を選択します。

5

>メディアトウロク
↓ソノタノトウロクジョウホウ



OK キーを押します。

6

>>ソノタノトウロクジョウホウ
↓メディアザンリョウ



✓ キーを押して、「メディアケンシュツ」
を選択します。

7

>>ソノタノトウロクジョウホウ
↓メディアケンシュツ



OK キーを押します。

8

>>>メディアケンシュツ
↓オン



✓ キーを 1 回押します。

9

>>>メディアケンシュツ
↓オフ



OK キーを押します。

10

>>>メディアケンシュツ
↓オフ



◇ 裏側が黒いメディアを取り付ける場合は、この後、「 40 ページ ◆ロールメディアの取り付け手順」に従い、メディアを取り付けてください。
◇ 透明なメディアを取り付ける場合は、引き続き、以下の設定を行ってください。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

11

>>>メディアケンシュツ
↓オフ



CANCEL

CANCEL キーを押します。

メディアケンシュツの設定から抜けます。

12

>>ソノタノトウロクシヨウホウ
↓メディアケンシュツ



キーを押し、「メディアハバ ケンシュツモード」を選択します。

13

>>ソノタノトウロクシヨウホウ
↓メディアハバ ケンシュツモード



OK



キーを押します。

14

>>>メディアハバ ケンシュツモード
↓シトウ



キーを 1 回押します。

15

>>>メディアハバ ケンシュツモード
↓シュトウ



OK



キーを押します。

16

>>>メディアハバ ケンシュツモード
↓シュトウ



CANCEL

CANCEL キーを押します。

メディアハバ ケンシュツモードの設定から抜けます。

17

>>ソノタノトウロクシヨウホウ
↓メディアハバ ケンシュツモード



ONLINE

ONLINE キーを押します。

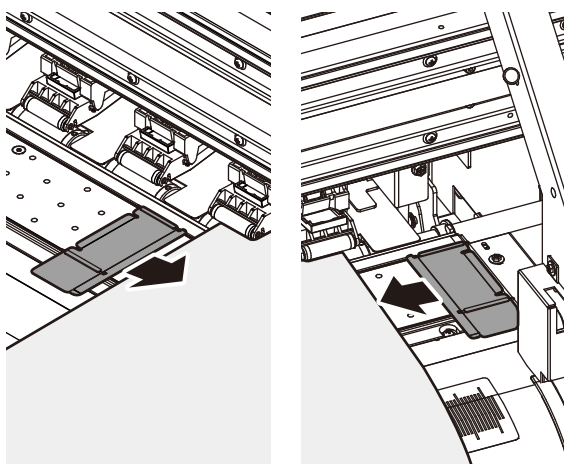
フ°リントデキマス
01:PAPER/1626mm



◇ 透明なメディアを取り付ける場合は、この後、「**40 ページ ◆ロールメディアの取り付け手順**」に従い、メディアを取り付けますが、メディアをセットした後のパネル操作（**44 ページ**の手順 12 以降）は、以下の手順で行ってください。

18

エッジガードのカクニン
OK?



フロントカバーを開け、メディアエッジガードをメディア両端に合わせます。この時、メディアエッジガードの切欠き部分とメディアの端面を合わせてください。その後フロントカバーを閉めます。

メディアエッジガードがメディアの下に入り込んでいたり、厚いメディアを無理に挿し込んで引っかかりたりしていないか確認します。

メディアエッジガードが正しくセットされていることを目視確認し、**OK** キーを押します。

19

メディアラセンタクシテクタサイ
↓ 01 : PAPER



↓ XX : XXX



メディアの種類を選択します。

↑ キー、**↓** キーで登録されているメディアの種類を選択し、**OK** キーを押します。

20

メディアラセンタクシテクタサイ
↓ 07 : トウメイ



◇「トウメイ」：あらかじめ、透明メディア用のメディア登録を用意しておくことを推奨します。

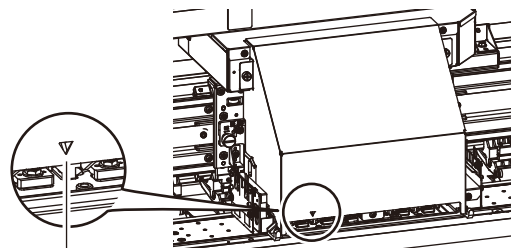
21

サユウキーテ メディアノ
ミキハシヲ シテイシテクタサイ



←、**→** キーを押して、メディアの右端の位置までキャリッジを移動させます。

キャリッジカバー前面左下の「ママーク」をメディアの右端の位置に合わせてください。



このマークがメディアの右端になるようにキャリッジを移動させます。

キャリッジをメディアの右端の位置に移動させたら、

OK キーを押します。

22

サユウキーテ メディアノ
ミキハシヲ シテイシテクタサイ



印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは...

メニューツリー

ふろく

23

メディアノ ミキハシヲ セットシマス
OK?



OK キーを押して、メディアの右端を確定します。

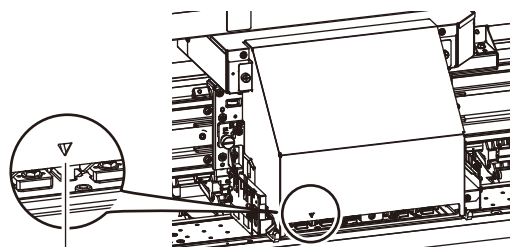
24

サユウキーテ メディアノ
ヒタリハシヲ シテイシテクタサイ



◀、**▶** キーを押して、メディアの左端の位置までキャリッジを移動させます。

キャリッジカバー前面左下の「▽マーク」をメディアの左端の位置に合わせてください。



このマークがメディアの左端になるようにキャリッジを移動させます。

25

サユウキーテ メディアノ
ヒタリハシヲ シテイシテクタサイ



キャリッジをメディアの左端の位置に移動させたら、

OK キーを押します。

26

メディアノ ヒタリハシヲ セットシマス
OK?



OK キーを押して、メディアの左端を確定します。

27

メディアセットチュウ
シバラクオマチクダサイ



プリントキマス
07: トウメイ / 1626mm

キャリッジが戻り、印刷可能な状態（オンライン状態表示）になります。

⚠ 注意

- ◆ 「メディア ケンシュツ」および、「メディアハバ ケンシュツモード」の設定は、メディア登録と連動して切り替わります。透明なメディアや裏が黒いメディアを使用する場合は、これらのメディア専用のメディア登録を用意することを推奨します。
- ◆ もし、1つのメディア登録を使って透明メディアおよび、裏側が黒いメディアを使用する場合は、これらのメディアを使用する際に「メディア ケンシュツ」および、「メディアハバ ケンシュツモード」設定を変更し、これらのメディアの使用が終了しましたら、元の設定に戻すようにしてください。

◆ ロールメディアが無くなり、ロールメディアを交換する場合

メディアが無くなると、プリンターが自動検出しメッセージを表示します。
メディアの仕立てによってはプリンターが自動検出できない場合があります。そのまま印刷を続けるとプリンターを汚したり、故障する場合がありますのでメディアの有無を目視確認してください。

1

レバーヲアケテ
メディアヲセットシテクダサイ

LCD 画面にメッセージがでます。

2

以降「ロールメディアの取り外し手順」、「ロールメディアの取り付け手順」に従って交換します。

◆ ジャム（メディア詰まり）で、ロールメディアを交換する場合

「[□ 215 ページ](#) メディアジャムの処理のしかた」を参照してください。

◆ メディア残量を設定する場合

1

プリントデキマス
01:PAPER/1626mm

MENU キーを押します。



MENU

2

MENU
↓ジョウホウ

✓ キーを押し、「メディアザンリョウセッテイ」を選択します。



3

MENU
↓メディアザンリョウセッテイ

OK キーを押します。



4

>メディアザンリョウセッテイ
↓01:000→050m

メディア残量を設定して、**OK** キーを押します。



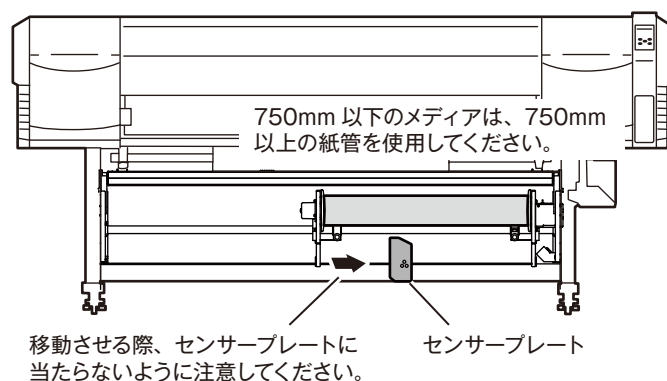
>メディアザンリョウセッテイ
↓01:050→050m

巻き取り装置にメディアを巻き付ける

巻き取り紙管の長さ制限

750mm (30 インチ) 以上の巻き取り紙管をご使用ください。

(たとえば、幅が 24 インチ (609.6mm) のメディアを巻き取る場合でも、36 インチ (914.4mm) の巻き取り紙管をご使用ください。)

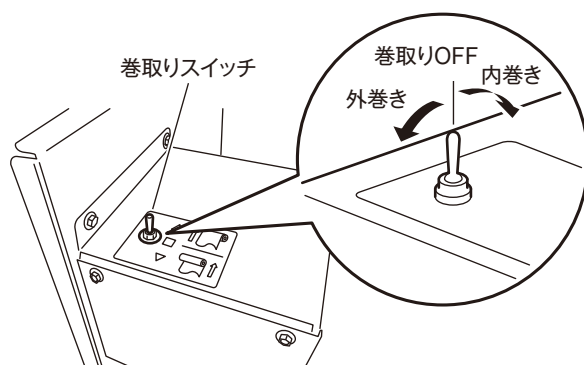


たるみ巻きの場合、内巻きができません。

テンション巻きの内巻き、または、外巻きでご使用ください。

◆ メディアの巻き付け方法

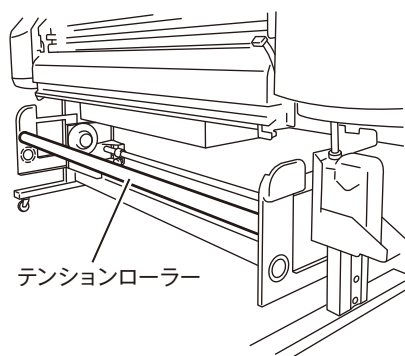
1



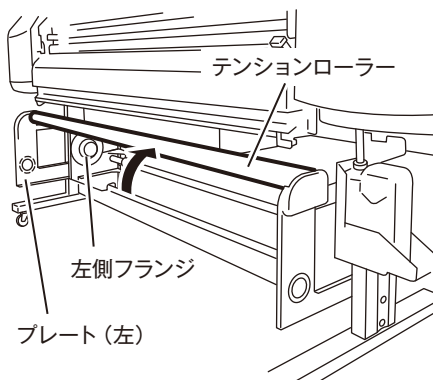
巻き取りスイッチを OFF に設定します。

左図を参照して設定してください。

2



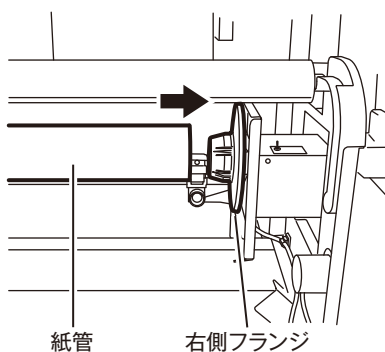
<テンションローラー定位置>



<テンションローラー退避位置>

テンションローラーを退避位置に移動します。

3

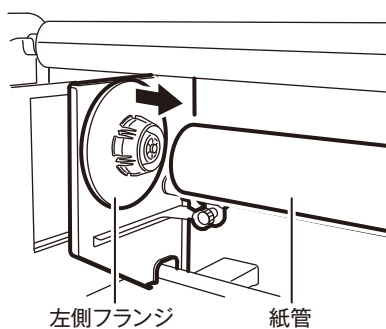


右側フランジ（固定側）に、紙管を差し込みます。

⚠注意

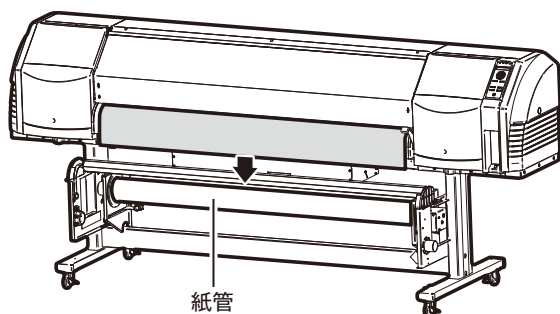
- ◆ 通常は、右側フランジの位置は移動させる必要がないため固定位置のまま使用します。ただし、印刷するロールメディアのプリンターへの取り付け位置に合わせて、右側フランジの位置も調整してください。

4



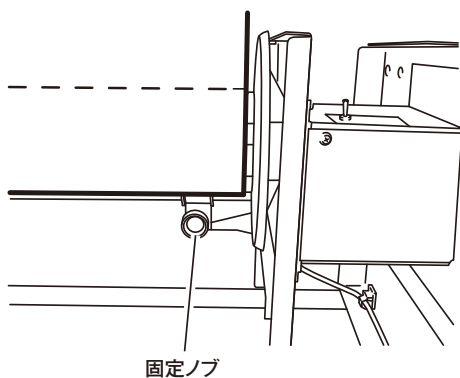
左側フランジ（可動側）をスライドさせ、紙管に差し込みます。

5



メディアをセットしたら、メディアの先端が紙管に届くまでフィードします。

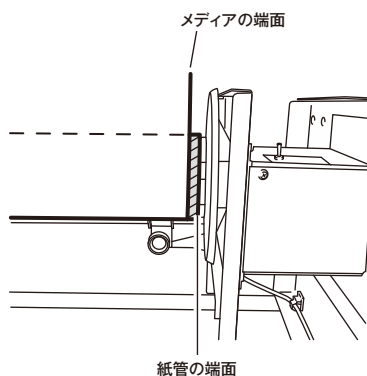
6



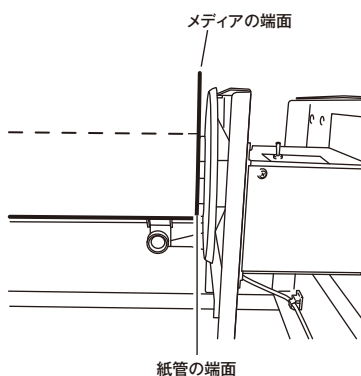
紙管に届くまでフィードしたら、右側フランジの固定ノブを緩め、メディアの端面と紙管の端面をフランジを移動させ、合わせます。



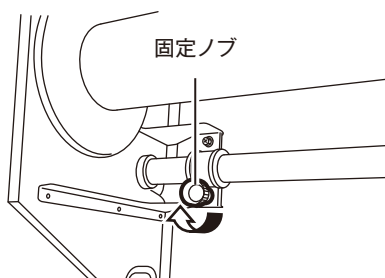
メディアの端面と紙管の端面がずれている:調整が必要



メディアの端面と紙管の端面がずれていない:正常

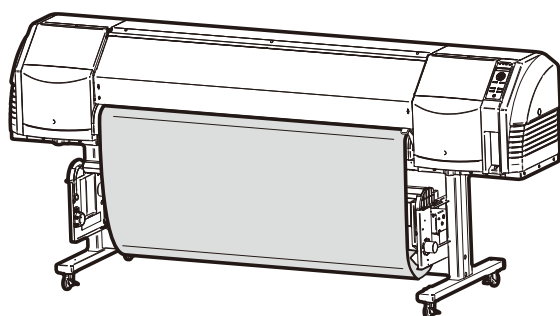


7



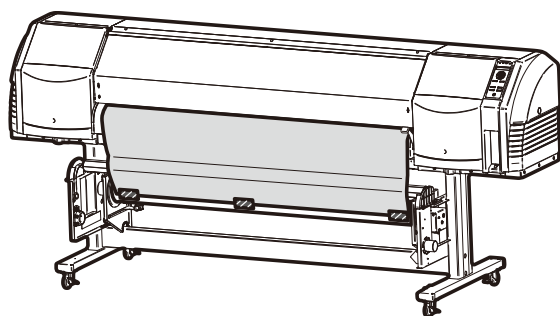
メディアの端面の位置を合わせたら、左右の固定ノブをしっかり閉めます。

8

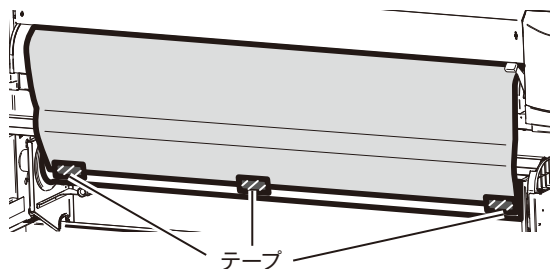


さらにフィードしてメディアをたるませます。

9



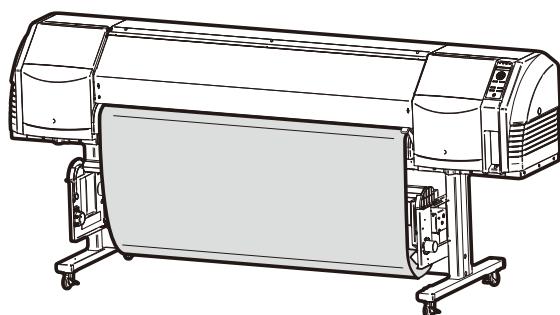
紙管に届くまでフィードしたら、メディアをピンと張った状態で紙管にテープで貼り付けます。



⚠注意

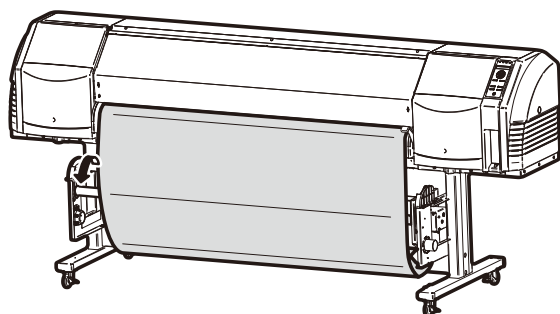
- ◆ 中央と両端の3か所に貼り付けてください。
- ◆ メディアを紙管に対して斜めに取り付けるとメディアのスキューの原因となりますので注意してください。

10



さらにフィードしてメディアをたるませます。

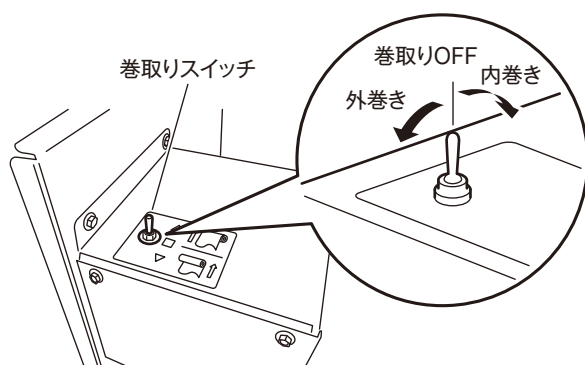
11



テンションローラーを退避位置から戻します。



12



巻取りスイッチを設定してください。

巻き取り方向は内巻きと外巻きが選択できます。左図を参照して設定してください。

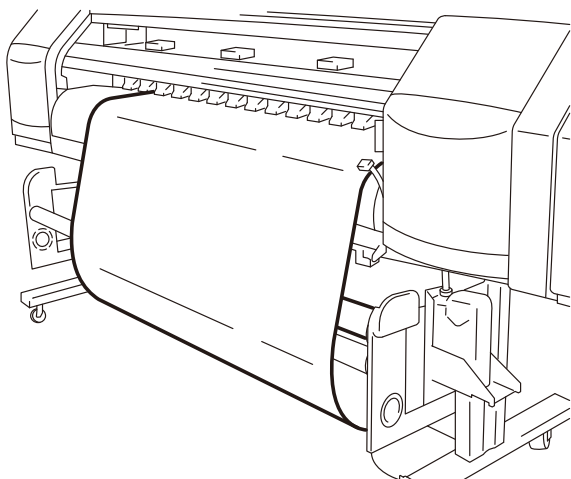
◆ テンション巻き方式／たるみ巻き方式の設定方法

巻取り装置は、テンション巻き方式とたるみ巻き方式の2種類を選択できます。

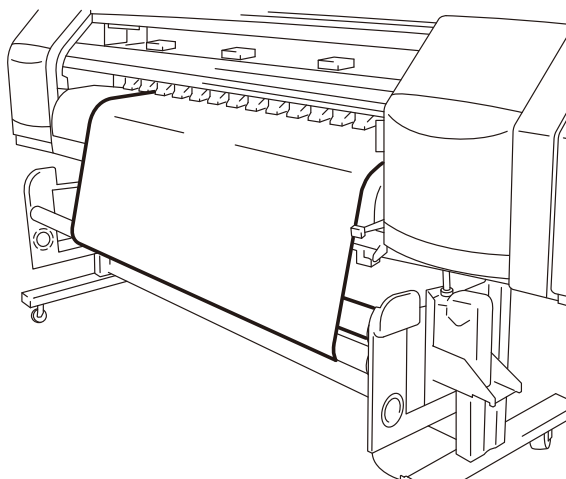
通常、塩ビ（糊付）はたるみ巻き方式を選択してください。

また、ターボリン等の印刷面がザラついたメディアは表面が滑りにくく、巻きずれが発生する場合があります。そのような場合は、テンション巻き方式を選択してください。

● たるみ巻き方式



● テンション巻き方式



■ テンション巻き方式／たるみ巻き方式の設定手順

トウロクメニューの「マキトリハウシキ」で、テンション巻き方式／たるみ巻き方式の設定を行います。

1

フ°リントデ°キマス
01:PAPER/1626mm



MENU

MENU キーを押します。

2

MENU
↓ジ°ョウホウ



✓ キーを押して、「メディアトウロク」を選択します。

3

MENU
↓メディアトウロク



OK キーを押します。

4

>メディアトウロク
↓トウロクパンゴ°ウセンタク



✓ キーを押して、「ソノタノ トウロク ジョウホウ」を選択します。

5 >メディアトウロク
↓ソノタノトウロクシヨウホウ



6 >>ソノタノトウロクシヨウホウ
↓メディアザンリョウ



7 >>ソノタノトウロクシヨウホウ
↓マキトリホウシキ



8 >>>マキトリホウシキ
↓*タルミマキ



9 >>>マキトリホウシキ
↓*タルミマキ



10 >>ソノタノトウロクシヨウホウ
↓マキトリホウシキ



11 プリントデキマス
01:PAPER/1626mm

OK キーを押します。

v キーを押して、「マキトリホウシキ」を選択します。

OK キーを押します。

^、v キーで、「タルミマキ」または「テンションマキ」を選択し、OK キーを押します。

CANCEL キーを押します。

マキトリホウシキの設定から抜けます。

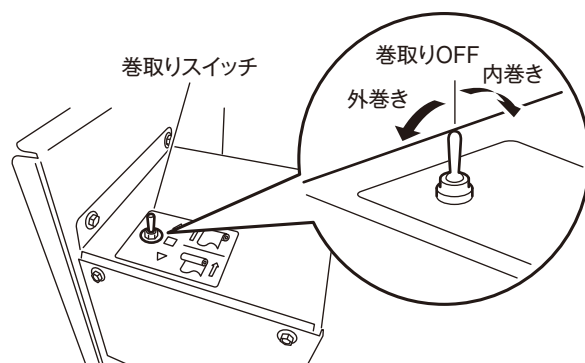
ONLINE キーを押します。

◆ 巻取りスイッチの設定

巻き取り方向は内巻きと外巻きが選択できます。

また、巻取り装置を使用しない場合は、巻取りスイッチを「OFF」にします。

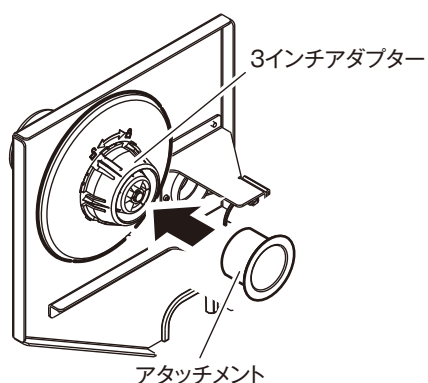
下図を参照して設定してください。



◆ 2 インチ紙管を使用する場合

巻取り装置は 3 インチアダプターを取り外すことによって、2 インチ紙管を使用することができます。3 インチアダプターの取り外しには、巻取り装置に付属のアタッチメントが必要です。以下に、3 インチアダプターの取り外し手順を説明します。

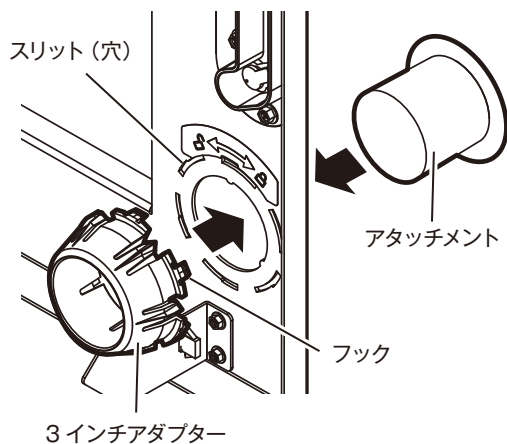
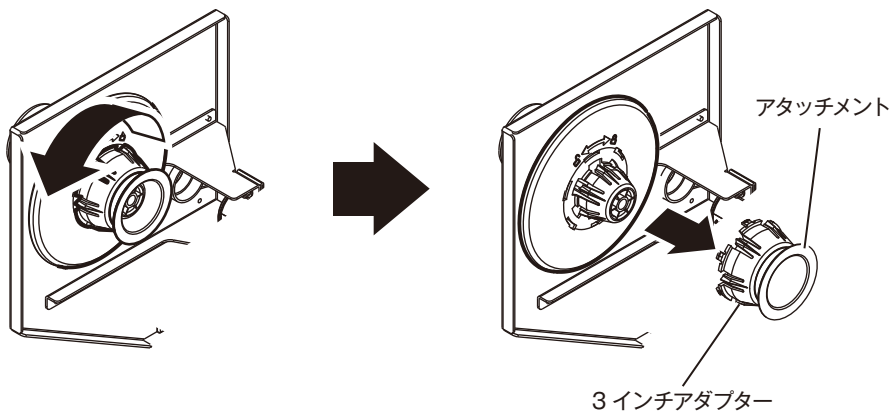
1



3 インチアダプター中央の穴にアタッチメントを押し込みます。

2

3 インチアダプターを反時計方向（↺ 矢印方向）に回し、アタッチメントと一緒に引き抜きます。



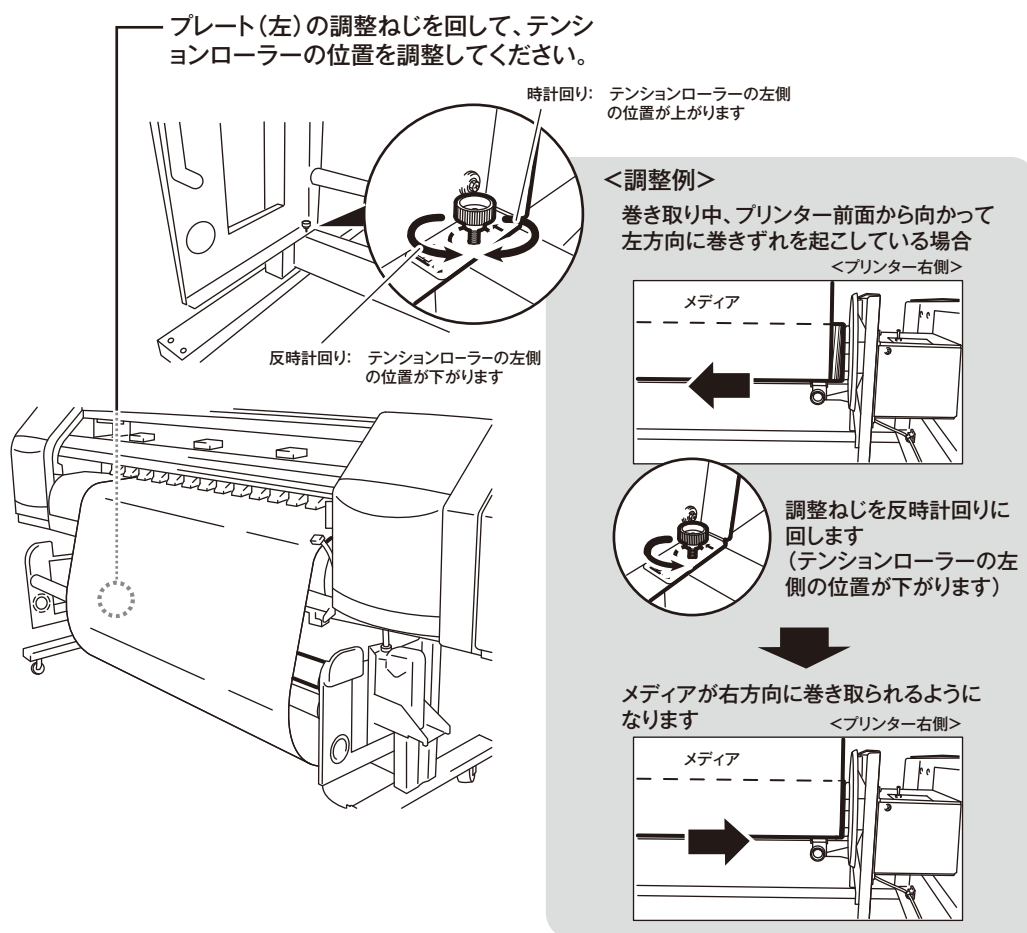
- ◇ 取り外したアタッチメントと3インチアダプターは紛失しないようにプレート(左)、プレート(右)に取り付けます。(右図参照)
- ◇ 3インチアダプターはプレート(左)、プレート(右)のスリット(穴)に差込み、時計方向(⬇️矢印方向)に回して固定します。
- ◇ 3インチアダプターを再度フランジに取り付ける場合は、フランジのスリット(穴)に3インチアダプターのフック(突起)を合わせて押し込み、時計方向(⬇️矢印方向)に回してください。取り付けの際、アタッチメントは使用しません。

巻取り装置の調整

ロールメディアの仕立ての状態（巻きずれなど）や、印刷中の環境（温度、湿度など）によって、巻き取り動作中の状態は常に変化するため、都度調整しながら巻き取ってください

◆ 動作中の調整方法

メディアの状態によっては、初期調整のままでは巻きずれ等の巻き取り不良が起こる場合があります。そのような場合は、プレート（左）の調整ねじを回して現象を回避します。



⚠ 注意

◆ メディアの状態によっては、長尺（長い印刷長さ）を印刷している間に、複数回の調整が必要になることもあります。

印刷するロールメディアのプリンターへの取り付け位置を移動した場合は、それに合わせてプレート（右）も移動する必要があります。

メディアを取り外す

◆ メディア残量を印刷する方法

メディアを取り外す前に、メディアの残量をメディアに印刷しておくことができます。



◇ メディア残量を印刷しておく、取り外したメディアを次にセットする際に、印刷された結果を見ながらメディアの残量を入力することができます。

1

プリントキマス
01:PAPER/1626mm

MENU キーを押します。



MENU

2

MENU
↓ジョウホウ

✓ キーを押し、「メディアザンリョウインサツ」を選択します。



3

MENU
↓メディアザンリョウインサツ

OK キーを押します。



OK

4

>メディアザンリョウインサツ
インサツシッコウ OK?

OK キーを押して、実行を開始します。
中止する場合は、**CANCEL** キーを押します。



OK

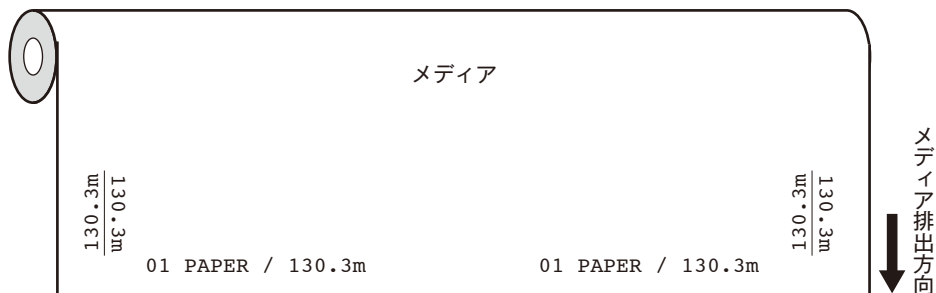
5

>メディアザンリョウインサツ
シッコウチュウ

メディア残量が印刷されます。

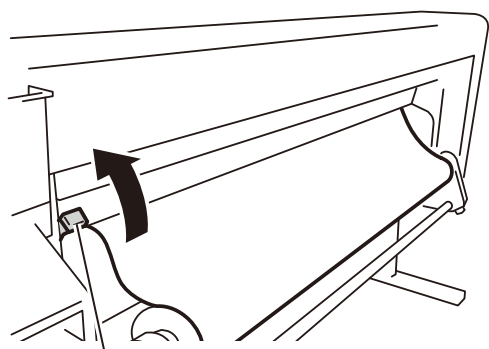


◇ メディア残量は、下図のように複数ヶ所に印刷されます。



◆ ロールメディアの取り外し手順（給紙側）

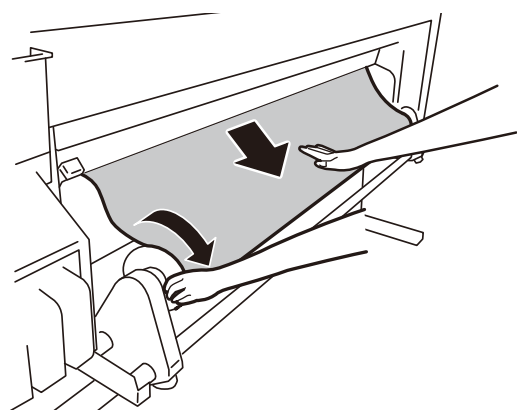
1



加圧ローラーアップダウンレバー

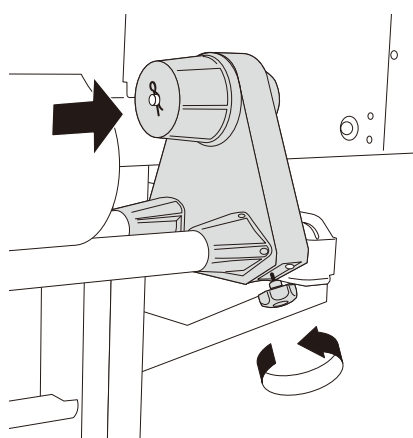
加圧ローラーアップダウンレバーを上げます。

2



フランジを巻き戻して、メディアを巻き戻します。

3

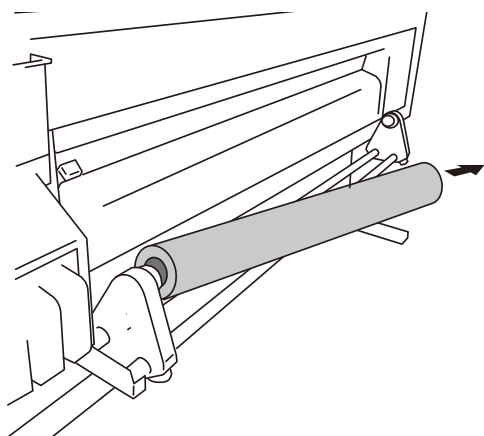


右側のメディアホルダーのネジをゆるめて、メディアホルダーを右へずらしながら、ロールメディアをメディアホルダーから抜きます。

⚠ 注意

◆ ロールメディアをメディアホルダーから抜く際に、ロールメディアを落とさないように注意してください。手が挟まれたり、足の上に落としたりすると、けがをすることがあります。

4

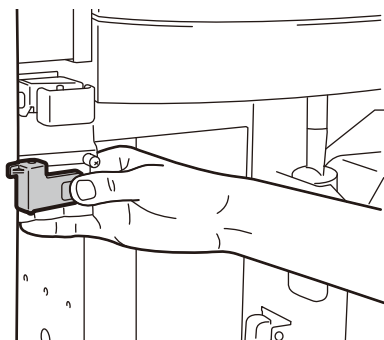


左側のメディアホルダーからロールメディアを引き抜いて取り外します。

メディアをカットする

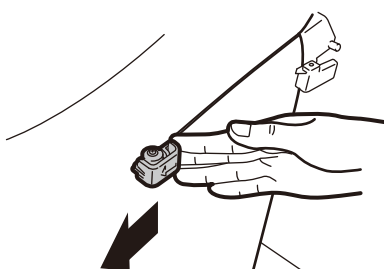
オプションのカッターユニット(64) (IP-5530の場合は、カッターユニット(54))を使用してメディアをカットする方法を説明します。

1

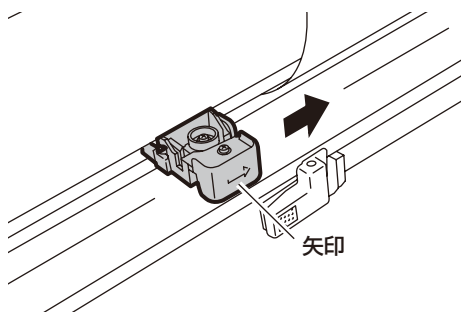


メディアの両端をメディアクリップで止めます。

2

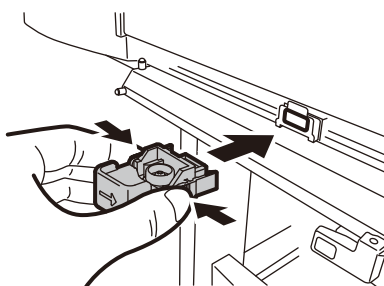


メディアカッターブレードを移動させ、メディアをカットします。



◇ メディアカッターブレードには矢印マーク(→)が刻印されています。
メディアカッターブレードは矢印マーク(→)の方向にだけカットできます。矢印マーク(→)がカットする方向に向いていない場合は以下の手順で向きを変えてください。

3



1 メディアカッターブレードの側面を握って固定フックを外しながら引き抜きます。

2 左右を反転させて差し込みます。

⚠ 注意

- ◆ メディア切断途中で、引っかかった場合、一度、メディアカッターブレードを戻し、メディアが折れていないか等を確認し、引っかかった原因を取り除いてから、ゆっくり移動させ切断してください。無理に切断すると、メディアカッターブレードの刃が欠けるなどして、切れ味が低下するので、ご注意ください。
- ◆ メディアカッターブレードを落下させると、メディアカッターブレードの刃が欠けるなどして、切れ味が低下するので、取扱いにご注意ください。
- ◆ 厚手のメディアやクロス等は、メディアカッターブレードで切断できない場合があります。この場合、はさみ等で切断してください。無理に切断しようとすると、切れ味が低下したり、カッターブレードが破損することがありますのでご注意ください。

◆ 印刷終了後にメディアをカット位置までフィードする手順

印刷終了後に、印刷結果の後端位置でメディアをカットする場合は、以下の手順で行います。

1

フ°リントデ°キマス
01:PAPER/1626mm

 キーを押します。



2

メ°ディアフィード°チュウ
メ°ディアカットイ°チュヘ >

操作パネルの LCD 表示が左記の表示に変わったら、 キーを押しながら  キーを押します。



3

シ°ト°ウフィード°チュウ

操作パネルの LCD 表示が左記の表示に変わったら、 キーおよび  キーから手を離します。

キーから手を離しても、メディアカット位置まで自動でメディアをフィードします。



(自動フィード終了または、自動フィード中止)



- ◇ 自動フィードを途中で中止する場合は、 キーまたは、 キーを押下します。
- ◇ 自動フィードを途中で中止しても、再度、手順 1、2 を行うことで、メディアカット位置まで自動フィードを行うことができます。

4

フ°リントデ°キマス
01:PAPER/1626mm



- ◇ 印刷する位置を微調整する場合は、 キーまたは、 キーを使用してください。

5

(メディアをカットする)

「メディアをカットする ( 65 ページ)」の手順にて、メディアをカットします。

注意

- ◆ 以下の場合は、自動フィード機能は無効となります。
 - ・メディアをセットしていない場合
 - ・メディアセット後に印刷を行っていない場合
 - ・印刷結果の後端位置がメディアカット位置よりも後ろにある場合

◆ メディアをカット後にメディアを印刷位置までバックフィードする手順

1

プリントデキマス
01:PAPER/1626mm



キーを押します。

2

メディアバックフィードチュウ
プリントイチハ >



操作パネルの LCD 表示が左記の表示に変わったら、 キーを押しながら キーを押します。

3

シトウバックフィードチュウ

操作パネルの LCD 表示が左記の表示に変わったら、 キーおよび キーから手を離します。

キーから手を離しても、印刷位置まで自動でメディアをバックフィードします。



- ◇ 自動バックフィードを途中で中止する場合は、 キーまたは、 キーを押下します。
- ◇ 自動バックフィードを途中で中止しても、再度、手順 1、2 を行うことで、印刷位置まで自動バックフィードを行うことができます。



(自動バックフィード終了または、自動バックフィード中止)

4

プリントデキマス
01:PAPER/1626mm



- ◇ 印刷する位置を微調整する場合は、 キーまたは、 キーを使用してください。

注意

- ◆ 以下の場合、自動バックフィード機能は無効となります。
 - ・メディアをセットしていない場合
 - ・メディアセット後に印刷を行っていない場合
 - ・印刷結果の後端位置が印刷位置よりも後ろにある場合

巻き取り装置からメディアを巻き出す

◆ 巻き取り装置に巻き付けたメディアを巻き出す手順

巻き取り装置で巻き取ったメディアを巻き出す場合は、以下の手順で行います。

1

プリントデキマス
01:PAPER/1626mm

MENU キーを押します。



MENU

2

MENU
↑ジョウホウ

✓ キーを押して、「メディア マキダシ」を選択します。



3

MENU
↑メディア マキダシ

OK キーを押します。



OK

4

>メディア マキダシ
OK?

OK キーを押します。



OK

5

>メディア マキダシ
メディア マキダシチュウ

メディアの巻き出しを開始します。



OK

もう一度 **OK** キーを押すと、メディアの巻き出しを停止します。



◇ **CANCEL** キーで、「メディア マキダシ」のメニューから抜ける場合にも、メディアの巻き出しは停止します。

◇ メディア巻き出し中は、巻き取り方向スイッチをオフ→オンすることで、何度でも巻き出しを行うことができます。

6

MENU
↑メディア マキダシ



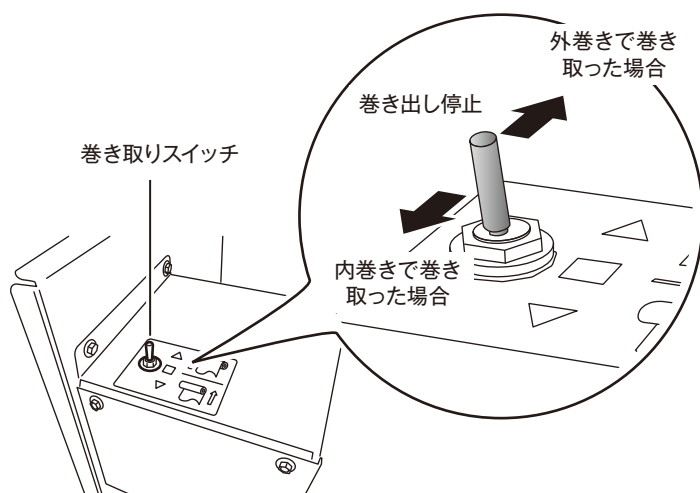
巻き出し方向について

- ◇ 巻き出し方向は、巻き取り方向スイッチの設定によります。
メディアを内巻きで巻き取ったか、外巻きで巻き取ったかにより、巻き出し時の巻き取り方向スイッチの設定が異なりますので、下図を参照して設定してください。



巻き出し動作時間について

- ◇ 巻き出し動作は、一定時間動作すると自動的に停止します。追加で巻き出し動作を行う場合は、巻き取りスイッチを一旦オフにしてから、再度、所望の方向にスイッチを設定してください。



印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

ミニユーザー

ふろく

調整する

調整をする前に

画を綺麗に出力するための調整を行います。

注意

- ◆ 調整を行う前に、ヒーターを強制的に ON に設定し、装置を 30 分以上温めてください。
- ◆ 装置が充分温まっていない状態で調整を行うと、正しく調整が行えない場合があります。
- ◆ 新規メディアに交換した場合、印刷モードを変更した場合等は印刷調整を行う必要があります。

印刷調整には、「送り調整」と「往復調整」があります。
それぞれに対し「自動印刷調整」と「マニュアル印刷調整」があります。

送り調整

メディアの送り量を調整します。

往復調整

双方向印刷時のインク着弾位置を調整します。

自動印刷調整

📖 75 ページ

📖 80 ページ

マニュアル印刷調整

📖 77 ページ

📖 82 ページ

印刷調整には「自動印刷調整」と「マニュアル印刷調整」があります。
「自動印刷調整」は調整パターンを印刷し、センサーで読み取ることで自動的に調整値が設定されます。
「マニュアル印刷調整」は調整パターンを印刷し、目視により調整値を選択し、設定を行います。

往復調整については、より詳細に調整を行う場合は詳細設定を行います。



自動印刷調整とマニュアル印刷調整の使い分け

- ◇ 「自動印刷調整」は以下の方にお勧めします。
 - ・ 初心者の方
 - ・ マニュアル印刷調整が難しいと感じる方
 - ・ 調整を早く済ませたい方
- ※ メディアによっては対応できない場合があります。自動印刷調整で画質が改善されない場合はマニュアル印刷調整を行ってください。
- ◇ 「マニュアル印刷調整」は以下の方にお勧めします。
 - ・ より良い画質で出力したい方

◆ 自動印刷調整の注意事項



注意

- ◆ 以下の条件では自動印刷調整は正しい調整値を設定できません。条件を改善するか、マニュアル印刷調整を実施してください。
また、自動印刷調整は機械により調整値を決定する都合上、完全な精度を保証するものではありません。
 - ・センサーによるパターン読み取りに適さないメディアを使用している場合
(一般的なメディアであっても、自動印刷調整に不向きな場合があります)
＜例＞
 - ・透明なメディアや色の付いたメディア
 - ・表面に凹凸があるメディア
 - ・光の反射率が極めて高いメディア、光の反射率が極めて低いメディア
 - ・滲みやすい等、パターンが正しく形成できないメディア
 - ・埃、インク、指紋の付着等によりメディア表面が汚れている場合
 - ・メディアに浮きが発生している場合
 - ・ノズル詰まりが多く発生している場合
 - ・メディアヒーター温度が適切でない場合
 - ・強い外乱光にさらされている場合
- ◆ 自動印刷調整では、印刷したパターンを読み取ることによって調整値を決定します。しかしながら、メディアの経年劣化やロットの違いによって、印刷されたパターンに差が生じる場合があります。その結果、同じメディアであっても正しい検出結果が得られない場合があります。
このような場合には、マニュアル印刷調整を実施してください。

◆ 自動印刷調整が実行できない

自動印刷調整を実行して次のメッセージが表示された場合、自動印刷調整を行うことができません。
代わりにマニュアル印刷調整を実行するか、下記の確認と対処を行ってください。

マニュアル チョウセイヲ シッコウシテクタサイ	1 ◎
----------------------------	--------

意 味	センサーの光量が基準のレベルに到達していない場合に発生します。
確認事項	対処方法
自動印刷調整用センサーがインクミストで汚れていないか	自動印刷調整用センサーの清掃を行ってください。 (□ 133 ページの「自動印刷調整用のセンサーとイオナイザー周りの清掃」)
メディアが汚れていないか メディアが皺になっていないか	汚れの無い箇所までフィードしてください。 メディアをセットし直すか、皺がなくなるまでフィードしてください。
光の反射率が低すぎるメディアを使用していないか	自動印刷調整はメディアによっては対応できない場合があります。マニュアル印刷調整を行ってください。

マニュアル チョウセイヲ シッコウシテクタサイ	2 ◎
----------------------------	--------

意 味	センサーの光量が基準のレベル以上になってしまう場合に発生します。
確認事項	対処方法
メディアが皺になっていないか	メディアをセットし直すか、皺がなくなるまでフィードしてください。
センサーに外乱光が入光していないか	外乱光を遮光するか、プリンターの設置位置を変更してください。
光の反射率が高すぎるメディアを使用していないか	自動印刷調整はメディアによっては対応できない場合があります。マニュアル印刷調整を行ってください。

意 味 調整値の判定が正しく行えない場合に発生します。

確認事項	対処方法
メディアが皺になっていないか	メディアをセットし直すか、皺がなくなるまでフィードしてください。
ノズル詰まりが発生していないか	クリーニングを実施してください。
メディアヒータ温度が適切か	パターンが滲まないようにメディアヒータ温度を変更してください。
パターンの形成・読み取りが正しく行えないメディアを使用していないか	自動印刷調整はメディアによっては対応できない場合があります。マニュアル印刷調整を行ってください。

調整方法

◆ メディアの送り量を調整する「送り調整」

メディアは厚み、コシの強さ、表面の摩擦抵抗などによって搬送性能が変化します。
画を綺麗に出力するためには送り調整を実行し、適切な送り調整値を設定する必要があります。



どんな時に送り調整が必要か

- ◇ 以下のような変更を行ったとき
 - ・メディアの変更
 - ・加圧ローラーアップダウンレバーによる圧力変更
 - ・巻き取り装置の使用有無、設定（たるみ・テンション）の変更
 - ・メディア送りモードの変更
 - ・吸着ファン（オフ・弱・中・強）の設定変更
- ◇ 送り調整値が正しくないとき
送り調整値が正しくない場合は印刷結果に周期的なバンディング（横縞）が発生します。

■ 自動印刷調整

自動印刷調整の注意事項（[P.73](#) ページ）

<作業の流れ>

自動印刷調整を実行する



調整完了

↓ 画質が改善されない場合

マニュアル印刷調整を実行する（[P.77](#) ページ）

<手順>

1

メディアをセットします。

実際に印刷する時と同じ条件でメディアをセットしてください。

2

プリントキマス
01: PAPER / 1626mm



ADJUST

ADJUST キーを押します。

3

ADJUST
↑ オクリチョウセイ



⬆、⬇ キーを押し、「オクリチョウセイ」を選択します。

4

ADJUST
↓オクリチョウセイ



Ⓚ キーを押します。

5

>オクリチョウセイ
↓シフトウチョウセイ



Ⓐ、ⓓ キーを押し、「ジドウチョウセイ」を選択します。

6

>オクリチョウセイ
↓シフトウチョウセイ



Ⓚ キーを押します。

7

>>シフトウチョウセイ
インサツシッコウ OK?



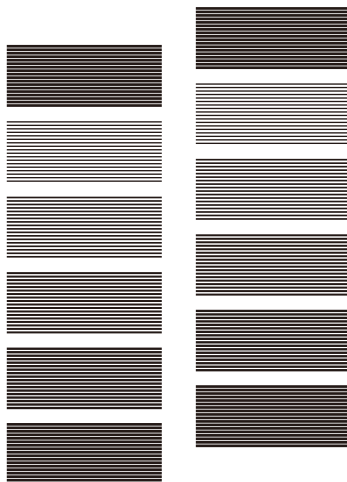
Ⓚ キーを押し、送り調整を実行します。

>>シフトウチョウセイ
シッコウチュウ

送り調整パターンの印刷とセンサによるパターンの読み取りが行われます。

印刷・読み取りが全て終了すると送り調整値が設定され、調整完了となります。

このようなパターンが印刷され、読み取りが行われます。



8 画質が改善されない場合はマニュアル印刷調整を実行してください。

■ マニュアル印刷調整

マニュアル調整には「パターン 1 シュ」と「パターン 3 シュ」があります。

「パターン 1 シュ」は、設定した調整値の送り調整パターンを印刷します。

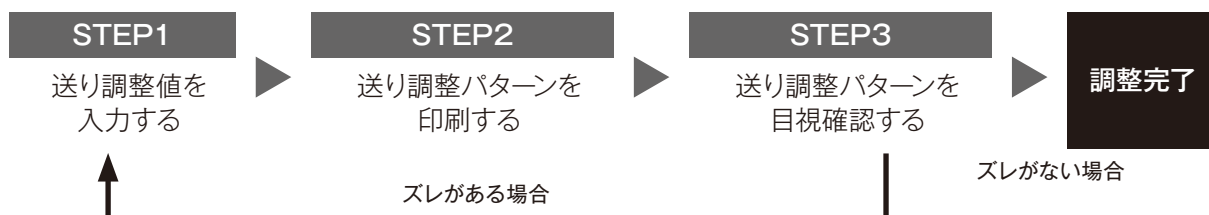
「パターン 3 シュ」は、設定した調整値、設定した調整値 +0.2%、設定した調整値 -0.2%の3種類の送り調整パターンを印刷します。



参考

◇ 送り調整値の予想がつかない場合は「パターン 3 シュ」の利用をお勧めします。

<作業の流れ>



<手順>

1

メディアをセットします。

実際に印刷する時と同じ条件でメディアをセットしてください。

2

フ リ ン ト デ キ マ ス
01 : P A P E R / 1 6 2 6 m m

ADJUST キーを押します。

3

A D J U S T
↑ オ ク リ チ ョ ウ セ イ

⬆、⬇ キーを押し、「オクリチョウセイ」を選択します。

4

A D J U S T
↑ オ ク リ チ ョ ウ セ イ

OK キーを押します。

5

> オ ク リ チ ョ ウ セ イ
↑ シ ャ ー ト ウ チ ョ ウ セ イ

⬆、⬇ キーを押し、「マニュアルチョウセイ」を選択します。

6

> オクリチョウセイ
↓ マニュアルチョウセイ



(OK) キーを押します。

7

>> マニュアルチョウセイ
↓ オクリチョウセイチ



(↑)、(↓) キーを押し、「オクリチョウセイチ」を選択します。

8

>> マニュアルチョウセイ
↓ オクリチョウセイチ



(OK) キーを押します。

9

>>> オクリチョウセイチ
↓ *XXX. XX→YYY. YY%

: 登録マーク (このメディア番号が登録されている場合は登録マーク「」が表示されます)
XXX. XX: 現在設定されている送り調整値
YYY. YY: 入力する送り調整値
(入力範囲 97.00 ~ 106.00%)



(←)、(→) キーを押して、カーソルを選択し、(↑)、(↓) キーを押して送り調整値を入力します。

10

>>> オクリチョウセイチ
↓ *XXX. XX→YYY. YY%



(OK) キーを押して、送り調整値を設定し、(CANCEL) キーで「オクリチョウセイチ」から抜けます。

11

>> マニュアルチョウセイ
↓ オクリチョウセイチ



(↑)、(↓) キーを押し、「パターン 1 シュ」「パターン 3 シュ」のいずれかを選択します。

12

>> マニュアルチョウセイ
↓ パターン 1 シュ



(OK) キーを押します。

13

>>> パターン 1 シュ
↓ XXX. XX→YYY. YY%



(OK) キーを押します。

14

>>> パターン 1 シュ
インサツジッコウ OK?



OK

OK キーを押し、送り調整パターン印刷を実行します。

15

>>> パターン 1 シュ
ジッコウチュウ

送り調整パターンが印刷されます。

16

パターンを目視確認します。

送り調整値が正しい場合は、調整完了となります。

送り調整値が正しくない場合は、手順 9 ～ 17 を繰り返し行い、調整値を決定します。



送り調整パターンの見方

	送り調整値が小さい場合
	送り調整値が適正な場合
	送り調整値が大きい場合

⚠ 注意

- ◆ メディアの左右で適正な調整値が違う場合は平均的な値を設定してください。
- ◆ メディアの左右で適正な調整値が違う場合はメディアの斜行などが原因となっている可能性があります。メディアが斜めにセットされていないか再確認してください。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

◆ 往復のインク着弾位置を補正する「往復調整」

双方向印刷をする場合、メディアの厚みや印刷モードの違いによって往路と復路の着弾位置にズレが生じます。画を綺麗に出力するためには往復調整を実行し、適切な往復調整値を設定する必要があります。



どんな時に往復調整が必要か

- ◇ 以下のような変更を行ったとき
 - ・メディアの変更
 - ・印刷モードの変更
 - ・キャリッジ速度（標準・低速）の変更
 - ・ヘッド高さの変更
- ◇ 往復調整値が正しくないとき
往復調整値が正しくない場合は印刷結果に粒状感やピントのズレが発生します。

■ 自動印刷調整

自動印刷調整の注意事項（[📖 73 ページ](#)）

<作業の流れ>

自動印刷調整を実行する



調整完了

↓ 画質が改善されない場合

マニュアル印刷調整を実行する（[📖 82 ページ](#)）

<手順>

1

メディアをセットします。

実際に印刷する時と同じ条件でメディアをセットしてください。

2

フ°リントデ°キマス

01:PAPER/1626mm



ADJUST

ADJUST キーを押します。

3

ADJUST

↑オクリチョウセイ



⬆、⬇ キーを押し、「オウフクチョウセイ」を選択します。

4

ADJUST

↑オウフクチョウセイ



OK キーを押します。

5

> オウフクチョウセイ
↓ シドウチョウセイ



⬆️、⬇️ キーを押し、「ジドウチョウセイ」を選択します。

6

> オウフクチョウセイ
↓ シドウチョウセイ



Ⓞ キーを押します。

7

>> シドウチョウセイ
↓ キャリッジソクト ヒョウジュン



⬆️、⬇️ キーを押し、「キャリッジソクト ヒョウジュン」または、「キャリッジソクト テイソク」を選択します。

8

>> シドウチョウセイ
↓ キャリッジソクト ヒョウジュン



Ⓞ キーを押します。

9

>> シドウチョウセイ
インサツシッコウ OK?



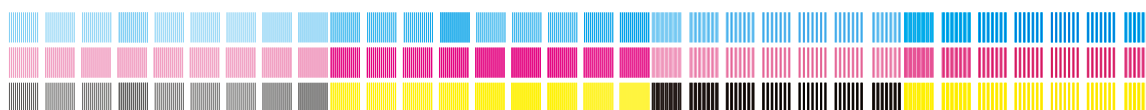
Ⓞ キーを押し、往復調整を実行します。

>> シドウチョウセイ
シッコウチュウ

往復調整パターンの印刷とセンサーによるパターンの読み取りが行われます。

印刷・読み取りが全て終了すると全ての印刷モードの往復調整値が設定され、調整完了となります。

このようなパターンが印刷され、読み取りが行われます。

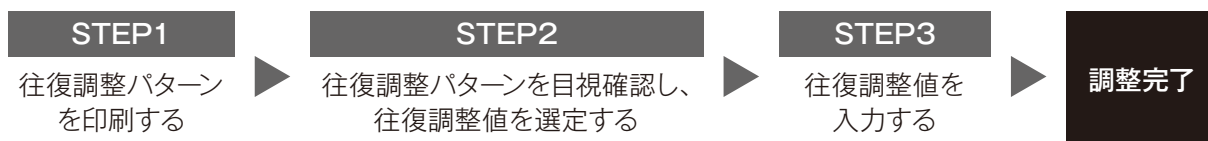


10

画質が改善されない場合はマニュアル印刷調整を実行してください。

■ マニュアル印刷調整

<作業の流れ>



<手順>

1

メディアをセットします。

実際に印刷する時と同じ条件でメディアをセットしてください。

2

プリントデキマス
01:PAPER/1626mm



ADJUST キーを押します。

3

ADJUST
↓オクリチョウセイ



↑、↓ キーを押し、「オウフクチョウセイ」を選択します。

4

ADJUST
↓オウフクチョウセイ



OK キーを押します。

5

> オウフクチョウセイ
↓ジツウチョウセイ



↑、↓ キーを押し、「マニュアルチョウセイ」を選択します。

6

> オウフクチョウセイ
↓マニュアルチョウセイ



OK キーを押します。

7

>> マニュアルチョウセイ
↓キャリッジソクト ヒョウジュン



↑、↓ キーを押し、「キャリッジソクト ヒョウジュン」または、「キャリッジソクト テイソク」を選択します。

8

>> マニュアルチョウセイ
↓ キャリッジソクト ヒョウシユン 〇



OK キーを押します。

9

>>> キャリッジソクト ヒョウシユン
↓ チョウセイパターンインサツ 〇



↑、↓ キーを押し、「チョウセイパターンインサツ」を選択します。

10

>>> キャリッジソクト ヒョウシユン
↓ チョウセイパターンインサツ 〇



OK キーを押します。

11

>>> キャリッジソクト ヒョウシユン
インサツシッコウ OK? 〇



OK キーを押し、往復調整パターン印刷を実行します。

>>> キャリッジソクト ヒョウシユン
シッコウチュウ

往復調整パターンが印刷されます。

12

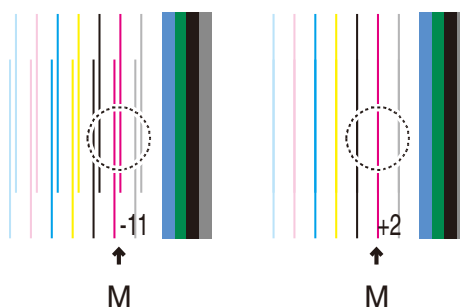
パターンを目視確認し、往復調整値を選定します。

往復調整値の選定は、調整値 L・R に対して各プリントヘッド毎に行います。



往復調整パターンの見方

調整値は、各プリントヘッドの 2 本線がもっとも合わさっている値を入力します。例えば、調整値 L の M プリントヘッドを設定する場合、右図では -11 はずれています。+2 では 1 本に合わさっているので、「+2」を入力します。



13

>>> キャリッジ・ソクト[°] ヒョウジ[°]ュン
↓ チョウセイハ[°] ターンインサツ



⬆、⬇ キーを押し、調整値 L・R、プリントヘッド色を選択します。

ここでは例として調整値 L、M プリントヘッドに往復調整値 +2 を設定する場合を説明します。

14

>>> キャリッジ・ソクト[°] ヒョウジ[°]ュン
↓ * M _ L : ± X X

M: プリントヘッド色
L: 調整値 L・R
± X X: 現在の調整値



ⓐ キーを押します。

15

>>>> オウフクチョウセイチ
↓ * M _ L : ± X X → ± Y Y

: 登録マーク (このメディア番号が登録されている場合は登録マーク「」が表示されます)
XXX.XX: 現在の調整値
YYY.YY: 変更予定の調整値 (入力範囲 -15 ~ +15)



⬅、➡ キーを押して、カーソルを選択し、⬆、⬇ キーを押して往復調整値を入力します。

16

>>>> オウフクチョウセイチ
↓ * M _ L : ± X X → + 0 2



ⓐ キーを押して、往復調整値を設定し、ⓑ キーを押して、「オウフクチョウセイチ」から抜けます。

17

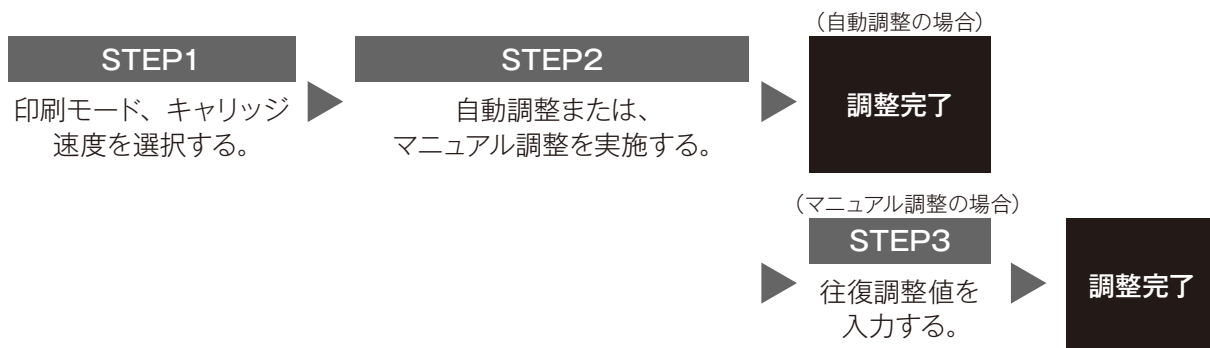
>>> キャリッジ・ソクト[°] ヒョウジ[°]ュン
↓ * M _ L : ± X X

同様に、他の調整値 L・R、プリントヘッド色についても往復調整値を設定します。他の調整値 L・R、プリントヘッド色についても往復調整値を設定したら、調整完了となります。

◆ 往復のインク着弾位置を補正する「往復調整 詳細」

本書 78 ページから 82 ページの調整を行っても、往路と復路の着弾位置にズレが生じている場合は、更に詳細に調整を行うことができます。

<作業の流れ>



<手順>

- 1
- 2

プリントデキマス
01 : PAPER / 1626mm

↓ ADJUST
- 3

ADJUST
↓ オクリチョウセイ

↓ ↑、↓
- 4

ADJUST
↓ オウフクチョウセイ ショウサイ

↓ OK
- 5

> オウフクチョウセイ ショウサイ
↓ ショウサイ1

↓ ↑、↓

メディアをセットします。

実際に印刷する時と同じ条件でメディアをセットしてください。

ADJUST キーを押します。

↑、↓ キーを押し、「オウフクチョウセイ ショウサイ」を選択します。

OK キーを押します。

↑、↓ キーを押し、「ショウサイ 1」を選択します。

6

> オウフクチョウセイ ショウサイ
↓ ショウサイ1



OK キーを押します。

7

>> ショウサイ1
↓ インサツモード*



↑、**↓** キーを押し、「インサツモード」を選択します。

8

>> ショウサイ1
↓ インサツモード*



OK キーを押します。

9

>>> インサツモード*
↓ ミシヨウ



↑、**↓** キーを押し、調整したい印刷モードを選択します。

左記では、「3：コウガシツ」を選択した場合の例を示します。

10

>>> インサツモード*
↓ 3：コウガシツ



OK キーを押します。

11

>>> インサツモード*
↓ 3：コウガシツ



CANCEL キーを押します。

12

>> ショウサイ1
↓ インサツモード*



↑、**↓** キーを押し、「キャリッジソクト」を選択します。

13

>> ショウサイ1
↓ キャリッジソクト*



OK キーを押します。

14

>>> キャリッジソクト
↓ ヒョウジュン



15

>>> キャリッジソクト
↓ テイソク



16

>>> キャリッジソクト
↓ テイソク



■ 以下、自動印刷調整を行う場合

17

>> ショウサイ1
↓ キャリッジソクト



18

>> ショウサイ1
↓ シドウチョウセイ シッコウ



19

>> ショウサイ1
インサツシッコウ OK?



20

>>> マニュアルチョウセイ
シッコウチュウ

⬆、⬇ キーを押し、調整したいキャリッジ速度を選択します。

左記では、「テイソク」を選択した場合の例を示します。

OK キーを押します。

CANCEL キーを押します。

⬆、⬇ キーを押し、「ジドウチョウセイ ジッコウ」を選択します。

OK キーを押します。

OK キーを押し、往復調整パターン印刷を実行します。

往復調整パターンの印刷とセンサーによるパターンの読み取りが行われます。

印刷・読み取りが終了すると指定した印刷条件での往復調整値が設定され、調整完了となります。

■ 以下、マニュアル印刷調整を行う場合

17

>> ショウサイ1
↓ キャリッジソクト



⬆、⬇ キーを押し、「マニュアルチョウセイ」を選択します。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

18

>> ショウサイ1
↓ マニュアルチョウセイ



Ⓚ キーを押します。

19

>>> マニュアルチョウセイ
↓ チョウセイハターニンサツ



Ⓚ キーを押します。

20

>> マニュアルチョウセイ
インサツジッコウ OK?



Ⓚ キー押し、往復調整パターン印刷を実行します。

21

>>> マニュアルチョウセイ
ジッコウチュウ

往復調整パターンが印刷されます。

22

パターンを目視確認し、往復調整値を選定します。

往復調整値の選定は、調整値 L・R に対して各プリントヘッド毎に行います。

往復調整パターンの見方は、📖 83 ページを参照ください。

23

>>> マニュアルチョウセイ
↓ チョウセイハターニンサツ



⬆、⬇ キー押し、調整値 L・R、プリントヘッド色を選択します。

ここでは例として調整値 L、M プリントヘッドに往復調整値 +2 を設定する場合を説明します。

24

>>> マニュアルチョウセイ
↓ * M _ L : ± X X

M: プリントヘッド色
L: 調整値 L・R
± X X: 現在の調整値



Ⓚ キーを押します。

25

>>>> マニュアルチョウセイ
↓ * M _ L : ± X X → ± Y Y

: 登録マーク (このメディア番号が登録されている場合は登録マーク「」が表示されます)
XXX. XX: 現在の調整値
YYY. YY: 変更予定の調整値 (入力範囲 -15 ~ +15)



⬅、➡ キー押し、カーソルを選択し、⬆、⬇ キー押し、往復調整値を入力します。

26

>>>> オウフクチョウセイチ
↓ * M_L : ± X X → + 0 2



OK

CANCEL

27

>>> マニュアルチョウセイ
↓ * M_L : ± X X

OK キーを押して、往復調整値を設定し、
CANCEL キーを押して、「オウフクチョウセイチ」から抜けます。

同様に、他の調整値 L・R、プリントヘッド色についても往復調整値を設定します。
他の調整値 L・R、プリントヘッド色についても往復調整値を設定したら、調整完了となります。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

メンテナンス

日常メンテナンス

本機を安定稼働させ、きれいな画質を得るために、日常メンテナンスは実施してください。
特に以下の3点については、注意してください。

- ◆ワイパークリーニング液の残量確認を毎日行い、なくなったら必ず交換してください。
- ◆キャップクリーニングを毎週実施してください。
- ◆プリントヘッドは精密機器です。ノズル面の直拭きはしないでください。

日常メンテナンスは、操作パネルからも実施できます。

以下に日常メンテナンスの一覧を示します。

No.	項目		毎日	毎週	プリンターの メッセージがあるとき	汚れが目立つとき	消耗品
A	メディアセット (📖 93 ページ)		S R				
B	ノズルプリント (📖 94 ページ)		P				
C	廃インクボトルのチェックと交換 (📖 104 ページ)		👁		↔		IP5-299 廃インクボトル
D	ワイパークリーニング液のチェックと交換 (📖 106 ページ)		👁		↔		IP6-251 ワイパークリーニング液セット A ※1
E	ワイパーブレードの汚れチェックと交換 (📖 108 ページ)		👁		↔		IP5-281 ワイパーブレード※1
F	キャップクリーニング (📖 114 ページ)	キャッピングユニットの清掃		P C			IP5-279 キャップクリーニング液 A ※1 IP7-264 クリーニング棒 (大) ※1
		クリーニング					
G	加圧ローラー清掃 (📖 118 ページ)			👁		C	IP6-147 クリーニング棒※1 IP5-279 キャップクリーニング液 A ※1
H	ワイパースポンジ交換 (📖 119 ページ)				↔		IP5-282 ワイパースポンジ
I	シートマウントクリーニング (📖 122 ページ) (実施の目安は1ヶ月に1度です)				S R	S R	IP5-283 シートマウントクリーニングキット A
J	プリンターの清掃 (実施の目安は1週間に1度です)	メディアエッジガード清掃 (📖 130 ページ)				C	IP6-147 クリーニング棒※1 IP5-279 キャップクリーニング液 A ※1
		ヘッドガード清掃 (📖 128 ページ)				C	
		プラテン清掃 (📖 132 ページ)				C	
		ペーパーガイド清掃 (📖 131 ページ)				C	
		外装 (フロントカバー) 清掃 (📖 131 ページ)				C	
K	自動印刷調整用のセンサーとイオナイザー周りの清掃 (📖 133 ページ) (実施の目安は1年に1度です)					C	IP6-147 クリーニング棒※1

※1 これらは、IP5-280 日常メンテナンスキット A にも含まれます。



各消耗品の交換時期について

消耗品型番、名称		容量、個数	交換周期 (メッセージ表示周期)
IP6-251	ワイパークリーニング液セット A (200ml 入)	3 本	約 1 ヶ月 / 本
IP5-282	ワイパースポンジ	1 個	約 6 ヶ月
IP5-281	ワイパーブレード ゴムブレード スポンジブレード		約 12 ヶ月
		2 枚	
		1 枚	



・・・確認



・・・交換



・・・外す



・・・セット



・・・清掃



・・・パネル操作

毎日のメンテナンス

A メディアセット

1

メディアノシワ
カクニンシテクタサイ

メディアをセットしたまま放置されていた場合には、メディアにしわが発生していないか確認します。

メディアにしわが発生している場合は、メディアをセットし直すか、しわがなくなるまでフィードを実施してください。

※シワがある状態で作業を開始すると、ノズル面にダメージを与えることがあります。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

B ノズルプリント

◆ ノズルプリントの実施チェック

ノズルプリントは、プリントヘッドのノズル（インクの吐出口）が目詰まりしていないことを確認するために行います。次のようなタイミングで実施して下さい。

- ・ 毎日の最初の印刷前。
- ・ キャッピングユニットの清掃などのために、キャッピングユニットからキャリッジを離れた状態で長時間放置した後。

1

プリントデキマス
01:PAPER/1626mm

NOZZLEPRINT キーを押します。



NOZZLEPRINT

2

NOZZLE PRINT
↓インサツシッコウ OK?

OK キーを押して、実行を開始します。

中止する場合は、CANCEL キーを押します。



OK

3

NOZZLE PRINT
シッコウチュウ

ノズルプリントが印刷されます。

4

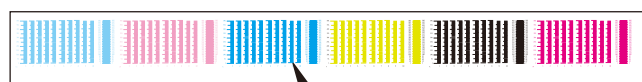
印刷抜け・プリントミスがないことを確認します。

右のようなパターンが印刷されます。

線の抜けやインク吐出方向の曲がりがないことを確認します。

「ノズルプリント」に線の抜けやインク吐出方向の曲がりがある場合は、ツウジョウクリーニングを行います。

ツウジョウクリーニングを複数回行っても線の抜けやインク吐出方向の曲がりがある場合は、以下の手順で「ノズルマップ」を設定してください。



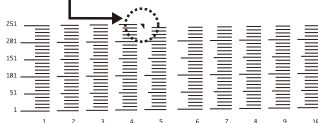
OK

線の抜けがなく、きれいに印刷されている。

NG

線の抜けが発生している

最終ノズル（254番ノズル）を示すマークの左隣まで線が印刷されていることを確認する



24番ノズルと133番ノズルが抜けている例



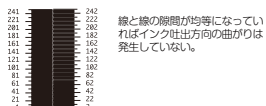
OK

インク吐出方向の曲がりがなく、きれいに印刷されている。

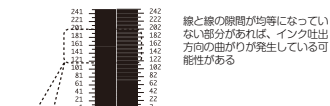
NG

インク吐出方向の曲がりが発生している

線と線の隙間が均等になっていればインク吐出方向の曲がりは発生していない。



線と線の隙間が均等になっていない部分があれば、インク吐出方向の曲がりが発生している可能性がある



159番ノズルで印刷した線（←の線）が161番ノズル側に寄っている
⇒ 159番ノズルでインク吐出方向の曲がりが発生している



◆ ノズルマップの設定

ノズルプリント上に線の抜けやインク吐出方向の曲がりがある場合、ノズルマップを設定すれば、その原因となっているノズルを他のノズルで代替することができます。これによって、印刷スピードを落とすことなく、元の画質に戻すことができます。

1つのヘッドに対して、最大 10 個までのノズルマップを設定することができます。

ノズルマップの設定には、「マニュアル設定」と「自動設定」があります。

※ 自動設定では、完全に閉塞しているノズルのみが検出されます。次のようなノズルは、ノズルマップを手動で設定する必要があります。

- ・部分的に閉塞しているノズル
- ・インク吐出方向が曲がっているノズル

※ 自動設定は、762mm (30 インチ) 以上のメディアをご使用ください。

マニュアル設定  96 ページ

自動設定  97 ページ



マニュアル設定と自動設定の使い分け

- ◇ マニュアル設定は以下の場合に選択します。
 - ・762mm (30 インチ) 未満のメディアを使用している場合
 - ・部分的に閉塞しているノズルがある場合
 - ・インク吐出方向が曲がっているノズルがある場合
 - ・より確実性を求める場合
 - ・より短時間で設定を終わらせたい場合
 - ・マニュアル設定に慣れている場合
- ◇ 自動設定は以下の場合に選択します。
 - ・部分的に閉塞しているノズルがない場合
 - ・インク吐出方向が曲がっているノズルがない場合
 - ・設定する手間を省きたい場合
 - ・マニュアル設定に慣れていない場合

◆ 自動設定の注意事項

⚠ 注意

- ◆ 自動設定は機械によりノズルマップを設定する都合上、完全な精度を保証するものではありません。
- ◆ 以下のような条件では、自動設定は正しい調整値を設定できません。条件を改善するか、マニュアル設定を実施してください。
 - ・センサーによるパターン読み取りに適さないメディアを使用している場合
(一般的なメディアであっても、自動設定に不向きな場合があります)

<例>

 - ・透明なメディア
 - ・表面に凹凸があるメディア
 - ・光の反射率が極めて高いメディア、または光の反射率が極めて低いメディア
 - ・滲みやすい等、パターンが正しく形成できないメディア
 - ・印刷パターンの濃度差が出ないメディア
 - ・搬送が不安定なメディア
 - ・シワの発生しやすいメディア
 - ・埃、インク、指紋の付着等によりメディア表面が汚れている場合
 - ・メディアに浮きが発生している場合
 - ・ノズル抜けが多く発生している場合
 - ・メディアヒーター温度が適切でない場合
 - ・強い外乱光にさらされている場合
 - ・往復調整値、または送り調整値が著しくズレている場合
- ◆ 自動設定では、印刷したパターンを読み取ることによって調整値を決定します。しかしながら、メディアの経年劣化やロットの違いによって、印刷されたパターンに差が生じる場合があります。その結果、同じメディアであっても正しい検出結果が得られない場合があります。
このような場合には、マニュアル設定を実施してください。
- ◆ 環境温度、環境湿度によっては、稀に、自動設定を実行した後にノズル詰まりが発生する場合があります。
このような場合は、クリーニングを行ってノズルを回復した後、マニュアル設定を行ってください。

■ マニュアル設定

1

フ リ ント デ キ マ ス
01 : PAPER / 1626mm



ADJUST

ADJUST キーを押します。

1つのヘッドに対して、最大10個までのノズルマップを設定することができます。

2

ADJUST
↑ オ ク リ チ ョ ウ セ イ



⬆、⬇ キーを押して、「ノズルマップセッテイ」を選択します。

3

ADJUST
↑ ノズルマップセッテイ



OK キーを押します。

4

> ノズルマップセッテイ
↑ Lc



⬆、⬇ キーで設定する色を合わせ、

OK キーを押します。

ここではLcヘッドのノズルマップ1にノズル番号165番を設定する例で説明します。

5

 >>ノズルマップ[®]セッテイ Lc
 ↓#1:*** / カヘン


(OK) キーを押します。

6

 >>>Lc: #1
 ↓*** / カヘン → 165 / カヘン


(↑)、(↓)、(←)、(→) キーで設定するノズルマップ・ノズル番号を設定し、(OK) キーを押します。

7

 >>>Lc: #1
 ↓165 / カヘン → 165 / カヘン

設定完了



設定したノズル番号の確認は？

◇ 設定したノズルマップのノズル番号は、ノズルプリントの印刷結果に表示されます。

■ 自動設定

<作業の流れ>

STEP1

- ・ヘッドを選択する
- ・自動設定を実行する



STEP2

- ・追加でノズルマップを実施したいノズルを、手動で指定する
- ・上書き防止を設定する

必要に応じて STEP2 に移行

- ・自動設定の注意事項 (□ 96 ページ)
- ・自動設定は、762mm (30 インチ) 以上のメディアをご使用ください。
- ・自動設定で検出できるのは、完全に閉塞しているノズルです。部分的に閉塞しているノズルや、インク吐出方法が曲がっているノズルは、手動で追加設定する必要があります。
- ・次回以降、部分的に閉塞しているノズルや、インク吐出方法が曲がっているノズルを追加設定しなくても良いように、上書き防止を設定することができます。

< STEP1 >



ノズルマップの自動設定を行う前に！

- ◇ 往復調整値や送り調整値が著しくズれていると、メディアによっては誤検出する可能性があります。
- ◇ ノズルマップの自動設定を行う前に、往復調整や送り調整を行うことをお勧めします。その際は、下記印刷モードで調整を行ってください。
 - ・往復調整 1: サイソク, コウソク, ソクドユウ
 - ・送り調整 コウソク

1

 プリントデキマス
 01: PAPER / 1626mm


(NOZZLEPRINT) キーを押します。

2 NOZZLE PRINT
↓インサツシッコウ OK?



3 NOZZLE PRINT
↓シドウノズルマップ



4 >シドウノズルマップ
↑ヘッド: 1 2 3 4 5 6



⬆、⬇キーを押して、「ジドウノズルマップ」を選択します。

OKキーを押します。

⬅、➡キーを押してカーソルを選択し、
⬆、⬇キーを押してヘッド番号を選択します。

表示されている番号のプリントヘッドがジドウノズルマップの対象となります。

ヘッド番号とインクの色は、下表のように対応しています。

1	2	3	4	5	6
Lc	Lm	C	Y	K	M

5 >シドウノズルマップ 1 2 3 4 5 6
↓インサツシッコウ OK?



OKキーを押します。

6 >シドウノズルマップ 1 2 3 4 5 6
シッコウチュウ XX:YY

XX:YY :残り時間

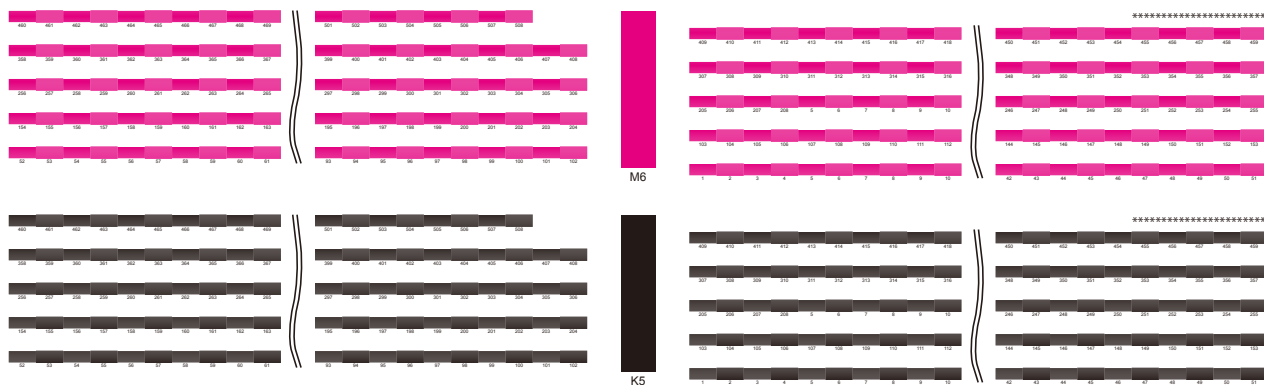


ノズルプリントの時間は?

◇ 選択した色の種類と数によって実行時間が変わります。

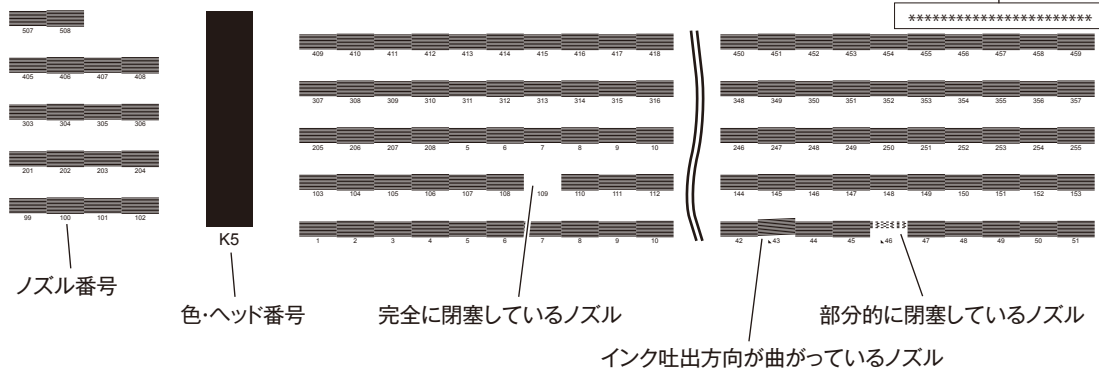
実行時間の目安: 約 2 分 30 秒 /1 色

このようなパターンが印刷され、読み取りが行われます。

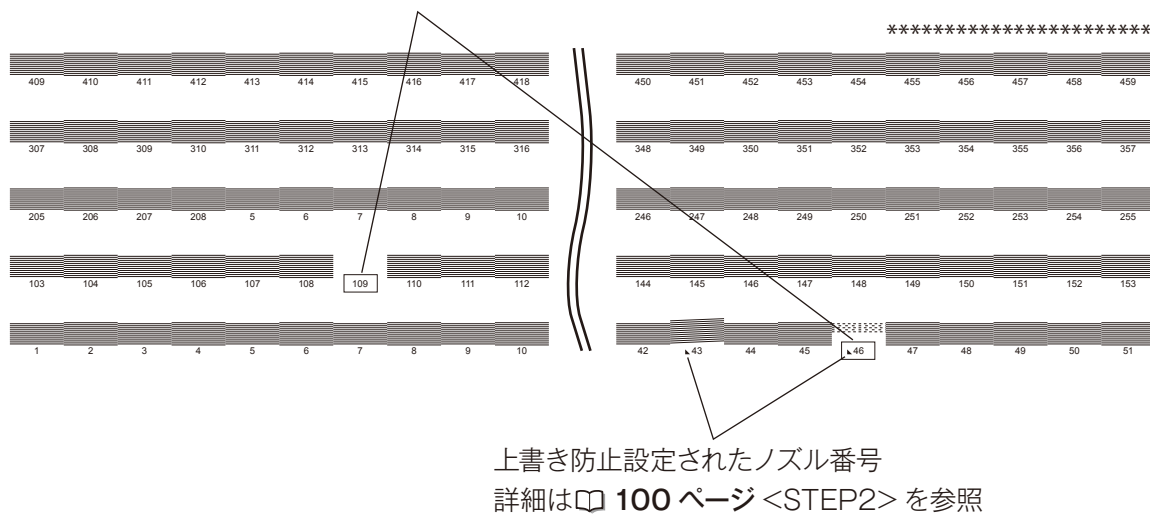


エラーメッセージ

詳細は□ 102 ページ 「◆自動設定でエラーが発生する場合」を参照
設定が正常に終了した場合は、「セイジョウシュウリョウ」と印刷されます。

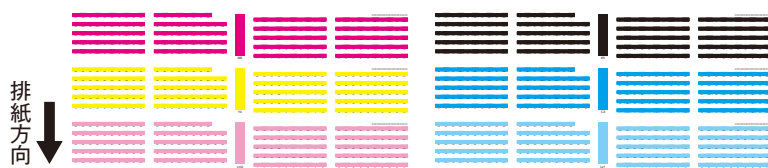


吐出不良と判定されたノズル番号



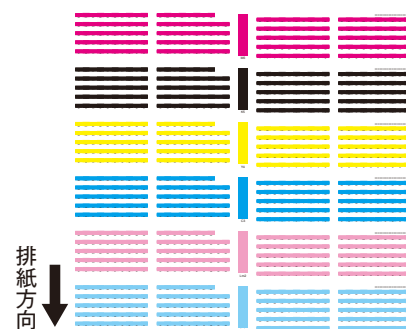
全色選択時の配置

メディア幅 1371 mm (54 インチ)
以上の場合



全色選択時の配置

メディア幅 1371 mm (54 インチ)
未満の場合



印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

◇完全に閉塞しているノズル

代替される。



◇正常なノズル

代替されない。



◇部分的に閉塞しているノズル

閉塞具合によって、判定が分かれる。



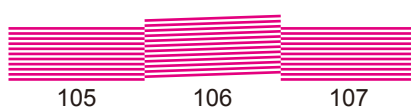
→ STEP2 へ移行



→ STEP2 へ移行

◇インク吐出方向が曲がっているノズル

代替されない。



→ STEP2 へ移行

< STEP2 >

吐出不良を起こしているのに、代替ノズルとして設定されていないノズルがある場合は、 96 ページのマニュアル設定と同様に、手動でノズルマップを追加設定します。

常に吐出不良を起こすノズルについては、ノズル番号を設定する際に、上書き防止の設定をしておく、自動設定の検出結果に関わらず代替されるようになります。

上書き防止設定

カヘン：上書き防止しない

コテイ：上書き防止する



◇ 自動ノズルマップの印刷結果を見ながらノズルマップの設定を行うと、吐出不良であるノズルの番号を見つけやすくなります。

1

フ°リントデ°キマス
01:PAPER/1626mm

キーを押します。



2

ADJUST
↓オクリチョウセイ

、 キーを押して、「ノズルマップセッテイ」を選択します。



3

ADJUST
↓ノズルマップセッテイ



4

>ノズルマップセッテイ
↓Lc



5

>>ノズルマップセッテイ Lc
↓#1:*** / カヘン



6

>>>Lc: #1
↓*** / カヘン→165 / コテイ



7

>>>Lc: #1
↓165 / コテイ→165 / コテイ

OK キーを押します。

↑、↓ キーで設定する色を合わせ、

OK キーを押します。

ここではLc ヘッドのノズルマップ1に165番のノズルを設定し、且つ、上書き防止設定をする例で説明します。

OK キーを押します。

↑、↓、←、→ キーで設定するノズルマップ・ノズル番号を設定し、且つ、上書き防止設定（カヘン→コテイ）をして、

OK キーを押します。

設定完了



設定したノズル番号の確認は？

- ◇ 設定したノズルマップのノズル番号は、ノズルプリントの印刷結果に表示されます。
- ◇ 上書き防止設定をしたノズル番号には、■印が付きます。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

◆ 自動設定でエラーが発生する場合

自動設定の実行中に次のエラーが発生した場合は、代わりにマニュアル設定を実行するか、下記の確認と対処を行ってください。

ハバノヒロイメディアヲ
セットシテクタサイ



※自動設定は実行されません。実行前のノズルマップが保持されます。

意味 762mm (30 インチ) 未満のメディアがセットされている場合に発生します。

確認事項	対処方法
762mm (30 インチ) 未満のメディアがセットされていないか	自動設定は、762mm (30 インチ) 以上のメディアをご使用ください。 または、マニュアル設定を行ってください。

ノズルマップヲマニュアルデ
ニューリョクシテクタサイ

1



※自動設定は実行されません。実行前のノズルマップが保持されます。

意味 センサーの光量が基準のレベルに到達していない場合に発生します。

確認事項	対処方法
自動印刷調整用センサーがインクミストで汚れていないか	自動印刷調整用センサーの清掃を行ってください。 (133 ページの「自動印刷調整用のセンサーとイオナイザー周りの清掃」)
メディアが汚れていないか	汚れの無い箇所までフィードしてください。
メディアが皺になっていないか	メディアをセットし直すか、皺がなくなるまでフィードしてください。
光の反射率が低すぎるメディアを使用していないか	メディアによっては、自動設定ができない場合があります。マニュアル設定を行ってください。 または、メディアを変更して自動設定を行ってください。

ノズルマップヲマニュアルデ
ニューリョクシテクタサイ

2



※自動設定は実行されません。実行前のノズルマップが保持されます。

意味 センサーの光量が基準のレベル以上になってしまう場合に発生します。

確認事項	対処方法
メディアが皺になっていないか	メディアをセットし直すか、皺がなくなるまでフィードしてください。
センサーに外乱光が入光していないか	外乱光を遮光するか、プリンターの設置位置を変更してください。
光の反射率が高すぎるメディアを使用していないか	メディアによっては、自動設定ができない場合があります。マニュアル設定を行ってください。 または、メディアを変更して自動設定を行ってください。

(パネル表示)



下段には、自動ノズルマップでエラーが発生した色が表示されます。

また、自動ノズルマップでエラーが発生した場合、自動ノズルマップの印刷結果にエラーメッセージが印刷されます。

(自動ノズルマップのエラー印刷結果)

XXX : エラー 1 ノズルマップマニユアルデ ニュウリョクシテクダサイ

XXX : エラー 2 ノズルマップマニユアルデ ニュウリョクシテクダサイ

※ XXX は、ヘッド色+ヘッド番号。(例 : Lm2、Y4)

※エラーが発生した色は検出結果が反映されません。実行前のノズルマップが保持されます。

エラーが発生しなかった色は検出結果が反映されます。

意 味 検出が正しく行えない場合に発生します。

確認事項	対処方法
スキューや皺の発生等の、搬送不良が発生していないか	メディアをセットし直すか、皺や汚れがなくなるまでフィードしてください。 メディアによっては、自動設定ができない場合があります。マニュアル設定を行ってください。 または、メディアを変更して自動設定を行ってください。
パターンに汚れや傷が付いていないか	
ヘッドが異常状態 (抜けが多すぎる等)	
	ヘッドクリーニングを行ってください。 📖 229 ページ「印刷抜け (ノズル詰まり) を回復させる」

XXX : エラー 3 クリーニングヲ ジッシシテクダサイ

※ XXX は、ヘッド色+ヘッド番号。(例 : Lm2、Y4)

※エラーが発生した色は検出結果が反映されません。実行前のノズルマップが保持されます。

エラーが発生しなかった色は検出結果が反映されます。

意 味 ノズル詰まりの数と上書き防止設定の合計が、規定数 (10 ノズル) を超えている場合に発生します。

確認事項	対処方法
ノズル詰まりの数と上書き防止設定の合計が 10 ノズルを超えていないか	ヘッドクリーニングを行ってください。 不要な上書き防止設定を解除してください。 📖 100 ページ < STEP2 > 📖 229 ページ「印刷抜け (ノズル詰まり) を回復させる」

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは...

メニューツリー

ふろく

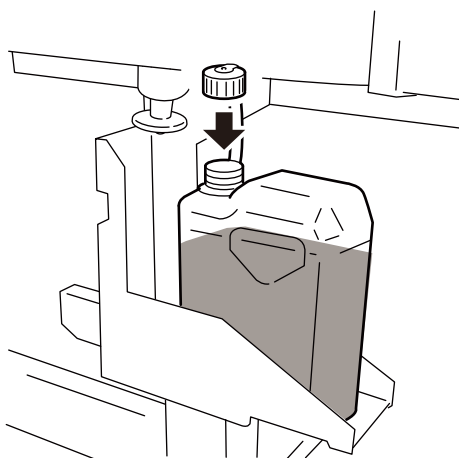
C 廃インクボトルのチェックと交換

1



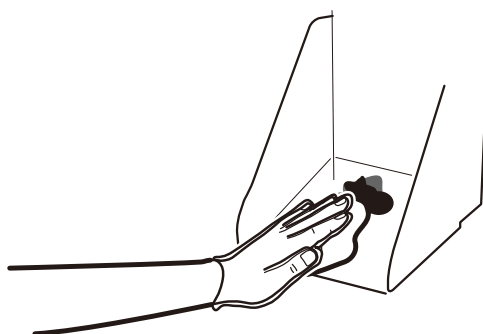
一杯になった廃インクボトルを少し傾けながら、廃インクの注ぎ口（管）から外します。

2



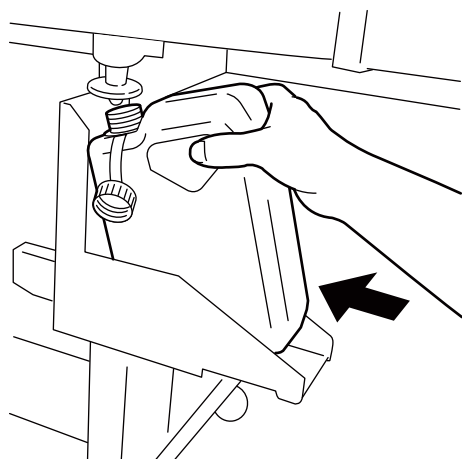
キャップをしてプリンターから取り外します。

3



廃インクボトル周辺のこぼれたインクを拭き取ります。

4



新品の（空の）廃インクボトルを取り付けます。

5

#ハイインクカウンタリセット
* NO



#ハイインクカウンタリセット
* YES

廃インクカウンターのリセット（クリア）の選択メッセージが表示されます。

⚠ 注意

- ◆ 廃インクカウンターとは、プリンターが自動で廃インク量を積算し、廃インクが一杯に溜まった際に、新品の（空の）廃インクボトルに交換することを促すメッセージを表示をするものです。積算はあくまで擬似的なものであり正確に一杯（フル状態）を検出するものではありません。基本的に新品の（空の）廃インクボトルを装着して、ハイインクカウンタリセットを行った（* YES にした）ことを前提に、廃インク量を積算しています。この前提を崩すとフル状態を誤検出し、廃インクが漏れ出すことがありますのでご注意ください。

6

ハイインクカウンタリセット
↓ YES



ハイインクカウンタリセット「* YES」を選択し、**OK** キーを押します。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

D ワイパークリーニング液のチェックと交換

ワイパークリーニング液は、プリンターの交換メッセージが表示されたとき、および毎日の点検において残量が少なくなった場合に以下の手順に従って交換してください。ワイパークリーニング液の交換周期は目安として約1ヶ月です。

1

フ°リントデ°キマス
01:PAPER/1626mm



MAINTENANCE

MAINTENANCE キーを押します。

2

MAINTENANCE
↑キャップ°クリーニング°



✓ キーを押して、「ワイパーメンテナンス」を選択します。

3

MAINTENANCE
↑ワイパ°メンテナンス



OK キーを押します。

4

>ワイパ°メンテナンス
↑ワイパ°クリーニング°エコウカン



✓ キーを押して、「ワイパークリーニングエコウカン」を選択し、OK キーを押します。

5

>>ワイパ°クリーニング°エコウカン
OK?



OK キーを押して、実行を開始します。
中止する場合は、CANCEL キーを押します。

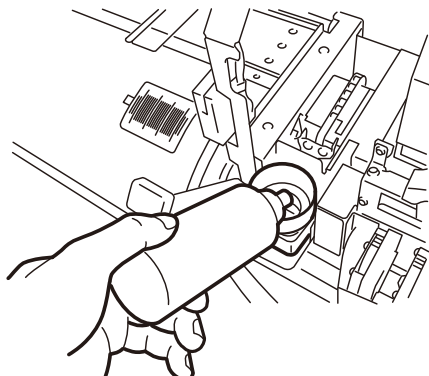
6

カバー°アケテワイパ°クリーニング°
エコウカンシテタ°サイ



フロントカバーを開けてから、キャッピングユニットカバーを開けます。

7



古いワイパークリーニング液ボトルを少し持ち上げ、中に入っている液をすべてプリンター内に流し込んだのを確認してから抜きます。

⚠注意

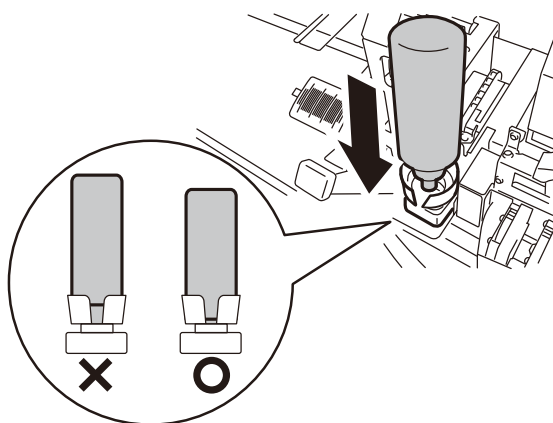
- ◆ あらかじめ廃インクボトルが一杯になっていないか目視確認してください。

8



新しいワイパークリーニング液ボトルのキャップをプリンターセット用のキャップに取り替えます。

9



ワイパークリーニング液ボトルをプリンターにセットし、上から押して、プリンターセット用キャップの詮を押し込みます。

10

ワイパークリーニングエキ
コウカンゴカハーマシメテクタサイ



キャッピングユニットカバーを閉めてから、フロントカバーを閉めます。

11

コウカン シマシタカ?
↓ NO



OK

✓ キーを押して、「YES」を選択します。

12

コウカン シマシタカ?
↓ YES



OK

OK キーを押します。

13

>ワイパーメンテナンス
↓ワイパークリーニングエキコウカン

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは...

メニューツリー

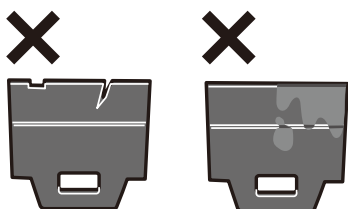
ふろく

E ワイパーブレードの汚れチェックと交換

◆ ワイパーブレードの汚れチェック

ワイパーブレードは、毎日の点検においてきずや汚れがないかを確認してください。

ワイパーブレードがこのような状態になったら、「◆ ワイパーブレードの交換 (110 ページ)」の手順に従って交換してください。



1

プリントデキマス
01:PAPER/1626mm

MAINTENANCE キーを押します。



MAINTENANCE

2

MAINTENANCE
↓キャップクリーニング

⏵ キーを押して、「ワイパーメンテナンス」を選択します。



3

MAINTENANCE
↓ワイパーメンテナンス

OK キーを押します。



4

>ワイパーメンテナンス
↓ワイパーブレードカクニン

⏶、⏵ キーを押して、「ワイパーブレードカクニン」を選択し、OK キーを押します。



5

>>ワイパーブレードカクニン
OK?

OK キーを押して、実行を開始します。

中止する場合は、CANCEL キーを押します。



6

ワイパーイットウチュウ
シバラクオマチクタサイ



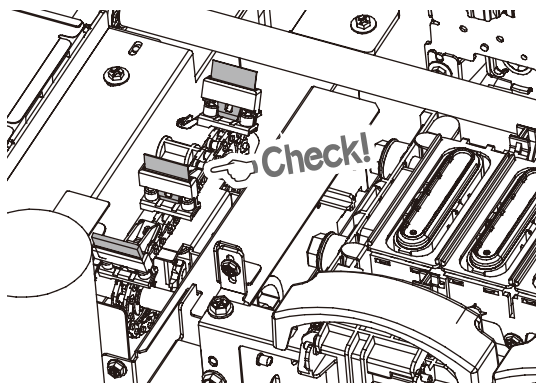
移動完了

7

カバーラアケテワイパーブレードヲ
カクニン シテクタサイ



8



9

ワイパーブレードヲカクニンコ
カバーヲ シメテクタサイ



ワイパーイトウチュウ
シハラクオマチクタサイ



移動完了

>ワイパーメンテナンス
↑ワイパーブレードカクニン

フロントカバーを開けてから、キャッピング
ユニットカバーを開けます。

ワイパーブレードに汚れやきずが見られた
場合は、「ワイパーブレードカクニン」終了
後に、「ワイパーブレードコウカン」を実施
して、ワイパーブレードを交換してくださ
い。

キャッピングユニットカバーを閉めてから、
フロントカバーを閉めます。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

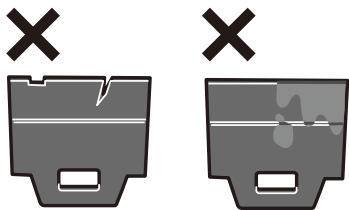
ふろく

◆ ワイパーブレードの交換

ワイパーブレードは、プリンターの交換メッセージが表示されたとき、および毎日の点検においてきずや汚れが見られた場合に交換します。

ワイパーブレードがこのような状態になったら以下の手順に従って交換してください。

ワイパーブレード交換は、2段階となります。最初にスポンジ1枚、次にゴム2枚となります。



1

フ°リントデ°キマス
01:PAPER/1626mm

MAINTENANCE キーを押します。

2

MAINTENANCE
↑キャップ°クリー°ニング°

✓ キーを押して、「ワイパーメンテナン
ス」を選択します。

3

MAINTENANCE
↑ワイパ°ーメンテナ°ンス

OK キーを押します。

4

>ワイパ°ーメンテナ°ンス
↑ワイパ°ーブ°レー°ト°コウ°カン

↑、**✓** キーを押して、「ワイパーブレー
ドコウカン」を選択し、**OK** キーを押しま
す。

5

>>ワイパ°ーブ°レー°ト°コウ°カン
OK?

OK キーを押して、実行を開始します。
中止する場合は、**CANCEL** キーを押します。

6

キャリッ°ジ°イト°ウ°チュウ
シハ°ラク°オ°マ°チ°ク°タ°サイ

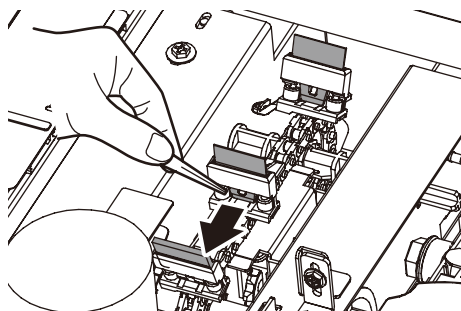
↓ 移動完了

7

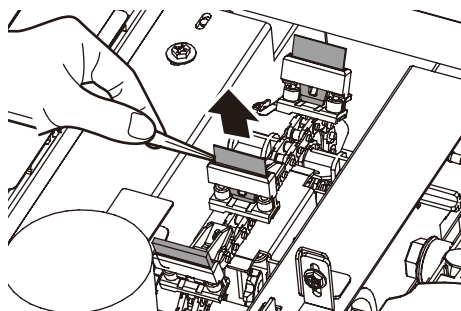
カバーラアケテスホ^ンジ^フプレート^ト
ヲ コウカン シテクダ^ササイ



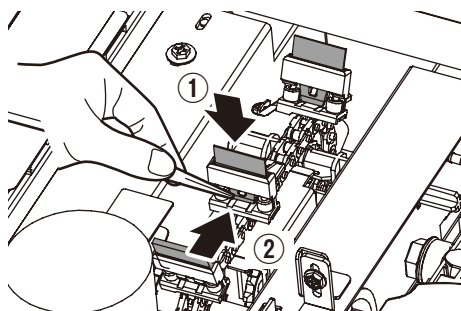
8



9



10



フロントカバーを開けてから、キャッピングユニットカバーを開けます。

ワイパーブレードの下の縁をピンセットで挟み、プラスチックの突起部分の引っかかりを外します。

上に持ち上げるようにしてワイパーブレードを抜き取ります。

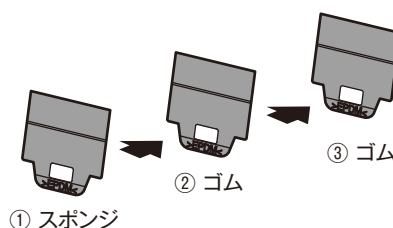
新しいワイパーブレードのゴム部分をピンセットで挟んで上からまっすぐ差し込み、ゴム部分の穴にプラスチックの突起部分が引っかかるように取り付けます。

⚠注意

- ◆ ワイパーブレードは表裏の区別はありません。
- ◆ ワイパーブレードの上部はプリントヘッドに直接触れる部分なので、ワイパーブレードを取り扱う際に手で触ったり、ピンセットで挟んだりしないでください。



- ◆ スポンジのブレードを1枚、ゴムのブレードを2枚交換します。
最初にスポンジ、次に手前からゴム→ゴムの順番でセットしてください。
順番を間違えると、クリーニングが成功せず、ヘッドの故障につながります。



印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは...

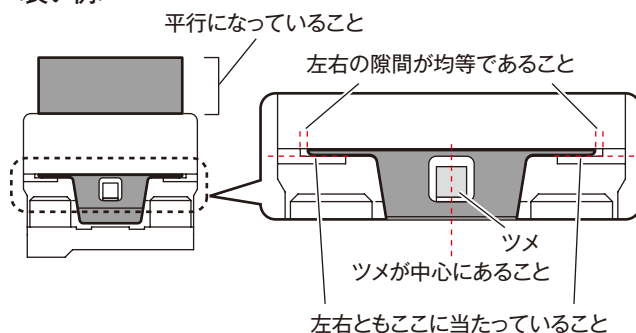
メニューツリー

ふろく

⚠ 注意

- ◆ ゴムブレードの取り付けが正しくないと、プリントヘッドのクリーニングが安定せず、きれいな画質を出せないばかりか、故障につながることもあります。
以下の点に注意して、正しく取りつけてください。

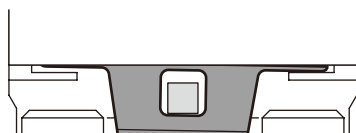
<良い例>



- ◆ 以下のような誤った取り付け方をした場合にはクリーニングが安定しません。
上図を参考に取り付け直してください。

<悪い例>

ブレードが傾いている



ブレードが上下、左右にずれている



11

スポンジプレート・ヲコウカンゴ
カバーヲ シメテクタサイ



ワイパー・イドウチュウ
シハラク オマチクタサイ



移動完了

キャッピングユニットカバーを閉めてから、
フロントカバーを閉めます。

12

カバーヲアケテゴムプレート
ヲ コウカンシ テクタサイ



ゴムプレート・ヲコウカンゴ
カバーヲ シメテクタサイ



フロントカバーを開けてから、キャッピン
グユニットカバーを開けます。

手順 8 から手順 10 と同様に、ゴムブレードを交換し
ます。

キャッピングユニットカバーを閉めてから、
フロントカバーを閉めます。

キャリッジ・イト・ウチュウ
シハ・ラクオマチクタ・サイ

↓ 移動完了

12

コウカン シマシタカ？
↓ NO

↓ (OK)

13

コウカン シマシタカ？
↓ YES

↓ (OK)

14

> ワイパーメンテナンス
↓ ワイパーブレードコウカン

(V) キーを押して、「YES」を選択します。

(OK) キーを押します。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

毎週のメンテナンス

F キャップクリーニング (キャッピングユニットの清掃、クリーニング)

「キャップクリーニング」を選択することで、プリンターのガイダンスに沿って、キャッピングユニットの清掃とクリーニングを同時に実施することが出来ますが、個別にクリーニングだけを実施することもできます。

◆ ワイパーブレードの汚れチェック、キャッピングユニットの清掃とクリーニングを同時に行う手順

⚠ 注意

- ◆ キャッピングユニットからキャリッジを離れた状態で、放置しないでください。5分以内に作業を終了させてプリントヘッドをキャッピングしてください。プリントヘッドが乾燥して故障の原因となります。

1

フ°プリント°キマス
01:PAPER/1626mm

MAINTENANCE キーを押します。



MAINTENANCE

2

MAINTENANCE
↑キャップ°クリーニング°

OK キーを押します。



OK

3

>キャップ°クリーニング°
OK?

OK キーを押して、実行を開始します。

中止する場合は、**CANCEL** キーを押します。



OK

4

マエショリヲ シテイマス
シハ°ラクオマチクタ°サイ 1:00

プリントヘッドのワイピングが終わると、キャリッジがメンテナンスエリアへ移動します。



移動完了



警告音が鳴ります

- ◇ キャリッジが移動する際、警告音が鳴ります。
警告音を鳴らさないようにする場合は、 189 ページを参照してください。

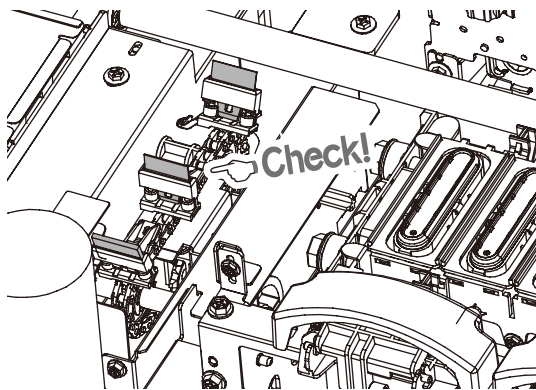
5

カバー°ヲアケテ キャップ°セイソウ
ワイパ°カクニンヲ シテクタ°サイ

キャリッジがメンテナンスエリアに移動したあと、フロントカバーを開けてから、キャッピングユニットカバーを開けます。

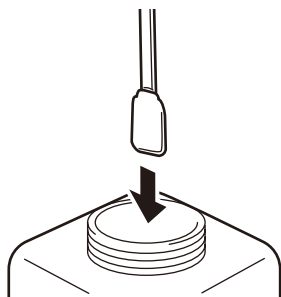


6



ワイパーブレードに汚れやきずが見られた場合は、「キャップクリーニング」終了後に、「ワイパーブレードコウカン」を実施して、ワイパーブレードを交換してください。

7



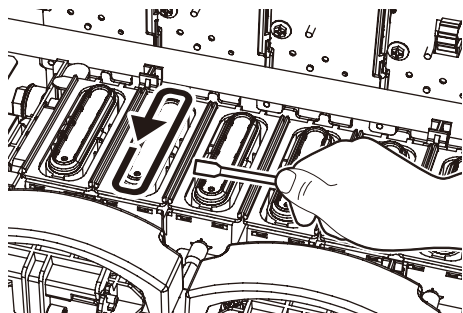
クリーニング棒（大）をキャップクリーニング液に浸けます。



お願い

- ◇ 一度キャップを清掃したクリーニング棒（大）をキャップクリーニング液ボトルの中に入れないでください。キャップクリーニング液が汚れてしまいます。
- ◇ 1本のクリーニング棒（大）をキャップクリーニング液に1回浸ければ、すべてのキャッピングユニットを清掃することができます。

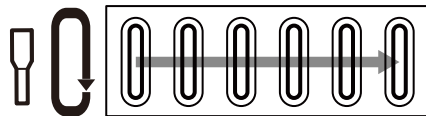
8



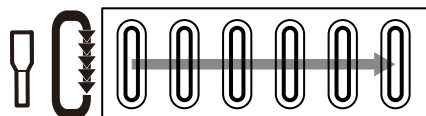
キャップ上面をクリーニング棒（大）を使って清掃します。



1. はじめに、各キャップ上面の外周部分を、クリーニング棒（大）で1周させます。
これにより、各キャップ表面の汚れにキャップクリーニング液を浸透させます。
作業は、左のキャップから右方向に向かって行います。



2. 次に、各キャップ上面の外周部分を、クリーニング棒（大）で5周させて、汚れを拭き取ります。
作業は、左のキャップから右方向に向かって行います。



⚠注意

- ◆ キャップクリーニング液がキャップ以外に付着しないように注意してください。
- ◆ クリーニング棒（大）は一回限りの使い切りです。毎回新しいクリーニング棒（大）に交換して清掃してください。
- ◆ 1回の清掃できれいにならない場合は、新しいクリーニング棒（大）に交換して再度清掃してください。

9

キャップ[°]セイスウ ワイフ[°]カクニンシテ
カハ[°]ヲシメテクダ[°]サイ



10

キャップ[°]ノ セイスウカンリョウ
OK?



OK

11

クリーニング[°]ヲジ[°]ッシシマスカ?
OK/CANCEL



OK

12

クリーニング[°]スタート
ホ[°]トルカクニンOK?



OK

13

アトショリヲ シテイマス
シハ[°]ラクオマチクダ[°]サイ 1:00



14

クリーニング[°]チュウ
ノコリジ[°]カン Y:YY

Y:YY :残り時間



クリーニング終了

15

NOZZLE PRINTヲ
ジ[°]ッシシテクダ[°]サイ



OK

MAINTENANCE
↑キャップ[°]クリーニング

キャッピングユニットカバーを開めてから、
フロントカバーを閉じます。

自動的にプリントヘッドが元の位置に戻ります。

OK キーを押します。

OK キーを押します。

クリーニングを行わない場合は、CANCEL キーを押します。

OK キーを押します。

手順 11 で CANCEL キーを押した場合は、このガイド
ンスは表示されません。

プリントヘッドのワイピングが終わると、キャリッジが
ホームポジションに移動します。

「アトショリ」が終了すると自動的にクリー
ニング動作が開始されます。



- ◇ 前回のクリーニング実施から一定距離の印刷を行っていると、自動的に強力クリーニングが実行されます。
- ◇ クリーニング実行時にセーフスキャンのセンサー確認動作が実行される場合があります。この場合、パネルに以下の表示がされます。

セーフスキャン[°]ノ カクニンチュウ
シハ[°]ラクオマチクダ[°]サイ

OK キーを押します。



クリーニングしても印刷抜けが直らない…

◇ 上記清掃をしても印刷抜けが起こる場合は、クリーニング棒にキャップクリーニング液をつけ、目視で確認しながらキャップ上の異物やインク汚れを取り除いてください。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは…

メニューツリー

ふろく

◆ クリーニングを個別に行う手順

1

フ^リントデ^キマス
01:PAPER/1626mm



PH.RECOVERY

2

PH. RECOVERY
↓ツウジ^{ョウ}



OK

3

>ツウジ^{ョウ}
ホ^{トル}カクニ^ンOK?



OK

4

ク^リーニ^ング^{チュウ}
ノコリジ^{カン} Y:YY

X:YY :残り時間



クリーニング終了

フ^リントデ^キマス
01:PAPER/1626mm

PH.RECOVERY キーを押します。

オンラインアイドル、オフライン、印字中、ポーズ中にクリーニングを実施することができます。

OK キーを押します。



◇ 前回のクリーニング実施から一定距離の印刷を行っている時、「ツウジ^{ョウ}」（通常クリーニング）が表示されません。

この場合は、「キョウリョク」（強力クリーニング）を実施してください。

（□ 229 ページの「◆強力クリーニング」）

◇ クリーニング実行時にセーフスキャンのセンサー確認動作が実行される場合があります。この場合、パネルに以下の表示がされます。

セーフスキャン^グノ カクニ^ンチュウ
シバ^{ラク}オマチク^タサイ

OK キーを押します。

廃インクボトルが一杯の場合はエラーが発生します。ガイドランスに従って、廃インクボトルを交換してください。

（□ 97 ページの「廃インクボトルの交換」）

クリーニングを開始します。

クリーニング動作は数分かかります。

クリーニングが開始されると、所要時間が表示されます。所要時間は 10 秒おきにカウントダウンします。

オンラインアイドル：オンラインへ遷移

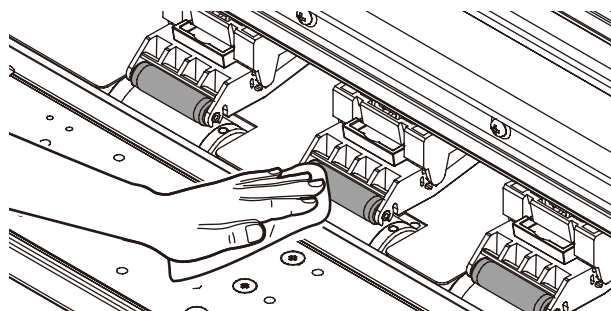
オフライン：オフラインのまま

印刷中：印刷を再開

ポーズ中：ポーズ状態のまま

G 加圧ローラー清掃

加圧ローラーがインク等で汚れた場合、メディアの印刷面を汚してしまうおそれがあります。
水または水でうすめた中性洗剤を柔らかい布に含ませて、よくしぼってから拭き取ってください。



⚠ 注意

- ◆ お手入れをするときは、プリンター電源のスイッチを必ずオフにしてから行ってください。
- ◆ 布をグリットローラーで擦って、ゴミやホコリが出ないように注意してください。

プリンターのメッセージがあるときのメンテナンス

H ワイパースポンジ交換

ワイパースポンジは、プリンターの交換メッセージが表示されたときに以下の手順に従って交換してください。ワイパースポンジの交換周期は目安として約6ヶ月です。

1

プリントデキマス
01:PAPER/1626mm

MAINTENANCE キーを押します。



2

MAINTENANCE
↓キャップクリーニング

✓ キーを押して、「ワイパーメンテナンス」を選択します。



3

MAINTENANCE
↓ワイパーメンテナンス

OK キーを押します。



4

>ワイパーメンテナンス
↓ワイパースポンジコウカン

✓ キーを押して、「ワイパースポンジコウカン」を選択し、**OK** キーを押します。



5

>>ワイパースポンジコウカン
OK?

OK キーを押して、実行を開始します。
中止する場合は、**CANCEL** キーを押します。



ワイパーイトウチュウ
シハラクオマチクタサイ

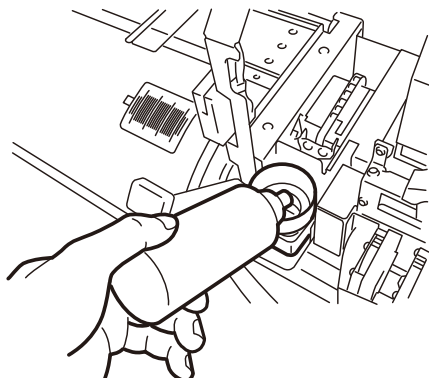
6

カバーヲアケテワイパースポンジヲ
コウカンシテクタサイ

フロントカバーを開けてから、キャッピングユニットカバーを開けます。



7

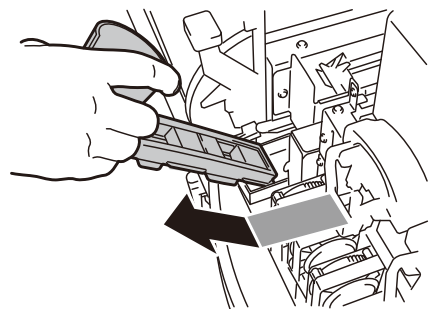


古いワイパークリーニング液ボトルを少し持ち上げ、中に入っている液をすべてプリンター内に流し込んだのを確認してから抜きます。

⚠️ 注意

- ◆ あらかじめ廃インクボトルが一杯になっていないか目視確認してください。

8



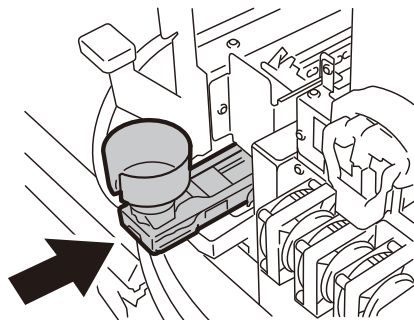
ワイパースポンジを手前に引き出しながら少しずつ立てるようにし、中に入っている液がプリンター内にすべて流れ込んだのを確認してから抜き取ります。



⚠️ 注意

- ◆ 古いワイパークリーニング液を流し込んだ直後は、ワイパースポンジからいワイパークリーニング液があふれて出る場合があるので、1分以上待ってから、ワイパースポンジを引き出してください。
液を流し込んだ後、直ぐに引き出すと、液がワイパースポンジからこぼれる場合があります。

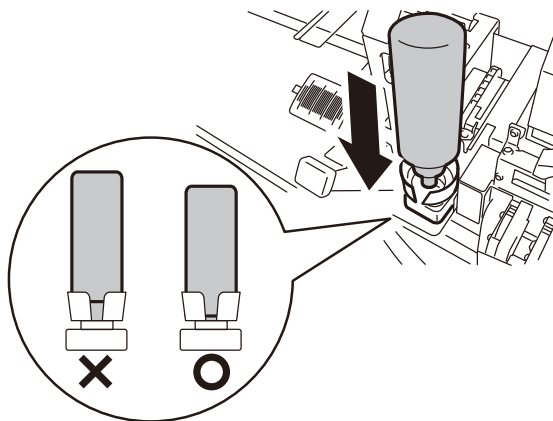
9



新しいワイパースポンジを取り付けます。

カチッと音がするまでプリンターの奥まで差し込んでください。

10



新しいワイパークリーニング液ボトルを取り付けます。

(「ワイパークリーニング液の交換」 106 ページ)

11

ワイパースホヱシヲ
コウカンコカバーク シメテクタサイ



キャリッジイトウチュウ
シバラクオマチクタサイ



移動完了

12

コウカン シマシタカ?
↓ NO



⓪ キーを押して、「YES」を選択します。

13

コウカン シマシタカ?
↓ YES



⓪ キーを押します。

14

> ワイパーメンテナンス
↓ ワイパープレートコウカン

キャッピングユニットカバーを開けてから、
フロントカバーを閉めます。

このほか、プリンターのメッセージによって、以下の消耗品を交換する場合があります。

- ・ 廃インクボトル
- ・ ワイパークリーニング液
- ・ ワイパーブレード

これらの交換方法は、毎日のメンテナンスを参照してください。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは...

メニューツリー

ふろく

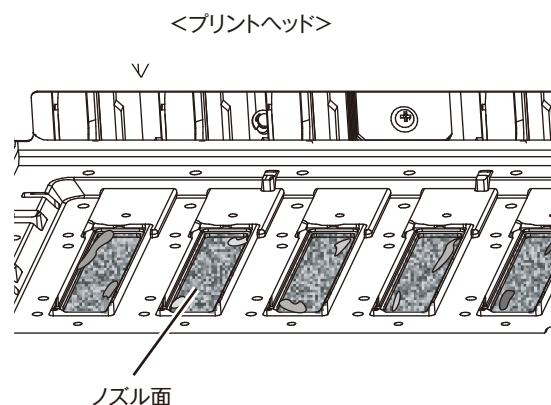
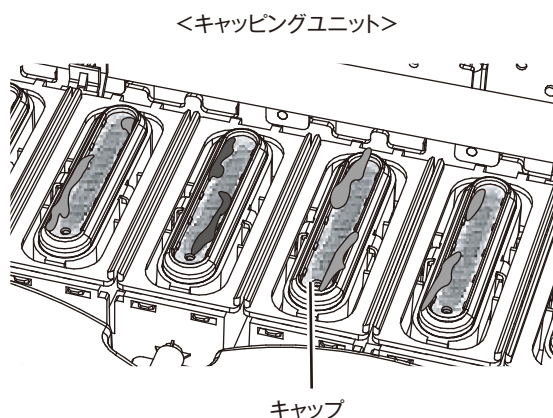
1 シートマウントクリーニング

シートマウントクリーニングは、プリンターの実施警告メッセージが表示されたときに、ヘッドクリーニングシートを使用してクリーニングを実施して下さい。実施の目安は一月に一度です。



所要時間は？

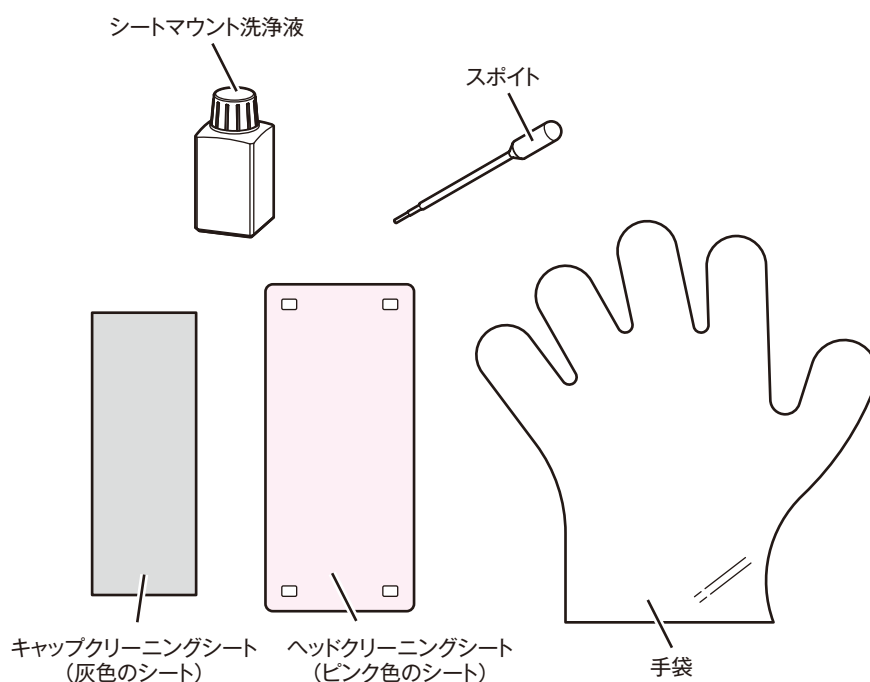
◇ シートマウントクリーニングの所要時間は、おおよそ1時間です。



! 注意

◆ プリントヘッドをクリーニング棒で擦らないください。故障の原因となる場合があります。

◆ シートマウントクリーニングの準備



◇ シートマウントクリーニングを行う際は、メディアを取り外してから実行することをお勧めします。

◆ シートマウントクリーニングの実施

以下のガイダンスに沿って作業を行ってください

1

フ°リントデ°キマス
01:PAPER/1626mm



MAINTENANCE

2

MAINTENANCE
↑キャップ°クリーニング°



3

MAINTENANCE
↑ヘッド°メンテナンス°



4

>ヘッド°メンテナンス°
↑シートマウントクリーニング°



5

>>シートマウントクリーニング°
OK?



キャリッジ°イト°ウチュウ
シハ°ラクオマチクタ°サイ



移動完了

6

カバー°ヲアケテクタ°サイ



MAINTENANCE キーを押します。

✓ キーを押して、「ヘッドメンテナンス」を選択します。

OK キーを押します。

✓ キーを押して、「シートマウントクリーニング」を選択し、OK キーを押します。

OK キーを押します。

キャリッジがメンテナンスポジションに移動します。

フロントカバーを開けてから、キャッピングユニットカバーを開けます。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

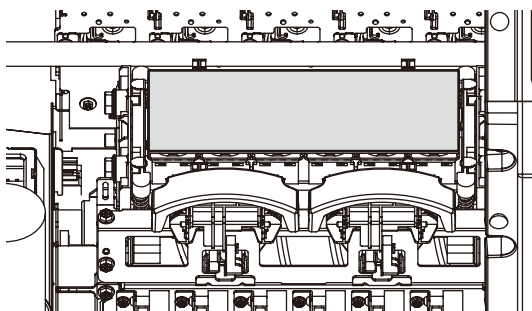
困ったときは...

メニューツリー

ふろく

7

ハイロノシートヲ
セツシテクタサイ



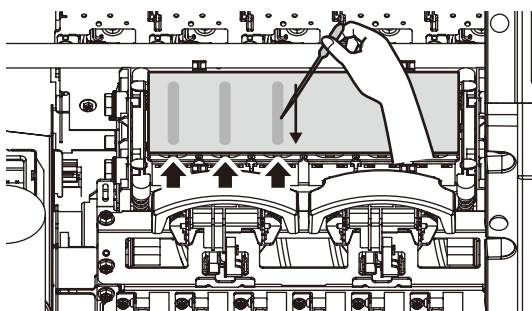
灰色のシート（キャップクリーニングシート）を6個のキャップが隠れるようにセツトします。



OK キーを押します。

8

シートマウントセンシ'ョウエキヲ
シートノウエニカケテクタサイ



矢印に沿って1mlずつ、1回塗布します。
これを各色ごとに繰り返します。



スポイトの1mlの線までシートマウント洗浄液を吸い取り、灰色のシート（キャップクリーニングシート）に各色1mlずつ塗布します。

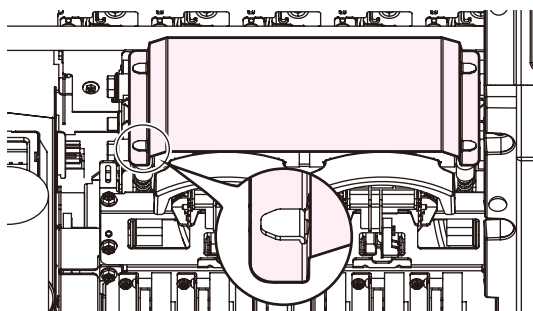
塗布する場所の目安は、矢印で示した各色のチューブの位置から垂直方向に1回平行に塗布します。



OK キーを押します。

9

ピンクイロノシートヲ
セツトシテクタサイ



灰色のシートの上からピンク色のシート（ヘッドクリーニングシート）を被せ、爪に引っ掛けます。

⚠ 注意

- ◆ しっかりと 4 か所のツメに引っ掛けてください。ヘッドに挟むときにめくれて正常にクリーニングを行えなくなります。
- 4 か所のツメは左図に示すようにキャッピングユニットの四隅にあります。



OK キーを押します。

10

カバーヲシメテクタサイ



キャッピングユニットカバーを閉めてから、フロントカバーを閉めます。

キャリッジイトウチュウ
シハラクオマチクタサイ



キャリッジがホームポジションに移動します。

⚠ 注意

- ◆ 手順 10 までの間に何らかのエラーが発生してガイドンスが終了してしまった場合は、手順 1 に戻って再度、シートマウントクリーニングを実施してください。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセツトする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

11

シートクリーニング*チュウ
ノコリジ*カン (H:M) Y:YY

↓ シートクリーニング完了



注意

- ◆ シートマウントクリーニングの実施時間は1時間です。クリーニングが終了したらパネル表示に従い、すみやかにクリーニングシートを取り外してください。



シートクリーニングを中止する場合

(CANCEL) キーを押します。

シートマウントクリーニング*ヲ
チュウシシマスカ?



12 に飛びます。

12

シートクリーニング*ガ*カンリョウシマシタ
OKボ*タンヲ オシテクタ*サイ?



キャリッジ*イト*ウチュウ
シハ*ラクオマチクタ*サイ

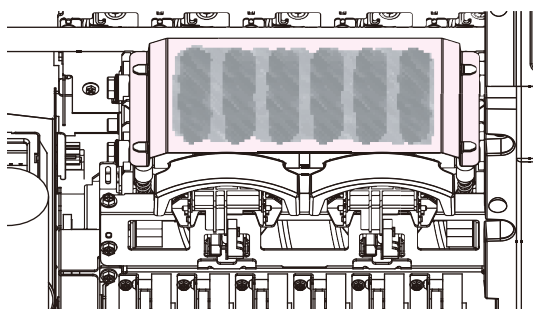
↓ 移動完了

(OK) キーを押します。

キャリッジがメンテナンスポジションに移動します。

13

カハ*ーヲアケテクタ*サイ



フロントカバーを開けてから、キャッピングユニットカバーを開けます。



14

ピンクイロノシートヲ
トリハス*シテクタ*サイ



ピンク色のシート(ヘッドクリーニングシート)を取りはずし、(OK) キーを押します。

15

ハイイロノシートヲ
トリハスシテクタサイ



16

カバーヲシメテクタサイ



キャリッジイトウチュウ
シハラクオマチクタサイ



クリーニングスタート
ホトルカクニン OK?



クリーニングチュウ
ノコリシカン Y:YY



>ヘッドメンテナンス
↑シートマウントクリーニング

灰色のシート（キャップクリーニングシート）を取りはずし、**OK** キーを押します。

キャッピングユニットカバーを閉めてから、フロントカバーを閉めます。

キャリッジがホームポジションに移動します。

OK キーを押します。

廃インクボトルを確認し、満タンでないことを確認してください。

（クリーニングが実行されます。）

シートマウントクリーニングの完了です。

⚠ 注意

◆ ピンクイロノシートおよび、ハイイロノシートを取りはずす前に、何らかのエラーが発生して、ガイドダンスが終了してしまった場合は、以下の手順に従って、シートを取りはずして下さい。

1. キャリッジをメンテナンスエリアに移動します。（□ 128 ページの「ヘッドガード清掃」を参照してください。）
2. フロントカバーを開けてから、キャッピングユニットカバーを開けます。
3. キャップ上に残ったピンクイロノシート及び、ハイイロノシートを取りはずします。
4. キャッピングユニットカバーを閉めてから、フロントカバーを閉めます。
5. キャリッジがホームポジションに移動します。
6. 強力クリーニングを行ってください。（□ 229 ページの「強力クリーニング」を参照してください。）

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

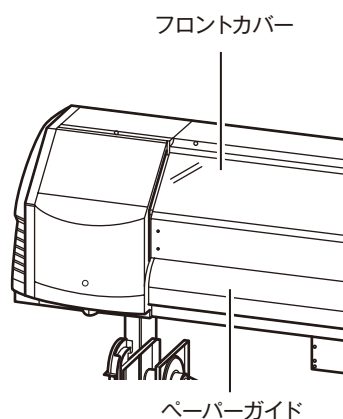
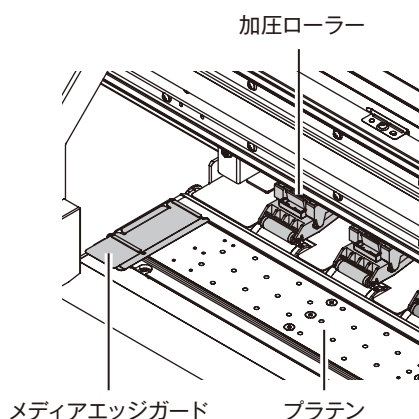
メニューツリー

ふろく

汚れが目立つ時のメンテナンス

J プリンターの清掃

プリンターの汚れが目立つときは、以下の手順に従って、清掃してください。清掃の目安は一週間に一度です。



◆ ヘッドガード清掃

1

プリントキマス
01:PAPER/1626mm



MAINTENANCE

2

MAINTENANCE
↑キャップクリーニング



3

MAINTENANCE
↑ヘッドメンテナンス



OK

4

>ヘッドメンテナンス
↑ヘッドカクニン



OK

5

>>ヘッドカクニン
OK?



OK

MAINTENANCE キーを押します。

✓ キーを押して、「ヘッドメンテナンス」を選択します。

OK キーを押します。

✓ キーを押して、「ヘッドカクニン」を選択し、OK キーを押します。

OK キーを押します。

6

キャリッジ・イト・ウチュウ
シハ・ラクオマチクタ・サイ

↓ 移動完了

キャリッジがメンテナンスエリアへ移動します。



警告音が鳴ります

◇ キャリッジが移動する際、警告音が鳴ります。
警告音を鳴らさないようにする場合は、 189 ページを参照してください。

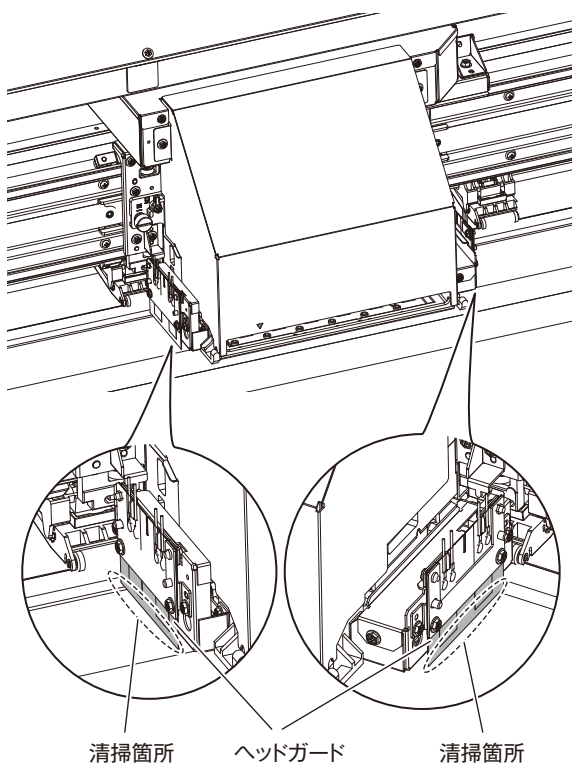
7

カバー・ラアケテ
ヘット・ヲカクニンシテクタ・サイ



フロントカバーを開けてから、メンテナンスエリアカバーを開けます。

8



クリーニング棒にキャップクリーニング液をつけ、目視で確認しながらキャリッジ左右のヘッドガード上の汚れに擦りつけて、数分間放置します。

⚠ 注意

- ◆ 一度ヘッドガードを清掃したクリーニング棒をキャップクリーニング液ボトルの中に入れないでください。キャップクリーニング液が汚れてしまいます。

9

⚠ 注意

- ◆ 不必要にキャッピングユニットから、プリントヘッドを離れた状態で放置しないでください。プリントヘッドが乾燥して故障の原因となります。

ヘッドガードの汚れを柔らかい布でふき取った後、メンテナンスエリアカバーを閉めてから、フロントカバーを閉めます。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

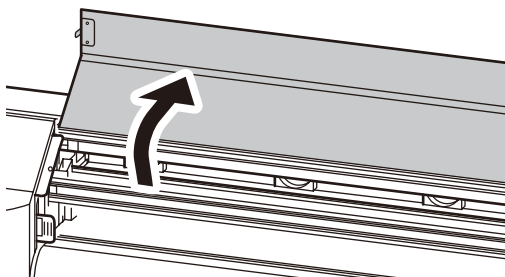
ふろく

◆ メディアエッジガード清掃

1

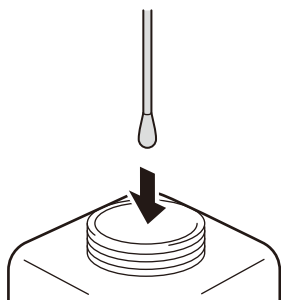
メディアがセットされている場合はメディアを取りはずしてください。

2



フロントカバーを開けます。

3



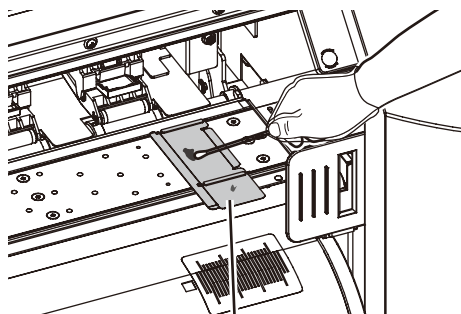
クリーニング棒をキャップクリーニング液に浸けます。



お願い

- ◇ 清掃に使用したクリーニング棒を、キャップクリーニング液ボトルの中に入れないでください。キャップクリーニング液が汚れてしまいます。
- ◇ クリーニング棒は一回限りの使い切り消耗品です。毎回新しいクリーニング棒に交換して清掃してください。

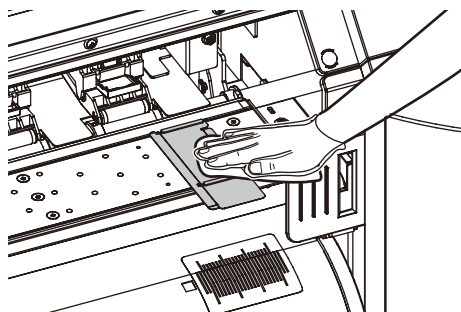
4



メディアエッジガード

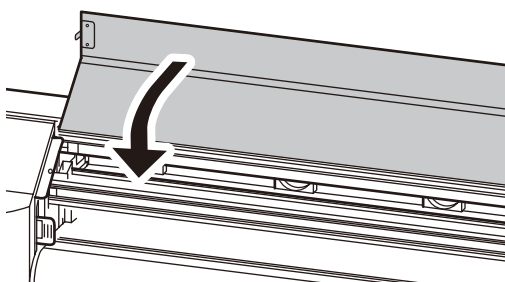
メディアエッジガードの汚れ部分に擦りつけます。

5



柔らかい布で汚れを拭き取ります。

6



フロントカバーを閉めます。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

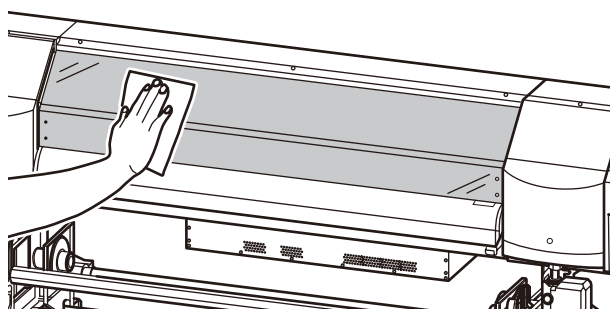
困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

◆ 外装（フロントカバー）清掃

プリンターの外装が汚れた場合は、水または水でうすめた中性洗剤を柔らかい布に含ませて、よくしぼってから拭き取ってください。

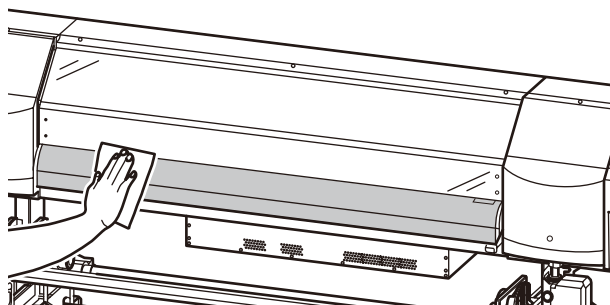


⚠ 注意

- ◆ お手入れをするときは、プリンター電源のスイッチを必ずオフにしてから行ってください。
- ◆ シンナー、ベンジンなどの揮発性溶剤は絶対に使用しないでください。塗装がはげたり変質することがあります。

◆ ペーパーガイド清掃

ホコリ、紙粉等で汚れた場合は掃除機等で吸い取ってください。インク等の汚れがひどいときは、中性洗剤を湿らせた柔らかい布できれいに拭き取ってください。



⚠ 注意

- ◆ お手入れをするときは、プリンター電源のスイッチを必ずオフにしてから行ってください。
- ◆ 紙粉を吹き飛ばさないでください。プリンターの内部に紙粉や埃が混入し故障などの原因となる場合があります。また画質等に悪影響を与える場合があります。
- ◆ ロールエンドが紙管に糊付けされているメディアを使用した場合に、糊がペーパーガイドやプラテンに付いてしまう場合があります。その様な場合は必ず清掃して糊を取り除いてください。

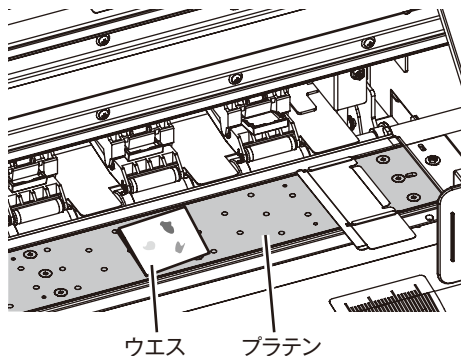
◆ プラテン清掃

- ・塩ビの粘着剤等が付着した場合
- ・プラテンにインクが垂れてしまった場合

次の手順で清掃を行ってください。

(ここでは、インクでプラテンが汚れた場合を説明しています。)

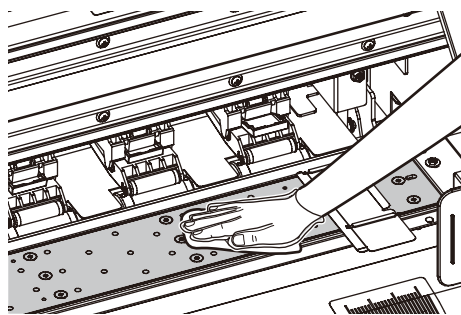
1



フロントカバーを開け、ウエスをプラテン上についたインクの上に置き、インクをしみ込ませます。

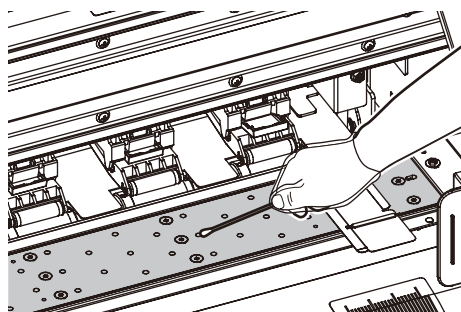
インクが広がらないように注意してインクをウエスにしみ込ませてください。

2



プラテン上についたインクの跡を中性洗剤に湿らせた柔らかい布できれいに拭き取ります。

3



インクがプラテン上のバキューム穴に入り込んでしまった場合には、市販の綿棒*で穴の中に付着したインクをきれいに拭き取り、次に綿棒*に中性洗剤を湿らせてもう一度きれいに拭き取ります。

* 綿棒は、綿部の径が 3mm 程度のものを使用してください。

K 自動印刷調整用のセンサーとイオナイザー周りの清掃

イオナイザーにより生成されるイオンの影響で、自動調整用のセンサー及びイオナイザーの周りにインクミストが付着します。インクミストの付着は、自動印刷調整機能の精度悪化及び印刷物表面へのインクミスト塊落下による印刷物の汚れの原因となりますので、定期的な清掃が必要となります。インクミストの付着量は印刷データやイオナイザーの使用状況により異なります。実施の目安は一年に一度です。

1

プリントデキマス
01:PAPER/1626mm



MAINTENANCE

2

MAINTENANCE
↑キャップクリーニング



3

MAINTENANCE
↑ヘッドメンテナンス



4

>ヘッドメンテナンス
↑ヘッドカクニン



5

>>ヘッドカクニン
OK?



6

キャリッジイトウチュウ
シハラクオマチクタサイ



移動完了

MAINTENANCE キーを押します。



キーを押して、「ヘッドメンテナンス」を選択します。



キーを押します。



キーを押して、「ヘッドカクニン」を選択し、OK キーを押します。



キーを押します。

キャリッジがメンテナンスエリアへ移動します。



警告音が鳴ります

◇ キャリッジが移動する際、警告音が鳴ります。
警告音を鳴らさないようにする場合は、 189 ページを参照してください。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

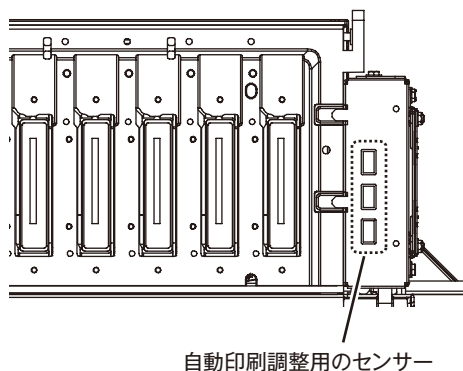
ふろく

7

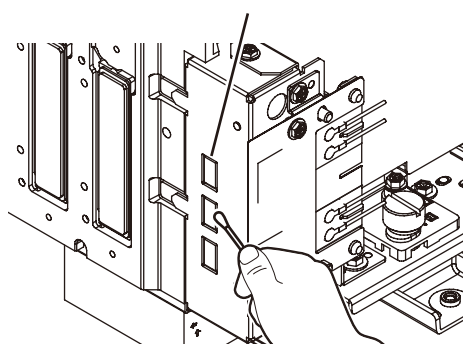
カバーラケテ
ヘッドヲカクニンシテクタサイ



8



自動印刷調整用のセンサー



フロントカバーを開けてから、メンテナンスエリアカバーを開けます。

自動印刷調整用のセンサー表面の汚れを、クリーニング棒で清掃します。

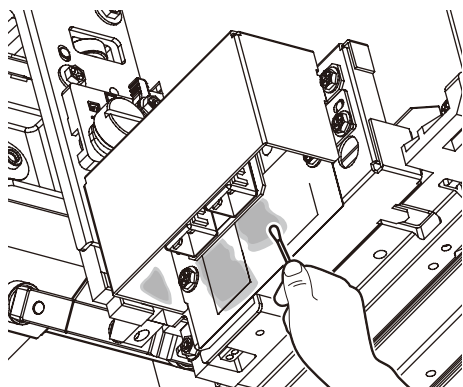
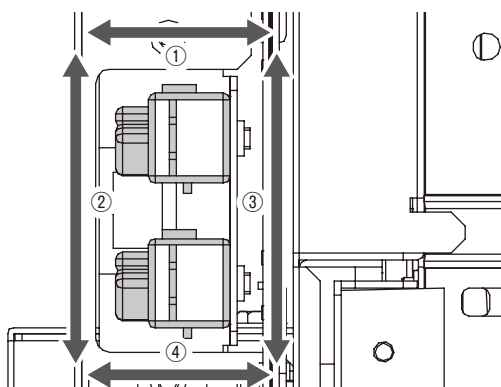
キャリッジの左側底面を見ると、板金に3個の穴が並んでいます。

それぞれの穴の奥に自動印刷調整用のセンサーがありますので、クリーニング棒で表面を軽く擦り、インクミストを落してください。

⚠注意

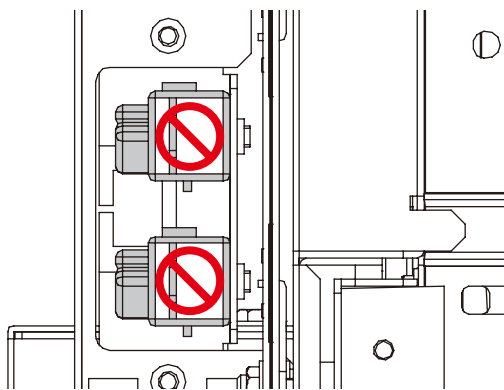
◆ 清掃時に、クリーニング棒には何もつけないでください。
センサーの故障の原因となります。

9



イオナイザーのノズル近傍をクリーニング棒で清掃します。キャリッジ底面からイオナイザーノズル近傍を見ると、イオナイザーのカバー板金の内側にインクミストが集中的に付着している部分が4面(図の①～④)にあります。

汚れている部分をクリーニング棒で擦り、付着した汚れを落としてください。



⚠️ 注意

- ◆ イオナイザーのモジュール（青い部分）の中にはクリーニング棒を挿入しないでください。イオン生成用の電極は細い針金で作られているため、クリーニング棒で触れると簡単に折れ曲がって、イオンを生成することができなくなります。

10

ヘット`ヲカクニンシテ
カハ`ヲシメテクタ`サイ



11

キャリツジ`イト`ウチュウ
シハ`ラクオマチクタ`サイ



移動完了

>ヘット`メンテナンス
↑ヘット`カクニン

メンテナンスエリアカバーを閉めてから、
フロントカバーを閉めます。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

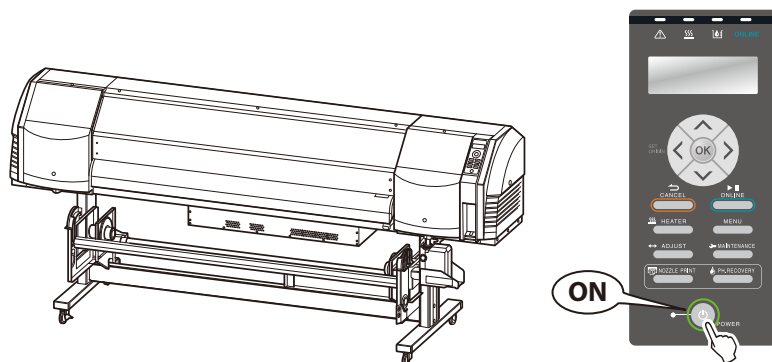
メニューツリー

ふろく

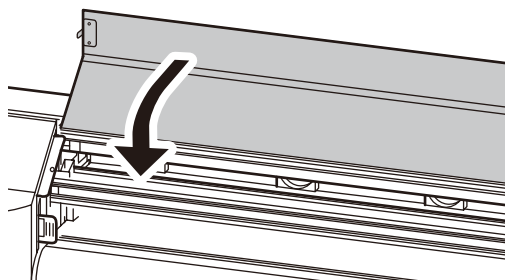
その日使い終わったら

本機は定期的に自動でメンテナンス動作を行います。その日の印刷が終わっても、本機がメンテナンス動作が行えるように、以下の状態にしておいてください。

1. 電源は入れたままにしてください。



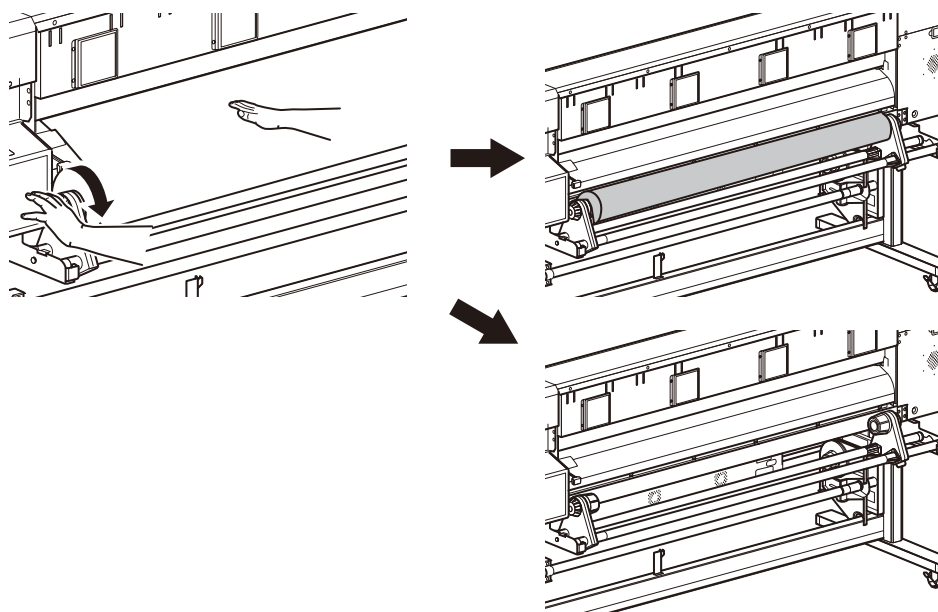
2. フロントカバーは閉じておいてください。



3. メディアは巻き取っておくか、または本機から取り外してください。

メディアを長時間セットしたままにしておくと、プラテン上でしわになったり、グリップ痕が付くことがあります。メディアを良好な状態に保つために、以下の操作をおすすめします。

特に塩ビはシワになりやすいので、必ず巻き取った状態にしておいてください。



印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく



詳細な 取り扱い方法

2 週間以上、本機を使用しない時

本機はプリントヘッドの状態を良好に保つため、装置が待機状態になってから 72 時間経過したのち、フィルキャップ動作を行います。(その後は 3 日毎に行います。)

そのため、本機の電源は常にオンのままにしておくことを推奨いたします。

電源オンのままでも、2 週間以上使用しなかった場合は、以下の手順を参照してヘッドウォッシュ、インク充填、日常メンテナンスを実施する必要があります。

やむを得ず電源オフで長期間使用しない場合は、以下を参照してサービスクリーンを実施後、電源をオフしてください。



フィルキャップとは？

◇ キャップ内にインクを充填してプリントヘッド（ノズル面）をインクで浸し、乾燥によるノズル詰まりを防ぐ機能です。



電源オフ

一時的

数日間

2 週間以上

1 ヶ月以上



電源オン

サービスクリーン

プリントヘッドとインク経路を保管液で洗浄後、保管液を充填した状態で保存します。保管液セットをご用意ください。

本機を 1 ヶ月以上放置する場合は、あらかじめ販売店またはサービス拠点にご相談ください。

電源をオンしたときにサービスコールエラーが表示されますので、販売店または最寄りの弊社サービス拠点までご連絡ください。

ヘッドウォッシュ

洗浄液でプリントヘッドおよびインク経路を洗浄します。洗浄液セットをご用意ください。

インク充填

ヘッドウォッシュを実施後、インクトレイを挿入し、インクを充填します。

日常メンテナンス

日常メンテナンスを実施してください。

⚠ 注意

- ◆ プrintヘッド保護のために、本機にインクが空の状態では 1 ヶ月以上放置することは避けてください。
- ◆ サービスクリーン、ヘッドウォッシュ実行中にフロントカバーや加圧ローラーアップダウンレバーを開閉しないようにしてください。開閉すると、動作を最初からやり直す場合があります、インクやクリーニング液が無駄になる場合があります。

◆ サービスクリーン

1

フﾟリントデキマス
01:PAPER/1626mm

MAINTENANCE

2

MAINTENANCE
↓キャップクリーニング

3

MAINTENANCE
↓ヘッドメンテナンス

4

>ヘッドメンテナンス
↓シートマウントクリーニング

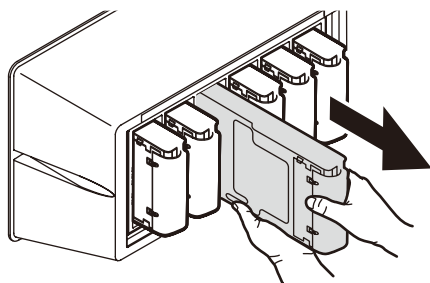
5

>ヘッドメンテナンス
↓サービスクリーン

6

>>サービスクリーン
ボトルカクニン OK?

7



MAINTENANCE キーを押します。

✓ キーを押して、「ヘッドメンテナンス」を選択します。

OK キーを押します。

✓ キーを押して、「サービスクリーン」を選択します。

OK キーを押します。

廃インクボトルが空であることを確認し、

OK キーを押します。

Lc インクカートリッジヲ
ヌイテクタサイ

インクカートリッジを取り出します。

(全てのインクカートリッジを取り出します。)

8

ヌキトリスタート
ホトルカクニン OK?

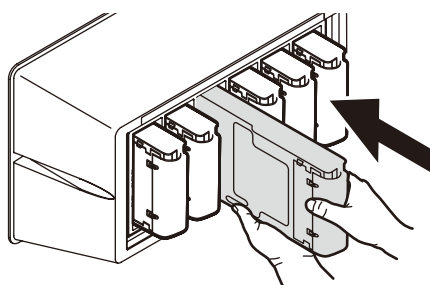


ヌキトリチュウ
ノコリシカン Y:YY

Y:YY :残り時間(分:秒 10秒単位)



9



ホカンエキヲ Lc スロットニ
セットシテクタサイ

保管液カートリッジを全てのスロットに
セットします。

(全ての保管液カートリッジをセットします。)

10

シユウテンスタート
ホトルカクニン OK?



シユウテンチュウ
ノコリシカン Y:YY

Y:YY :残り時間(分:秒 10秒単位)



11

>ヘッドメンテナンス
↑サービスクリーン

廃インクボトルが空であることを確認し、

OK キーを押します。

抜き取りを実行します。

廃インクボトルが空であることを確認し、

OK キーを押します。

手順 7 ~ 10 までを繰り返す。

◆ ヘッドウォッシュ



◇ 別売のインクトレイに予め洗浄液カートリッジをセットしておく、作業をスムーズに行うことができます。

1

プリントデキマス
01:PAPER/1626mm



MAINTENANCE

MAINTENANCE キーを押します。

2

MAINTENANCE
↑キャップクリーニング



✓ キーを押して、「ヘッドメンテナンス」を選択します。

3

MAINTENANCE
↑ヘッドメンテナンス



OK

OK キーを押します。

4

>ヘッドメンテナンス
↑サービススクリーン



✓ キーを押して、「ヘッドウォッシュ」を選択します。

5

>ヘッドメンテナンス
↑ヘッドウォッシュ



OK

OK キーを押します。

6

>>ヘッドウォッシュ
ボトルカクニン OK?

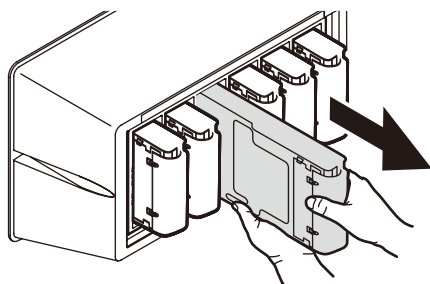


OK

廃インクボトルが空であることを確認し、

OK キーを押します。

7



ホカンエキヲ Lc スロットカラ
ヌイテクタサイ

全ての保管液カートリッジを取り出します。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは...

メニューツリー

ふろく

8

ヌキトリスタート
ホ⁺トルカクニン OK?

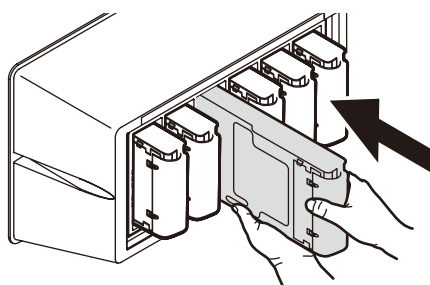


ヌキトリチュウ
ノコリシ⁺カン Y:YY

Y:YY :残り時間(分:秒 10秒単位)



9



センジョウエキヲ Lc スロットニ
セットシテクタ⁺サイ

洗浄液カートリッジを全てのスロットに
セットします。

(全ての洗浄液カートリッジをセットします。)

10

シ⁺ュウテンスタート
ホ⁺トルカクニン OK?

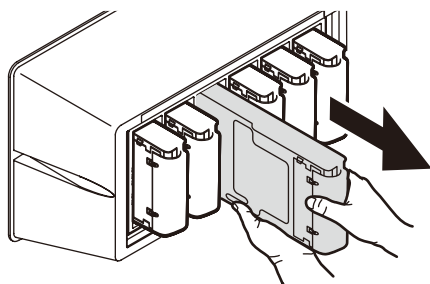


シ⁺ュウテンチュウ
ノコリシ⁺カン Y:YY

Y:YY :残り時間(分:秒 10秒単位)



11



センジョウエキヲ Lc スロットカラ
ヌイテクタ⁺サイ

洗浄液カートリッジを全てのスロットから
取り出します。

廃インクボトルが空であることを確認し、

OK キーを押します。

抜き取りを実行します。

12

又キトリスタート
 ホ^{*}トルカクニン OK?



又キトリチュウ
 ノコリシ^{*}カン Y:YY

Y:YY : 残り時間 (分:秒 10 秒単位)



13

Lc インクヲ
 セットシテクダサイ

廃インクボトルが空であることを確認し、

OK キーを押します。

抜き取りを実行します。

手順 **9** ~ **12** までを繰り返す。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは...

メニューツリー

ふろく

◆ ヘッドウォッシュ後のインク充填

1

フﾟリントデキマス
01:PAPER/1626mm



MAINTENANCE

2

MAINTENANCE
↓キャップクリーニング



3

MAINTENANCE
↓ヘッドメンテナンス



OK

4

>ヘッドメンテナンス
↓サービススクリーン



5

>ヘッドメンテナンス
↓インクジュウテン



OK

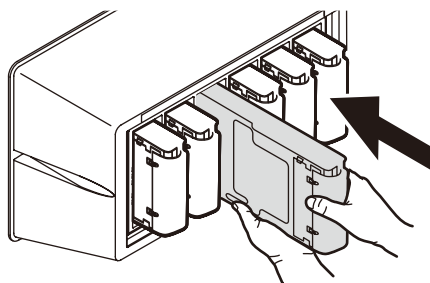
6

>>インクジュウテン
ホﾟトルカクニン OK?



OK

7



MAINTENANCE キーを押します。

✓ キーを押して、「ヘッドメンテナンス」を選択します。

OK キーを押します。

✓ キーを押して、「インクジュウテン」を選択します。

OK キーを押します。

廃インクボトルが空であることを確認し、

OK キーを押します。

Lc インクヲ
セットシテクタサイ

全てのインクカートリッジをセットします。

8

シ^ˆュウテンスタート
ホ^ˆトルカクニ^ˆン OK[?]

○



シ^ˆュウテンチュウ
ノコリジ^ˆカン Y : YY

Y : YY : 残り時間 (分 : 秒 10 秒単位)



9

ク^ˆリーニ^ˆグスタート
ホ^ˆトルカクニ^ˆン OK[?]

○



ク^ˆリーニ^ˆグチュウ
ノコリジ^ˆカン Y : YY

Y : YY : 残り時間 (分 : 秒 10 秒単位)



>ヘッ^ˆトメンテナン^ˆス
↑インクシ^ˆュウテン

○

廃インクボトルが空であることを確認し、

OK キーを押します。

OK キーを押します。

ツウジョウクリーニングが行われます。
 クリーニングが終了すると元の画面に戻ります。

印刷する前に
 知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは...

メニューツリー

ふろく

プリンターの情報を確認する



◇ 印刷中に **MENU** キーを押してプリンター情報を確認した後、通常のパネル表示に戻す場合には、**ONLINE** キーを押します。

◆ インクの残量を確認したい

■ 印刷中に確認する

1

フプリントチュウ
ヒョウジュン ND BI



MENU

MENU キーを押します。

2

MENU
↓ ケイコクジョウホウ



⏵ キーを押して、「インクジョウホウ」を選択します。

3

MENU
↓ インクジョウホウ



OK キーを押します。

4

> インクジョウホウ
↓ インクザンリョウ



OK キーを押します。

5

>> インクザンリョウ
↓ CC XXX%

CC: インク色
XXX%: インク残量

残量（総量－インク使用量）が総量の10%を下回った場合「LOW」を表示します。

⏶、⏵ キーで確認したい色を選びます。

■ 印刷中以外に確認する

1

プリントデキマス
01:PAPER/1626mm



MENU

2

MENU
↓ ショウホウ



OK

3

> ショウホウ
↓ ケイコクジョウホウ



✓

4

> ショウホウ
↓ インクジョウホウ



OK

5

>> インクショウホウ
↓ インクサンリョウ



OK

6

>>> インクサンリョウ
↓ CC XXX%

CC: インク色
XXX%: インク残量

MENU キーを押します。

OK キーを押します。

✓ キーを押して、「インクジョウホウ」を選択します。

OK キーを押します。

OK キーを押します。

残量（総量－インク使用量）が総量の10%を下回った場合「LOW」を表示します。

↑、✓ キーで確認したい色を選びます。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

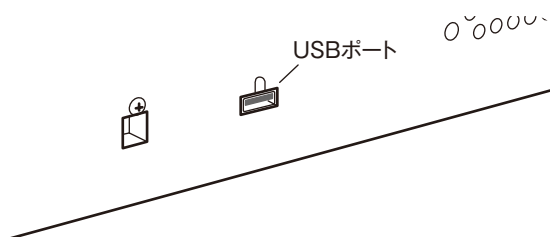
メニューツリー

ふろく

◆ プリンター情報を見たい

メニュー情報を PDF 形式で USB メモリに書き出すことができます。

1



USB ポートに USB メモリを挿入してください。

USB メモリのフォーマットは、FAT32 を推奨します。

2

プリントデキマス
01:PAPER/1626mm



MAINTENANCE

MAINTENANCE キーを押します。

3

MAINTENANCE
↑キャップクリーニング



キーを押して、「ジョウホウ USB シュツリョク」を選択します。

4

MAINTENANCE
↑ジョウホウUSBシュツリョク



OK

OK キーを押します。

5

>ジョウホウUSBシュツリョク
USBメモリーヲ カクニン OK?



OK

OK キーを押します。

>ジョウホウUSBシュツリョク
シッコウチュウ

6

> ショウホウUSBシュツリョク
カンリョウシマシタ



正常に終了した場合は、「カンリョウシマシタ」と表示されます。

OK キーを押します。

書き込みが失敗した場合は、エラーコードが表示されます。

> ショウホウUSBシュツリョク
シッパイシマシタ：XX

XX がエラーコードを指します。
01: USB メモリの空き容量不足です
02: USB メモリが書き込み不可になっています

PDF 出力完了後、元の画面に戻ります。

7

MAINTENANCE
↑ ショウホウUSBシュツリョク

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

◆ メディアの残量を確認したい

■ 印刷中に確認する

1

プリントチュウ
ヒョウジュン ND BI



MENU キーを押します。

2

MENU
↑ ケイコクショウホウ



✓ キーを押して、「メディアザンリョウ」を選択します。

3

MENU
↑ メディアザンリョウ



OK キーを押します。

4

> メディアザンリョウ
XX: NNNNNN YYY.Ym

長さ単位で設定された単位系で表示します。
XX: メディア番号
NNNNNN: メディア名
YYY.Y: 残量

■ 印刷中以外に確認する

1

プリントデキマス
01:PAPER/1626mm



MENU

2

MENU
↓ ジョウホウ



OK

3

> ジョウホウ
↓ ケイコクジョウホウ



✓

4

> ジョウホウ
↓ メディアザンリョウ



OK

5

> メディアザンリョウ
YYY.Ym

長さ単位で設定された単位系で表示します。
YYY.Y: 残量

MENU キーを押します。

✓

キーを押して、「ジョウホウ」を選択し、

OK

キーを押します。

✓

キーを押して、「メディアザンリョウ」を選択します。

OK

キーを押します。

◆ USB の接続状態を確認したい

■ 印刷中に確認する

印刷中に USB の接続状態を確認することはできません。
印刷中以外に確認してください。

■ 印刷中以外に確認する

1 プリントデキマス
01:PAPER/1626mm



MENU

2

MENU
↓ジョウホウ



3

>ジョウホウ
↓ケイコクジョウホウ



4

>ジョウホウ
↓USB



5

>>USB
↓アドレス:XXX

6

>>USB
↓アドレス:XXX



7

>>USB
↓スピード:XXX

MENU キーを押します。

✓ キーを押して、「ジョウホウ」を選択し、

OK キーを押します。

✓ キーを押して、「USB」を選択します。

OK キーを押します。

USB アドレスが表示されます。

アドレスが「000」以外になっていればOKです。

⚠注意

◆ アドレスが「000」と表示された場合、USB ケーブルを接続し直して下さい。

✓ キーを押して、「スピード」を選択します。

転送スピードを確認します。

USB 接続の転送スピードが表示されます。

スピードが「HS」になっていればOKです。

スピードが「FS」と表示された場合、印刷が遅くなります。

◆ システム F/W のバージョンを確認したい

■ 印刷中に確認する

印刷中にシステム F/W のバージョンを確認することはできません。
印刷中以外に確認してください。

■ 印刷中以外に確認する

1

フﾟリントデﾟキマス
01:PAPER/1626mm



MENU

MENU キーを押します。

2

MENU
↓ｼﾞｮｳﾎｳ



OK

✓ キーを押して、「ｼﾞｮｳﾎｳ」を選択し、

OK キーを押します。

3

>ｼﾞｮｳﾎｳ
↓ｹｲｺｸｼﾞｮｳﾎｳ



✓

✓ キーを押して、「バージョン」を選択します。

4

>ｼﾞｮｳﾎｳ
↓ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ



OK

OK キーを押します。

5

>>ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
↓Boot:X.XX



✓

✓ キーを押して、「F/W」を選択します。

6

>>ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
↓F/W:X.XX_YY

システムF/Wのバージョンが表示されます。

◆ プリンターの走行距離を確認したい

■ 印刷中に確認する

1

プリントチュウ
ヒョウジュン ND BI

MENU

2

MENU
↓ ケイコクシヨウホウ

3

MENU
↓ ソウコウキヨリ

4

> ソウコウキヨリ
YYYYYm

長さ単位で設定された単位系で表示します。

MENU キーを押します。

✓ キーを押して、「ソウコウキヨリ」を
選択します。

OK キーを押します。

■ 印刷中以外に確認する

1

プリントデキマス
01 : PAPER / 1626mm

MENU

2

MENU
↓ ショウホウ

3

> ショウホウ
↓ ケイコクシヨウホウ

MENU キーを押します。

✓ キーを押して、「ジョウホウ」を選択し、
OK キーを押します。✓ キーを押して、「ソウコウキヨリ」を
選択します。

4

> ショウホウ
↓ ソウコウキヨリ



OK

OK キーを押します。

5

>> ソウコウキヨリ
YYYYYm

長さ単位で設定された単位系で表示します。

メディアの取り扱い

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

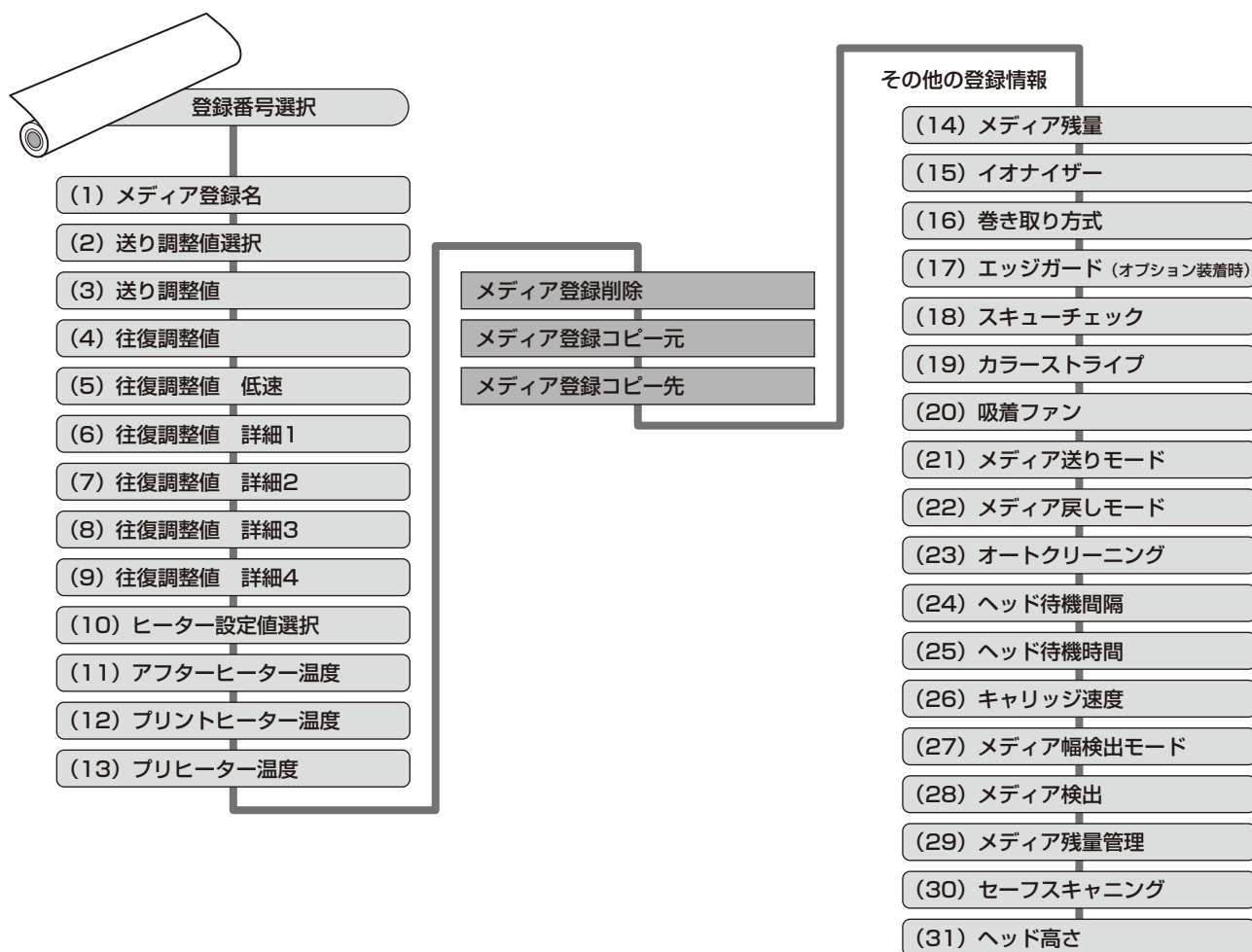
ふろく

◆ メディアを登録したい

トウロクメニューの中に、No.01～20の20種類のメディアを登録することができます。

トウロクメニューは以下のようなメニューの並びになっており、「メディア選択」により編集するメディア No. を変更することができます。

メディアごとに、(1)～(27)の27種類のパラメーターの設定値を保存することができます。



ここでは、メディア番号「02」のメディアに、送り調整値を入力する方法を例にして説明します。

1

プリントデキマス
01:PAPER/1626mm

MENU キーを押します。



MENU

2

MENU
↓ジョウホウ



キーを押して、「メディアトウロク」を選択します。



3

MENU
↑メディアトウロク



(OK) キーを押します。

4

>メディアトウロク
↑トウロクバンゴウセンタク



(OK) キーを押します。

5

>>トウロクバンゴウセンタク
↑01→*01PAPER



(V) キーを押します。

6

>>トウロクバンゴウセンタク
↑01→*02Glossy



(OK) キーを押します。

編集対象のメディアが「01PAPER」から「02Glossy」に変更されました。

7

>>トウロクバンゴウセンタク
↑01→*02Glossy



(CANCEL) キーを押します。

トウロクバンゴウセンタクから抜けます。

8

>メディアトウロク
↑トウロクバンゴウセンタク



(V) キーを押して、「オクリチョウセイチ」を選択します。

9

>メディアトウロク
↑オクリチョウセイチ



(OK) キーを押します。

10

>>オクリチョウセイチ
↑*100.00→100.00%



(←), (→) キーで桁を合わせ、(↑), (↓) キーを押して数値を設定します。

11

>>オクリチョウセイチ
↑*100.00→102.00%



送り調整値を入力し、(OK) キーを押します。

12

>>オクリチョウセイチ
↑*102.00→102.00%



CANCEL

CANCEL キーを押します。

オクリチョウセイチの設定から抜けます。

13

>メディアトウロク
↑オクリチョウセイチ



ONLINE

ONLINE キーを押します。

プリントデキマス
01:PAPER/1626mm

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

■ プリセットメディア初期値

最大 20 種類 (メディア番号 01 ~ 20) のメディアが登録でき、登録したメディアの削除や変更も可能です。ただしメディア番号 01(PAPER) および現在本機にセットされているメディアを削除することはできません。以下に初期値を示します。

メディア番号 設定内容	01	02	03	04	05
メディア登録名	PAPER	Glossy	Matte	Banner	BLT_B
送り調整値選択	データ	データ	データ	データ	データ
送り調整値	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%
往復調整値	全 00	全 00	全 00	全 00	全 00
往復調整値 低速	全 00	全 00	全 00	全 00	全 00
往復調整値 詳細 1	全 00	全 00	全 00	全 00	全 00
往復調整値 詳細 2	全 00	全 00	全 00	全 00	全 00
往復調整値 詳細 3	全 00	全 00	全 00	全 00	全 00
往復調整値 詳細 4	全 00	全 00	全 00	全 00	全 00
ヒーター設定値選択	データ	データ	データ	データ	データ
アフターヒーター温度	**℃	50℃	50℃	50℃	50℃
プリントヒーター温度	**℃	40℃	40℃	40℃	40℃
ブリヒーター温度	**℃	45℃	45℃	45℃	45℃
その他					
メディア残量	0m	0m	0m	0m	0m
イオナイザー (オプション装着時)	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
巻き取り方式	たるみ巻	たるみ巻	たるみ巻	テンション巻	テンション巻
エッジガード	使用する	使用する	使用する	使用する	使用する
スキューチェック	オン	オン	オン	オン	オン
カラーストライプ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
吸着ファン	強	強	強	強	強
メディア送りモード	通常	通常	通常	通常	通常
メディア戻しモード	オン	オン	オン	オン	オン
オートクリーニング	印刷前&印刷後	印刷前&印刷後	印刷前&印刷後	印刷前&印刷後	印刷前&印刷後
ヘッド待機間隔	0 スキャン	0 スキャン	0 スキャン	0 スキャン	0 スキャン
ヘッド待機時間	1 秒	1 秒	1 秒	1 秒	1 秒
キャリッジ速度	標準	標準	標準	標準	標準
メディア幅検出モード	自動	自動	自動	自動	自動
メディア検出	オン	オン	オン	オン	オン
メディア残量管理	管理しない	管理しない	管理しない	管理しない	管理しない
セーフスキャンング	印刷中止	印刷中止	印刷中止	印刷中止	印刷中止
ヘッド高さ	標準	標準	標準	標準	標準

※送り調整値や往復調整値は、お使いのメディアで調整をおこなってください。

◆ 左右の余白をできるだけなくしたい

■ メディアエッジガードの使用を「未使用」にする

1

フ^リントデ^キマス
01:PAPER/1626mm



MENU

MENU キーを押します。

2

MENU
↓シ^ョウホウ



キーを押して、「メディアトウロク」を選択します。

3

MENU
↓メ^ディアトウロク



OK キーを押します。

4

>メ^ディアトウロク
↓トウロクバンコ^ウセンタク



キーを押して、「ソノタノトウロクジ^ョウホウ」を選択します。

5

>メ^ディアトウロク
↓ソノタノトウロクジ^ョウホウ



OK キーを押します。

6

>>ソノタノトウロクジ^ョウホウ
↓メ^ディアサ^ンリョウ



キーを押して、「エッジガード」を選択します。

7

>>ソノタノトウロクジ^ョウホウ
↓エ^ッジ^ガード



OK キーを押します。

8

>>>エ^ッジ^ガード
↓シ^ョウスル



キーを1回押します。

9

>>>エッジガード
↓シヨウシナイ



10

>>>エッジガード
↓シヨウシナイ



11

>>ソノタノトウロクシヨウホウ
↓エッジガード



プリントデキマス
01:PAPER/1626mm

OK キーを押します。

CANCEL キーを押します。

エッジガードの設定から抜けます。

ONLINE キーを押します。

■ カラーストライプの印刷をオンにする

1

プリントデキマス
01:PAPER/1626mm



2

MENU
↓シヨウホウ



3

MENU
↓メディアトウロク



4

>メディアトウロク
↓トウロクバンゴウセンタク



MENU キーを押します。

✓ キーを押して、「メディアトウロク」を選択します。

OK キーを押します。

✓ キーを押して、「ソノタノトウロクシヨウホウ」を選択します。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは...

メニューツリー

ふろく

5

>メディアトウロク
↓ソノタノトウロクシヨウホウ



OK キーを押します。

6

>>ソノタノトウロクシヨウホウ
↓メディアサリョウ



✓ キーを押して、「カラーストライプ」を選択します。

7

>>ソノタノトウロクシヨウホウ
↓カラーストライプ



OK キーを押します。

8

>>>カラーストライプ
↓オフ



✓ キーを 1 回押します。

9

>>>カラーストライプ
↓オン



OK キーを押します。

10

>>>カラーストライプ
↓オン



CANCEL キーを押します。

カラーストライプの設定から抜けます。

11

>>ソノタノトウロクシヨウホウ
↓カラーストライプ



ONLINE キーを押します。

プリントデキマス
01:PAPER/1626mm

◆ メディアの張り付きやしわをなくしたい

■ プラテンのファンの風量を弱くする場合

プラテンにメディアを吸着させる力（ファンの風量）を「弱」にします。コシの弱いメディアなどで、シワが発生する場合は「ジャク」を選択してください。

1

フﾟリントデ´キマス
01:PAPER/1626mm



MENU

MENU キーを押します。

2

MENU
↓ｼﾞｮｳﾎｳ



✓ キーを押して、「メディアトウロク」を選択します。

3

MENU
↓ﾒﾃﾞｨｱﾄｳﾛｸ



OK キーを押します。

4

>ﾒﾃﾞｨｱﾄｳﾛｸ
↓ﾄｳﾛｸﾊﾞﾝｺﾞｳｾﾝﾀｸ

✓ キーを押して、「ソノタノトウロク
ｼﾞｮｳﾎｳ」を選択します。

5

>ﾒﾃﾞｨｱﾄｳﾛｸ
↓ソﾉﾀﾉﾄｳﾛｸｼﾞｮｳﾎｳ



OK キーを押します。

6

>>ソﾉﾀﾉﾄｳﾛｸｼﾞｮｳﾎｳ
↓ﾒﾃﾞｨｱｻﾞﾝﾘｮｳ



✓ キーを押して、「キュウチャクファン」を選択します。

7

>>ソﾉﾀﾉﾄｳﾛｸｼﾞｮｳﾎｳ
↓ｷｭｳﾁｬｸﾌｧﾝ



OK キーを押します。

8

>>>キューチャクファン

↓チュウ

○



✓ キーを 1 回押します。

9

>>>キューチャクファン

↓ジャク



OK キーを押します。

10

>>>キューチャクファン

↓ジャク

○



CANCEL キーを押します。

キューチャクファンの設定から抜けます。

11

>>ソノタノトウロクシヨウホウ

↓キューチャクファン

○



ONLINE キーを押します。

フ°リントデ°キマス

01:PAPER/1626mm

■ メディアの送りモードを変更する場合

使用するメディアによっては、メディアがブラテンやアフターペーパーガイドに張り付いて、スムーズにメディアが搬送できない場合があります。

このような場合は、メディア送りモードの設定を変更することで改善することができます。

メディア張り付きの程度によって、必要とする引き剥がし動作の度合いが変わります。

ご使用のメディアの張り付き度合いに応じて、メディア送りモードを変更してご使用ください。

ツウジョウ	通常のメディア送り出しを実施します。
ヒキハガシ ジャク	印刷開始時、ポーズ解除時のメディアの送り出しで引き剥がし動作を実施します。 このモードを利用する場合は、次の項目も必ず同時に設定してください。 ・マキトリハウシキをタルミマキにする。 (□ 58 ページ の「テンション巻き方式／たるみ巻き方式の設定手順」を参照)
ヒキハガシ キョウ	ヒキハガシ ジャクの動作に加え、毎スキャンのメディアの送り出しでも引き剥がし動作を実施します。 このモードを利用する場合は、次の項目も必ず同時に設定してください。 ・マキトリハウシキをタルミマキにする。 (□ 58 ページ の「テンション巻き方式／たるみ巻き方式の設定手順」を参照)
シワケイゲン	前回の印刷終了から 5 分以上経過していた場合に、55cm のメディアフィードをしてから印刷を開始します。それ以外の動作は、ツウジョウと同じです。 ソルベント用コート紙を使用する場合のしわ対策モードです。



◇「ヒキハガシ ジャク」、「ヒキハガシ キョウ」を選択した場合、印刷速度が「ツウジョウ」に比べて遅くなります。

巻き取り方式	たるみ巻き	テンション巻き
吸着ファン	キョウ（推奨）	キョウ（推奨）
メディア送りモード	ツウジョウ ヒキハガシ ジャク ヒキハガシ キョウ シワケイゲン	ツウジョウ シワケイゲン
（対象メディア）	（塩ビ、コート紙）	（ターポリン）
内巻き 	 使用できません	 使用できます
外巻き 	 使用できます	 使用できます

1

フﾟリントデ´キマス
01:PAPER/1626mm



MENU

MENU キーを押します。

2

MENU
↑ｼﾞョウホウ



✓ キーを押して、「メディアトウロク」を選択します。

3

MENU
↑メ´ディアトウロク



OK

OK キーを押します。

4

>メ´ディアトウロク
↑トウロクバンｺﾞウセンタク



✓ キーを押して、「ソノタノトウロクｼﾞョウホウ」を選択します。

5

>メ´ディアトウロク
↑ソノタノトウロクｼﾞョウホウ



OK

OK キーを押します。

6

>>ソノタノトウロクシヨウホウ
↓メディアサリョウ



7

>>ソノタノトウロクシヨウホウ
↓メディアオクリモード



8

>>>メディアオクリモード
↓ツウシヨウ



9

>>>メディアオクリモード
↓ヒキハガシシヤク



10

>>>メディアオクリモード
↓ヒキハガシシヤク



11

>>ソノタノトウロクシヨウホウ
↓メディアオクリモード



プリントデキマス
01:PAPER/1626mm



キーを押して、「メディアオクリモード」を選択します。



キーを押します。



、 キーを押して、設定したいシーケンスを選択します。



キーを押します。



キーを押します。

メディアオクリモードの設定から抜けます。



キーを押します。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

◆ メディアの浮き上がりを防止したい

プラテンにメディアを吸着させる力（ファンの風量）を「強」にします。

1

プリントデキマス
01:PAPER/1626mm



キーを押します。

2 MENU
↓ ショウホウ



3 MENU
↓ メディアトウロク



4 > メディアトウロク
↓ トウロクバンコウセンタク



5 > メディアトウロク
↓ ソノタノトウロクショウホウ



6 >> ソノタノトウロクショウホウ
↓ メディアサンリョウ



7 >> ソノタノトウロクショウホウ
↓ キュウチャクファン



8 >>> キュウチャクファン
↓ チュウ



9 >>> キュウチャクファン
↓ キョウ



10 >>> キュウチャクファン
↓ キョウ



⏵ キーを押して、「メディアトウロク」を選択します。

OK キーを押します。

⏵ キーを押して、「ソノタノトウロクショウホウ」を選択します。

OK キーを押します。

⏵ キーを押して、「キュウチャクファン」を選択します。

OK キーを押します。

⏶、⏵ キーを押して、「キョウ」を選択します。

OK キーを押します。

CANCEL キーを押します。

キュウチャクファンの設定画面から抜けます。

11

>>ソノタノトウロクジヨウホウ
↓キュウチャクファン



ONLINE

ONLINE キーを押します。

プリントデキマス
01:PAPER/1626mm

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは...

メニューツリー

ふろく

◆ 厚いメディアに印刷したい

■ プリントヘッドの高さを変える

厚いメディアに印刷する場合はプリントヘッドとメディアがこすれないようにプリントヘッドの高さを変える必要があります。

メディアの厚さに応じて、プリントヘッドの高さを切り替えて使用してください。

プリントヘッドの高さの切り替えは、ヘッド上下機構を使って行います。

ヘッド高さの切り替えは、以下の手順で行います。

- ① メディアトウロクメニューから、ヘッドタカサの設定を「タカイ」に変更します。
- ② ヘッドメンテナンスメニューのヘッドタカサキリカエを実行して、プリントヘッドの高さを切り替えます。

① ヘッド高さの設定を変更する

1

プリントデキマス
01:PAPER/1626mm



MENU

MENU キーを押します。

2

MENU
↓ジョウホウ



✓ キーを押して、「メディアトウロク」を選択します。

3

MENU
↓メディアトウロク



OK キーを押します。

4

>メディアトウロク
↓トウロクバンゴウセンタク



✓ キーを押して、「ソノタノトウロクジヨウホウ」を選択します。

5

>メディアトウロク
↓ソノタノトウロクシヨウホウ



(OK) キーを押します。

6

>>ソノタノトウロクシヨウホウ
↓メディアサリョウ



(✓) キーを押して、「ヘッドタカサ」を選択します。

7

>>ソノタノトウロクシヨウホウ
↓ヘッドタカサ



(OK) キーを押します。

8

>>>ヘッドタカサ
↓ヒョウシユン



(✓) キーを 1 回押します。

9

>>>ヘッドタカサ
↓タカイ



(OK) キーを押します。

10

>>>ヘッドタカサ
↓タカイ



(CANCEL) キーを押します。

ヘッドタカサの設定画面から抜けます。

11

>>ソノタノトウロクシヨウホウ
↓ヘッドタカサ



(ONLINE) キーを押します。

プリントデキマス
01:PAPER/1626mm

② プリントヘッドの高さを切り替える

1

フ°プリントデ°キマス
01:PAPER/1626mm



MAINTENANCE

2

MAINTENANCE
↑キャップ°クリーニング°



3

MAINTENANCE
↑ヘッド°メンテナンス



4

>ヘッド°メンテナンス
↑シートマウントクリーニング°



5

>ヘッド°メンテナンス
↑ヘッド°タカサキリカエ



6

>>ヘッド°タカサキリカエ
OK?



キャリッジ°イト°ウチュウ
シハ°ラクオマチクタ°サイ



移動完了

MAINTENANCE キーを押します。

✓ キーを押して、「ヘッドメンテナンス」を選択します。

OK キーを押します。

✓ キーを押して、「ヘッドタカサキリカエ」を選択します。

OK キーを押します。

OK キーを押します。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは...

メニューツリー

ふろく

7

(メディアがセットされている場合)

- ・メディア登録のヘッドタカサが「ヒョウジュン」に設定されている

カバーラアケテヘッドタカサ
ヒョウジュンニシテクタサイ

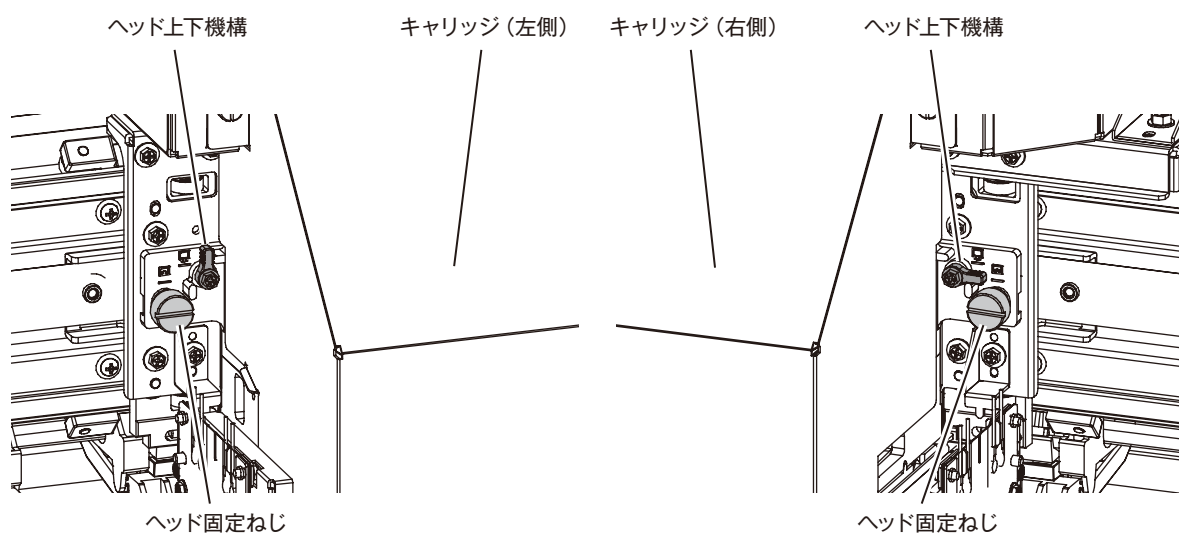
- ・メディア登録のヘッドタカサが「タカイ」に設定されている

カバーラアケテヘッドタカサ
タカイニシテクタサイ

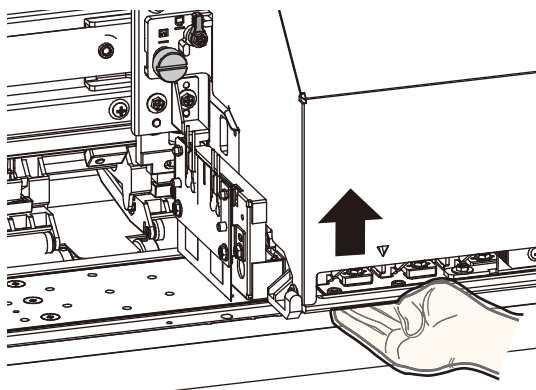
(メディアがセットされていない場合)

カバーラアケテヘッドタカサ
キリカエテクタサイ

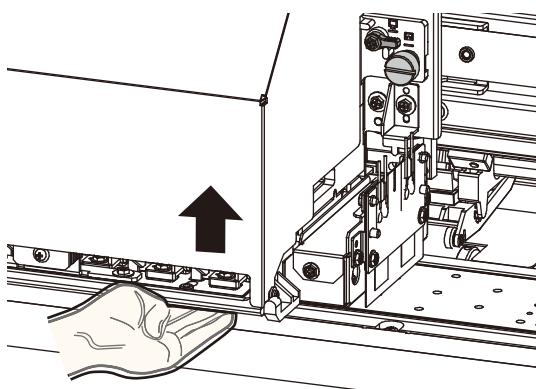
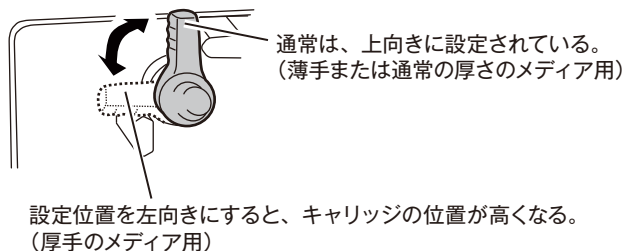
フロントカバーとメンテナンスエリアカバーを開け、ヘッド固定ねじ2本をゆるめます。



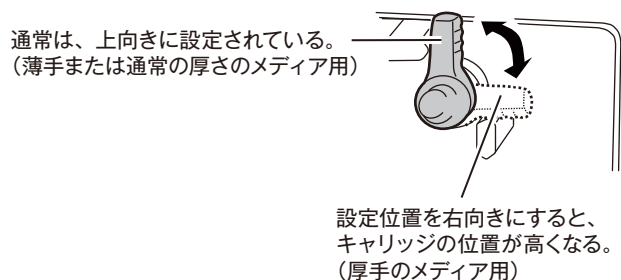
8



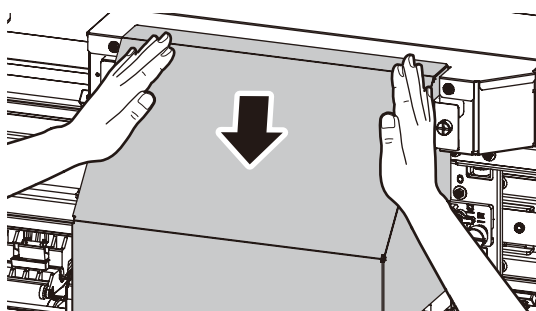
ヘッド上下機構の設定位置



ヘッド上下機構の設定位置



9



キャリッジの手前を持ち上げながら、左のヘッド上下機構使って切り替えます。



参考

◇ 手が汚れないよう手袋をして操作することをお勧めします。

次にキャリッジの手前を持ち上げながら、右のヘッド上下機構を使って切り替えます。



参考

◇ ヘッド上下機構を左右とも横向きに設定すると、キャリッジの位置は、約 0.5mm 高くなります。一般的に光沢塩ビ・マット塩ビは通常の高さ、ターポリン、FF は高い設定で使用します。メディアの厚さが 0.5mm 以上ある場合は、メディアの種類にかかわらず高い設定にしてください。また、薄手のメディアでも、メディアのシワや浮き等によりプリントヘッドとこすれる場合は、高い設定で使用してください。

ヘッド上下機構の位置を切り替えた後、手で軽くキャリッジを下方に押し付けてください。



注意

◆ この操作を行わないと、プリントヘッドの高さが正確に切り替わらないことがあります。

10

ヘッド固定ねじ2本を締めます。

⚠注意

- ◆ ヘッド固定ネジはマイナスドライバーなどを使い、緩まないようしっかりと締めてください。
- ヘッド固定ネジが緩い場合、ヘッド高さが左右で傾いたりして、印刷結果に影響が出る場合があります。

11

ヘッドタカサキリカエコ
カバーヲシメテクタイ



キャリッジイトウチュウ
シバラクオマチクタイ



移動完了

12

タカサ ニュウリョクシテクタイ
↑ヒョウシユン



⬆、⬇ キーを押して、「タカイ」を選択します。

13

タカサ ニュウリョクシテクタイ
↑タカイ



ⓐ キーを押します。

14

ヘッドタカサ：タカイ
カクテイシマスカ OK?



ⓐ キーを押します。

15

>ヘッドメンテナンス
↑ヘッドタカサチョウセイ

⚠注意

- ◆ ヘッド固定ねじ2本をしめたままヘッド上下機構を動かさないでください。ヘッド上下機構が破損する場合があります。
- ◆ プリントヘッドの高さを変更すると、双方向印刷での印刷ずれが起きる場合があります。その場合、ADJUSTの「オウフクチョウセイ」で、往復調整をおこなってください。
- ◆ プリンターの側板とキャリッジとの隙間が狭く、ヘッド上下機構やヘッド固定ねじに手が届かない場合は、手でキャリッジを右（または左）に移動させてください。
- ◆ ヘッド固定ねじがゆるんだ状態でキャリッジが動くと、メディアやエッジガードとこすれて、画質不良・故障の原因になりますので、左右のヘッド固定ねじをしめたことを確認してください。
- ◆ ヘッド上下機構は両方同時に操作して下さい。また、必ず両方同じ位置にしてください。
- ◆ ヘッド高さの調整中は警告音が鳴ります。

◆ メディアのしわを検出した場合の動作を変えたい

プリントヘッドがメディアに接触して印刷物を汚さないように、プリントヘッドとメディアの接触を検知したら印刷を止めることができます。メディアの特性に合わせてモードを選択してください。

インサツ チュウシ (初期値)	メディアとヘッドの接触を検知すると、すぐに印刷を停止します。 印刷が停止したことを、警告音とパネル表示にて通知します。 印刷停止後に印刷を再開することはできませんので、メディアを再セット後、再度印刷を行ってください。
インサツ テイシ	メディアとヘッドの接触を検知すると、印刷を一旦停止し、プリントヘッドをキャップします。 印刷が一旦停止したことを、警告音とパネル表示にて通知します。 メディアの状態を確認し、しわ等が発生している場合は、しわを取り除いた後、印刷を再開することができます。
インサツ ケイコク&テイシ	メディアとヘッドの接触を連続で5回検知すると、印刷を一旦停止し、プリントヘッドをキャップします。 メディアとヘッドの接触を検知した時点で、警告音とパネル表示にて通知します。 また、印刷が一旦停止した場合は、警告音とパネル表示にて通知します。 メディアの状態を確認し、しわ等が発生している場合は、しわを取り除いた後、印刷を再開することができます。
インサツ ケイコク&ゾッコウ	メディアとヘッドの接触を検知しても、印刷を続行します。 但し、メディアとヘッドの接触を検知した時点で、警告音とパネル表示にて通知します。 接触を検知なくなると、警告音と操作パネルでの通知は止まります。 マニュアル操作で印刷を停止させ、しわを取り除いた後、印刷を再開することができます。

⚠ 注意

セーフ スキャンングの設定を「インサツ チュウシ」にした場合、以下に注意してください。

- ◆ 印刷が停止した時は、プリントヘッドの乾燥を防ぐために、速やかにメディアの再セットを実施してください。

セーフ スキャンングの設定を「インサツ ケイコク&ゾッコウ」にした場合、以下に注意してください。

- ◆ プリントヘッドとメディアの接触を検知したことを知らせる警告が出た状態で、長時間印刷を行うと、プリントヘッドにダメージを与えることがあります。

セーフ スキャンングの設定を「インサツ テイシ」または「インサツ ケイコク&テイシ」にした場合、以下に注意してください。

- ◆ 印刷が一旦停止した後で印刷を再開する場合は、メディアのしわを取り除いてから再開するようにしてください。
- ◆ 印刷を再開した後、印刷抜けが発生した場合は、プリントポーズしてクリーニングを実施してください。

1

プリントデキマス
01:PAPER/1626mm

MENU キーを押します。



MENU

2

MENU
↑ ショウホウ



キーを押して、「メディアトウロク」を選択します。



3

MENU
↑ メディアトウロク



キーを押します。



印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは...

メニューツリー

ふろく

4

>メディアトウロク
↓トウロクハンゴウセンタク



キーを押して、「ソノタノトウロク
ジヨウホウ」を選択します。

5

>メディアトウロク
↓ソノタノトウロクジヨウホウ



キーを押します。

6

>>ソノタノトウロクジヨウホウ
↓メディアザンリョウ



キーを押して、「セーフスキャンニング」
を選択します。

7

>>ソノタノトウロクジヨウホウ
↓セーフスキャンニング



キーを押します。

8

>>>セーフスキャンニング
↓インサツチュウシ



キーを 1 回押します。

9

>>>セーフスキャンニング
↓インサツテイシ



キーを押します。

10

>>>セーフスキャンニング
↓インサツテイシ



キーを押します。

セーフスキャンニングの設定から抜けます。

11

>>ソノタノトウロクジヨウホウ
↓セーフスキャンニング



キーを押します。

プリントデキマス
01:PAPER/1626mm

◆ 印刷物のミスト汚れを防ぎたい（オプション装着時）

ミスト汚れが発生するメディアに対してイオナイザーを「オン」に設定します。
すべてのメディアに対して「オン」に設定するのではなく、メディアの特性に合わせてモードを選択してください。
イオナイザーを「オン」に設定すると、印刷中に自動印刷調整用の青色 LED が点灯します。



- ◇ 以下のような現象が発生した時に、イオナイザーをオンに設定すると効果がある場合があります。
- ・ 静電気が発生しやすいメディアを使用時に、メディア上にインクのボタ落ちが発生する場合。
 - ・ メディアに帯電した静電気が原因で印刷物にニジミが発生したり、メディアの白地がインクのミストで汚れる場合。

1

フプリントデキマス
01:PAPER/1626mm

MENU キーを押します。



MENU

2

MENU
↓ジョウホウ

✓ キーを押して、「メディアトウロク」を選択します。



3

MENU
↓メディアトウロク

OK キーを押します。



4

>メディアトウロク
↓トウロクバンゴウセンタク

✓ キーを押して、「ソノタノトウロク
ジョウホウ」を選択します。



5

>メディアトウロク
↓ソノタノトウロクジョウホウ

OK キーを押します。



6

>>ソノタノトウロクジョウホウ
↓メディアサンリョウ

✓ キーを押して、「イオナイザー」を選択します。



7

>>ソノタノトウロクジョウホウ
↓イオナイザー

OK キーを押します。



印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは...

メニューツリー

ふろく

8

>>>イオナイザー

↓ オフ



キーを押して、「オン」を選択します。

9

>>>イオナイザー

↓ オン



キーを押します。

10

>>>イオナイザー

↓ オン



キーを押します。

イオナイザー設定から抜けます。

11

>>ソノタノトウロクシ ヨウホウ

↓ イオナイザー



キーを押します。

フ°リントデ°キマス

01:PAPER/1626mm

◆ オートクリーニングのタイミングを変えたい

プリントヘッドの状態を良好に保つために、プリンターが自動で実行するクリーニングのモードを、登録されているメディアごとに変更することができます。メディアの特性に合わせてモードを選択してください。

インサツマエ& インサツゴ	過去の印刷履歴に基づいて、印刷開始時もしくは印刷終了時に、オートクリーニングを実行します。
インサツマエ& インサツトチュウ	過去の印刷履歴に基づいて、印刷開始時もしくは印刷の途中で、オートクリーニングを実行します。 クリーニング後、プリンターは中断していた印刷の残りを開始します。
オフ	オートクリーニングを実行しません。次のような場合に設定してください。 ・ 複数データを連続印刷する際に、途中でオートクリーニングが入ると、データごとの印刷結果が著しく変化するようなメディアを使用する場合。 オフを選択した場合は、お客様の判断により、適時、手動でのクリーニングを実行してください。

⚠ 注意

オートクリーニングの設定を「オフ」にした場合、以下に注意してください。

- ◆ クリーニングを長時間実施しない場合、印刷抜けが起こる場合があります。
- ◆ 印刷抜けを防ぐために、「クリーニングノ ジッシヲ オススメシマス」のパネル表示にしたがって、手動でのクリーニングを実行してください。

ここでは、メディア番号2に登録されているメディアのオートクリーニングを「インサツマエ&インサツトチュウ」にする方法を例にして説明します。

1

プリントデキマス
01:PAPER/1626mm



MENU

MENU キーを押します。

2

MENU
↑シヨウホウ



✓ キーを押して、「メディアトウロク」を選択します。

3

MENU
↑メディアトウロク



OK キーを押します。

4

>メディアトウロク
↑トウロクバンゴウセンタク



✓ キーを押して、「ソノタノトウロクジヨウホウ」を選択します。

5

>メディアトウロク
↑ソノタノトウロクジヨウホウ



OK キーを押します。

6

>>ソノタノトウロクジヨウホウ
↑メディアザンリョウ



✓ キーを押して、「オートクリーニング」を選択します。

7

>>ソノタノトウロクジヨウホウ
↑オートクリーニング



OK キーを押します。

8

>>>オートクリーニング
↑*オフ



⬆、⬇ キーを押して、「インサツマエ&インサツトチュウ」を選択します。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは...

メニューツリー

ふろく

9

>>>オートクリーニング*
↓インサツマエ&インサツトチュウ



OK キーを押します。

10

>>>オートクリーニング*
↓*インサツマエ&インサツトチュウ



CANCEL キーを押します。

オートクリーニング設定から抜けます。

11

>>ソノタノトウロクシヨウホウ
↓オートクリーニング*



ONLINE キーを押します。

プリントデキマス
01:PAPER/1626mm

◆ 登録されているメディアをコピーしたい

ここでは、メディア番号2番に登録されているパラメーターをメディア番号10番にコピーする方法を一例にして説明します。

1

プリントデキマス
01:PAPER/1626mm



MENU キーを押します。

2

MENU
↓シヨウホウ



✓ キーを押して、「メディアトウロク」を選択します。

3

MENU
↓メディアトウロク



OK キーを押します。

4

>メディアトウロク
↓トウロクバンゴウセンタク



✓ キーを押して、「メディアトウロクコピー」を選択します。

5

>メディアトウロク
↓メディアトウロク コピー



OK キーを押します。

6

>>メディアトウロク コピー
↓01→01:PAPER



↑、**↓**、**←**、**→** キーを押してコピー元を選択します。

コピー元番号とコピー先番号のメディアを選択します。

7

>>メディアトウロク コピー
↓02→10:TYPE10



OK キーを押します。

8

>>メディアトウロク コピー
↓02→10:TYPE10 OK?



OK キーを押します。

9

>>メディアトウロク コピー
↓02→10:TYPE10



CANCEL キーを押します。

メディアトウロク コピーから抜けます。

10

>メディアトウロク
↓メディアトウロク コピー



ONLINE キーを押します。

フ°リントデ°キマス
01:PAPER/1626mm

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは...

メニューツリー

ふろく

◆ メディアをセットし直さずに、登録したメディアの種類を切り替えたい

ここでは、メディア番号 01 番の PAPER から、メディア番号 02 番の Glossy に切り替える方法を一例にして説明します。



メディアごとに設定される 24 種類のパラメータも、切り替え後のメディア（ここでは 02 : Glossy）の値が、印刷時に利用する値として自動的に読み込まれます。

1

フ・リントデ・キマス
01 : PAPER / 1626mm

MENU キーを押します。



MENU

2

MENU
↓ ジョウホウ

✓ キーを押して、「メディアトウロクヘンコウ」を選択します。



3

MENU
↓ メディアトウロクヘンコウ

OK キーを押します。



4

> メディアトウロクヘンコウ
↓ 01 → 01 : PAPER

↑、**✓** キーを押して、設定したいメディアを選択します。



5

> メディアトウロクヘンコウ
↓ 01 → 02 : Glossy

OK キーを押します。



6

> メディアトウロクヘンコウ
↓ 02 → 02 : Glossy

CANCEL キーを押します。

メディアトウロクヘンコウから抜けます。



CANCEL

7

> MENU
↓ メディアトウロクヘンコウ

ONLINE キーを押します。



ONLINE

フ・リントデ・キマス
02 : Glossy / 1626mm

◆ メディアを送りたい／戻したい

送り／戻しは、オンライン状態（アイドルモード）から操作をおこなうことができます。

1

プリントデキマス
01:PAPER/1626mm

↓  または  を押し続ける

 キーまたは、 キーを押して続けます。

メディアを送りたい場合は、 キーを押します。

メディアを戻したい場合は、 キーを押します。

2

 キーを押した場合

メディアフィード・チュウ

 キーを押した場合

メディアバックフィード・チュウ

↓  または  から手を離す

 キーまたは、 キーから手を離します。

メディアの送り／戻しが止まり、オンライン状態に戻ります。

プリントデキマス
01:PAPER/1626mm

◆ 印刷の書き出し位置を移動させたい

一度印刷したメディアを巻き戻し、印刷の開始原点を設定し直して余白部分に印刷することによって、余白部分を有効に活用することができます。

⚠ 注意

- ◆ この作業はできるだけ短時間で行ってください。短時間で行えなかった場合は、プリントヘッドが乾燥し、吐出不良を起こす可能性があるため、クリーニングを行ってください。

1

メディアバックフィード・チュウ

↓ 

メディアを戻します。

( 180 ページの「◆メディアを送りたい／戻したい」)

⚠ 注意

- ◆ メディアを戻す際は、印刷済みの画像イメージが十分に乾いた状態で行ってください。
乾燥が不十分な状態で本機能を使用すると、1回目の印刷画像イメージが損なわれる場合があります。

2

フ^リントデ^キマス
01:PAPER/1626mm



◀キーを押します。

3

ゲ^ンテンセ^ッテイヲカ^イシシマス
OK?



OKキーを押します。

4

ゲ^ンテンセ^ッテイ
キャリ^ッジイト^ウチュウ



キャリッジが移動し、原点設定可能状態になります。

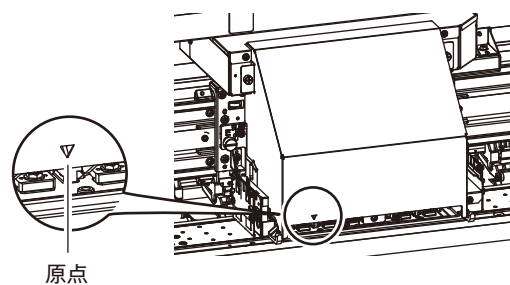
5

ゲ^ンテンセ^ッテイ
OK?



◀、▶キーを押して、原点に設定したい位置までキャリッジを移動させます。

キャリッジカバー前面左下の「▽マーク」を原点にする位置に合わせてください。



6

ゲ^ンテンセ^ッテイ
キャリ^ッジイト^ウチュウ



7

ゲ^ンテンセ^ッテイ
OK?



OKキーを押して原点設定を確定します。

キャリッジが戻り、印刷可能な状態（オンライン状態表示）になります。

ゲ^ンテンセ^ッテイチュウ
シハ^ラクオマ^チクダ^サイ



フ・リントデ・キマス
01:PAPER/1626mm ○

原点設定モードの時は、メディア幅の横に○印が付きます。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

◆ 原点設定モードの解除

設定した原点を解除するには、メディアをセットし直すか、または以下の操作をすることで原点設定モードを解除することができます。

1

フ・リントデ・キマス
01:PAPER/1626mm ○



原点設定モードのオンライン(アイドル)状態で、 キーを押します。

2

ゲ・ンテンヲカイシヨシマス
OK? ○



キーを押して、原点設定モードを解除します。

3

フ・リントデ・キマス
01:PAPER/1626mm

○印が消えます。

◆ 印刷が始まる直前に前の余白を調節したい

印刷を開始する際のプリヒート中にメディアを送り/戻しすることで、前の印刷結果との余白を調節することができます。



ひとたび印刷(スキャン)が始まってしまうと、そのジョブが終了するまで、この機能はお使いいただけません。

1

フ・リヒートチュウ
ヒョウジュン ND UNI



印刷を開始する際のプリヒート中に キーを押します。

2

ホ・ース・チュウ
01:PAPER/1626mm



プリントポーズモードになったら、 キーを押し続けます。

3

メディアフィードチュウ



キーを離す



キーを離すとメディアの送りが止まります。

4

ホースチュウ

01:PAPER/1626mm



ONLINE

ONLINE

キーを押すと印刷を再開します。

5

フリヒートチュウ

ヒョウジュン ND UNI



キーを押すことによってメディアを戻すこともできます。

◆ 印刷の書き出し位置（余白量）を固定にしたい

スキューチェックの設定をオンからオン（ヨハクコテイ）に変えることで、メディアが蛇行しても各ジョブのメディア端からの書き出し位置（余白量）を固定にすることができます。

1

プリントデキマス

01:PAPER/1626mm



MENU

MENU

キーを押します。

2

MENU

↓シヨウホウ



キーを押して、「メディアトウロク」を選択します。

3

MENU

↓メディアトウロク



キーを押します。

4

>メディアトウロク

↓トウロクハンゴウセンタク



キーを押して、「ソノタノトウロクジヨウホウ」を選択します。

5

>メディアトウロク

↓ソノタノトウロクジヨウホウ



キーを押します。

6

>>ソノタノトウロクシヨウホウ
↓メディアサリヨウ



7

>>ソノタノトウロクシヨウホウ
↓スキューチェック



8

>>>スキューチェック
↓*オン



9

>>>スキューチェック
↓オン (ヨハクコテイ)



10

>>>スキューチェック
↓*オン (ヨハクコテイ)



11

>>ソノタノトウロクシヨウホウ
↓スキューチェック



プリントデキマス
01:PAPER/1626mm



キーを押して、「スキューチェック」を選択します。



キーを押します。



、 キーを押して、「オン (ヨハクコテイ)」を選択します。



キーを押します。



キーを押します。

スキューチェックから抜けます。



キーを押します。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

■ スキューチェックの設定を「オン」にした場合と「オン（ヨハクコテイ）」にした場合の書き出し位置（余白量）の違い

メディアによっては、真っ直ぐセットしてもメディア自身の巻ずれや、搬送時のメディアの蛇行によって多少のスキューが発生します。

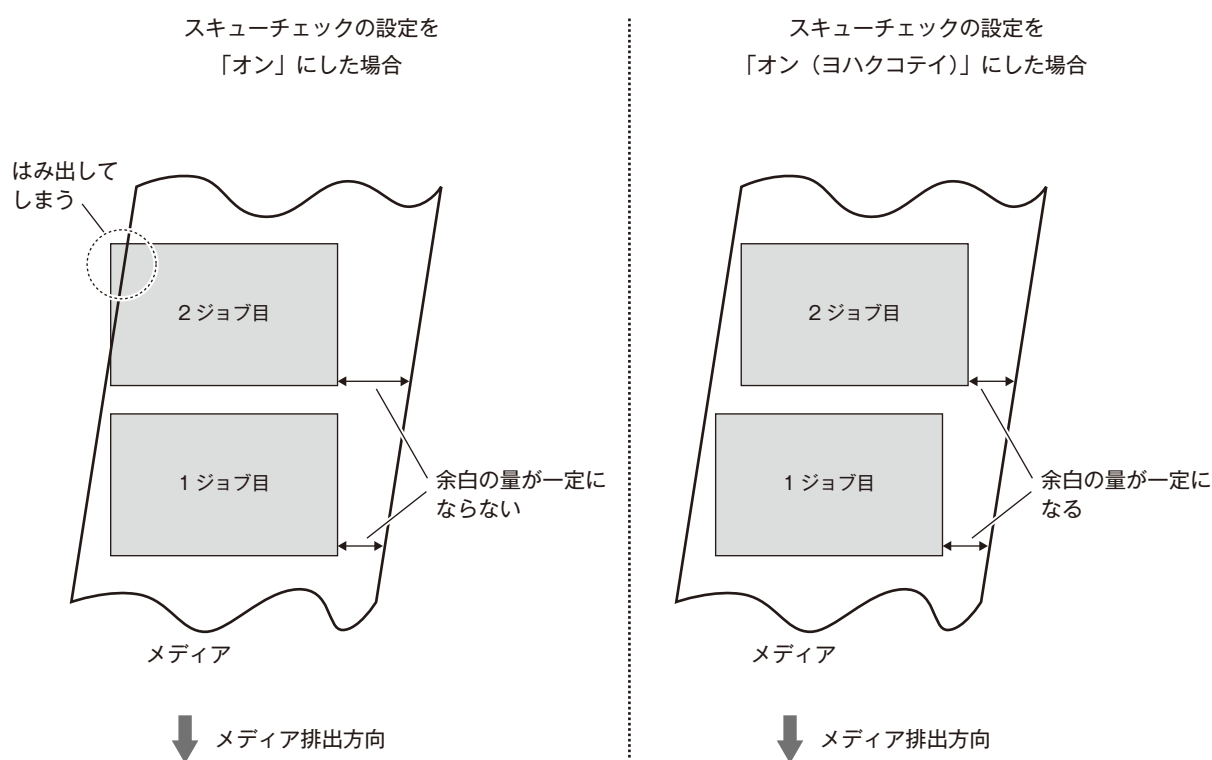
通常の場合、印刷イメージがメディア幅から外れることはありませんが、印刷イメージ幅がメディア幅と近い場合、印刷イメージがメディアからはみ出してしまう場合があります。（スキューチェック：「オン」設定）

そこで、印刷開始毎にメディアのエッジを検出し、余白の量を一定にすることで、はみ出しを防ぐことができます。（スキューチェック：「オン（ヨハクコテイ）」設定）

この機能を余白固定モードといいます。

⚠ 注意

- ◆ 余白固定モードは、余白の量を一定にすることができる反面、同じ幅サイズの印刷を複数行った際、ジョブごとに印刷結果がずれてしまう場合があります。



- ◇ スキューチェックの設定「オン」および「オン（ヨハクコテイ）」の機能は、メディアハバ ケンシュツモードの設定が「ジドウ」の場合のみ機能します。

◆ 印刷中にメディアの皺を少し直したい

印刷中(オンライン中) にメディアが皺になってしまった場合、一旦プリントポーズモードにすると、加圧ローラーアップダウンレバーを解除することができます。

⚠ 注意

- ◆ 加圧ローラーアップダウンレバーを解除するとメディアの皺を低減することができますが、メディアの位置はズれてしまい、画質が劣化する場合があります。

1

プリントチュウ
ヒョウジュン ND UNI



ONLINE

印刷中に **ONLINE** キーを押します。

2

ホースチュウ
01:PAPER/1626mm



加圧ローラーアップダウンレバーを解除する

プリントポーズモードになったら、加圧ローラーアップダウンレバーを解除します。



加圧ローラーアップダウンレバーを解除する際、手で押さえるなどしてメディアがズレないようにしてください。

3

レバーヲサゲテクタサイ



加圧ローラーアップダウンレバーを下げる

加圧ローラーアップダウンレバーを下げるとプリントポーズモードの表示に戻ります。

4

ホースチュウ
01:PAPER/1626mm



ONLINE

ONLINE キーを押すと印刷を再開します。

5

プリントチュウ
ヒョウジュン ND UNI

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

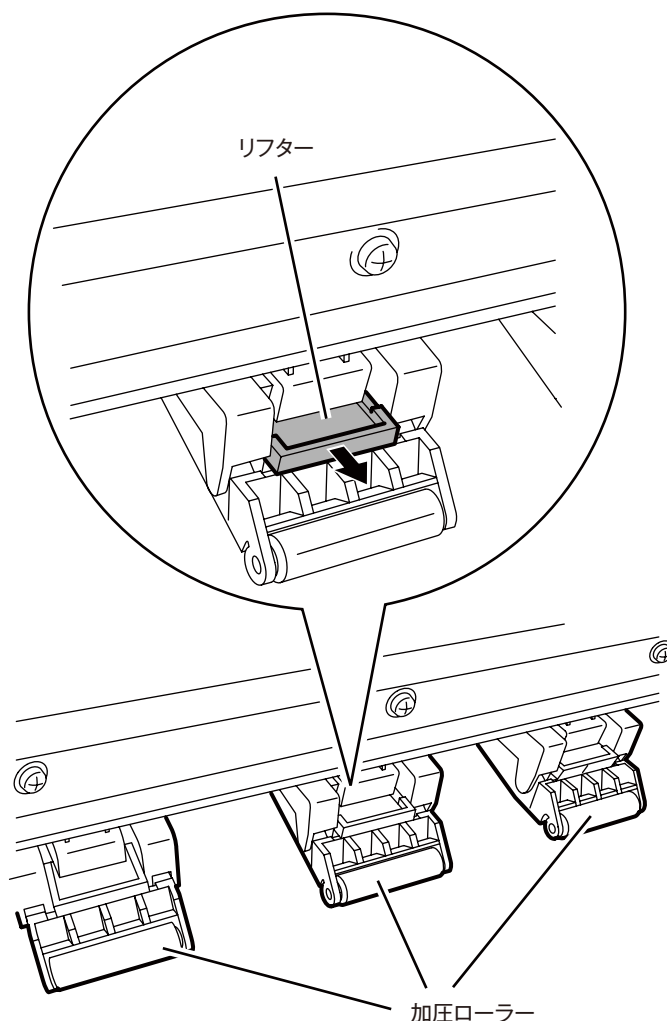
ふろく

リフターの使い方

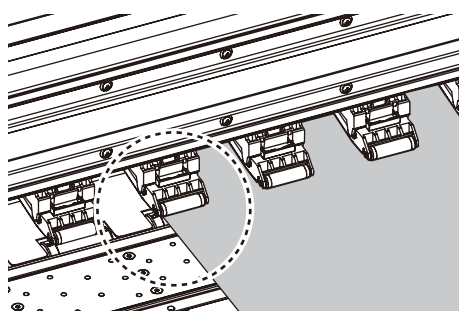
加圧ローラー全幅にメディアがかからないと、メディアのシワやスキューなどが起こりやすくなります。そのような場合は、シワが発生した近くの加圧ローラー上部のリフターを手前に引き、加圧ローラーの加圧力を解除してください。

⚠ 注意

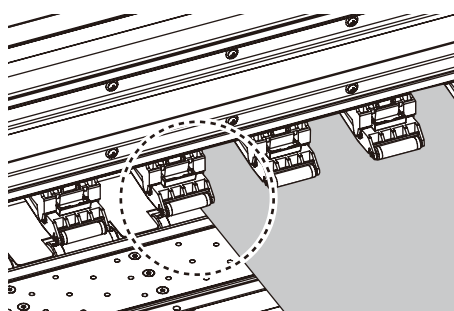
◆ メディアによっては、シワが取りきれない場合があります。



リフターを手前に引く必要のない場合の例
(加圧ローラーの加圧要)



リフターを手前に引く場合の例
(加圧ローラーの加圧力解除要)



プリンターの設定をする

◆ 警告音を鳴らさないようにしたい

通常、エラー発生時にはプリンタは警告音を発します。しかし次の3つの場合については、警告音を鳴らさないように設定を変更することができます。

- ① ヘッドがキャップされていない場合（日常メンテナンスやヘッド高さ調整作業中、または印刷中のメディアジャムエラーが発生し、プリントヘッドがキャップから外れている場合）
- ② 巻き取りエラーが発生した場合
- ③ インクエンドやカートリッジなしの場合
- ④ フロントカバーが開いたままになっている場合
- ⑤ セーフスキャンでメディアのしわを検出した場合

1

プリントデキマス

01:PAPER/1626mm



MENU

MENU キーを押します。

2

MENU

↓ ショウホウ



✓ キーを押して、「プリンターセッテイ」を選択します。

3

MENU

↓ プリンターセッテイ



OK キーを押します。

4

> プリンターセッテイ

↓ システム



OK キーを押します。

5

>> システム

↓ ニンショウコード



✓ キーを押して、「ケイコクオンセッテイ」を選択します。

6

>> システム

↓ ケイコクオンセッテイ



OK キーを押します。

7

>>>ケイコクオンセッテイ
↓キャップオープン



⬆、⬇ キーを押して、変更したい警告音の種類を選択します。

8

>>>ケイコクオンセッテイ
↓インクエラー



OK キーを押します。

9

>>>>インクエラー
↓オン



⬇ キーを押して、「オフ」を選択します。

10

>>>>インクエラー
↓オフ



OK キーを押します。

11

>>>>インクエラー
↓オフ

送り調整値の管理

◆ 印刷中に送り調整値を変更する

1

フ° リントチュウ
ヒョウジュン ND BI



2

オクリビ° チョウセイ : 099.80%
↑ 099.80%

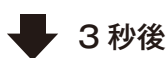
印刷開始時の調整値

↑、↓で 0.01% アップダウンする
(設定可能範囲 : 97.00% ~ 106.00%)



3

オクリビ° チョウセイ : 099.80%
↑ 099.96%



フ° リントチュウ
ヒョウジュン ND BI

「プリントチュウ」表示中に、↑ キーまたは ↓ キーを押します。

↑、↓ キーで調整値を変更します。

調整値は、変更した時点でただちに印刷に反映されます。
「印刷開始時の調整値」の表示は、印刷が終了するまで変わりません。

変更後の値が調整値として登録され、次の印刷から適用されます。

なお印刷中の調整値表示画面で 3 秒間キー操作が無い場合、自動的に元の表示に戻ります。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは...

メニューツリー

ふろく

印刷条件について

本機には、同一解像度の濃度違いを含む、合計 13 種類の印刷モードがあります。
さらにこの 13 種類の印刷モードそれぞれに、2 種類のキャリッジ速度を選択することができます。
メディアの種類やアプリケーションに必要な生産性・画質に合わせて、条件をお選びください。

まずは印刷モード「標準」、キャリッジ速度「標準」をご使用ください。
生産性または画質を重視する場合に、他の印刷モードをご利用ください。



印刷モードを変更した場合は・・・

- ◇ メディアによっては、印刷モードごとに送り調整値が異なる場合があります。
- ◇ バンディング等が目立つ場合は、送り調整値をマニュアルで調整してみてください。(75 ページ)

◆「インサツモード」設定

印刷解像度、パス数、印刷濃度の組み合わせを設定します。
解像度とパス数が小さいほど、高い生産性を発揮します。
解像度とパス数が大きいほど、粒状感のない高精細な画質を得ることができます。

インサツモード設定	印刷解像度	パス数	最大濃度	特徴
コウソク (高速)	360dpi x 360dpi x DDP	4	1	画質よりも生産性を重視するモードです。
ソクドユウセン (速度優先)	360dpi x 360dpi x DDP	6	1	標準モードよりも、やや生産性を重視するモードです。
ソクドユウセン コウノウド (速度優先 高濃度)	360dpi x 360dpi x DDP	6	1.5	高濃度印刷で、もっとも生産性を重視するモードです。 インク量が多く乾燥しにくいので、巻き取り装置は使用しないでください。
ヒョウジュン (標準)	540dpi x 360dpi x DDP	6	1	標準モードです。通常はこのモードをお使いください。
ヒョウジュン コウノウド (標準 高濃度)	540dpi x 360dpi x DDP	6	2	高画質 高濃度モードよりも、生産性を重視するモードです。 インク量が多く乾燥しにくいので、巻き取り装置は使用しないでください。
ガシツユウセン (画質優先)	540dpi x 540dpi x DDP	9	1	標準モードよりも、やや画質を重視するモードです。
ガシツユウセン コウノウド (画質優先 高濃度)	540dpi x 540dpi x DDP	9	1.9	高画質 高濃度モードよりも、やや生産性を重視するモードです。 インク量が多く乾燥しにくいので、巻き取り装置は使用しないでください。
コウガシツ (高画質)	720dpi x 720dpi	12	1	標準モードよりも高画質のモードです。
コウガシツ コウノウド (高画質 高濃度)	720dpi x 720dpi	12	2	高濃度印刷の場合、通常はこのモードをお使いください。
サイコウガシツ (最高画質)	900dpi x 900dpi	15	1.6	高画質モードよりも高精細な画質を得られるモードです。
サイコウガシツ コウノウド (最高画質 高濃度)	900dpi x 900dpi	15	3.1	高画質 高濃度モードで乾燥しない場合は、このモードをお使いください。
コウセイサイ (高精細)	1080dpi x 1080dpi	18	2.2	もっとも高精細な画質を得られるモードです。
コウセイサイ コウノウド (高精細 高濃度)	1080dpi x 1080dpi	18	4.5	高画質 高濃度モードで乾燥しない場合は、このモードをお使いください。

※ DDP: Dynamic Dot Printing 数種類の大きさのドットを用いることで、小液滴による粒状感低減と、大液滴による高濃度を両立するテクノロジーです。

⚠ 注意

- ◆ 推奨の印刷モード設定は、標準濃度の場合は「ヒョウジュン」、高濃度の場合は「コウガシツ コウノウド」です。他のモードは生産性や画質などの、お客様が重視する目的に応じて使い分けてください。
- ◆ 「高濃度」はインク量が多いため、にじみやインク乾燥不良、巻き取り不良の原因になることがあります。その場合はより遅い印刷速度で印刷してください。

◆ 「キャリッジソクド」 設定

キャリッジ速度を「ヒョウジュン（標準）」と「テイソク（低速）」の2種類から選択できます。通常は、「ヒョウジュン」でお使いください。より高精細な印刷をするときに「テイソク」を選択してください。（「キャリッジ速度」は、RIP から切り替えることはできません。操作パネルまたは CP_Manager を使ってください）

1

プリントデキマス
01:PAPER/1626mm



MENU

MENU キーを押します。

2

MENU
↓ ジョウホウ



✓ キーを押して、「メディアトウロク」を選択します。

3

MENU
↓ メディアトウロク



OK キーを押します。

4

>メディアトウロク
↓ トウロクバンゴウセンタク



✓ キーを押して、「ソノタノトウロク ジョウホウ」を選択します。

5

>メディアトウロク
↓ ソノタノトウロクジョウホウ



OK キーを押します。

6

>>ソノタノトウロクジョウホウ
↓ メディアサンリョウ



✓ キーを押して、「キャリッジソクド」を選択します。

7

>>ソノタノトウロクシ^{*}ヨウホウ

↓キャリッジソクト^{*}



OK キーを押します。

8

>>>キャリッジソクト^{*}

↑*ヒョウジュン

↓*テイソク



↑、**↓** キーを押して、「ヒョウジュン」「テイソク」のいずれかを選択します。

9

>>>キャリッジソクト^{*}

↓*テイソク



OK キーを押します。

左の例では、テイソクに設定します。

10

>>>キャリッジソクト^{*}

↓*テイソク

◆ 印刷速度について

印刷速度は「インサツモード」と「キャリッジソクト」設定の組み合わせによりおよそ次の表のようになります。使用するメディア幅などの条件によっては本速度より低下する場合があります。

IP-5630 の印刷速度 (*1)

インサツモード設定	キャリッジソクト設定	
	ヒョウジュン	テイソク
コウソク (高速)	22.9m ² /h	14.4m ² /h
ソクトユウセン (速度優先)	15.0m ² /h	9.4m ² /h
ソクトユウセン コウノウド (速度優先 高濃度)		
ヒョウジュン (標準)	10.9m ² /h	6.5m ² /h
ヒョウジュン コウノウド (標準 高濃度)		
ガシツユウセン (画質優先)	7.2m ² /h	4.4m ² /h
ガシツユウセン コウノウド (画質優先 高濃度)		
コウガシツ (高画質)	4.2m ² /h	2.5m ² /h
コウガシツ コウノウド (高画質 高濃度)		
サイコウガシツ (最高画質)	2.7m ² /h	1.6m ² /h
サイコウガシツ コウノウド (最高画質 高濃度)		
コウセイサイ (高精細)	1.9m ² /h	1.2m ² /h
コウセイサイ コウノウド (高精細 高濃度)		

*1 印刷速度の数値は、1626mm (64 インチ) 幅のロールに全幅でプリントした場合の速度を記載しています。

IP-5530 の印刷速度 (*2)

インサツモード設定	キャリッジソクド設定	
	ヒョウジュン	テイソク
コウソク (高速)	21.3m ² /h	13.5m ² /h
ソクドユウセン (速度優先)	14.1m ² /h	8.9m ² /h
ソクドユウセン コウノウド (速度優先 高濃度)		
ヒョウジュン (標準)	10.2m ² /h	6.2m ² /h
ヒョウジュン コウノウド (標準 高濃度)		
ガシツユウセン (画質優先)	6.8m ² /h	4.1m ² /h
ガシツユウセン コウノウド (画質優先 高濃度)		
コウガシツ (高画質)	4.0m ² /h	2.3m ² /h
コウガシツ コウノウド (高画質 高濃度)		
サイコウガシツ (最高画質)	2.6m ² /h	1.6m ² /h
サイコウガシツ コウノウド (最高画質 高濃度)		
コウセイサイ (高精細)	1.8m ² /h	1.1m ² /h
コウセイサイ コウノウド (高精細 高濃度)		

*2 印刷速度の数値は、1372 mm (54 インチ) 幅のロールに全幅でプリントした場合の速度を記載しています。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

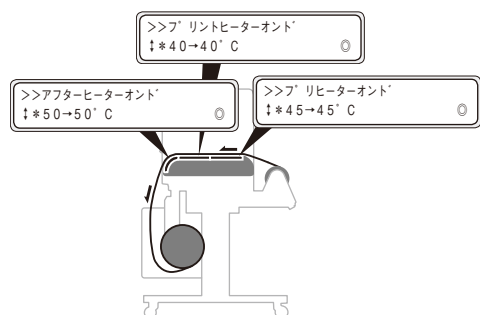
ふろく

ヒーターの設定をする

各ヒーター温度は、トウロクメニューで設定されたヒーター温度が自動設定されます。したがって、通常はヒーターコントロールメニューを操作する必要はありません。ヒーターコントロールメニューは、印刷中に温度の微調整を行う場合や、現在のヒーター温度を確認する場合に使用します。

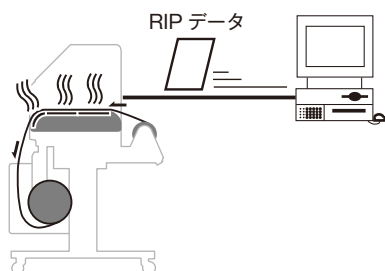
◆ ヒーター温度設定の流れ

①メディアに登録された初期値温度でスタンバイ



メディアセット時にメディアの種類を選択すると、そのメディアに対して設定されている各ヒーターの温度初期値がメニュー上に表示されます。

② RIP データを受信して加熱開始

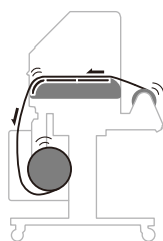


RIP（プリントデータ、ジョブ）で温度設定をしている場合は、ヒーターコントロールメニュー上の設定温度は上書きされます。



◇ RIP で設定されている温度を無効にして、操作パネルで設定されている初期値を使用したい場合には、トウロクメニューのヒーター設定値選択の設定をパネルにします。

③設定温度近くなると印刷開始



アフター、プリント、プリのすべてのヒーターの現在温度が設定温度より 1℃低い温度に到達すると、印刷を開始します。



◇ ヒーターの設定最高温度は以下の通りです。

アフターヒーター：55℃

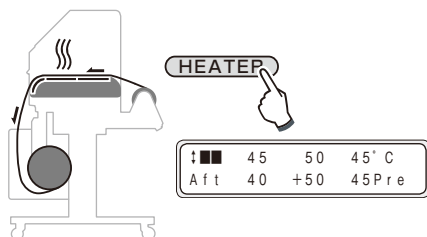
プリントヒーター：55℃

プリヒーター：55℃

◇ 印刷が終了しても、本項で変えられた設定温度が、メディアをセットし直すまで（または電源をオフするまで）「設定温度」として残ります。

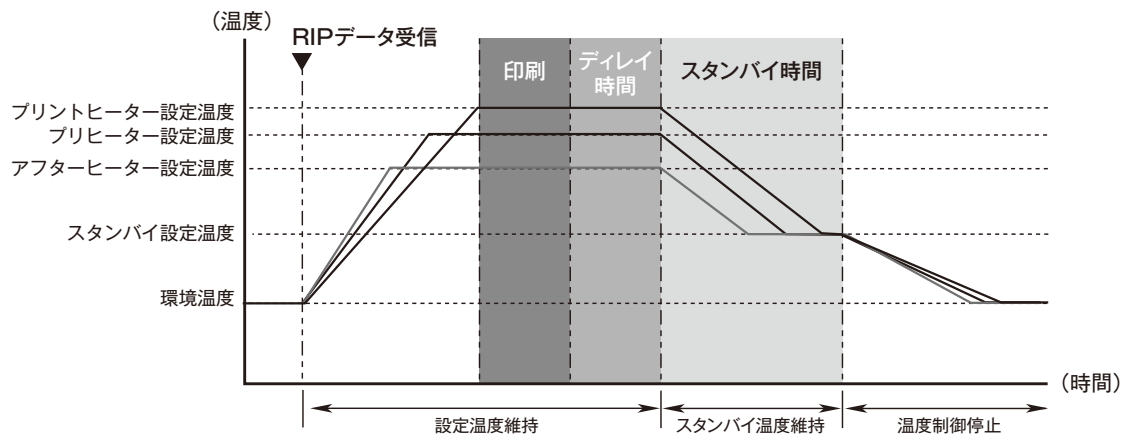
ただし、トウロクメニューのヒーター温度の設定は変更されません。

④印刷中にヒーター温度を変更



印刷中はヒーターコントロールメニューで設定温度を変えることにより、印刷しながら温度が変更できます。

■ 印刷時のヒーター温度制御



◇ スタンバイ温度は以下の通りです。

アフターヒーター：35℃

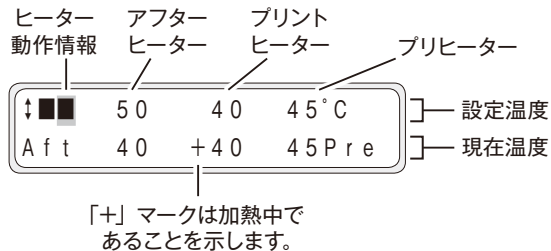
プリントヒーター：35℃

プリヒーター：35℃

ただし、設定温度が上記よりも低い場合は、設定温度まで温度が下がります。

◆ ヒーターコントロールメニューの表示

HEATER キーを押すとヒーターコントロールメニューが表示されます。



ヒーター動作情報

・強制ヒーター ON :



・通常動作 :



・一時的なヒーター OFF :



◆ ヒーターコントロールメニューのキー操作

◀、▶ キー カーソル移動（操作対象情報の選択）

⬆、⬇ キー ヒーター温度とヒーター動作情報の変更を行います。

OK キー アフターヒーター、プリントヒーター、プリヒーターのオン/オフを個別に切り換えます。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

◆ ヒーターコントロールメニューの表示を終了する

ヒーターコントロールメニュー表示中に **HEATER** キーを押します。

■ ヒーターコントロールメニュー表示が自動で終了する場合

ヒーターヒョウジ シュウリョウ

ヒーターコントロールメニュー表示状態で、キーが約 30 秒入力されない場合、自動的に「ヒーターヒョウジ シュウリョウ」と表示した後、ヒーターコントロールメニューの表示が終了します。

この表示中は、キー入力は無効となります。

■ メディア種類とヒーター設定に関する参考情報

メディアの種類ごとの、ヒーター設定温度とプリントモードの参考設定値（初期値）は、以下の通りです。ご使用のメディアにより、設定を変更してお使いください。

メディア分類	メディアの種類選択	推奨ヒーター設定温度			プリントモード
		アフターヒーター	プリントヒーター	プリヒーター	
光沢塩ビ	Glossy	50℃	40℃	45℃	標準 / 双方向
光沢なし塩ビ	Matte	50℃	40℃	45℃	標準 / 双方向
ターボリン	Banner	50℃	40℃	45℃	標準 / 双方向

ヒーター設定温度は、下記の範囲内での設定を推奨します。

プリヒーター：50℃以下

プリントヒーター：45℃以下

アフターヒーター：55℃以下

⚠ 注意

- ◆ プリントヒーターを高温に設定すると、インクの定着性は良くなりますが、メディアのシワや印刷面のマット化の原因になる場合があります。メディアの種類や印刷モードにあわせて調整してください。
- ◆ プリントヒーターを高温に設定すると、安定した印刷品質を得るために、自動的に印刷速度を落として印刷する場合があります。
- ◆ プリヒーターの温度は、プリントヒーター温度に対して +5℃を目安に設定してください。プリヒーターとプリントヒーターのバランスが悪いと、メディアにシワが発生する場合があります。
- ◆ プリントヒーターを高温にすると印刷抜けが発生することがあります。

◆ 初期値温度を設定する

1

フ°プリントデ°キマス
02 : Glossy / 1626mm

MENU キーを押します。



MENU

2

MENU
↑ ショウホウ



キーを押して、「メディアトウロク」を選択します。



3

MENU
↓メディアトウロク



OK キーを押します。

4

>メディアトウロク
↓トウロクパンゴウセンタク



✓ キーを押して、「アフターヒーターオ
ンド」を選択します。

5

>メディアトウロク
↓アフターヒーターオント



OK キーを押します。

6

>>アフターヒーターオント
↓ZXX→YY°C

Z: 登録マーク (このメディア番号が登録されている場
合は登録マーク「*」を表示する)
XX: 現在の設定温度
YY: 変更予定の設定温度



設定温度を入力します。

←、→ キーで桁を合わせ、↑、↓
キーで数値を設定します。

7

>>アフターヒーターオント
↓ZXX→YY°C



OK キーを押します。

8

>>アフターヒーターオント
↓ZXX→YY°C

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは...

メニューツリー

ふろく

◆ デイレイ時間を設定する

印刷終了後、ヒーター設定温度を維持する時間を設定します。

- 1

プリントデキマス
02: Glossy / 1626mm

↓ MENU
- 2

MENU
↓ ショウホウ

↓ ▽
- 3

MENU
↓ プリンターセッテイ

↓ OK
- 4

> プリンターセッテイ
↓ メディアヒーターセッテイ

↓ ▽、OK
- 5

>> メディアヒーターセッテイ
↓ スタンバイシカン

↓ ▽、OK
- 6

>>> デイレイシカン
↓ 10→30フン

↓ ◀、▶、▲、▽
- 7

>>> デイレイシカン
↓ 30→30フン

↓ OK
- 8

>>> デイレイシカン
↓ 30フン

MENU キーを押します。

▽ キーを押して、「プリンターセッテイ」を選択します。

OK キーを押します。

▽ キーを押して「メディアヒーターセッテイ」を選択し、OK キーを押します。

▽ キーを押して「デイレイシカン」を選択し、OK キーを押します。

デイレイ時間を設定します。

◀、▶ キーで桁を合わせ、▲、▽ キーで数値を設定します。

OK キーを押します。

◆ スタンバイ時間を設定する

印刷終了後、ヒーターのスタンバイ設定温度を維持する時間を選択します。(スタンバイ設定温度に移行する時間も含まれます。)

- 1
プリントデキマス
02: Glossy / 1626mm
↓ MENU
- 2
MENU
↓ ショウホウ
↓ (V)
- 3
MENU
↓ プリンターセッテイ
↓ OK
- 4
> プリンターセッテイ
↓ メディアヒーターセッテイ
↓ (V)、OK
- 5
>> メディアヒーターセッテイ
↓ スタンバイジカン
↓ (V)、OK
- 6
>>> スタンバイジカン
↓ 30フン
↓ (V)
- 7
>>> スタンバイジカン
↓ 60フン
↓ OK
- 8
>>> スタンバイジカン
↓ 60フン

MENU キーを押します。

(V) キーを押して、「プリンターセッテイ」を選択します。

OK キーを押します。

(V) キーを押して「メディアヒーターセッテイ」を選択し、OK キーを押します。

(V) キーを押して「スタンバイジカン」を選択し、OK キーを押します。

(^)、(V) キーを押して、維持時間を設定します。

OK キーを押します。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

印刷中にインク切れになったとき

本機はオンライン印刷中にインク切れになると、印刷を中断して印刷ポーズ状態になります。

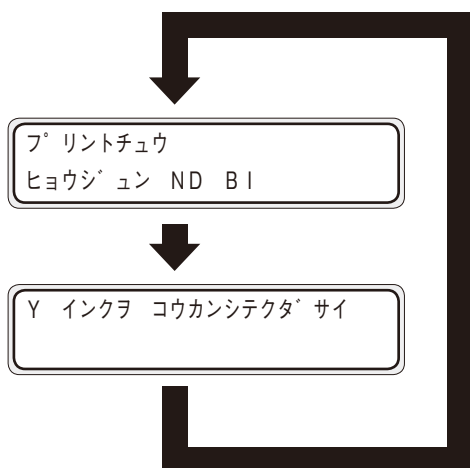
インク切れになった場合、インク LED  が消灯します。表示されたメッセージに従って対処してください。

1

インク LED が消灯します。

2

インク交換のメッセージが表示され、警告音が鳴ります。



3

インクカートリッジを交換します。

( 203 ページの「インクカートリッジの装着・交換」)

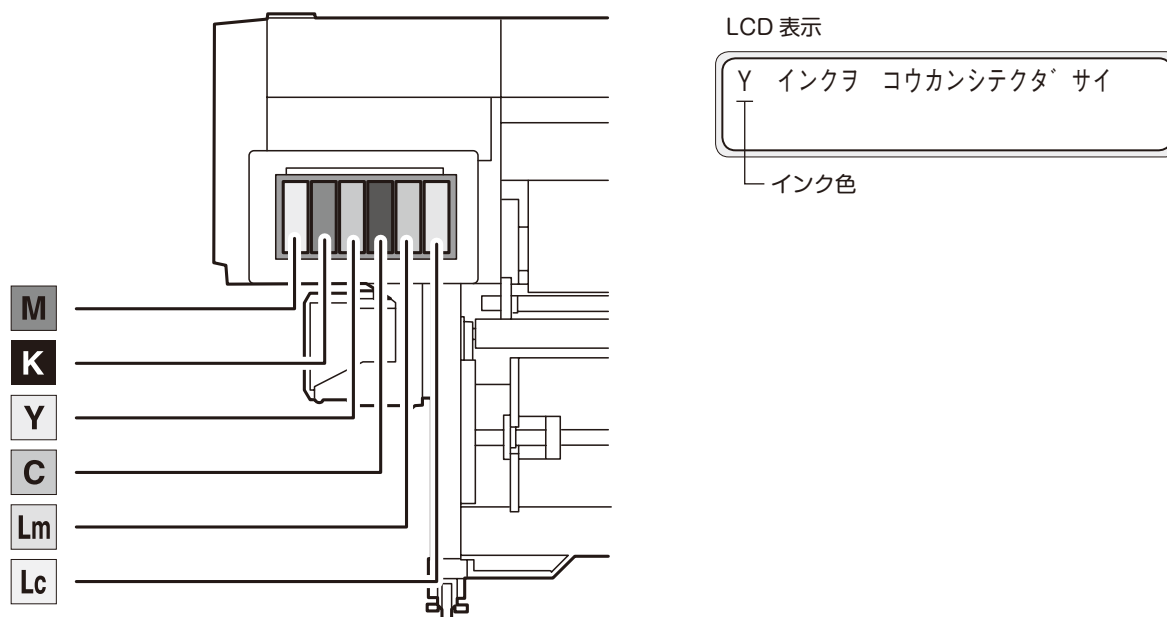


警告音が鳴り続けます。

- ◇ 警告音を止めるには、以下の操作を行ってください。
 - ・インク切れになったインクカートリッジを交換する。
- ◇ インク切れになったときに警告音を鳴らさないようにする場合は、 189 ページを参照してください。

◆ インクカートリッジの装着

インクトレイは色ごとに装着位置（スロット）が決まっています。必ず所定のスロットに差し込んでください。



⚠ 注意

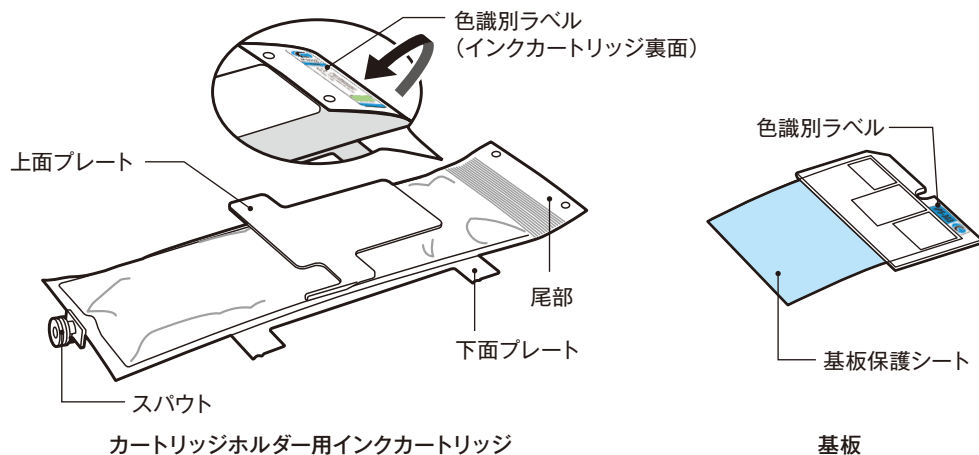
- ◆ 次の状態ではインクトレイを抜かないでください。本機の状態によっては、インクが本機内部にこぼれて故障の原因となる場合があります。
 - ・ 停電などが原因で、本機に電源が入っていない場合。
 - ・ インクエンド以外のエラーが発生している場合。
- ◆ インクカートリッジのプレート内の接点には触れないでください。

◆ インクカートリッジの交換

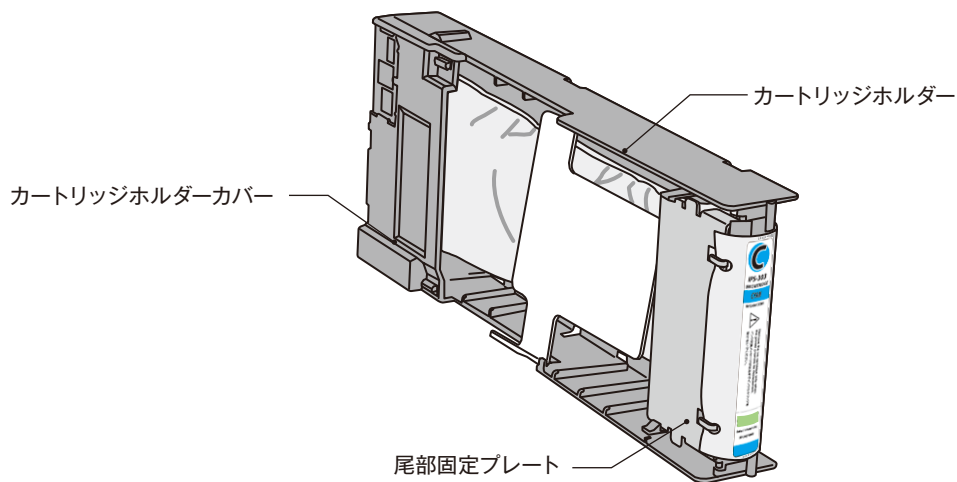
「リユース式カートリッジの交換手順」について説明します。

消耗品

リユース式カートリッジの名称や品番については、📖 262 ページをご参照ください。



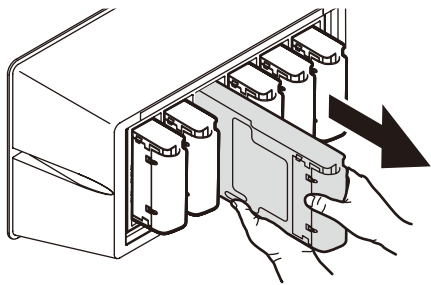
完成図



⚠ 注意

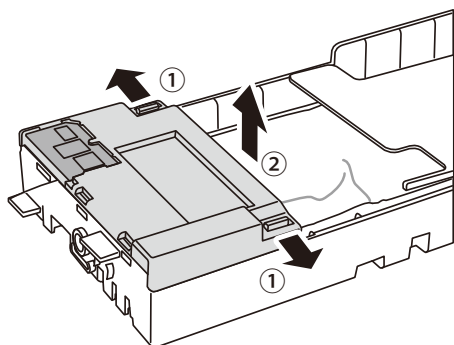
- ◆ インクカートリッジ尾部の色識別ラベルおよび基板の色識別ラベルの、色と品番が同じであることを確認してください。
- ◆ カートリッジホルダーから取り外した使用済みインクカートリッジには、通常、インクが若干残っていますが、不良ではありません。
- ◆ 使用済みのインクカートリッジを交換する際は、必ず、基板も同時に交換してください。
- ◆ 一度カートリッジホルダーにセットした、インクカートリッジは、使い切るまで外さないでください。使いかけのインクカートリッジをホルダーから脱着すると、インクエンドが正常に検出できなくなる場合があります。使いかけのインクカートリッジを一時的によけておきたい場合は、別途カートリッジホルダー (IP5-320) をご注文のうえ、ホルダーから外さずに保管してください。

1



使用済みインクカートリッジを、カートリッジホルダーごと、プリンターから抜き取ります。

2

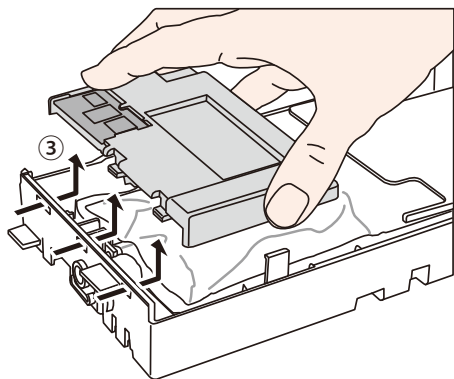


カートリッジホルダーカバーを取り外します。

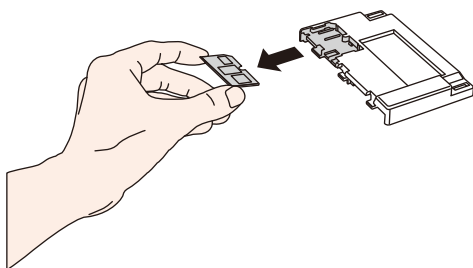
カートリッジホルダーカバーを固定しているツメを外側（矢印①の方向）へ広げながら、カートリッジホルダーカバーを上（矢印②の方向）に持ち上げます。



カートリッジホルダーカバーを矢印③の方向へ引き抜きます。

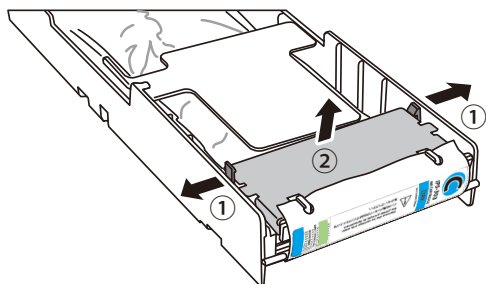


3



基板をカートリッジホルダーカバーから取り外します。

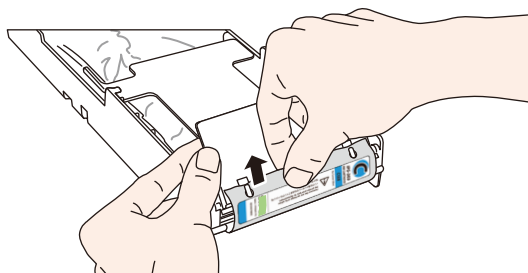
4



尾部固定プレートを外します。

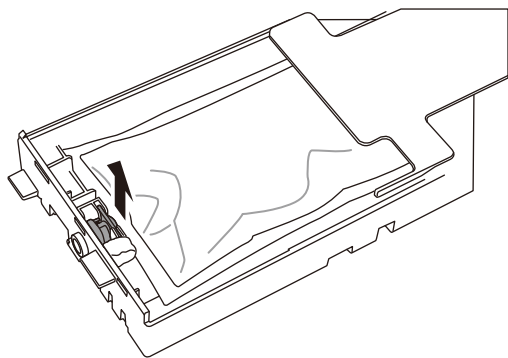
尾部固定プレートを固定しているツメを外側へ広げながら、尾部固定プレートを上に持ち上げます。

5



使用済みインクカートリッジの尾部を尾部固定プレートから外します。

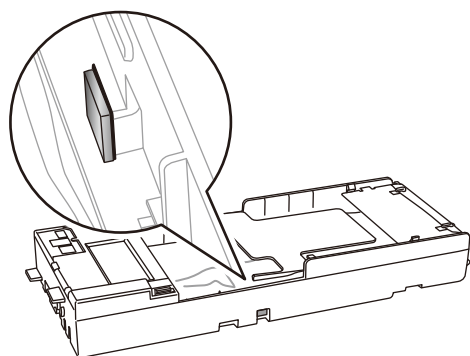
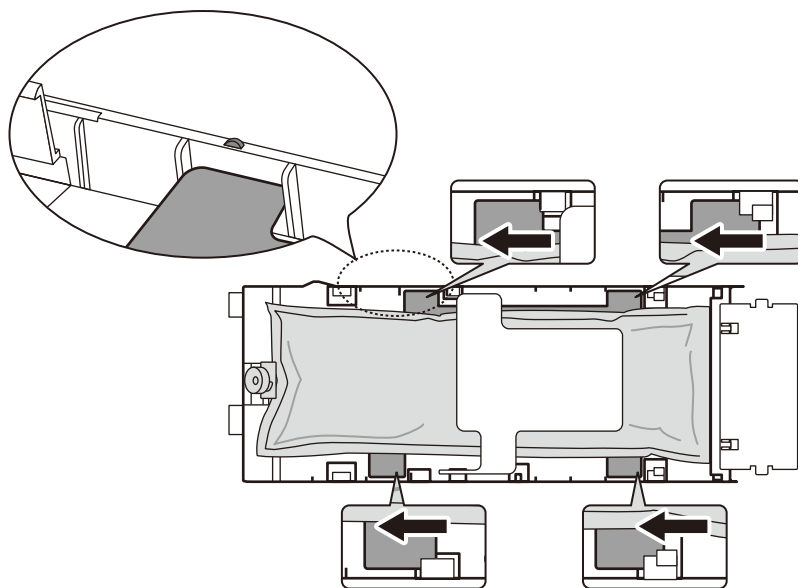
6



使用済みインクカートリッジのスパウトをカートリッジホルダーから外します。

7

インクカートリッジの下面プレートの4箇所の突起を、図で示すカートリッジホルダーの突起部分の位置を基準に、矢印の方向へスライドさせ、カートリッジホルダーから取り外します。



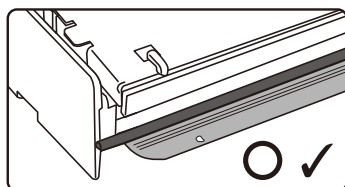
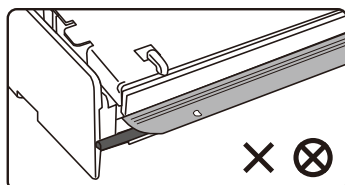
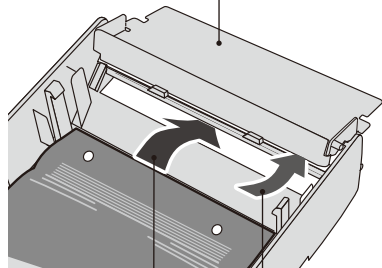
⚠ 注意

- ◆ 使用済みインクカートリッジを外す際に、カートリッジホルダーの銀板を剥がさないようにしてください。

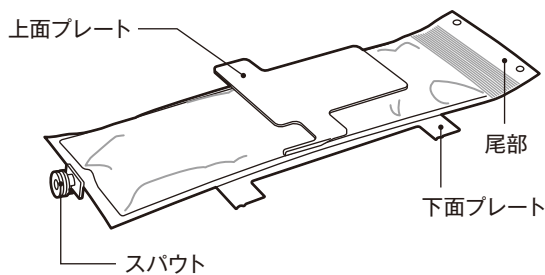
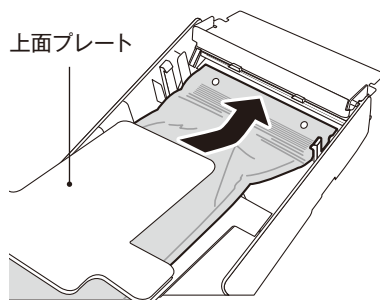
◆ インクカートリッジの取り付け手順

1

尾部固定プレート

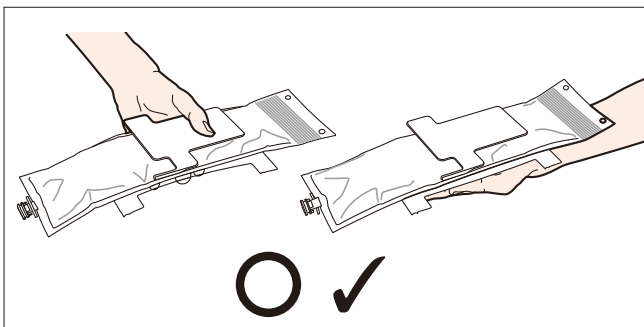
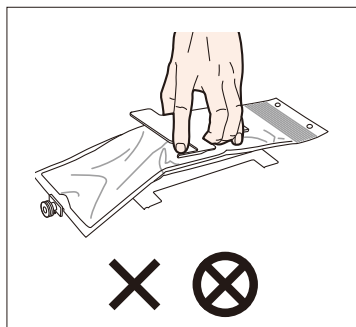


インクカートリッジの上面プレートが上を向いていることを確認し、尾部を右図の白抜き部分の穴へ挿入します。



⚠ 注意

- ◆ インクカートリッジの上面のプレート部分のみを持たないでください。プレートが剥がれる場合があります。上面と下面のプレートを同時に持つか、インクカートリッジを下から持って挿入してください。



印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

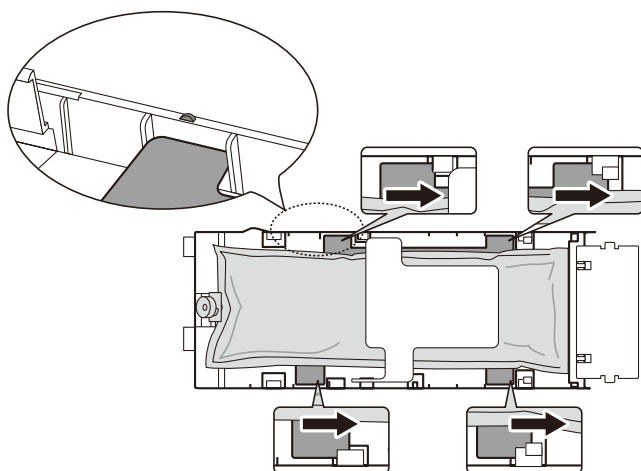
困ったときは...

メニューツリー

ふろく

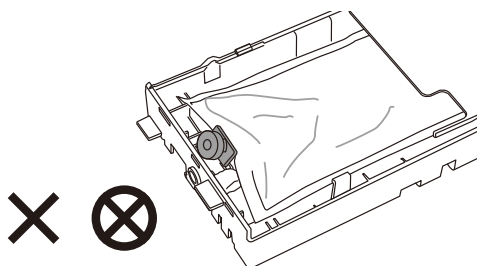
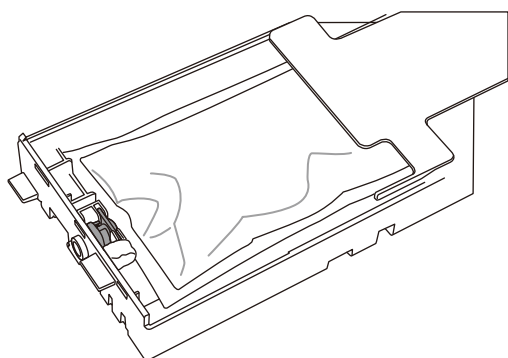
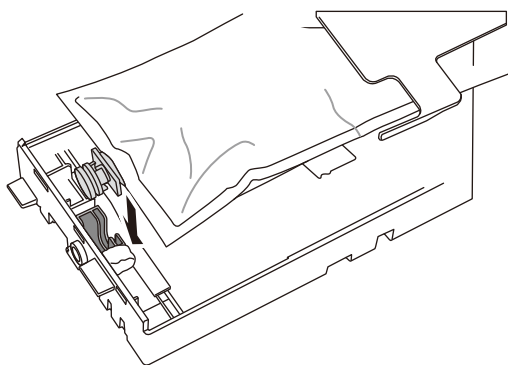
2

インクカートリッジの下面プレートの4箇所の突起を、図で示すカートリッジホルダーの突起部分の位置を基準に装着し、矢印の方向へプレートガイド下にスライドします。



3

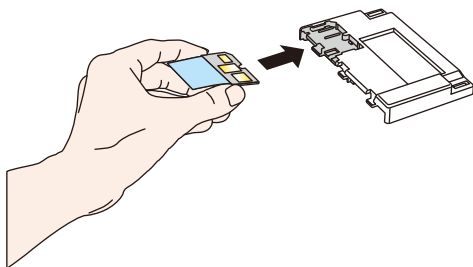
インクカートリッジのスパウトをカートリッジホルダーに差し込みます。



⚠ 注意

- ◆ スパウトが斜めになった状態で、インクカートリッジを取り付けないでください。

4



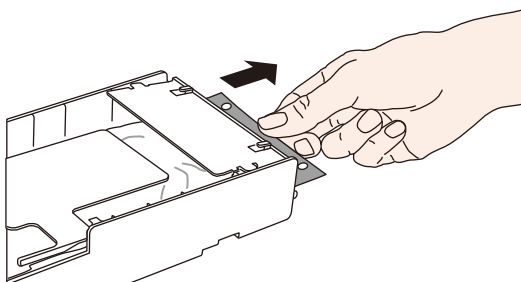
基板をカートリッジホルダーカバーに取り付けます。

金色のプレート面を上面とし、基板の形状とカートリッジホルダーカバーの形状が一致するように取り付けます。

⚠️ 注意

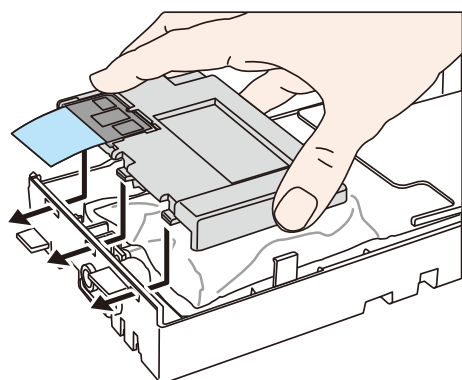
◆ 基板保護シートは、リユース式カートリッジをプリンターへ装着する直前まで、剥がさないでください。接触不良を起こすことがあります。

5



インクカートリッジの尾部を軽く引っ張ります。

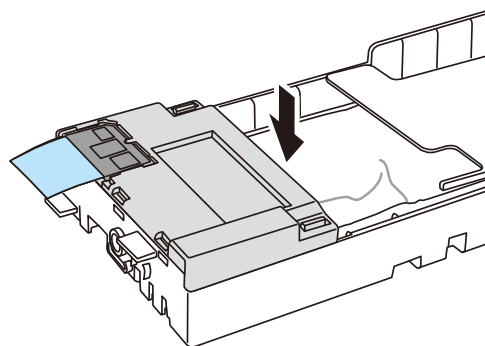
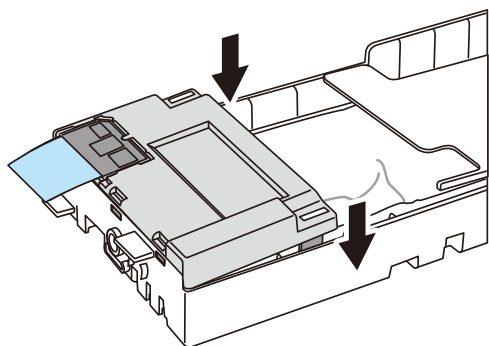
6



カートリッジホルダーカバーを取り付けます。

カートリッジホルダーカバーの突起3箇所をカートリッジホルダーの穴へ差し込みます。

カートリッジホルダーカバーをツメに差し込み、固定します。



⚠️ 注意

◆ 基板保護シートをカートリッジホルダーとカートリッジホルダーカバーの間に、はさみこまないでください。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

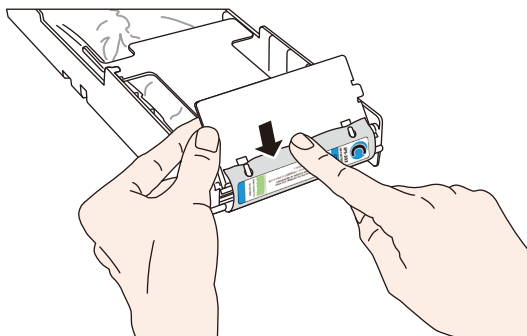
詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

7

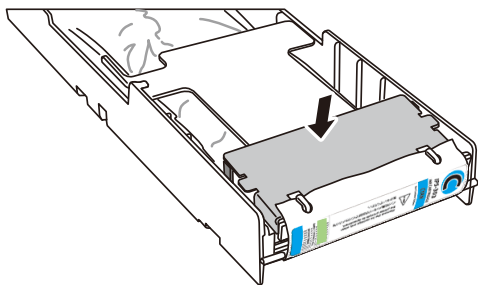


インクカートリッジ尾部の穴を、尾部固定プレートのフックに引っ掛けます。

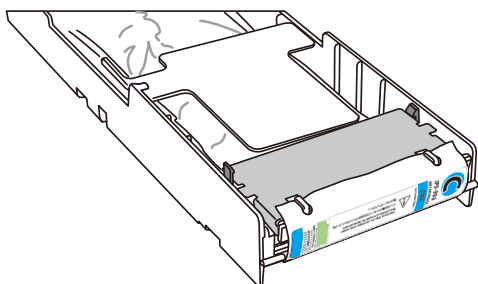
⚠ 注意

- ◆ インクカートリッジの穴の形が変わるほど強く引っ張らないでください。

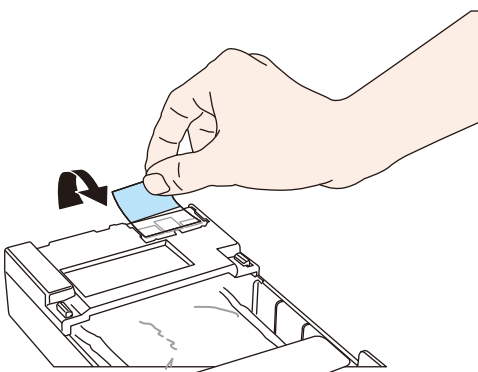
8



尾部固定プレートをカートリッジホルダーのツメに押し込みます。



9

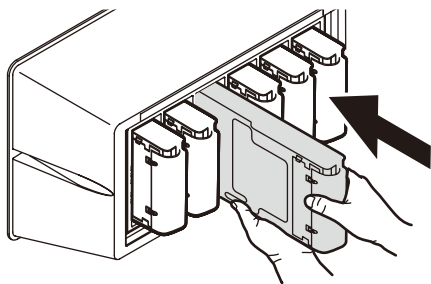


基板保護シートを剥がします。

⚠ 注意

- ◆ 基板保護シートは、必ず剥がしてください。基板保護シートを剥がさずにインクカートリッジをプリンターに装着すると、故障の原因となります。

10



リユース式カートリッジをスロットに差し込みます。

⚠ 注意

- ◆ インクカートリッジ尾部のラベルとインクボックスのラベルの色が同じであることを確認してください。
- ◆ 尾部固定プレートを内側に強く押さないでください。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

困ったときは・・・

故障？と思う前に

本機の故障と思う前に、次のことを点検または確認して対処してください。

電源が入らない

点検／確認項目	対処方法
電源コードの接続状態	コンセントに正しく接続してください。
コンセントへの電源供給	コンセントに電源を供給してください。 電源電圧が適正か確認してください。

ヒーターをオンにしたのにペーパーガイドが熱くならない

点検／確認項目	対処方法
プリンター本体の状態	ペーパーガイドは、印刷中、またはヒーターコントロールメニューによってヒーターがオンに設定されているときに加熱されます。画像を印刷するか、もしくはヒーターをオンに設定して、ペーパーガイドが加熱されているか確認してください。 (☞ 196 ページの「ヒーターの設定をする」)
コンピュータのソフト RIP の設定	ヒーターの温度設定は、コンピュータのソフト RIP から設定することも可能です。コンピュータの設定を確認してください。
ヒーターコントロールメニュー	加熱したいヒーター（アフターヒーター／プリントヒーター／プリヒーター）を再度オンにした後、画像を印刷するか、もしくは強制的にヒーターをオンに設定して、ペーパーガイドが加熱されているか確認してください。 (☞ 196 ページの「ヒーターの設定をする」)

正常に立ち上がらない、動作しない

点検／確認項目	対処方法
エラー LED の点灯と LCD のメッセージ表示	エラーメッセージに従って対処してください。 (☞ 217 ページの「エラーメッセージが表示されたとき」)

印刷できない

点検／確認項目	対処方法
USB ケーブルの接続状態	USB ケーブルを正しく接続してください。 (☞ 35 ページの「USB ケーブルを接続する」)
エラー LED の点灯と LCD のメッセージ表示	エラーメッセージに従って対処してください。 (☞ 217 ページの「エラーメッセージが表示されたとき」)
エラー LED 消灯	テスト用の画像を印刷してください。 (☞ 94 ページの「ノズルプリントの実施チェック」) (ソフト RIP の「テストパターン」が印刷できることを確認する)
プリントヘッドのクリーニング	プリントヘッドのクリーニングを実施してください。 (☞ 117 ページの「クリーニングを個別に行う手順」)

印刷を開始したのに、操作パネルに「プリヒートチュウ」と表示されたまま、なかなか印刷されない

点検／確認項目	対処方法
室温	室温をあげてください。(推奨温度: 20 ~ 25℃)
風の影響	ペーパーガイドにエアコン等の風が当たっている場合は、風が当たらないようにしてください。(風向きの変更、本機の向き、配置の変更など)

送信したデータがなかなか印刷されない

点検／確認項目	対処方法
オンライン LED (点滅しているか)	コンピュータとの通信条件を確認してください。

メディアジャム (メディア詰まり) が多発する

点検／確認項目	対処方法
メディアの種類が合っているか	メディアの種類の設定がセットしたメディアと合っているかどうか確認してください。
メディアが正しくセットされているか	メディアを正しくセットしてください。 (☐ 40 ページの「メディアを本機に取り付ける」)
キャリッジの経路に、キャリッジ移動の障害となるもの (異物) が挟まっているか	異物を取り除いてください。 (☐ 215 ページの「メディアジャムの処理のしかた」)
メディア搬送経路に、メディア搬送の障害となるもの (異物) が挟まっているか	異物を取り除いてください。 (☐ 215 ページの「メディアジャムの処理のしかた」)
吸着ファンの吸着力が適切か	吸着ファンの吸着力を弱くしてみてください。 (☐ 161 ページの「メディアの張り付きやしわをなくしたい」)
ヒーター設定温度が適切か	ヒーター設定温度を下げてみてください。 (☐ 196 ページの「ヒーターの設定をする」)

画質が悪い

☐ 236 ページの「こんな症状が出たら」を参照してください。

白紙がでる

点検／確認項目	対処方法
印刷しているデータの確認	白紙データを送信していないか、印刷しているデータを確認してください。

メディアのセットができない

☐ 48 ページの「透明なメディアおよび、裏側が黒いメディアの取り付け手順」を参照してください。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

ミニツリー

ふろく

印刷が遅い（キャリッジがたまにしか動かない）

点検／確認項目	対処方法
USB 接続スピード	データの転送スピードが遅いとデータを待つためにプリントヘッドをキャップして待機します。 USB の転送スピードを確認してください。フルスピード接続の場合は、ハイスピード接続になるようにコンピュータとの接続環境を変更する事で、改善できます。 （☐ 151 ページ「USB の接続状態を確認したい」） ・ USB ケーブルを接続しなおしてください。 ・ USB2.0 のポートに接続してください。 ・ ドライバーをインストールしなおしてください。 ・ USB ケーブルをハイスピード対応品にしてください。 ・ ハブを使用している場合は、ハブをハイスピード対応品にしてください。

印刷が遅い（印刷の途中で頻繁にプリントヘッドがキャップされる）

点検／確認項目	対処方法
高温環境	ヘッド温度が高いと（40℃以上）、印刷速度を落として印刷します。室温を推奨温度（20 ～ 25℃）にして1時間以上経過してから印刷してください。
他に USB で大量のデータを転送する機器を接続していないか	USB で接続している他の機器をはずしてみてください。
コンピュータのスペック	ご使用の RIP ソフトウェアの推奨動作環境を満たすコンピュータを使用してください。 推奨動作環境につきましては、ご使用の RIP ソフトウェアのメーカーにお問い合わせください。
コンピュータが他の作業をしていないか	他のアプリケーションソフト（ウイルス対策ソフトなど）を終了させてください。

メニュー表示が他国語になってしまった

点検／確認項目	対処方法
言語設定	（MENU）キーを押しながら、電源スイッチを入れ、本機を立ち上げてください。 言語設定メニューが表示されますので、表示したい言語を設定してください。

ノズル詰まりが回復できない

点検／確認項目	対処方法
メディアの端部にほつれがないか	メディアエッジガードからはみ出るようなほつれがある場合、ヘッドのノズル面にあたり、ノズル詰まりが発生する場合があります。 はさみやカッターなどで、ほつれをカットしてからメディアをセットしてください。
PVC の糊が剥がれてメディアが浮いていないか	浮いている部分は、フィードして送り出してください。
メディアがしわになって浮いていないか	吸着ファンを強に設定し、浮きを抑えてください。 プリントヒーターの温度を下げて、浮きを抑えてください。
プラテンにメディアが貼りついて浮いていないか	吸着ファンを弱またはオフにしてメディアを送れるようにしてください。 メディアオクリモードをヒキハガシジャクにすると貼りつきが抑えられる場合があります。
日常メンテナンスの確認	日常メンテナンスを定期的に行っているか確認してください。

メディアジャムの処理のしかた

1

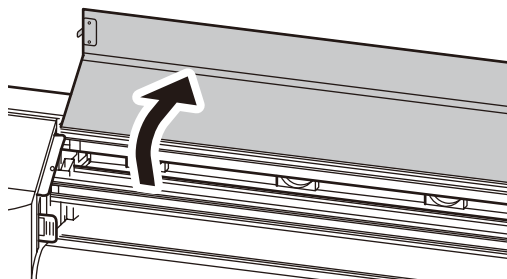
メディアジャムエラーデス
レバアアケテクタサイ

1

ガイダンスメッセージが表示されます。

X: メディアジャムの種類	意味
1: メディアジャム 1	キャリッジの動作経路に障害物があり、本機が正常に駆動できません。
2: メディアジャム 2	異型のメディアを使用しているため、メディアが正しく検出されていません。
3: メディアジャム 3	キャリッジの動作経路にメディアのしわ等の障害物があり、本機が正常に駆動できません。

2



加圧ローラーアップダウンレバーを上げて
フロントカバーを開けます。



レバーをあげた場合

カバーヲアケテ
メディアヲトリハスシテクタサイ



カバーを開けた場合

レバアアケテ
メディアヲトリハスシテクタサイ

3

ジャムをおこしたメディアを取り除き、キャリッジの経路およびメディア搬送経路に障害物がないことを確認します。



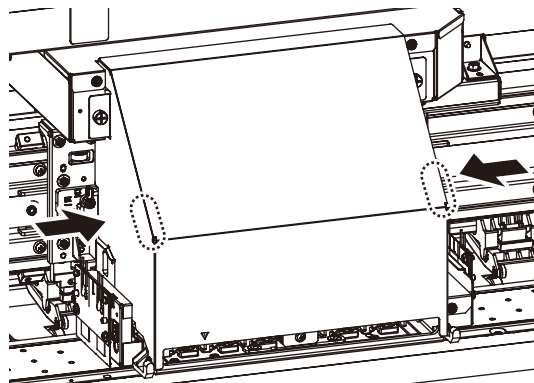
注意

◆ ロールメディアの場合、ロールを一旦巻き戻してください。



キャリッジを手で移動するときは…

◇ やむを得ずキャリッジを手動で移動させる場合は、右図の矢印部を静かに押して移動させてください。



印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

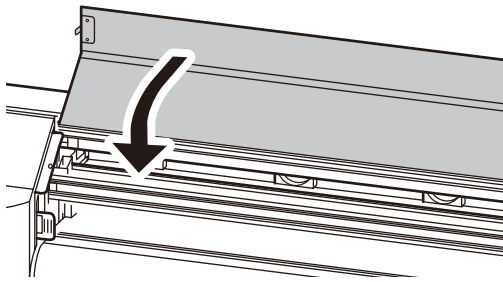
詳細な取り扱い方法

困ったときは…

メニューツリー

ふろく

4



フロントカバーを閉めます。

キャリッジがホームポジションに移動します。

5

キャリッジイトウチュウ
シハラクオマチクタサイ

メディアをセットし直します。

(40 ページ)

⚠ 注意

- ◆ メディアジャムにより、プリントヘッドとメディアが擦れて印刷抜けになる場合があります。その場合はプリントヘッドのクリーニングを実施してください。

エラーメッセージが表示されたとき

エラー LED が点灯しているときは、まず LCD に表示されているメッセージを確認してください。
エラーメッセージは、次に示す 2 つに分類できます。

サービスコールエラー：

ハードウェア、ソフトウェアの故障など、オペレータ（お客様自身）が処理できないエラーです。販売店またはサービス拠点にご連絡ください。

オペレータコールエラー：

オペレータ（お客様自身）が処置できるエラーです。
メッセージに従って処理してください。

以降に示すメッセージは、エラーメッセージです。
LCD に表示されているエラーメッセージに従って適切な処置をしてください。

◆サービスコールエラー



まずは本機の再立ち上げを

- ◇ サービスコールエラーが表示された場合は、以下の作業を行ってみてください。エラーが解除される場合があります。
- ① 操作パネルの電源スイッチをオフする。
 - ② 電源コードをコンセントから抜き、次に、本機背面の電源インレットからも電源コードを抜く。
 - ③ 1分以上放置する。
 - ④ 電源コードを上記のインレットに挿し、次にコンセントに挿す。
 - ⑤ 上記のスイッチをオンにする。

<システムエラー>

システムエラー nnnn
サイキトウシテクタサイ

nnnn：エラーコード

意 味	対処できないエラーが発生しました。
処 置	販売店またはサービス拠点までご連絡ください。 合わせて、表示されているエラーコードもお知らせください。



システムエラー 2320 が表示された場合は

◇ 以下の作業を行ってみてください。エラーが解除される場合があります。

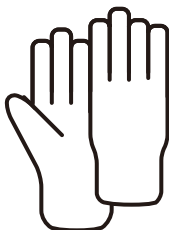
■ 準備



1. スポイト



2. シートマウント洗浄液



3. 手袋



4. クリーニング棒



⚠ 注意

- ◆ 上記 1、2、3 は、シートマウントクリーニングキット A (IP5-283) の付属部品です。
- ◆ 上記 1、2 の使用済み品は廃棄しないで、シートマウントクリーニング作業に再利用してください。

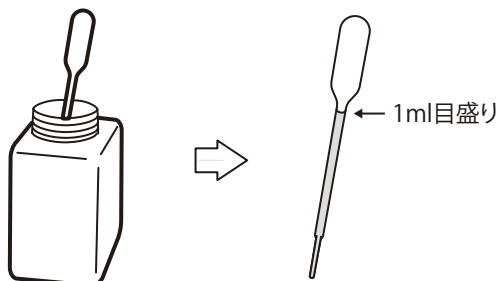
1

電源を OFF にしてください。

2

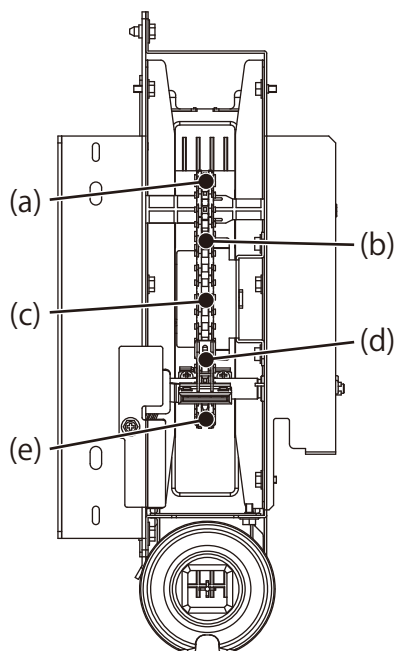
フロントカバーを開けてから、キャッピングユニットカバーを開けます。

3



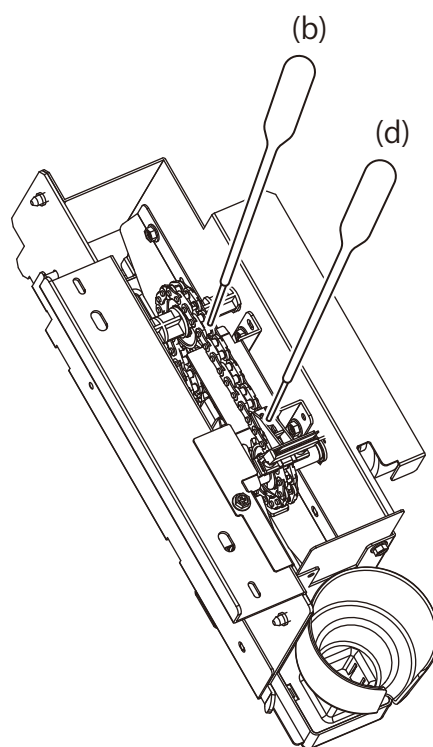
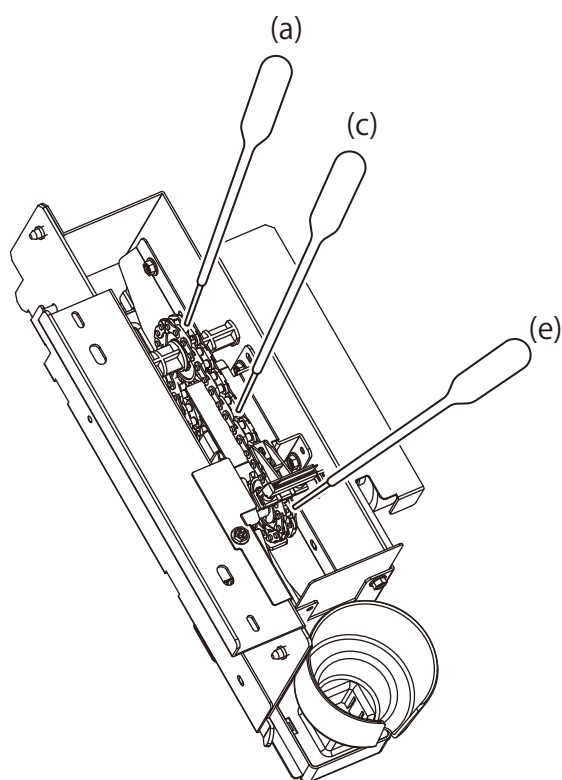
スポイトを使用してシートマウント洗浄液を 1ml 吸い上げます。

4



チェーンの下図 (a) 部にスポイト先端を差し込んでから、シートマウント洗浄液を注入します。

同様に、指示部 (b)、(c)、(d)、(e) についても各箇所 1ml ずつシートマウント洗浄液を注入します。



5

5 分間そのまま放置します。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

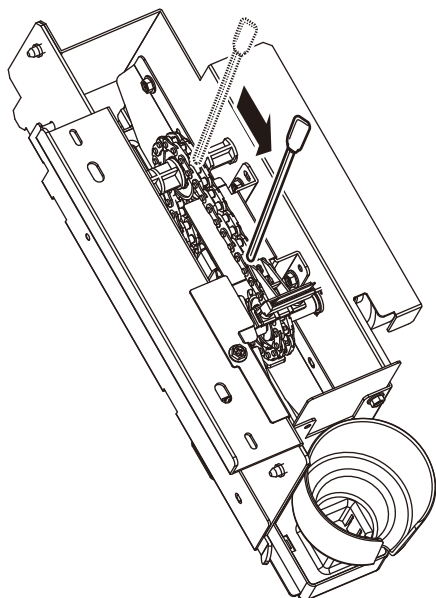
詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

6



クリーニング棒の柄をチェーンの左図 (b) 部に差し込み、そのままの状態です印方向に (d) 部まで移動します。

7

キャッピングユニットカバーを閉めてから、フロントカバーを閉めます。

8

電源を ON にしてください。

プリンターがシステムエラー 2320 を発生することなく起動すれば、作業終了です。

◆オペレータコールエラー

以下に示すエラーメッセージは、オペレータ（お客様自身）が処置できるエラーです。

<インク関係>

CC インクがセットサレテイマセン インクヲ セットシテクタサイ CC: インク色	<table><tr><td>意 味</td><td>インクカートリッジが未装着です。</td></tr><tr><td>処 置</td><td>メッセージに従って処置してください。インクカートリッジが装着されているのに本メッセージがでる場合は、装着不良の可能性があります。インクカートリッジが正しく挿入されているか確認してください。</td></tr></table>	意 味	インクカートリッジが未装着です。	処 置	メッセージに従って処置してください。インクカートリッジが装着されているのに本メッセージがでる場合は、装着不良の可能性があります。インクカートリッジが正しく挿入されているか確認してください。
意 味	インクカートリッジが未装着です。				
処 置	メッセージに従って処置してください。インクカートリッジが装着されているのに本メッセージがでる場合は、装着不良の可能性があります。インクカートリッジが正しく挿入されているか確認してください。				
CC インクヲ カクニンシテクタサイ nn: インクエラーコード CC: インク色	<table><tr><td>意 味</td><td>インクカートリッジに異常が発生しました。 または、純正インクカートリッジを認識できませんでした。</td></tr><tr><td>処 置</td><td>メッセージに従って処置してください。表示されているエラーコードをお手元に控えておいてください。</td></tr></table>	意 味	インクカートリッジに異常が発生しました。 または、純正インクカートリッジを認識できませんでした。	処 置	メッセージに従って処置してください。表示されているエラーコードをお手元に控えておいてください。
意 味	インクカートリッジに異常が発生しました。 または、純正インクカートリッジを認識できませんでした。				
処 置	メッセージに従って処置してください。表示されているエラーコードをお手元に控えておいてください。				
CC インクヲコウカンシテクタサイ CC: インク色	<table><tr><td>意 味</td><td>インクがなくなりました。</td></tr><tr><td>処 置</td><td>メッセージに従って処置してください。 (103 ページの「インクカートリッジの装着・交換」)</td></tr></table>	意 味	インクがなくなりました。	処 置	メッセージに従って処置してください。 (103 ページの「インクカートリッジの装着・交換」)
意 味	インクがなくなりました。				
処 置	メッセージに従って処置してください。 (103 ページの「インクカートリッジの装着・交換」)				
インクノイロガチガイマス CC インクヲカクニンシテクタサイ CC: インク色	<table><tr><td>意 味</td><td>インクカートリッジの色が間違っています。</td></tr><tr><td>処 置</td><td>正しい色のインクカートリッジを装着してください。</td></tr></table>	意 味	インクカートリッジの色が間違っています。	処 置	正しい色のインクカートリッジを装着してください。
意 味	インクカートリッジの色が間違っています。				
処 置	正しい色のインクカートリッジを装着してください。				
インクノ シュルイガチガイマス CC インクヲカクニンシテクタサイ CC: インク色	<table><tr><td>意 味</td><td>インクカートリッジの種類が間違っています。</td></tr><tr><td>処 置</td><td>正しい種類のインクカートリッジを装着してください。</td></tr></table>	意 味	インクカートリッジの種類が間違っています。	処 置	正しい種類のインクカートリッジを装着してください。
意 味	インクカートリッジの種類が間違っています。				
処 置	正しい種類のインクカートリッジを装着してください。				

<廃インクボトル関係>

ホートルヲセットシテクタサイ	<table><tr><td>意 味</td><td>廃インクボトルがセットされていません。</td></tr><tr><td>処 置</td><td>メッセージに従って処置してください。 (104 ページの「廃インクボトルのチェックと交換」)</td></tr></table>	意 味	廃インクボトルがセットされていません。	処 置	メッセージに従って処置してください。 (104 ページの「廃インクボトルのチェックと交換」)
意 味	廃インクボトルがセットされていません。				
処 置	メッセージに従って処置してください。 (104 ページの「廃インクボトルのチェックと交換」)				
ハイインクホートルヲ コウカンシテクタサイ	<table><tr><td>意 味</td><td>廃インクボトルがいっぱいです。</td></tr><tr><td>処 置</td><td>メッセージに従って処置してください。 (104 ページの「廃インクボトルのチェックと交換」)</td></tr></table>	意 味	廃インクボトルがいっぱいです。	処 置	メッセージに従って処置してください。 (104 ページの「廃インクボトルのチェックと交換」)
意 味	廃インクボトルがいっぱいです。				
処 置	メッセージに従って処置してください。 (104 ページの「廃インクボトルのチェックと交換」)				

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

<メディアジャム（メディア詰まり）>

メディアジャムエラーテス レバークアケテクタサイ	1
-----------------------------	---

意 味	キャリッジの動作経路に障害物があり、本機が正常に駆動できない場合に発生します。
処 置	メッセージに従って処置してください。 なお、実際にメディアジャム（メディア詰まり）が発生していない、またはキャリッジの経路に障害物がないにもかかわらず、何度も発生する場合は、販売店またはサービス拠点に連絡してください。 （ 215 ページの「メディアジャムの処理のしかた」）

メディアジャムエラーテス レバークアケテクタサイ	2
-----------------------------	---

意 味	異型のメディアを使用しているため、メディアが正しく検出されない場合に発生します。
処 置	メッセージに従って処置してください。 また、設定内容の確認も行なってください。 （ 215 ページの「メディアジャムの処理のしかた」）

メディアジャムエラーテス レバークアケテクタサイ	3
-----------------------------	---

意 味	キャリッジの動作経路に障害物があり、本機が正常に駆動できない場合に発生します。
処 置	メッセージに従って処置してください。 なお、実際にメディアジャム（メディア詰まり）が発生していない、またはキャリッジの経路に障害物がないにもかかわらず、何度も発生する場合は、販売店またはサービス拠点に連絡してください。 （ 215 ページの「メディアジャムの処理のしかた」）

<メディア関係>

レバークアケテ メディアヲセットシテクタサイ	
---------------------------	--

意 味	メディアが無くなった場合に発生します。
処 置	新しいメディアをセットしてください。 （ 40 ページの「メディアを本機に取り付ける」）

メディアヲセットシテクタサイ	
----------------	--

意 味	メディアを確認できない場合に発生します。
処 置	メディアセットしてください。 （ 40 ページの「メディアを本機に取り付ける」）

メディアハバノ エラーテス メディアヲカクニンシテクタサイ	
----------------------------------	--

意 味	無効なサイズ（64 インチ幅サイズ以上）のメディアがセットされました。
処 置	正しいサイズのメディアをセットしてください。 （ 40 ページの「メディアを本機に取り付ける」）

メディアスキュー エラーテス メディアヲサイセットシテクタサイ	
------------------------------------	--

意 味	メディアのスキューが発生しました。
処 置	メディアを正しくセットしなおしてください。 なお、スキューの発生状況によっては、プラテンにインクが付着している可能性があります。その場合はプラテン上のインクをきれいに拭き取ってください。 （ 40 ページの「メディアを本機に取り付ける」）

スキューヲケンシュツシマシタ インサツ ソツコウ/チュウシ	
----------------------------------	--

意 味	印刷中にスキューが検出されました。
処 置	印刷を続行するかまたは中止してください。

メディアノシワ ナオシテクタサイ
ゾッコウ/チュウシ

意 味	印刷中にメディアのしわが検出されました。
処 置	メディアのしわを取り除いて印刷を実行するか、または印刷を中止してください。 ( 234 ページの「メディアのしわが検出されたとき」)

<プリントヘッド関係>

ヘッドレイキャクチュウ
シハラクオマチクタサイ

意 味	本機は安定してインク吐出をさせる為にプリントヘッドの温度を監視しています。監視温度が 43℃を超えると保護装置が働き一次停止します。
処 置	環境温度を 15℃～ 30℃にして、プリントヘッドの温度が上昇しないような環境を保ってください。 印刷を中止する場合は、 CANCEL キーを押して下さい。

ヘッドオントガタカスキマス
インサツカイシ/チュウシ

意 味	ヘッド温度が本機の使用温度範囲外(高温)です。
処 置	環境温度を 15℃～ 30℃にして、プリントヘッドの温度が上昇しないような環境を保ってください。 印刷を開始する場合は、 OK キーを押してください。 印刷を中止する場合は、 CANCEL キーを押してください。

ヘッドレイキャクチュウ
ヒョウジュン ND BI

意 味	本機は安定してインク吐出をさせる為にプリントヘッドの温度を監視しています。監視温度が 40℃を超えると保護装置が働き、一次停止します。
処 置	環境温度を 15℃～ 30℃にして、プリントヘッドの温度が上昇しないような環境を保ってください。ヘッド温度が下がると、自動的に印刷を再開します。

<通信関係>

データオクラレテキマセン
セツゾクカクニンシテクタサイ

意 味	印刷データ転送中に USB 接続の異常(ケーブル切断)が検出された場合に表示します。
処 置	USB ケーブル接続を確認してください。

データノジュシンガ
チュウタンサレマシタ

意 味	印刷データの転送中にタイムアウトが発生したが、本機側の不具合ではないと思われる場合に表示します。
処 置	USB ケーブル接続を確認してください。

<その他>

カバーヲシメテクタサイ

意 味	フロントカバーが開いています。
処 置	メッセージに従って処置してください。

インクヲジュウテンシテクタサイ

意 味	インク充填が終了していない時に、クリーニングや印刷を実行すると表示されます。
処 置	インク充填が実施されるまではクリーニングや印刷は行えません。インク充填を実施してください。

マニュアル チョウセイヲ ジツコウシテクタサイ	n
n: エラーコード	

意 味	自動印刷調整を行うことができなかった場合に発生します。
処 置	メッセージに従って処置してください。 ( 73 ページの「◆自動印刷調整が実行できない」をご確認ください。)

ハハノヒロイメディアヲ セツシテクタサイ	
-------------------------	--

意 味	自動ノズルマップを実行した際に、メディアの幅が 762mm (30 インチ) 未満のメディアがセットされている場合に発生します。
処 置	自動ノズルマップを実行する際は、762mm (30 インチ) 以上のメディアをお使いください。 ( 102 ページの「◆自動設定でエラーが発生する場合」をご確認ください。)

ノズルマップヲマニュアルテ ニュウリョクシテクタサイ	n ◎
n: エラーコード	

意 味	自動ノズルマップを行うことができなかった場合に発生します。
処 置	メッセージに従って処置してください。 ( 102 ページの「◆自動設定でエラーが発生する場合」をご確認ください。)

シトウノズルマップ エラー Lc Lm C Y K M	◎
--------------------------------	---

意 味	自動ノズルマップを実行した際に、エラーが発生しました。
処 置	自動ノズルマップのエラー印刷結果に従って処置してください。 ( 102 ページの「◆自動設定でエラーが発生する場合」をご確認ください。)

シツオンヲ アゲテクタサイ テキオンニナルマテオマチクタサイ	
-----------------------------------	--

意 味	室温が本機の使用温度範囲外 (低温) です。
処 置	本機の使用温度範囲内 (15℃～ 30℃) でお使いください。 印刷を中止する場合は、  キーを押して下さい。

シツオンガタカスキマス インサツ カイシ/チュウシ	◎
------------------------------	---

意 味	室温が本機の使用温度範囲外 (高温) です。
処 置	本機の使用温度範囲内 (15℃～ 30℃) でお使いください。 印刷を開始する場合は、  キーを押してください。 印刷を中止する場合は、  キーを押してください。

シツオンヲ サゲテクタサイ ヒョウシュン ND BI	
-------------------------------	--

意 味	室温が本機の使用温度範囲外 (高温) です。
処 置	本機の使用温度範囲内 (15℃～ 30℃) でお使いください。 周囲温度が下がると、自動的に印刷を再開します。

シツオンヲ アゲテクタサイ	
---------------	--

意 味	本機を設置している室内の温度が低すぎます。
処 置	室温を 5℃以上にしてお使いください。

シツオンヲ サゲテクタサイ	
---------------	--

意 味	本機を設置している室内の温度が高すぎます。
処 置	室温を 35℃以下にしてお使いください。

エラーガハッセイシマシタ シバラクオマチクタサイ	
-----------------------------	--

意 味	本機でエラーを検出しました。
処 置	エラーメッセージに切り替わるまでしばらくお待ち下さい。 5分以上待っても表示が切り替わらない場合は、本機を再立ち上げしてください。

(オプション装着時)

イオナイザーイシヨウテス nn
サービスニ レンラクシテクタサイ

nn: エラーコード

意 味	イオナイザーの異常を検出しました。
処 置	サービス拠点に連絡し、イオナイザーの交換を実施してください。 イオナイザーを使用しない設定にすることで、印刷を行うことは可能です。 ( 175 ページの「印刷物のミスト汚れを防ぎたい(オプション装着時)」を参照してください。)

印刷する前に 知っておきたいこと
メディアをセットする
調整する
メンテナンス
詳細な取り扱い方法
困ったときは・・・
メニューツリー
ふろく

スキューが検出されたとき

本機は、メディア登録でスキューチェックがオン設定になっている場合、一定印刷長毎にメディアのスキューチェックを行います。規定以上のズレを検出した場合、プリントポーズモードになり、印刷を続行するか、中止するかの選択画面を表示します。

プリントチュウ
ヒョウシュン ND BI

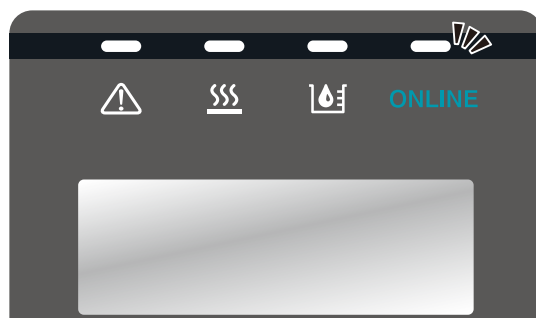


(スキューチェックの実施)

スキューラケンシュツシマシタ
インサツ ゾッコウ/チュウシ

スキューを検出した場合

オンライン LED がゆっくり点滅



OK キーで印刷続行



プリントチュウ
ヒョウシュン ND BI

CANCEL キーで印刷中止



レバーヲアゲテ
メディアヲサイセツシテクタサイ



そのまま続行すると…

- ◇ そのまま「ゾッコウ」を選択すると、停止している部分から印刷を再開できますが、メディアがメディアエッジガードから外れたり、メディアジャムになる可能性があります。したがって、その後の印刷が長いとズレが大きくなり、本機が故障する恐れがあるので「チュウシ」を選択することをおすすめします。

警告メッセージが表示されたとき

警告すべき情報がある場合、エラー LED  が点滅します。オンライン印刷終了後、以下のような警告メッセージが表示されます。

表示されたメッセージに従って適切な処置をしてください。

メディアノシワ カクニンシテクタサイ	<table><tr><td>意味</td><td>長時間（約 250 分）メディアの搬送がありませんでした。メディアにシワが発生していないか確認してください。</td></tr><tr><td>処置</td><td>下記のいずれかを実施してください。 ① 加圧ローラーアップダウンレバー解除を実施し、シワを解消する。 ② フィード / バックフードを実施し、シワを解消する。 ③ シワの発生はないので、ANY キー入力で警告を解除する。</td></tr></table>	意味	長時間（約 250 分）メディアの搬送がありませんでした。メディアにシワが発生していないか確認してください。	処置	下記のいずれかを実施してください。 ① 加圧ローラーアップダウンレバー解除を実施し、シワを解消する。 ② フィード / バックフードを実施し、シワを解消する。 ③ シワの発生はないので、ANY キー入力で警告を解除する。
意味	長時間（約 250 分）メディアの搬送がありませんでした。メディアにシワが発生していないか確認してください。				
処置	下記のいずれかを実施してください。 ① 加圧ローラーアップダウンレバー解除を実施し、シワを解消する。 ② フィード / バックフードを実施し、シワを解消する。 ③ シワの発生はないので、ANY キー入力で警告を解除する。				
ヘッドタカサキリカエヲ シッシ シテクタサイ	<table><tr><td>意味</td><td>現在使用しているメディアのメディア設定のヘッド高さ設定と実際のヘッド高さ設定があっていません。</td></tr><tr><td>処置</td><td>下記のいずれかを実施してください。 ① 「ヘッドタカサ キリカエ」を実施して、実際のヘッド高さをメディア登録の設定と同じ高さに切り替えてください。 ② メディア設定のヘッド高さ設定が間違っていないか確認し、間違っている場合は、メディア設定のヘッド高さ設定を実際のヘッド高さの設定に合わせてください。</td></tr></table>	意味	現在使用しているメディアのメディア設定のヘッド高さ設定と実際のヘッド高さ設定があっていません。	処置	下記のいずれかを実施してください。 ① 「ヘッドタカサ キリカエ」を実施して、実際のヘッド高さをメディア登録の設定と同じ高さに切り替えてください。 ② メディア設定のヘッド高さ設定が間違っていないか確認し、間違っている場合は、メディア設定のヘッド高さ設定を実際のヘッド高さの設定に合わせてください。
意味	現在使用しているメディアのメディア設定のヘッド高さ設定と実際のヘッド高さ設定があっていません。				
処置	下記のいずれかを実施してください。 ① 「ヘッドタカサ キリカエ」を実施して、実際のヘッド高さをメディア登録の設定と同じ高さに切り替えてください。 ② メディア設定のヘッド高さ設定が間違っていないか確認し、間違っている場合は、メディア設定のヘッド高さ設定を実際のヘッド高さの設定に合わせてください。				
オウフクチョウセイヲ シッシ シテクタサイ	<table><tr><td>意味</td><td>往復調整が実施されていません。</td></tr><tr><td>処置</td><td>往復調整を実施してください。</td></tr></table>	意味	往復調整が実施されていません。	処置	往復調整を実施してください。
意味	往復調整が実施されていません。				
処置	往復調整を実施してください。				
オクリチョウセイヲ シッシ シテクタサイ	<table><tr><td>意味</td><td>送り調整が実施されていません。</td></tr><tr><td>処置</td><td>送り調整を実施してください。</td></tr></table>	意味	送り調整が実施されていません。	処置	送り調整を実施してください。
意味	送り調整が実施されていません。				
処置	送り調整を実施してください。				
クリーニングヲ シッシヲ オススメシマス	<table><tr><td>意味</td><td>印刷抜けを防ぐために、クリーニングの実施をお勧めします。</td></tr><tr><td>処置</td><td>クリーニングを実施してください。</td></tr></table>	意味	印刷抜けを防ぐために、クリーニングの実施をお勧めします。	処置	クリーニングを実施してください。
意味	印刷抜けを防ぐために、クリーニングの実施をお勧めします。				
処置	クリーニングを実施してください。				
クリーニングヲ シッシ シテクタサイ	<table><tr><td>意味</td><td>次の印刷開始時にオートクリーニングが実施されます。</td></tr><tr><td>処置</td><td>クリーニングを実施してください。 あらかじめクリーニングを実施しておくと、印刷開始時にオートクリーニングは実行されません。</td></tr></table>	意味	次の印刷開始時にオートクリーニングが実施されます。	処置	クリーニングを実施してください。 あらかじめクリーニングを実施しておくと、印刷開始時にオートクリーニングは実行されません。
意味	次の印刷開始時にオートクリーニングが実施されます。				
処置	クリーニングを実施してください。 あらかじめクリーニングを実施しておくと、印刷開始時にオートクリーニングは実行されません。				
シートマウントクリーニングヲ シッシ シテクタサイ	<table><tr><td>意味</td><td>シートマウントクリーニングが実施されていません。</td></tr><tr><td>処置</td><td>シートマウントクリーニングを実施してください。</td></tr></table>	意味	シートマウントクリーニングが実施されていません。	処置	シートマウントクリーニングを実施してください。
意味	シートマウントクリーニングが実施されていません。				
処置	シートマウントクリーニングを実施してください。				
ハイインクガモウスク イッパイナリマス	<table><tr><td>意味</td><td>廃インクがもうすぐいっぱいになります。</td></tr><tr><td>処置</td><td>新しい廃インクボトルを用意してください。 ( 104 ページの「廃インクボトルのチェックと交換」)</td></tr></table>	意味	廃インクがもうすぐいっぱいになります。	処置	新しい廃インクボトルを用意してください。 ( 104 ページの「廃インクボトルのチェックと交換」)
意味	廃インクがもうすぐいっぱいになります。				
処置	新しい廃インクボトルを用意してください。 ( 104 ページの「廃インクボトルのチェックと交換」)				

CCインクがモウスク
ナクナリマス
CC:インク色

意 味	CC インクがもうすぐなくなります。
処 置	新しいインクカートリッジを用意してください。 (203 ページの「インクカートリッジの装着・交換」)

インクエンドヲ ケンシュツシマシタ
CCインクヲ カクニンシテクダサイ
CC:インク色

意 味	インク残量があるのにインクエンドを検出した場合に表示されます。
処 置	インクカートリッジが正しく取り付けられているか確認してください。 (203 ページの「インクカートリッジの装着・交換」)

キャップクリーニングヲ
シッシシテクダサイ

意 味	キャップクリーニングを実施する時間になりました。
処 置	キャップクリーニングを実施してください。

マキトリソウチヲ
カクニンシテクダサイ

意 味	巻き取り装置のタイムアウトが発生しました。
処 置	巻き取り装置のスイッチを切り替えてください。

ヘッドタカサキリカエヲ
シッシ シテクダサイ

意 味	現在セットされているメディアのヘッドタカサの設定と、装置に設定されているヘッドタカサが一致していません。
処 置	① メディアトウロクメニューで、ヘッドタカサの設定が正しいか確認してください。 ② ヘッドメンテナンスメニューのヘッドタカサキリカエを実行して、ヘッド高さを切り替えてください。 (167 ページの「厚いメディアに印刷したい」)

・インク LED  が点滅:

意 味	インク残量が少ない。
処 置	新しいインクカートリッジを用意してください。 (203 ページの「インクカートリッジの装着・交換」)

<寿命性部品警告>

フ・ヒンコウカン XXXXXX
サービ・スニ レンラクシテクダサイ
XXXXXX: 部品番号

意 味	各種部品の寿命が近づいてきたときに表示されます。
処 置	サービス拠点に連絡し、部品の交換を実施してください。

ワイパ・ブレードヲ
コウカン シテクダサイ

意 味	ワイパーブレードの寿命が近づいてきたときに表示されます。
処 置	ワイパーブレードを交換してください。

ワイパ・ークリーニング・エキヲ
コウカン シテクダサイ

意 味	ワイパークリーニング液が少なくなってきました。
処 置	ワイパークリーニング液の交換を実施してください。

ワイパ・ースポンジヲ
コウカン シテクダサイ

意 味	ワイパースポンジの寿命が近づいてきたときに表示されます。
処 置	ワイパースポンジを交換してください。

印刷抜け（ノズル詰まり）を回復させる

日常メンテナンスを実施し、「ノズルマップ」を設定した後も印刷抜けが発生する場合は、以下の作業を実施してください。

強力クリーニング



「ノズルプリント」
印刷抜けのチェック

ツウジョウ（通常）クリーニングでも印刷抜けが回復しない場合に実施します。

フィルキャップ



「ノズルプリント」
印刷抜けのチェック

キャップ内にインクを充填してプリントヘッド（ノズル面）をインクで浸し、ノズル詰まりを解消させるために実施します。実施後、1～2時間プリンターを放置します。

キャップ CL 充填



「ノズルプリント」
印刷抜けのチェック

キャップ内にシートマウント洗浄液を充填してプリントヘッド（ノズル面）をシートマウント洗浄液で浸し、ノズル詰まりを解消させるために実施します。実施後、一晚（12時間～18時間程度）本機を放置します。
その後、キョウリョク（強力）クリーニングを実施します。

シートマウントクリーニングでのクリーニング

シートマウントクリーニング（ 122 ページ）で、プリントヘッド面を清掃してください。

◆ 強力クリーニング

1

フ°プリント°キマス
01:PAPER/1626mm



PH.RECOVERY

PH.RECOVERY キーを押します。

オンラインアイドル、オンライン、印字中、ポーズ中にクリーニングを実施することができます。

2

PH. RECOVERY
↑ツウジョウ



 キーを押して、「キョウリョク」を選択します。

3 PH. RECOVERY
↓キョウリョク



4 >キョウリョク
ホトルカクニンOK?



クリーニング
シッコウチュウ 2:40

10 秒おきに数字がダウンする

5 フリントデキマス
01:PAPER/1626mm

OK キーを押します。

OK キーを押します。

廃インクボトルが一杯になっていないことを目視で確認します。

クリーニングが始まります。

クリーニング動作は数分かかります。

クリーニングが始まると、完了までの残り時間が表示されます。

残り時間表示は、10 秒ごとに更新されます。

クリーニング終了。

終了後、開始時の状態に戻ります。

- ・オンラインアイドル・オンライン：オンラインへ遷移
- ・印刷中：印刷を再開
- ・ポーズ中：ポーズ状態のまま

◆ フィルキャップ

1 フリントデキマス
01:PAPER/1626mm



2 MAINTENANCE
↓キャップクリーニング



3 MAINTENANCE
↓ヘッドメンテナンス



4 >ヘッドメンテナンス
↓サービスクリーン



MAINTENANCE キーを押します。

✓ キーを押して、「ヘッドメンテナンス」を選択します。

OK キーを押します。

✓ キーを押して、「フィルキャップ」を選択します。

5 >ヘッドメンテナンス
↓フィルキャップ



(OK) キーを押します。

6 >>フィルキャップ
ホトルカクニンOK?



(OK) キーを押します。

7 シッコウチュウ
シハラクオマチクタサイ



8 >ヘッドメンテナンス
↓フィルキャップ

フィルキャップ終了です。

1～2時間放置します。

放置した後、印刷をする前にツウジョウクリーニングを実施してください。

◆ キャップ CL ジュウテン

以下のガイダンスに沿って作業を行ってください

1 プリントキマス
01:PAPER/1626mm



(MAINTENANCE) キーを押します。

2 MAINTENANCE
↓カシマエノメンテナンス



(✓) キーを押して、「ヘッドメンテナンス」を選択します。

3 MAINTENANCE
↓ヘッドメンテナンス



(OK) キーを押します。

4 >ヘッドメンテナンス
↓キャップ CL ジュウテン



(✓) キーを押して、「キャップ CL ジュウテン」を選択し、(OK) キーを押します。

5

>> キャップ CL ジュウテン
OK?



キャリッジイトウチュウ
シハラクオマクダサイ



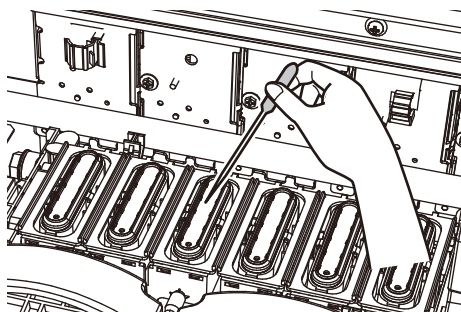
6

カハローアケテクダサイ



7

シートマウントセンシヨウエキヲ
キャップノナカニイレテクダサイ



8

カハローシメテクダサイ



キャリッジイトウチュウ
シハラクオマクダサイ



OK キーを押します。

キャリッジがメンテナンスポジションに移動します。

フロントカバーを開けてから、キャッピングユニットカバーを開けます。

スポイトを使用して、各色のキャップの中にシートマウント洗浄液を入れてください。

キャッピングユニットカバーを閉めてから、フロントカバーを閉めます。

キャリッジがホームポジションに移動します。

⚠ 注意

- ◆ 手順 8 までの間に何らかのエラーが発生してガイダンスが終了してしまった場合は、手順 1 に戻って再度、キャップ CL ジュウテンを実施してください。

9

OKホ[°]タンテ[°] シュウリョウシマス
ケイカジ[°]カン (H:M)



(この状態で放置します。)

10



OK

11

シュウリョウシテ センジ[°]ョウエキヲ
ハイシュツシマスカ?



OK

12

センジ[°]ョウエキヲ ハイシュツチュウ
シハ[°]ラクオマチクタ[°]サイ



(シートマウント洗浄液の排出終了。)

13

クリーニング[°]スタート
ホ[°]トルカクニ[°] OK?



OK

14

クリーニング[°]チュウ
ノコリジ[°]カン Y:YY



OK

15

>ヘット[°]メンテナンス
↑キャップ[°] CL シュウテン ◎

⚠注意

◆ キャップ CL ジュウテンの実施時間は、12～18 時間です。時間が経過したらパネル表示に従い、すみやかにキャップ CL ジュウテンを終了してください。

「キャップ CL ジュウテン」を終了する場合は、OK キーを押します。

OK キーを押します。

OK キーを押します。

廃インクボトルを確認し、満タンでないことを確認してください。

(強力クリーニングが実行されます。)

キャップ CL ジュウテンの完了です。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

メディアのしわが検出されたとき

本機は、セーフ スキャンング システムにより、印刷中に発生するメディアのしわを検出しています。メディアのしわを検出した場合、プリントポーズモードになり、印刷を続行するか、または中止することを選択するための画面を表示します。



プリントポーズモードになるのは…

- ◇ プリントポーズモードになるのは、セーフ スキャンングの設定が、「インサツ テイシ」または、「インサツ ケイコク&テイシ」になっている場合です。

プリントチュウ
ヒョウシュン ND BI



(メディアのしわを検出した場合)

メディアノシワヲ ナオシテクダサイ
ゾッコウ/チュウシ

メディアのしわを検出した場合

オンライン LED がゆっくり点滅



(印刷を続行する場合)

プリントポーズモードでは、印刷中のジョブをキャンセルすることなく、フロントカバーの開閉や加圧ローラーアップダウンレバーの操作を行うことができます。

印刷を続行する場合は、発生しているメディアのしわを取り除いてから、印刷を開始するようにしてください。

(印刷を中止する場合)

CANCEL キーで印刷中止



レバーヲアゲテ
メディアヲサイセットシテクダサイ



そのまま続行すると…

- ◇ 選択画面を表示したとき「ゾッコウ」を選択すると、停止している部分から印刷を再開できます。ただし、メディアのしわが大きくなり、メディアジャムが発生する可能性があります。
また、選択画面を表示した後の印刷が長く続く場合は、メディアのしわが大きくなり、本機が故障する恐れがあるので“チュウシ”を選択することをおすすめします。

フロントカバーを開けます。



カバー
シメテクタサイ



加圧ローラーアップダウンレバーを上げます。

レバーサゲテクタサイ



加圧ローラーアップダウンレバーを上げる
際には…

- ◇ 加圧ローラーアップダウンレバーを上げる際に、メディアが外れないようにメディアを手で押さえながら操作するようにしてください。



メディアのしわを直します。



加圧ローラーアップダウンレバーを下げます。

カバー
シメテクタサイ



フロントカバーを閉めます。

メディアノシワ ナオシテクタサイ
ゾッコウ/チュウシ

OK キーで印刷続行



プリントチュウ
ヒョウジュン ND BI

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

こんな症状が出たら

ここでは、お客様が本機を使って、より良い画質を得るためのヒントを説明します。印刷物の症状に従って対処してください。

1 症状に対して複数の対処方法が記載してある場合、効果が大きいと予想される方法から順に記載しています。

1 番目から優先に行い、改善効果を確認する事を推奨します。（記載してある全ての対処方法を実行しなければ改善しないという事ではありません。）

◆ 印刷が薄い

原因	対処方法
高濃度プロファイルを使用していない	電飾メディアなどの高濃度印刷を必要とする場合には、高濃度用のプロファイルを使用して RIP してください。RIP ソフトウェアの設定を確認してください。
使用環境が本機の仕様外である	室温を 15℃以上(推奨温度:20 ~ 25℃) にあげ、本機を十分に暖気してください。
RIP のメディア種類選択が適正ではない	RIP 時のメディア設定を確認してください。

◆ 印刷がかすれる、ざらつく

原因	対処方法
往復、送り調整値が適正でない	① 往復調整、送り調整を再度実施してください。 ② 自動調整を実施済みの場合は、マニュアル調整を行ってください。 (①、②は、 72 ページ を参照ください。) ③ 往復調整実施済みでも往復調整値が適正でない場合は、「往復調整 詳細」を行ってください。 (③は、 85 ページ を参照ください。)

◆ 印刷開始時に印刷抜けが発生する

原因	対処方法
使用温湿度範囲外	使用温湿度範囲内で使用してください。（ 22 ページ ）
ノズル面が通過する経路上にゴミが付着している	プラテン上、メディアエッジガード、キャッピングユニット、ワイパーブレード、加圧ローラーを確認し、ゴミ・汚れ等を取り除いてください。 メディアのほつれた糸クズがプリントヘッドにこずれて印刷抜けが起こることがあります。糸クズのないメディアに交換してください。
ノズル面がメディアにこずれてしまった	通常クリーニングを実施してください。 回復しない場合は 229 ページ の作業を実施してください。
クリーニングが正常に行えていない	日常メンテナンスを実施してください。 キャップクリーニングを実施してください。

◆ メディアにシワ・カールが発生する

原因	対処方法
使用温湿度範囲外	① 使用温湿度範囲内で使用してください。 ※ メディアによっては、使用温湿度範囲内でもシワが発生します。 ② 実績のあるメディアを使用してください。
メディアが環境に馴染んでいない	メディアの保管環境とプリンターの使用環境が異なる場合は十分馴染ませてください。 ※ 馴染ませる時間は、メディアの種類や保管環境により異なります。
メディアのセット不良	以下のような状態で、メディアが適切にセットされていることを確認してください。 ・ プリンターに対してメディアが垂直にセットされているか、確認する。 ・ 操作パネルの「メディア種類」が正しく選択されているか、確認する。 ・ メディアに適した巻き取り方式で巻き取られているか、確認する。 ・ 装置前方に排出されたメディア先端を、巻き取り紙管にまっすぐセットされているか、確認してください。
ヒーターの熱によるシワ	① ヒーター加熱中にシワが入る場合、ヒーター加熱を事前に行ってからメディアをセットしてください。 ② ヒーター温度を変更してください。3ヒーターとも一律に 5℃刻みで下げてください。(注 1) ③ 実績のあるメディアを使用してください。 ④ 皺がなくなる場合は、皺がなくなるまでフィードしてください。 ⑤ 印刷ジョブ間で毎回皺が発生する場合、メディア送りモードを変更してください。
メディアのカール	① メディアの縦方向(X 方向) にカールが発生するメディアは使用しないでください。 ② メディアの左右端(Y 方向) のカールが発生し、メディアエッジガードと吸着ファンで抑えきれないメディアは使用しないでください。 ③ 実績のあるメディアを使用してください。
メディア登録の吸着ファン設定が弱い	メディア登録の吸着ファンの設定を強くしてください。
搬送によって発生する皺	① メディアを一度取り外し、再度プリンタにセットしなおしてください。 ② 実績のあるメディアを使用してください。

(注 1) 送り調整値の再調整が必要です。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

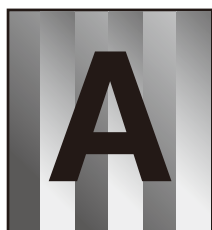
困ったときは・・・

メニューツリー

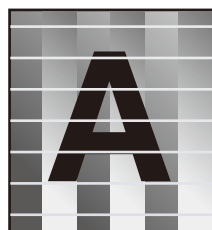
ふろく

◆ 印刷物に白スジが入る

【基本イメージ】



【症状A】



【原因】
送り調整値が合っていない

【症状B】



【原因】
プリントヘッドのノズル
詰まり

【症状C】



【原因】
メディアとの相性が悪い

【参考】
カラーストライプを
つけると全色で白ス
ジが発生



【参考】
カラーストライプを
つけると一部の色で
白スジが発生



原因	対処方法
【症状A】 送り調整値が合っていない	送り調整値を合わせてください。 ※巻き取り方式がたるみ巻き / テンション巻きの違いにより、調整値が異なります。 ・ 巻き取り方式（たるみ巻き / テンション巻き）を変更した場合、送り調整値の再調整が必要です。 ・ 加圧ローラーアップダウンレバーで加圧力を変更した場合、送り調整値の再調整が必要です。 ・ メディア登録の吸着ファン設定を変更した場合、送り調整値の再調整が必要です。
【症状A】 メディア送りの精度が悪い / 安定しない	① 以下のような状態で、メディアが適切にセットされていることを確認してください。 ・ プリンターに対してメディアが平行にセットされているか、確認する。 ・ 操作パネルの「メディア種類」が正しく選択されているか、確認する。 ・ メディアに適した巻き取り方式で巻き取られているか、確認する。 ・ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照してください。 ② 加圧ローラーアップダウンレバーで加圧力を変えてください。(注1) ③ より遅い印刷モードに変更してください。(注1)、(注2) ④ 給紙ロールと加圧ローラーの間でメディアが弛んでいないか確認してください。 ※ 弛んだ状態で送り調整値の調整を行うと、調整値がずれる場合があります。
【症状B】 プリントヘッドのノズル詰まり	① ノズルプリントを印刷し、抜けノズルをノズルマップで入力してください。 (94 ページ) ② プラテン上やプリントヘッドのノズル面が通過する付近にメディアの糸クズや垂れたインクが固まったものなど、「ごみ」がないか確認し、あれば取り除いてください。 ③ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照して、適切な対応をしてください。 ④ 日常メンテナンスを行ってください。 ※ ヘッドガード、メディアエッジガードの清掃も忘れずに行ってください。 ※ クリーニング(ツウジョウ) も忘れずに行ってください。 ⑤ シートマウントクリーニング (123 ページ) で、プリントヘッド面を清掃してください。 ◇ カラーストライプをつけて印刷する事で印刷抜けが発生しにくくなります。 (159 ページ)

【症状 B】 プリントヘッドのノズル偏向	① ノズルプリントを印刷し、曲っているノズルをノズルマップで入力してください。 ( 94 ページ) ② カラーストライプをつけて印刷することで、偏向が発生しにくくなります。 ( 159 ページ)
【症状 C】 メディアとの相性が悪い (ドットが広がりにくいメディア)	① ヒーター温度を下げてください。3ヒーターとも一律5℃刻みで下げてください。 (注 1) ※ 印刷する前にヒーター温度が変更した温度まで下がっていることを確認してください。 ※ メディアによってはヒーター温度を上げて効果がある場合があります。 ② より遅い印刷モードに変更してください。(注 1)、(注 2) ③ 実績のあるメディアで印刷してください。 ④ 高濃度印刷を実施してください。

(注 1) 送り調整値の再調整が必要です。

(注 2) 印刷速度は変わります。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

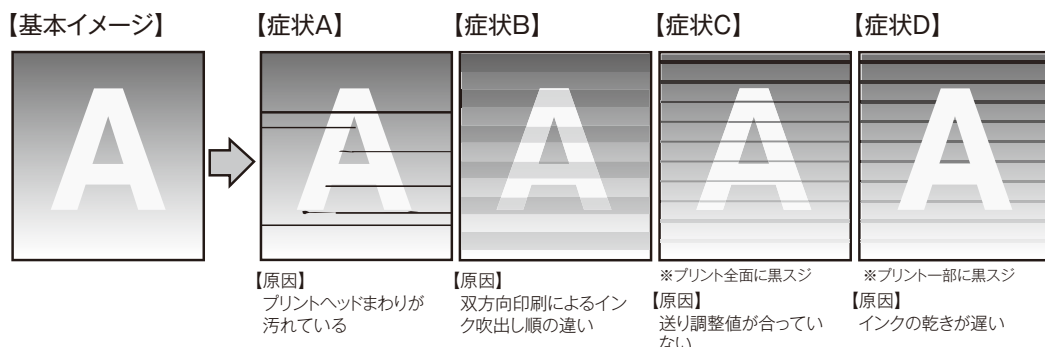
詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

◆ 印刷物に黒スジが入る



原因	対処方法
【症状A】 プリントヘッドのまわりが汚れている	① プラテン上や加圧ローラー、プリントヘッドのノズル面が通過する付近にメディアの糸くずや垂れたインクが固まったものなど、「ごみ」がないか確認し、あれば取り除いてください。 ② メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照して、適切な対応をしてください。 ③ 日常メンテナンスを行ってください。 ※ メディアエッジガードの清掃も忘れずに行ってください。 ※ クリーニング（ツウジョウ）も忘れずに行ってください。 ④ シートマウントクリーニング（ 123 ページ）で、プリントヘッド面を清掃してください。
【症状B】 双方向印刷によるインク吹出し順の違い	① より遅い印刷モードに変更してください。（注1）、（注2）、（注3） ② 片方向で印刷してください。（注2） ③ 実績のあるメディアで印刷してください。
【症状C】 送り調整値が合っていない	① 送り調整値を合わせてください。 ② 給紙ロールと加圧ローラーの間でメディアが弛んでいないか確認してください。 ※ 弛んだ状態で送り調整値の調整を行うと、送り調整値がずれる場合があります。 ・ 巻き取り方式がたるみ巻き / テンション巻きの違いにより、調整値が異なります。 ・ 吸着ファンの強さを変更した場合、送り調整値の再調整が必要です。 ・ 加圧ローラーアップダウンレバーで加圧力を変更した場合、送り調整値の再調整が必要です。 ・ イオナイザー（オプション）がオンの場合、オフに切り替えてください。 ・ 自動調整を実施済みの場合は、マニュアル調整を行ってください。
【症状D】 メディア送りの精度が悪い / 安定しない	① 以下のような状態で、メディアが適切にセットされていることを確認してください。 ・ プリンターに対してメディアが平行にセットされているか、確認する。 ・ 操作パネルの「メディア種類」が正しく選択されているか、確認する。 ・ メディアに適した巻き取り方式で巻き取られているか、確認する。 ・ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照してください。 ② 加圧ローラーアップダウンレバーで加圧力を変えてください。（注1） ③ より遅い印刷モードに変更してください。（注1）、（注2） ④ 吸着ファンの強さを変更してください。（注1） ⑤ イオナイザー（オプション）がオンの場合、オフに切り替えてください。

【症状D】 インクの乾きが遅い (モタリング (ブリーディング) が発生している)	① ヒーター温度を上げてください。3ヒーターとも一律5℃刻みで上げてください。 (注 1) ※ プリントする前にヒーター温度が変更した温度まで上がっていることを確認してください。 ② より遅い印刷モードまたは、キャリッジ速度「テイソク」に変更してください。 (注 1)、(注 2)、(注 3) ③ 片方向で印刷してください。(注 2) ④ 実績のあるメディアで印刷してください。 ⑤ RIP ソフトウェアのプロファイルでインク量が少ないプロファイルを使用する。 ※ 使用するインク量が変わるので、色味も変わります。
--	---

(注 1) 送り調整値の再調整が必要です。

(注 2) 印刷速度は変わります。

(注 3) キャリッジ速度設定を変更した場合には往復調整値の再調整が必要です。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

◆ 印刷物に汚れが入る



原因	対処方法
【症状A】 インクのしぶき	① 使用温湿度範囲内で使用していることを確認してください。 ② 日常メンテナンスを行ってください。 ※ ヘッドガード、メディアエッジガードの清掃も忘れずに行ってください。 ③ クリーニング（キョウリョク）を行ってください。 ④ より遅い印刷モードまたは、キャリッジ速度「テイソク」に変更してください。 （注1）、（注2）、（注3） ⑤ シートマウントクリーニング（ 123ページ ）で、プリントヘッド面を清掃してください。 ⑥ 「プリントヘッドタカサ」が「タカイ」設定の場合、「ツウジョウ」にして、ヘッド高さを下げてください。（注4） ※ 「プリントヘッドタカサ」が「ツウジョウ」で問題のあるメディアの場合には、「ツウジョウ」にしないでください。（ 167ページ ）
【症状B】 インクのパタ落ち	① 使用温湿度範囲内で使用していることを確認してください。 ② プラテン上やプリントヘッドのノズル面が通過する付近にメディアの糸クズや垂れたインクが固まったものなど、「ごみ」がないか確認し、あれば取り除いてください。 ③ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照して、適切な対応をしてください。 ④ 日常メンテナンスを行ってください。 ※ メディアエッジガード清掃も忘れずに行ってください。 ※ クリーニング（ツウジョウ）も忘れずに行ってください。 ※ キャップクリーニングを忘れずに実施してください。 ⑤ シートマウントクリーニング（ 123ページ ）で、プリントヘッド面を清掃してください。 ⑥ 静電気が発生しやすいメディアの場合、静電気が原因でインクのパタ落ちが発生することがあります。このようなメディアではイオナイザー（オプション）「オン」に設定してください。（注1） ⑦ ターポリン系のメディアでは、ほつれた糸クズがプリントヘッドにこすれてインクが垂れることがあります。

【症状 C】 プリントヘッドのこすれ	① 以下のような状態で、メディアが適切にセットされていることを確認してください。 ・ プリンターに対してメディアが平行にセットされているか、確認する。 ・ 操作パネルの「メディア種類」が正しく選択されているか、確認する。 ・ メディアに適した巻き取り方式で巻き取られているか、確認する。 ・ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照してください。 ② プラテン上やプリントヘッドのノズル面が通過する付近にメディアの糸クズや垂れたインクが固まったものなど、「ごみ」がないか確認し、あれば取り除いてください。 ③ 日常メンテナンスを行ってください。 ※ メディアエッジガードの清掃も忘れずに行ってください。 ※ クリーニング（ツウジョウ）も忘れずに行ってください。 ④ シートマウントクリーニング（  123 ページ）で、プリントヘッド面を清掃してください。 ⑤ メディア登録の吸着ファン設定を強く設定してください。（注 1） ⑥ イオナイザー（オプション） がオンの場合、オフ に切り替えてください。
【症状 D】 加圧ローラーの汚れ	①  118 ページの手順に従って、加圧ローラーを清掃してください

（注 1） 送り調整値の再調整が必要です。

（注 2） 印刷速度は変わります。

（注 3） キャリッジ速度設定を変更した場合には往復調整値の再調整が必要です。

（注 4） 往復調整値の再調整が必要です。

◆ 印刷物にニジミが入る



原因	対処方法
【症状A】 インクの乾きが遅い / インク量が多い	① ヒーター温度を上げてください。3ヒーターとも一律5℃刻みで上げてください。 (注1) ※ プリントする前にヒーター温度が上がっていることを確認してください。 ② より遅い印刷モードまたは、キャリッジ速度「テイソク」に変更してください。 (注1)、(注2)、(注3) ③ 片方向で印刷してください。(注2) ④ 高濃度の印刷モードで印刷している場合は通常濃度で印刷し直してください。 ⑤ 今までに実績のあるメディアで印刷してください。 ⑥ RIPのプロファイルでインク量が少ないプロファイルを使用してください。 ※ 使用するインク量が変わるので、色味も変わります。
【症状B】 プリントヘッド位置のずれ / プリントヘッド往復位置のずれ	① プリントヘッドの位置調整を行ってください。(75 ページ) ② プリントヘッドの往復調整を行ってください。(80 ページ) ③ 往復調整を自動調整で実施済みの場合、マニュアルで再調整してください。
【症状C】 送り調整値が合っていない	送り調整値を合わせてください。送り調整を自動調整で実施済みの場合、マニュアルで再調整してください。 ・ 巻き取り方式がたるみ巻き / テンション巻きの違いにより、調整値が異なります。 ・ 吸着ファンの強さを変更した場合、送り調整値の再調整が必要になります。 ・ 加圧ローラーアップダウンレバーで加圧力を変更した場合、送り調整値の再調整が必要です。 ・ イオナイザー（オプション）がオンの場合、オフに切り替えてください。 ・ 自動調整で調整を実施済み場合、マニュアル調整を行ってください。
【症状D】 メディア送りの精度が悪い / 安定しない	① 以下のような状態で、メディアが適切にセットされていることを確認してください。 ・ プリンターに対してメディアが平行にセットされているか、確認する。 ・ 操作パネルの「メディア種類」が正しく選択されているか、確認する。 ・ メディアに適した巻き取り方式で巻き取られているか、確認する。 ・ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照してください。 ② 加圧ローラーアップダウンレバーで加圧力を変えてください。(注1) ③ より遅い印刷モードまたは、キャリッジ速度「テイソク」に変更してください。 (注1)、(注2)、(注3) ④ 給紙ロールと加圧ローラーの間でメディアが弛んでいないことを確認してください。 ※ 弛んだ状態で送り調整値の調整を行うと、調整値がずれる場合があります。 ⑤ イオナイザー（オプション）がオンの場合、オフに切り替えてください。

【症状 D】 メディアに帯電した静電気による汚れ / メディアの白地がインクのマストで汚 れる	① イオナイザー (オプション) 「オン」 に設定してください。(注 4) ② より遅い印刷モードまたは、キャリッジ速度「テイソク」に変更してください。 (注 1)、(注 2)、(注 3) ③ 今までに実績のあるメディアで印刷してください。
---	---

(注 1) 送り調整値の再調整が必要です。

(注 2) 印刷速度は変わります。

(注 3) キャリッジ速度設定を変更した場合には往復調整値の再調整が必要です。

(注 4) 静電気による汚れが発生しないメディアに対してはイオナイザー「オフ」に設定してください。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

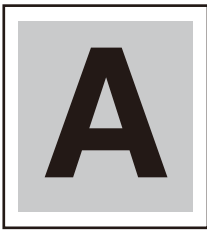
困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

◆ 印刷物の端に縦スジが入る

【基本イメージ】



【症状A】



【原因】

プラテン上、メディアの左端部とメディアエッジガードの接点が吸着穴近傍にある。

【症状B】



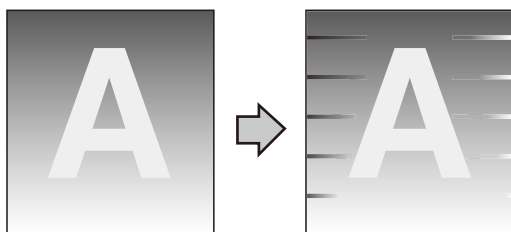
【原因】

プラテン上、メディアの右端部とメディアエッジガードの接点が吸着穴近傍にある。

原因	対処方法
【症状A】【症状B】 プラテン上、メディアの端部とメディアエッジガードの接点が吸着穴近傍にある場合、メディアエッジガードとメディアの間から吐出インクの一部を吸い込み、縦スジが発生する場合があります。	プラテン上のメディアの端部とメディアエッジガードの接点が吸着穴近傍に位置しないように、メディアをずらしてください。 ※この範囲内に吸着穴が位置しないようにしてください。 縦スジが発生する場合のメディア位置の一例 縦スジが発生した場合に、メディアの位置をずらす例 (1) 縦スジが発生した場合に、メディアの位置をずらす例 (2)

◆ 印刷物の左右で異なるスジが入る

【基本イメージ】



【原因】
メディアの送りがスキューしている

原因	対処方法
メディアの送りがスキューしている タケノコ状の例 へこみがある例 ✕ 悪い例 ○ 良い例	① タケノコ状、へこみがないか、ロール仕立てを確認し、ロール仕立てが悪ければ、仕立ての良いロールと交換してください。 ② 以下のような状態で、メディアが適切にセットされていることを確認してください。 ・ プリンターに対してメディアが平行にセットされているか、確認する。 ・ 操作パネルの「メディア種類」が正しく選択されているか、確認する。 ・ メディアに適した巻き取り方式で巻き取られているか、確認する。 ・ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照してください。 ③ 巻き取り側で巻きムラが発生していないか確認し、メディアの再セットと巻き取り装置への再セットを実施してください。 ④ 加圧ローラーアップダウンレバーで加圧力を変えてください。(注1) ⑤ 実績のあるメディアを使用してください ⑥ 給紙側メディアホルダーがメディアの紙管に緩みなくささっていることを確認してください。 ⑦ 給紙側メディアホルダーが、シャフトに対してネジでしっかり固定されていることを確認してください。

(注1) 送り調整値の再調整が必要です。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

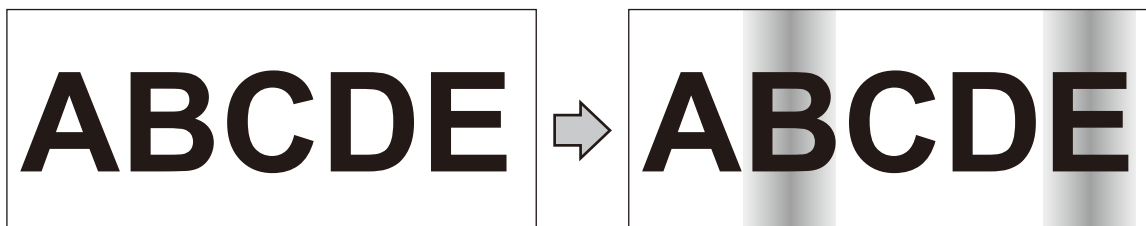
困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

◆ 印刷物に縦縞が入る

【基本イメージ】



【原因】

- ・ 使用しているメディアに対する送り調整値が適切でない。
- ・ メディアにシワやカールが発生している。

原因	対処方法
使用しているメディアに対する送り調整値が適切でない。	① 送り調整を± 0.3%の範囲で微調整することで改善される場合があります。 ・ ①を実施しても改善されない場合は、以下を実施してください。 ② 印刷モードを変更してください。(注 1)、(注 2)
メディアにシワやカールが発生している。	メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照して、適切な対応をしてください。

(注 1) 送り調整値の再調整が必要です。

(注 2) 印刷速度は変わります。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく



メニューツリー

MENU

フ^リントチュウ
ヒョウシ^ン ND BI

MENU

(印刷中)

MENU
↑ケイコクシ^{ョウ}ホウ

OK

<警告有り:例>

マキトリソウチヲ
カクニンシテクタ^{サイ}

キャップ^{クリー}ニング^ヲ
シ^ッシシテクタ^{サイ}

<警告無し>

ケイコクナシ



MENU
↑インクシ^{ョウ}ホウ

OK

>インクシ^{ョウ}ホウ
↑インクサ^{ンリョウ}

OK

>>インクサ^{ンリョウ}
↑CC XXX%

CC:インク色
XXX%:インク残量



>インクシ^{ョウ}ホウ
↑インクセイゾ^{ウヒ}

OK

>>インクセイゾ^{ウヒ}
↑CC YYYY/MM/DD

CC:インク色
YYYY/MM/DD:製造年月日



>インクシ^{ョウ}ホウ
↑ハイインクリョウ

OK

>>ハイインクリョウ
XXX%

XXX%:廃インク量



MENU
↑インサツシ^{ョフ}

OK

>インサツシ^{ョフ}
↑シンチョク XXX%

XXX%:印刷の進捗パーセント



>インサツシ^{ョフ}
↑ノコリシ^{カン} HH:MM

HH:MM:予想終了時間(24時間表示)



MENU
↑メディアサ^{ンリョウ}

OK

ミリ
>メディアサ^{ンリョウ}
XX:NNNNNNN YYm

XX:メディア番号
NNNNNN:メディア名
YYY:残量



インチ
>メディアサ^{ンリョウ}
XX:NNNNNNN YYYYft

XX:メディア番号
NNNNNN:メディア名
YYY:残量



MENU
↑ソウコウキョリ

OK

ミリ
>ソウコウキョリ
YYYYYm

YYYYY:走行距離



インチ
>ソウコウキョリ
YYYYYYft

YYYYY:走行距離

フ'リントデ'キマス
01:PAPER/1626mm

MENU

(印刷中以外)

MENU

↑シ'ョウホウ

OK

>シ'ョウホウ

↑ケイコクシ'ョウホウ

OK

<警告有り:例>

メテ'ィアノシワヲ

カクニンシテクタ'サイ

キャップ'クリーニンク'ヲ

シ'ッシシテクタ'サイ

<警告無し>

ケイコクナシ

⬆ ⬇

>シ'ョウホウ

↑インクシ'ョウホウ

OK

>>インクシ'ョウホウ

↑インクサ'ンリョウ

OK

>>>インクサ'ンリョウ

↑CC XXX%

CC:インク色
XXX%:インク残量

⬆ ⬇

>>インクシ'ョウホウ

↑インクセイゾ'ウヒ'

OK

>>>インクセイゾ'ウヒ'

↑CC YYYY/MM/DD

CC:インク色
YYYY/MM/DD:製造年月日

⬆ ⬇

>>インクシ'ョウホウ

↑ハイインクリョウ

OK

>>>ハイインクリョウ

XXX%

XXX%:廃インク量

⬆ ⬇

>>インクシ'ョウホウ

↑トータルインクシヨウリョウ

OK

>>>トータルインクシヨウリョウ

↑CC 000000000

CC:インク色

⬆ ⬇

>シ'ョウホウ

↑メテ'ィアサ'ンリョウ

OK

ミリ

>>メテ'ィアサ'ンリョウ

YYYm

YYY:残量

インチ

>>メテ'ィアサ'ンリョウ

YYYYft

YYYY:残量

⬆ ⬇

>シ'ョウホウ

↑ソウコウキョリ

OK

ミリ

>>ソウコウキョリ

YYYYYm

YYYYY:走行距離

インチ

>>ソウコウキョリ

YYYYYYft

YYYYY:走行距離

⬆ ⬇

>シ'ョウホウ

↑メンテナンスシ'ョウホウ

OK

>>メンテナンスシ'ョウホウ

↑メンテナンスジッシリツ

OK

>>>メンテナンスジッシリツ

↑XXX%

XXX テン:メンテナンス実施状況の得点

⬆ ⬇

>>メンテナンスシ'ョウホウ

↑クリーニング'ニチシ'

OK

>>>クリーニング'ニチシ'

↑MM/DD hh:mm

MM/DD hh:mm:クリーニング実施日時

⬆ ⬇

>シ'ョウホウ

↑ハ'ージョン

OK

>>ハ'ージョン

↑Boot:X.XX

Bootのバージョンを表示する。

⬆ ⬇

A

A'

A''

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

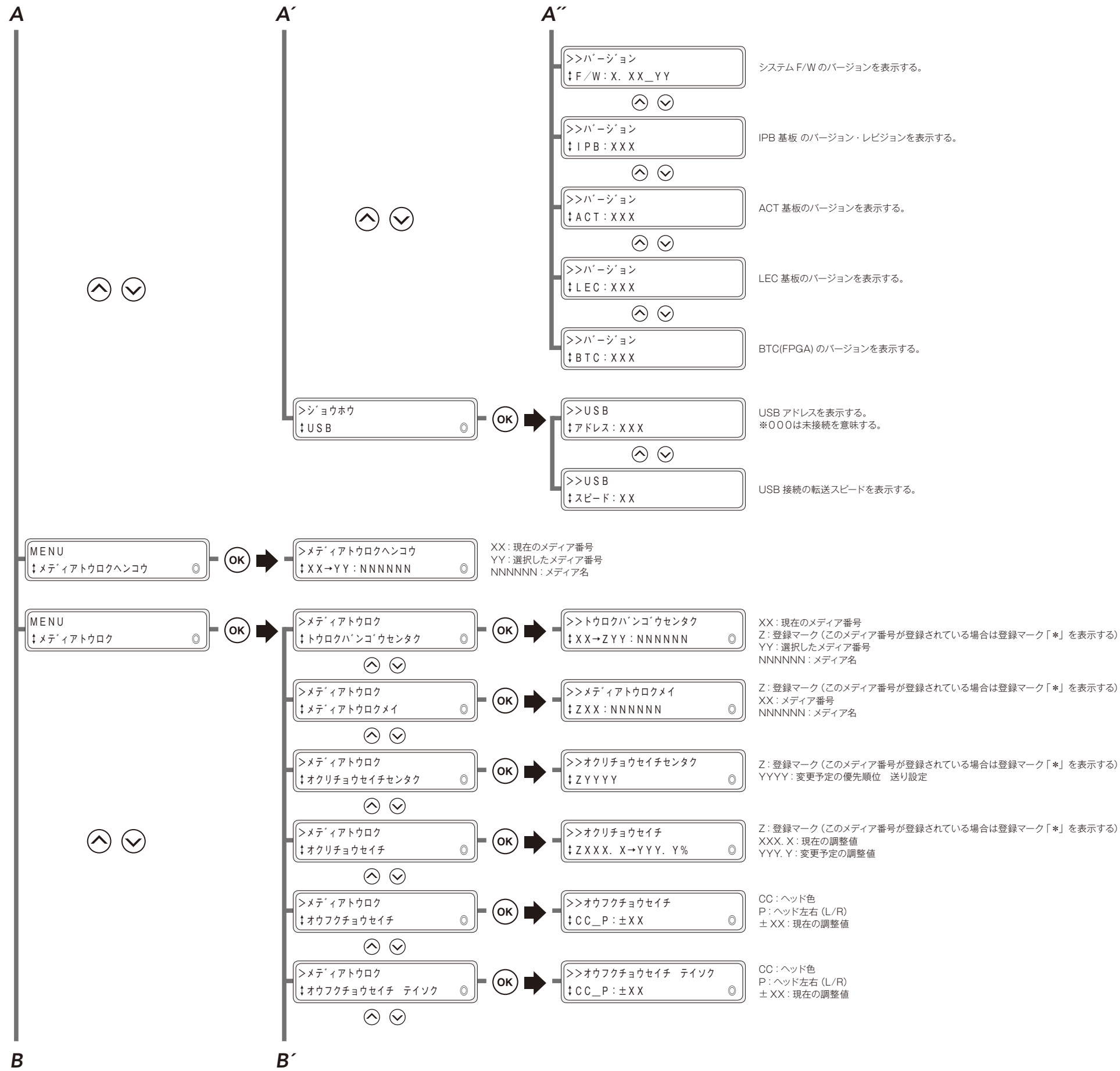
メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

戻る

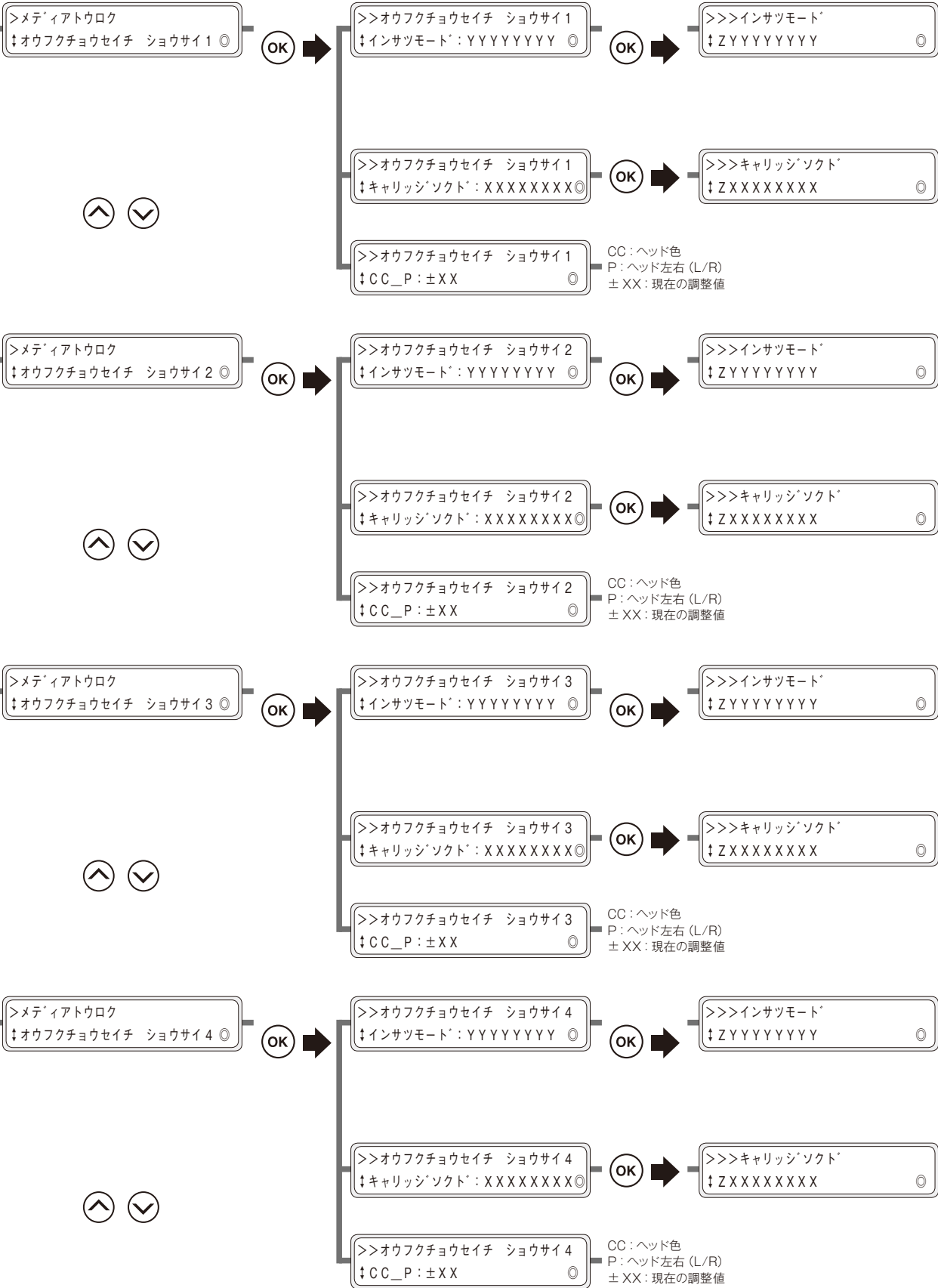


B



C

B'



Z:登録マーク (このメディア番号が登録されている場合は登録マーク「*」を表示する)
YYYYYYYY:現在の設定 印刷モード
ミシヨウ
コウソク、ソクドユウセン
ヒョウジュン、ガシツユウセン
コウガシツ
サウコウガシツ
コウセイサイ

Z:登録マーク (このメディア番号が登録されている場合は登録マーク「*」を表示する)
XXXXXXXX:現在の設定 キャリッジ速度
ヒョウジュン
テイソク

Z:登録マーク (このメディア番号が登録されている場合は登録マーク「*」を表示する)
YYYYYYYY:現在の設定 印刷モード
ミシヨウ
コウソク、ソクドユウセン
ヒョウジュン、ガシツユウセン
コウガシツ
サウコウガシツ
コウセイサイ

Z:登録マーク (このメディア番号が登録されている場合は登録マーク「*」を表示する)
XXXXXXXX:現在の設定 キャリッジ速度
ヒョウジュン
テイソク

Z:登録マーク (このメディア番号が登録されている場合は登録マーク「*」を表示する)
YYYYYYYY:現在の設定 印刷モード
ミシヨウ
コウソク、ソクドユウセン
ヒョウジュン、ガシツユウセン
コウガシツ
サウコウガシツ
コウセイサイ

Z:登録マーク (このメディア番号が登録されている場合は登録マーク「*」を表示する)
XXXXXXXX:現在の設定 キャリッジ速度
ヒョウジュン
テイソク

Z:登録マーク (このメディア番号が登録されている場合は登録マーク「*」を表示する)
YYYYYYYY:現在の設定 印刷モード
ミシヨウ
コウソク、ソクドユウセン
ヒョウジュン、ガシツユウセン
コウガシツ
サウコウガシツ
コウセイサイ

Z:登録マーク (このメディア番号が登録されている場合は登録マーク「*」を表示する)
XXXXXXXX:現在の設定 キャリッジ速度
ヒョウジュン
テイソク

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

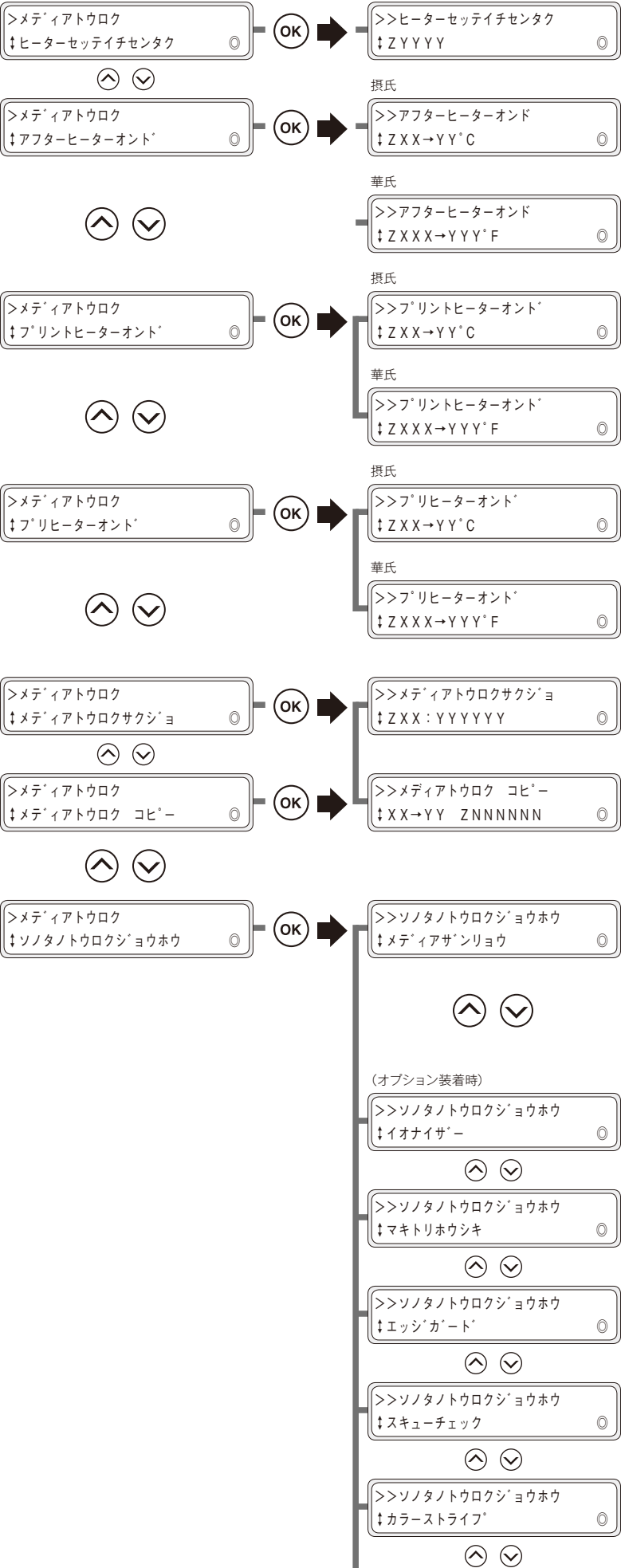
戻る

C

D



C'



D'

Z:登録マーク(このメディア番号が登録されている場合は登録マーク「*」を表示する)
YYYY:変更予定の優先順位 ヒータ設定

Z:登録マーク(このメディア番号が登録されている場合は登録マーク「*」を表示する)
XX:現在の設定温度
YY:変更予定の設定温度

Z:登録マーク(このメディア番号が登録されている場合は登録マーク「*」を表示する)
XX:現在の設定温度
YY:変更予定の設定温度

Z:登録マーク(このメディア番号が登録されている場合は登録マーク「*」を表示する)
XX:現在の設定温度
YY:変更予定の設定温度

Z:登録マーク(このメディア番号が登録されている場合は登録マーク「*」を表示する)
XX:メディア番号
YYYYYYY:メディア名

XX:コピー元番号
YY:コピー先番号
Z:登録マーク。メディアが登録されていると、*（登録マーク）が表示される
NNNNNN:コピー先メディア名

Z:登録マーク。メディアが登録されていると、*（登録マーク）が表示される
XXX:現在のメディア残量
YYY:変更予定のメディア残量

Z:登録マーク。メディアが登録されていると、*（登録マーク）が表示される
YYY:変更予定の設定

Z:登録マーク。メディアが登録されていると、*（登録マーク）が表示される
YYY:変更予定の設定

Z:登録マーク。メディアが登録されていると、*（登録マーク）が表示される
YYY:変更予定の設定

Z:登録マーク。メディアが登録されていると、*（登録マーク）が表示される
YYY:変更予定の設定

Z:登録マーク。メディアが登録されていると、*（登録マーク）が表示される
YYY:変更予定の設定

D



MENU
↑メテ'ィアサ'ンリョウセッテイ



MENU
↑メテ'ィアサ'ンリョウインサツ



MENU
↑メテ'ィアマキタ'シ



MENU
↑フ'リンターセッテイ

OK

>メテ'ィアサ'ンリョウセッテイ
↑ZZ: XXX→YYYm

ZZ: カレントメディア番号
XXX: 現在のメディア残量
YYY: 変更予定のメディア残量

E

D'

>>ソノタノトウロクシ'ヨウホウ
↑キュウチャクファン



OK

>>>キュウチャクファン
↑ZYYY

Z: 登録マーク。メディアが登録されていると、*（登録マーク）が表示される
YYY: 変更予定の設定

>>ソノタノトウロクシ'ヨウホウ
↑メテ'ィアオクリモート'



OK

>>>メテ'ィアオクリモート'
↑ZYYY

Z: 登録マーク。メディアが登録されていると、*（登録マーク）が表示される
YYY: 変更予定の設定

>>ソノタノトウロクシ'ヨウホウ
↑メテ'ィアモト'シモート'



OK

>>>メテ'ィアモト'シモート'
↑ZYYY

Z: 登録マーク。メディアが登録されていると、*（登録マーク）が表示される
YYY: 変更予定の設定

>>ソノタノトウロクシ'ヨウホウ
↑オートクリーニング'



OK

>>>オートクリーニング'
↑ZYYY

Z: 登録マーク。メディアが登録されていると、*（登録マーク）が表示される
YYY: 変更予定の設定

>>ソノタノトウロクシ'ヨウホウ
↑ヘット'タイキカンカク



OK

>>>ヘット'タイキカンカク
↑ZXXX→YYYYスキャン

Z: 登録マーク。メディアが登録されていると、*（登録マーク）が表示される
XXX: 現在の設定
YYYY: 変更予定の設定

>>ソノタノトウロクシ'ヨウホウ
↑ヘット'タイキシ'カン



OK

>>>ヘット'タイキシ'カン
↑ZXX→YYビョウ

Z: 登録マーク。メディアが登録されていると、*（登録マーク）が表示される
XXX: 現在の設定
YYYY: 変更予定の設定

>>ソノタノトウロクシ'ヨウホウ
↑キャリッジ'ソクト'



OK

>>>キャリッジ'ソクト'
↑ZYYY

Z: 登録マーク。メディアが登録されていると、*（登録マーク）が表示される
YYY: 変更予定の設定

>>ソノタノトウロクシ'ヨウホウ
↑メテ'ィアハハ'ケンシュツモート'



OK

>>>メテ'ィアハハ'ケンシュツモート'
↑ZYYY

Z: 登録マーク。メディアが登録されていると、*（登録マーク）が表示される
YYY: 変更予定の設定

>>ソノタノトウロクシ'ヨウホウ
↑メテ'ィアケンシュツ



OK

>>>メテ'ィアケンシュツ
↑ZYYY

Z: 登録マーク。メディアが登録されていると、*（登録マーク）が表示される
YYY: 変更予定の設定

>>ソノタノトウロクシ'ヨウホウ
↑メテ'ィアサ'ンリョウ カンリ



OK

>>>メテ'ィアサ'ンリョウ カンリ
↑ZYYY

Z: 登録マーク。メディアが登録されていると、*（登録マーク）が表示される
YYY: 変更予定の設定

>>ソノタノトウロクシ'ヨウホウ
↑セーフスキャンニング'



OK

>>>セーフスキャンニング'
↑ZYYY

Z: 登録マーク。メディアが登録されていると、*（登録マーク）が表示される
YYY: 変更予定の設定

>>ソノタノトウロクシ'ヨウホウ
↑ヘット'タカサ



OK

>>>ヘット'タカサ
↑ZYYY

Z: 登録マーク。メディアが登録されていると、*（登録マーク）が表示される
YYY: 変更予定の設定

E'

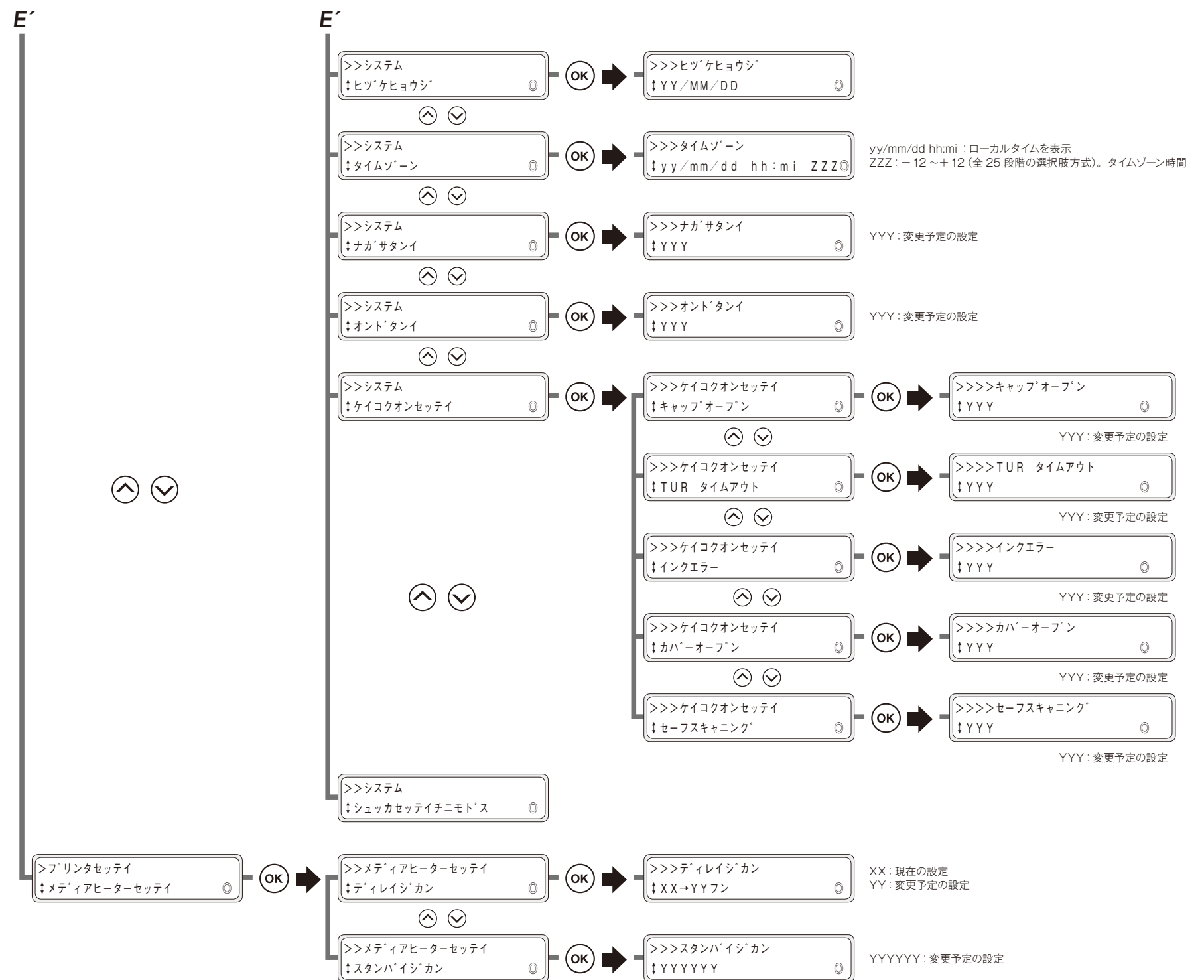


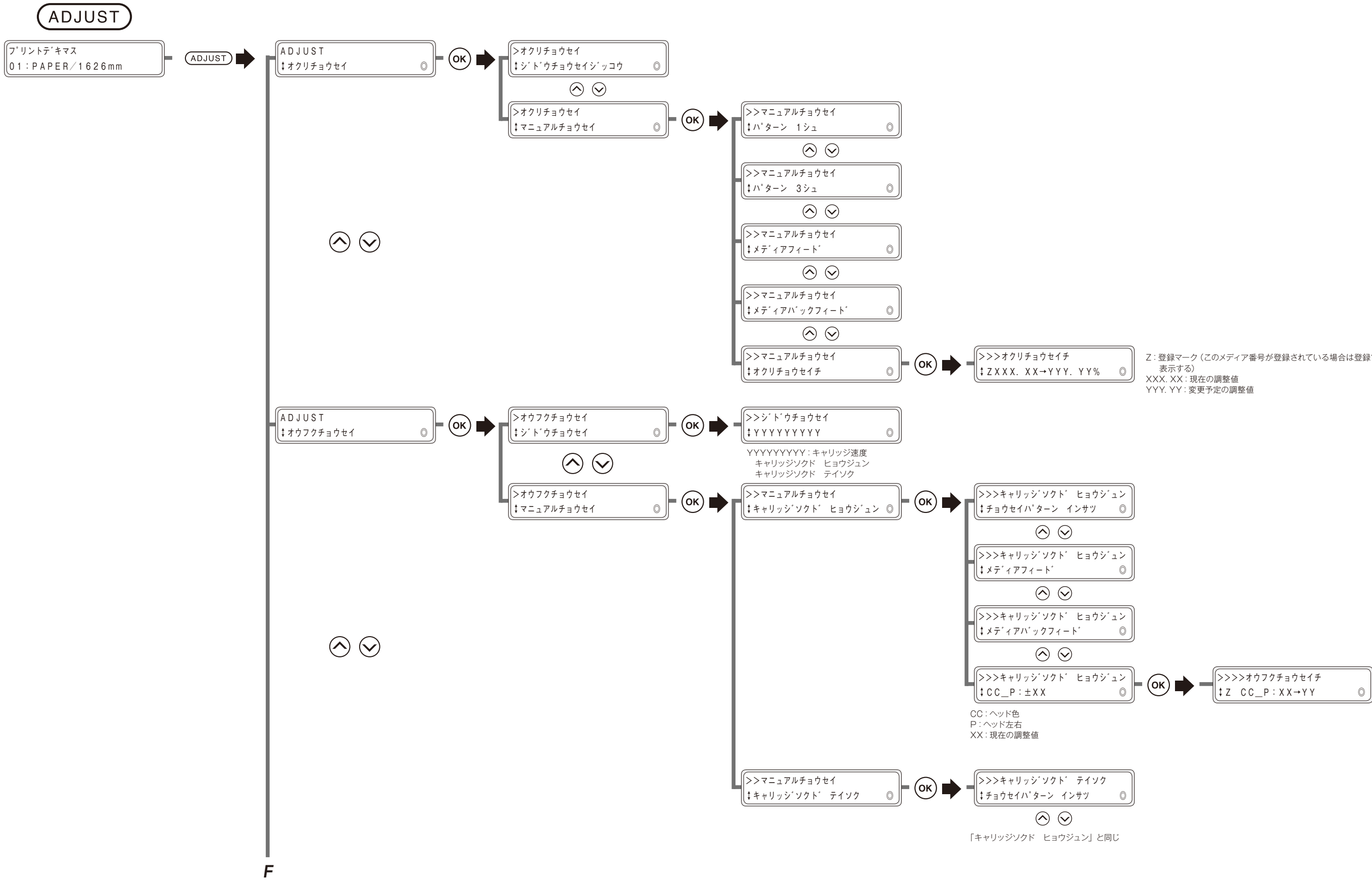
>>システム
↑LANGUAGE

OK

>>>LANGUAGE
↑YYYYYYYYYYY

YYYYYYYYYYY: 変更予定の言語





Z:登録マーク(このメディア番号が登録されている場合は登録マーク「*」を表示する)
XXX.XX:現在の調整値
YYYY.YY:変更予定の調整値

CC:ヘッド色
P:ヘッド左右
XX:現在の調整値

F

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

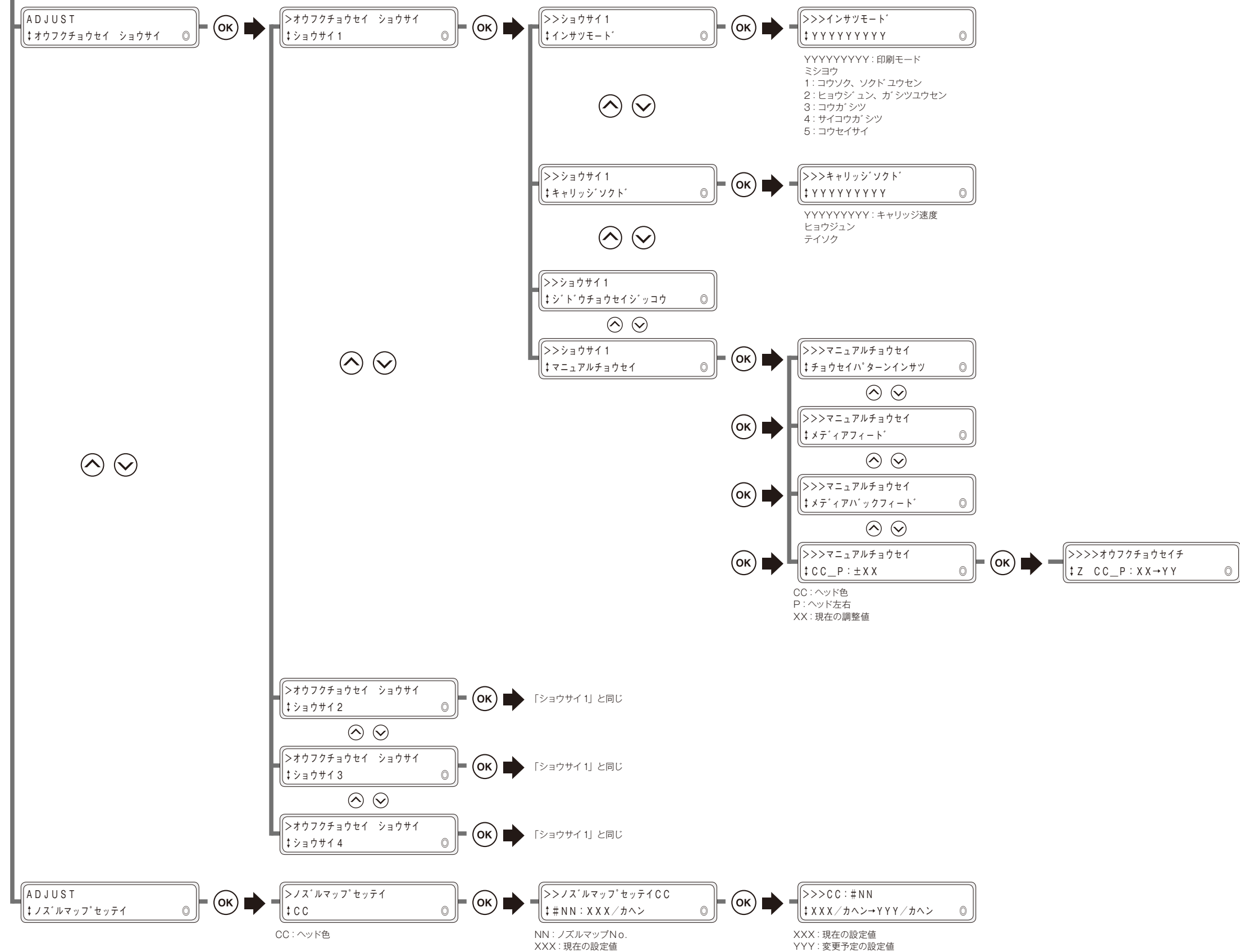
メンテナンス

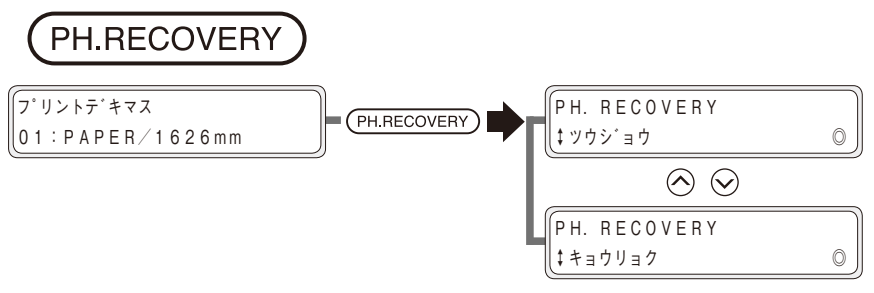
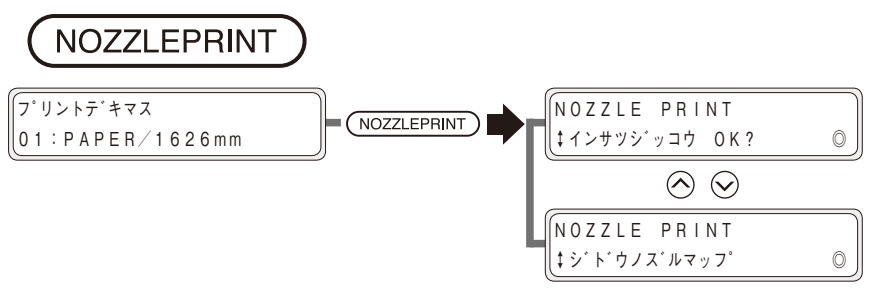
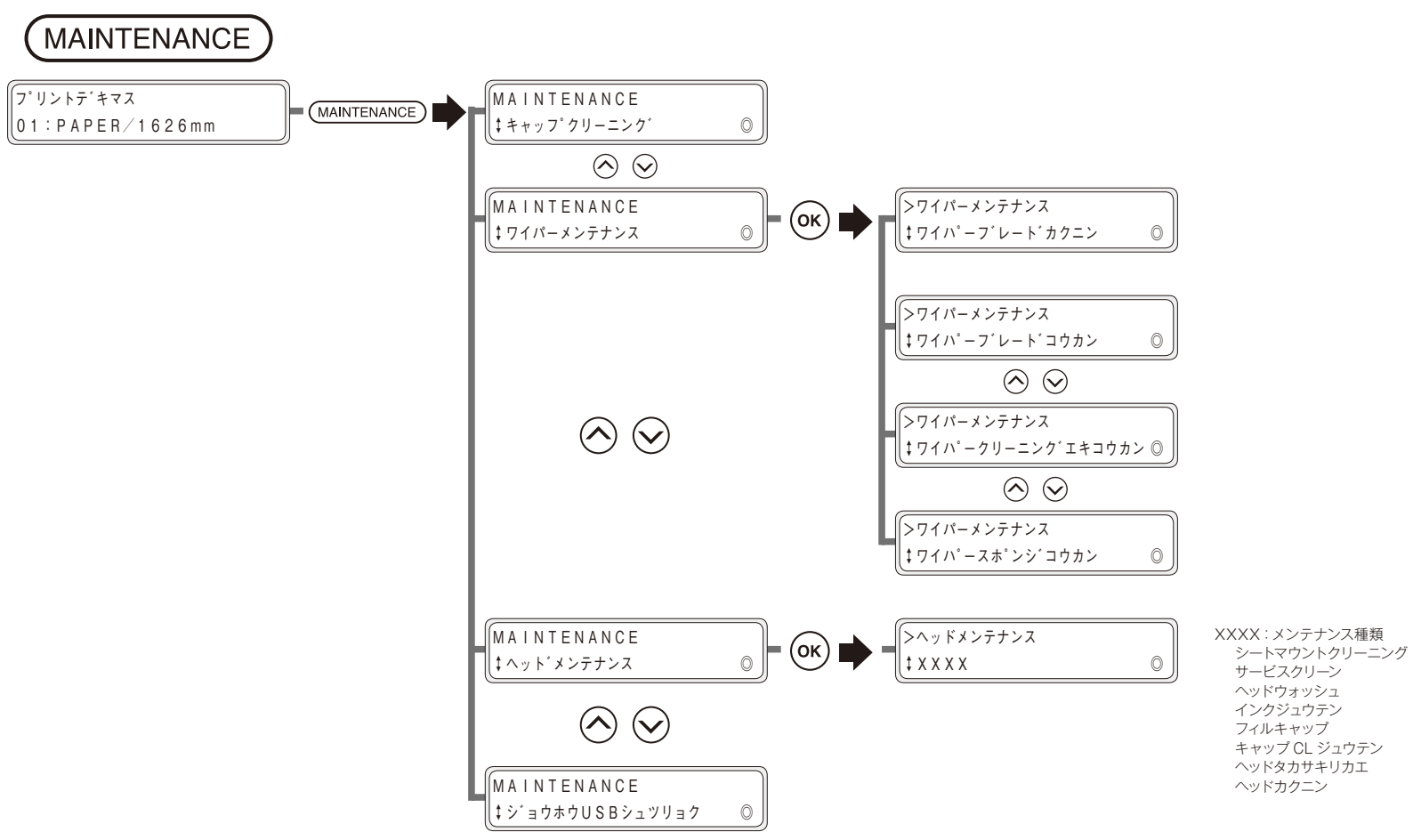
詳細な取り扱い方法

困ったときは...

メニューツリー

戻る





印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

ふろく

基本仕様

項 目	仕 様 / 機 能	
	IP-5630	IP-5530
記録方式	ピエゾ式カラーインクジェット記録方式	
解像度	(主走査方向) × (副走査方向) 360dpi × 180dpi × DDP、360dpi × 360dpi × DDP、 540dpi × 360dpi × DDP、540dpi × 540dpi × DDP、 720dpi × 720 dpi、900dpi × 900dpi、1080dpi × 1080dpi	
記録速度	10.9m ² /h 64 インチ幅、双方向 (標準モード)	10.2m ² /h 54 インチ幅、双方向 (標準モード)
給紙 / 排紙方向	背面給紙、前面排紙	
メディアの種類	塩ビ/ターポリン/電飾ターポリン (FF) / ソルベント用コート紙	
メディア幅	最大 64 インチ (1626mm)	最大 54 インチ (1372mm)
インクカートリッジ	一般溶剤インク (6 色) (ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ライトシアン、ライトマゼンタ) 各 500ml	
インタフェース	USB2.0	
騒 音	待機時: 50dB (A) 以下 動作時: 60dB (A) 以下 (連続音) 給紙、巻き取りモーター音、インク供給中を除きます。	
発熱量	4860KJ/H 以下	4140KJ/H 以下
作図保証領域	両端部から 5mm を除く部分 (メディアエッジガード使用時は 10mm)	
電源定格	AC120V 50Hz/60Hz 12A、 AC220V-AC240V 50Hz/60Hz 6A	AC100 - 127V, 50Hz/60Hz 12A
電源入力範囲	AC110V-AC130V/AC200V-AC260V	AC90V-AC110V
消費電力	1350W 以下	1150W 以下
外形寸法	2830 mm (W) X 830 mm (D) X 1255 mm (H) ± 10 mm	2576 mm (W) X 830 mm (D) X 1255 mm (H) ± 10 mm
質量	228kg ± 10kg	205kg ± 10kg
	(ロールメディアおよびインクは含みません)	
印刷保証範囲	20 ~ 25℃ / 40 ~ 60% RH (ただし結露しないこと)	
動作時温度/湿度範囲	15 ~ 30℃ / 30 ~ 70% RH (ただし結露しないこと)	
休止時、長期保存温度/湿度範囲	5 ~ 35℃ / 10 ~ 80% RH 以下 (ただし、結露しないこと)	
設置スペース	3630 mm 以上 (W) X 3830mm 以上 (D) X 2200 mm 以上 (H)	3380 mm 以上 (W) X 3830 mm 以上 (D) X 2200 mm 以上 (H)
保守スペース	6630 mm 以上 (W) x 3830 mm 以上 (D) x 2200 mm 以上 (H)	6380 mm 以上 (W) x 3830 mm 以上 (D) x 2200 mm 以上 (H)

消耗品

インクカートリッジ

1 本入り箱

品 番	インク色	インク容量
IP5-221	Y (イエロー)	500 ml
IP5-222	M (マゼンタ)	500 ml
IP5-223	C (シアン)	500 ml
IP5-224	K (ブラック)	500 ml
IP5-225	Lc (ライトシアン)	500 ml
IP5-226	Lm (ライトマゼンタ)	500 ml

地域毎に品番が異なることがあります。詳細は、販売店にお問合せ下さい。

警告

- ◆ インクには、絶対に火気を近づけないでください。火災の危険があります。
- ◆ インクは飲んだり、目の中に入らないように注意してください。呼吸困難になったり、目の障害の原因となります。もし目に入った場合は、直ちに清浄な水で洗い流した後、医師の手当てを受けてください。また、誤って飲み込んだ場合は、無理に吐き出さず直ちに医師の手当てを受けてください。

注意

- ◆ 弊社指定のインクカートリッジ以外は絶対に使用しないでください。本機の故障の原因になります。
- ◆ インクの有効期間は、製造日より 18 ヶ月です。
- ◆ インクカートリッジは、使用前に振ったりしないでください。
- ◆ インクカートリッジをカートリッジホルダにセットし、6 スロット全てに装着してください。交換などで取り外した後は、必ず新しいものを装着してください。

廃インクボトル

品 番	内 容 物	容 量
IP5-299	廃インクボトル	1 個

警告

- ◆ 廃インクボトルには絶対に火気を近づけないでください。火災の危険があります。
- ◆ インクは飲んだり、目の中に入らないように注意してください。呼吸困難になったり、目の障害の原因となります。もし目に入った場合は、直ちに清浄な水で洗い流した後、医師の手当てを受けてください。また、誤って飲み込んだ場合は、無理に吐き出さず直ちに医師の手当てを受けてください。

注意

- ◆ 廃インクボトルが一杯になったら、付属のキャップを確実に締めて産業廃棄物として処理してください。

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

日常メンテナンスキット A

品 番	内 容 物	容 量
IP5-280	キャップクリーニング液 A	100 ml
	ワイパークリーニング液 A	200 ml
	クリーニング棒	10 本
	クリーニング棒 (大)	30 本
	ピンセット	1 個
	ゴムブレード	2 枚
	スポンジブレード	1 枚



警告

- ◆ 液は、飲んだり目の中に入らないように注意してください。呼吸困難になったり、目の障害の原因となります。もし目に入った場合は、直ちに清浄な水で洗い流した後、医師の手当てを受けてください。また、誤って飲み込んだ場合は、無理に吐き出さず直ちに医師の手当てを受けてください。

キャップクリーニング液 A

品 番	内 容 物	容 量
IP5-279	キャップクリーニング液 A (100 ml)	1 本

ワイパークリーニング液セット A

品 番	内 容 物	容 量
IP6-251	ワイパークリーニング液 A (200 ml)	3 本

クリーニング棒

品 番	内 容 物	容 量
IP6-147	クリーニング棒	300 本
	袋	6 包

保管液セット A

品 番	内 容 物	容 量
IP5-284	保管液カートリッジ A	6 本



注意

- ◆ 保管液セット A の使用期限は、製造日より 24 ヶ月です。
- ◆ 使用期限を過ぎた保管液セット A を使用すると、画質等に影響を与えるばかりでなく、プリンターの故障の原因となります。

洗浄液セット A

品 番	内 容 物	容 量
IP5-285	洗浄液カートリッジ A	6 本

ワイパースポンジ

品 番	内 容 物	容 量
IP5-282	ワイパースポンジ	1 個

ワイパーブレード

品 番	内 容 物	容 量
IP5-281	ゴムブレード	2 個
	スポンジブレード	1 個

クリーニング棒 (大)

品 番	内 容 物	容 量
IP7-264	クリーニング棒 (大)	120 本

カートリッジホルダー

品 番	内 容 物	容 量
IP5-320	カートリッジホルダー	1 個

手袋セット

品 番	内 容 物	容 量
IP7-138	手袋	100 個 (50 組)

メディアカッターブレード

品 番	内 容 物	容 量
IP5-124	メディアカッターブレード	1 個

シートマウントクリーニングキット A

品 番	内 容 物	容 量
IP5-283	ヘッドクリーニングシート	12 枚
	キャップクリーニングシート	12 枚
	シートマウント洗浄液 A (100 ml)	2 本
	スポイト	3 本
	手袋	24 個 (12 組)

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

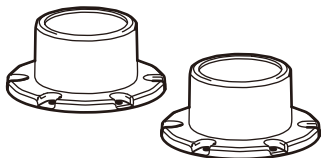
メニューツリー

ふろく

オプション

エキゾーストアタッチメント (IP-265)

本機に排気ダクトを取り付けるためのユニットをオプションとして用意しています。



カッターユニット (64) (IP5-262 IP-5630 用)

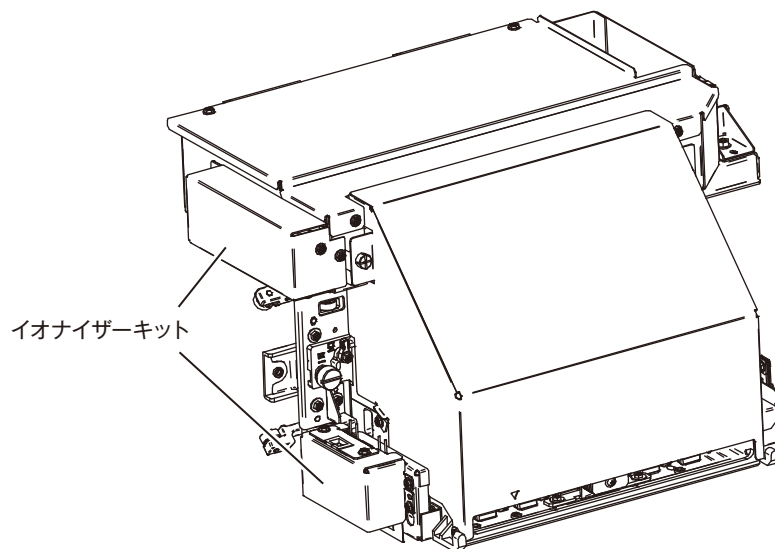
カッターユニット (54) (IP5-263 IP-5530 用)

メディアをカットするオプションです。



イオナイザーキット (IP5-254)

メディアの静電気を中和し、インクミストによる印刷汚れを軽減するオプションです。



サービス拠点

故障・保守サービスについては、サービス拠点または販売店にお問い合わせください。
<https://www.oki.com/jp/printing/support/otoiawase/repair/index.html>

◆ 本機に関するお問い合わせ

本機に関するお問い合わせは、弊社営業までご連絡ください。

株式会社沖データ

◇国内営業本部

〒108-8551

東京都港区芝浦 4-11-22 (OKI ビジネスセンター 1 号館)

TEL : 03-6453-7534

◇ホームページアドレス

<https://www.oki.com/jp/printing/>

印刷する前に
知っておきたいこと

メディアをセットする

調整する

メンテナンス

詳細な取り扱い方法

困ったときは・・・

メニューツリー

ふろく

